

**令和4年度  
高齢者福祉に関するアンケート調査報告書**

**令和5年3月**

**宇部市**

## 《目次》

<b>第1章 調査の実施概要</b> .....	<b>1</b>
1 調査の目的と方法.....	1
2 調査集計にあたっての留意事項.....	1
<b>第2章 調査結果の総括（概要と考察）</b> .....	<b>2</b>
1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の結果概要と考察.....	2
2 在宅介護実態調査の結果概要と考察.....	10
<b>第3章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果</b> .....	<b>15</b>
問1 あなたのことについて.....	15
1.1 集計結果.....	15
問2 あなたのご家族や生活状況について.....	17
2.1 集計結果.....	17
問3 からだを動かすことについて.....	23
3.1 集計結果.....	23
3.2 【健康リスク判定】運動器の機能低下.....	35
3.3 【健康リスク判定】転倒リスク.....	37
3.4 【健康リスク判定】閉じこもり傾向.....	39
問4 食べることについて.....	41
4.1 集計結果.....	41
4.2 【健康リスク判定】低栄養状態.....	50
4.3 【健康リスク判定】咀嚼機能の低下.....	52
4.4 【健康リスク判定】口腔機能の低下.....	54
問5 毎日の生活について.....	56
5.1 集計結果.....	56
5.2 【健康リスク判定】認知機能の低下.....	64
問6 地域での活動について.....	66
6.1 集計結果.....	66
問7 たすけあいについて.....	77
7.1 集計結果.....	77
問8 健康について.....	84
8.1 集計結果.....	84
8.2 【健康リスク判定】うつ傾向.....	91
問9 認知症について.....	93
9.1 集計結果.....	93
問10 地域での相談や活動について.....	98
10.1 集計結果.....	98
問11 在宅介護・施設介護について.....	102
11.1 集計結果.....	102

問 12 見守り・安否確認について .....	105
12.1 集計結果.....	105
問 13 スマートフォンやパソコンの活用について .....	107
13.1 集計結果.....	107
問 14 成年後見人制度について .....	112
14.1 集計結果.....	112
問 15 新型コロナの影響について.....	114
15.1 集計結果.....	114
問 16 その他.....	121
16.1 集計結果.....	121

## **第4章 在宅介護実態調査結果.....124**

1 在宅限界点の向上のための支援・サービスの提供体制の検討 .....	124
1.1 集計・分析の狙い .....	124
1.2 集計結果.....	124
2 仕事と介護の両立に向けた支援・サービスの提供体制の検討 .....	142
2.1 集計・分析の狙い .....	142
2.2 集計結果.....	142
3 保険外の支援・サービスを中心とした地域資源の整備の検討.....	155
3.1 集計・分析の狙い .....	155
3.2 集計結果.....	155
4 将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制の検討 .....	166
4.1 集計・分析の狙い .....	166
4.2 集計結果.....	166
5 医療ニーズの高い在宅療養者を支える支援・サービスの提供体制の検討 .....	172
5.1 集計・分析の狙い .....	172
5.2 集計結果.....	172
6 サービス未利用の理由など.....	177
6.1 集計・分析の狙い .....	177
6.2 集計結果.....	177
7 独自設問.....	188
7.1 集計結果.....	188

# 第1章 調査の実施概要

## 1 調査の目的と方法

令和2年度に策定した「宇部市高齢者福祉計画」を見直し新たな計画を策定するための基礎資料とするため、「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」「在宅介護実態調査」以上2つの調査を実施しました。

各調査の実施目的並びに実施概要は下記の通りです。

### 《介護予防・日常生活圏域ニーズ調査》

調査目的	○要介護状態になる前の高齢者のリスクや社会参加状況を把握することで、地域診断に活用し、地域の抱える課題を特定すること ○介護予防・日常生活支援総合事業の評価に活用すること				
調査対象者	宇部市内にお住まいの65歳以上の方のうち、要介護1～5以外の方（要支援者、総合事業対象者、その他一般高齢者）				
調査数	3,500名				
調査方法	郵送による配布、郵送・インターネットによる回収				
調査票回収数	郵送	2,484件	計 2,537件	回収率	72.5%
	WEB	53件			

### 《在宅介護実態調査》

調査目的	○「高齢者等の適切な在宅生活の継続」と「家族等介護者の就労継続」の実現に向けた介護サービスの在り方を検討すること				
調査対象者	在宅で生活している要支援・要介護認定を受けている方のうち、更新申請・区分変更申請に伴う認定調査を受ける（受けた）方				
調査数	1,050名				
調査方法	郵送による配布、郵送による回収				
調査票回収数	615件			回収率	58.6%

## 2 調査集計にあたっての留意事項

- 回答結果は小数点以下第2位を四捨五入しています。このため、単回答（複数の選択肢から1つだけを選ぶ形式）の場合、合計値が「100.0」にならない場合があります。
- 複数回答（2つ以上の回答を選ぶ形式）における割合の単位はパーセントとしています。この場合、回答は有効標本数全体に対して各々の割合を示すものであり、各選択肢の回答を合計すると「100.0」を超える場合があります。
- 本報告書における「n」「SA」「MA」「数量」は、それぞれ以下の内容を示します。
  - 「n」 = サンプル数のこと
  - 「SA」 = 単回答のこと（Single Answerの略）
  - 「MA」 = 複数回答のこと（Multiple Answerの略）
  - 「数量」 = 数量回答のこと
- 在宅介護実態調査の集計にあたっては、厚生労働省老健局が提供する「在宅介護調査の自動集計ツール」を活用し、認定ソフト2018からの出力データと本調査結果とを組み合わせ集計を行っています。
- 本報告書において100%横棒グラフでの表示は、グラフ表示が煩雑になるため、比率の極めて低いもの（4.0%未満）は数値の表示を省略しているものがあります。
- クロス集計で、母数が少ない項目に関しては、分析文を省略しているものがあります。

## 第2章 調査結果の総括（概要と考察）

本章では、「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」「在宅介護実態調査」以上2つの調査結果の総括として、調査結果の概要と、調査結果を踏まえた考察をまとめます。

### 1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の結果概要と考察

#### (1) 回答者の属性

- ・調査票を回答したのは、調査対象者の「本人」が84.1%を占めています。
- ・回答者の年齢は、「65～69歳」「70～74歳」の『前期高齢者』が50.1%を占めています。「75～79歳」「80～84歳」「85歳以上」の『後期高齢者』は47.6%となっています。
- ・回答者の性別は「男性」が41.7%、「女性」が56.1%となっています。
- ・回答者は、要介護認定を受けていない人が91.0%を占めています。要支援1・2の認定者が5.2%となっています。
- ・回答者の住まい（日常生活圏域）は、「東部」「中部」「西部」「南部」がそれぞれ2割程度、「北部東」「北部西」はそれぞれ3.7%、3.8%となっています。

#### (2) 家族や生活状況について

- ・回答者の家族構成は、「1人暮らし」が21.0%、「夫婦2人暮らし」が47.6%、息子や娘との「2世帯」が12.6%、「その他」が16.3%を占めています。年齢が高いほど、「1人暮らし」の割合が高い傾向にあり、85歳以上の約4割が「1人暮らし」となっています。
- ・何らかの介護・介助が必要または現在介護を受けている割合が、10.8%となっています。介護・介助が必要になった主な原因は、「高齢による衰弱」が22.7%で最も高く、次いで「骨折・転倒」が21.6%で続いています。誰から介護や介助を受けているかについては、「配偶者」が31.9%で最も高く、「介護サービスのヘルパー」が26.7%、「娘」が24.1%となっています。
- ・現在の暮らしの状況を経済的にみて「大変苦しい」が8.5%、「やや苦しい」が23.8%となっています。
- ・住まいは「持家（一戸建て）」が77.7%で突出して高くなっています。

#### 《考察》

- 年齢層が上がるほど「1人暮らし」の割合が高くなっており、健康の維持や社会性の確保において単身世帯は他の世帯類型と比べてリスクが高まる傾向にあることから、活動への参加や必要な支援・サービスにつなげるためのアプローチ方法を工夫することが大切です。
- 約3割が経済的な苦しさを感じており、経済的な理由から必要な支援やサービスを利用しない人が生じないよう、制度や仕組みを整備することが求められます。

### (3) からだを動かすことについて

- ・健康リスク判定による「運動器の機能低下」が疑われる割合（リスクあり）は16.5%となっています。女性は、リスクありが20.6%で、男性の10.8%に対して高くなっています。また、年齢が高いほどリスクが高い傾向にあり、85歳以上では39.5%がリスクありとなっています。
- ・健康リスク判定による「転倒リスク」の割合は34.3%となっています。85歳以上では約半数がリスクありとなっています。
- ・健康リスク判定による「閉じこもり傾向」が疑われる割合（週1回以上外出していない場合はリスクあり）は17.6%となっています。
- ・家族構成別にみると、リスクありが夫婦2人暮らしでは14.4%ですが、1人暮らしでは20.5%、2世帯では24.1%となっています。2世帯では、外出する際の移動手段について「自動車（人に乗せてもらう）」の割合が他の世帯と比較して高くなっており、娘、息子等の運転する自動車に乗って外出するケースが多いことがうかがえます。
- ・日常生活圏域ごとにみると、北部東、北部西が他の圏域と比べ1割程度高くなっています。

#### 《考察》

- 運動器の機能低下は、転倒リスクや閉じこもり傾向等と同様に、年齢層や要介護度が上がるほど「リスクあり」の割合が高くなる傾向がみられます。運動器の機能が低下することにより、転倒リスクが高まったり外出しにくくなることも考えられるため、運動器の機能維持・改善への支援に取り組む必要があります。
- 閉じこもり傾向について、夫婦2人暮らしでは比較的风险が低く、単身世帯ではリスクが高まるほか、2世帯であっても約4人に1人が外出頻度が低いことがわかります。外出頻度が低下する要因として、運動機能の低下やうつ傾向等、個人によって異なることから、それぞれに適切なアプローチを図ることが有効であると考えられます。
- 閉じこもり傾向の要因としては、高齢化による身体機能の低下や心理的要因、周囲の環境など、様々な要因が考えられます。  
北部東、北部西では、他圏域と比べて2世帯が多く移動手段が限られるため、買い物や通院などの外出の回数は少なくなっていますが、農作業や地域での交流が盛んであるなど、一概に健康リスクが高いとは言えない状況があります。  
ただ、外出機会や移動手段が限られることで外出頻度が減少していく可能性があるため、外出に関する多様な移動手段の周知・活用が求められます。

### (4) 食べることについて

- ・健康リスク判定による「低栄養状態」が疑われる割合（リスクあり）は2.2%となっています。
- ・健康リスク判定による「咀嚼機能の低下」が疑われる割合（リスクあり）は32.4%です。65～74歳でも3割弱がリスクありとなっています。
- ・健康リスク判定による「口腔機能の低下」が疑われる割合（リスクあり）は24.2%となっています。

#### 《考察》

- 咀嚼機能を含めた口腔機能の低下は、心身の機能低下につながるとも言われています。咀嚼機能の低下は、前期高齢者においてもリスクが高く、早期からの対策が必要であると考えられます。

## (5) 毎日の生活について

- ・ 趣味や生きがいの有無について、「趣味や生きがいあり」が 64.6%、「思いつかない」が 30.0%となっています。70 歳以上において年齢層が上がるほど、また要介護度が上がるほど「趣味や生きがいあり」の割合が低くなっています。
- ・ 健康リスク判定による「認知機能の低下」が疑われる割合（リスクあり）は 45.8%となっています。80 歳以上ではリスクありが過半数となっています。

### 《考察》

- 趣味や生きがいの有無は、閉じこもりの予測因子となっていることが指摘されています。要支援1・2では趣味が思いつかない割合が一般高齢者と比べて増える傾向にあり、外出の促進や生きがいの創出の観点からも、趣味をもつきっかけづくりを進めることが大切です。
- 「認知機能の低下」が疑われる割合が4割程度となっています。認知症の相談窓口の認知度は約3割、認知症になった時に「症状の進行する速度や進行の仕方」「医療・介護にかかる費用」について不安に思う割合が5割程度となっています。相談窓口や講座についての周知啓発や、認知症に対する正しい理解の促進についても検討が必要です。

## (6) 地域での活動について

- ・ 各地域活動への参加頻度について、『ボランティアのグループ』は週1回以上が 5.2%、『スポーツ関係のグループやクラブ』は週1回以上が 13.9%、『趣味関係のグループ』は週1回以上が 10.3%、『学習・教養サークル』は週1回以上が 2.5%、『介護予防のための地域の通いの場』は週1回以上が 2.7%、『老人クラブ』は週1回以上が 1.2%、『町内会・自治会』は週1回以上が 1.5%、『収入のある仕事』は週1回以上が 23.3%となっています。
- ・ 日常生活圏域別にみると、「北部東」「北部西」ではボランティア等への参加率が他の地域と比較して高くなっています。
- ・ 健康づくり活動や趣味等のグループ活動について、参加者として参加したい割合は「是非参加したい」と「参加してもよい」を合わせて 47.3%となっていますが、お世話役として参加したい割合は 24.2%となっています。
- ・ 介護予防につながる活動（健康づくり活動）に参加しやすくなるきっかけは、「特にない・わからない」を除くと、「試しに一度参加してみられる仮体験イベントが開催される」が 17.7%で最も高く、「実際に活動している団体・個人等からの誘いがある」が 14.6%となっています。

### 《考察》

- 各地域活動への参加状況をみると、収入のある仕事は週1回以上が2割強ですが、その他の趣味やスポーツ等のグループやクラブは週1回以上が1割未満や1割台にとどまっています。介護予防につながる活動への参加のきっかけとして、「仮体験」や「実際に活動している団体や個人からの誘い」が有効であるとの回答が比較的多く、参加のきっかけづくりに工夫が求められます。
- まずは参加してもらい、活動する中でお世話役にも興味を持ってもらうことで、意欲的に健康づくりや福祉活動の担い手として地域の中で活躍できる仕組みづくりも大切です。

### (7) たすけあいについて

- ・心配事や愚痴を聞いてくれる人は、「配偶者」が51.3%で最も高く、次いで「友人」が33.9%、「別居の子ども」が30.5%となっています。1人暮らしでは、「そのような人はいない」が12.8%で他の世帯と比較して高くなっています。
- ・病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人は、「配偶者」が56.8%で突出しています。「別居の子ども」が29.4%、「同居の子ども」が18.1%が続いています。1人暮らしでは、「そのような人はいない」が23.5%で他の世帯と比較して高くなっています。

#### 《考察》

- 心配事や愚痴を聞いてくれる人、看病や世話をしてくれる人について、単身世帯ではそのような人がいないという割合が高くなっており、地域での助け合いの仕組みづくりが求められます。

### (8) 健康について

- ・健康状態は、「とてもよい」が9.1%、「まあよい」が68.0%、「あまりよくない」が17.9%となっています。
- ・自身の幸福感を10点満点で回答してもらったところ、8点以上が49.3%、5点から7点が41.5%、4点以下が5.3%となっています。
- ・健康リスク判定による「うつ傾向」が疑われる割合（リスクあり）は46.0%となっています。要支援1・2では「あり」の割合が一般高齢者と比較して顕著に高く、1人暮らしでは「あり」の割合が他の世帯と比較してやや高くなっています。

#### 《考察》

- 「うつ傾向」は、他の健康リスクと比べて、年齢との相関関係が小さく、65歳以上のどの年齢区分においても、リスクありは4割～5割程度となっています。「うつ傾向」が要因となり閉じこもり等の他の健康リスクにつながることも考えられることから、前期高齢者においても注意が必要です。
- 単身世帯や要支援1・2において「うつ傾向」が疑われる割合が高くなっており、このような高齢者に対して、それぞれのニーズに応じて地域活動への参加や生きがいづくりを促進することが求められます。



### (9) 認知症について

- ・ 認知症に関する相談窓口を知っている人は 27.8%、知らない人は 68.7%となっています。
- ・ 認知症の治療に関するイメージとして「早期の治療により進行を遅らせる可能性がある」の割合が 54.7%で最も高く、「治療によって治せる認知症もある」の割合が 11.8%で続いています。
- ・ 認知症になった時に不安なこととして「症状の進行する速度や進行の仕方」が 51.3%で最も高く、「医療・介護にかかる費用が 44.6%、「周りの人とうまく関係性が保てるか」が 38.0%で続いています。

#### 《考察》

- 「認知機能の低下」が疑われる割合は年齢層が上がるにつれて高くなっている一方で、認知症に関する相談窓口の認知度については大きな差はみられないことから、物忘れに自覚があっても、相談には至っていない現状がうかがえます。
- 9割程度の人が認知症になった時に不安に思うことがあると回答しており、治療法や対処の仕方など正しい知識を広めていくことが求められます。

### (10) 地域での相談や活動について

- ・ 高齢者総合相談センター（地域包括支援センター）を知っている人は 42.1%、知らない人が 50.8%となっています。日常生活圏域ごとにみると、北部東、北部西では、「知っている」が過半数となっています。
- ・ 安心して自宅で暮らし続けるために必要な支援・サービスは、「急病など緊急時の手助け」が 43.6%で最も高く、「配食」が 31.1%で続いています。
- ・ 回答者が地域の高齢者にお手伝いできることとして、「見守り・声かけ」が 28.0%、「話し相手」が 19.7%となっています。
- ・ 元気なうちは働いたり、ボランティア活動をしたと思うかについて、「働いたり、ボランティア活動をしている」が 24.4%、「したいと思うが、今は働いたりボランティア活動をしていない」が 28.1%、「したいと思わない」が 35.7%となっています。前期高齢者でも、「したいと思うが、今は働いたりボランティア活動をしていない」「したいと思わない」が約6割となっています。

#### 《考察》

- 安心して自宅で暮らし続けるために必要な支援・サービスとして、「急病など緊急時の手助け」を約2人に1人が回答しており、身近に看病や世話をしてくれる人がいないケースでは特に支援が必要であることがうかがえます。
- 前期高齢者では、働いたりボランティア活動をしたりすることを「したいと思うが、今は働いたりボランティア活動をしていない」「したいと思わない」が約6割となっており、この層では介護予防活動に参加しやすくなるきっかけとして「仮体験」の割合が高くなっていることから、ボランティア活動等においてもこうしたアプローチが有効であると考えられます。

### (11) 在宅介護・施設介護について

- ・回答者自身が寝たきりや認知症となり、介護が必要になった場合に、どこで介護を受けたいかについて、「現在の住まいで介護を受けたい」が 30.6%、「一概には言えない」が 14.8%、「わからない」が 13.6%となっています。住み替えや施設への入所、病院を希望する人については、「特別養護老人ホームや老人保健施設などの介護保険施設に入所して介護を受けたい」が 13.6%、「介護付きの有料老人ホームや高齢者住宅に住み替えて介護を受けたい」が 8.9%、「病院に入院して介護を受けたい」が 7.8%となっています。
- ・現在の住まいを選ぶ理由は、「現在の住まいで生活を続けたいから」が 85.2%で突出しています。「施設に入るだけの経済的余裕がないから」が 29.5%、「在宅で十分な介護が受けられるから」が 25.1%で続いています。
- ・住み替えや施設への入所、病院を希望する理由は、「家族に迷惑をかけたくないから」が 63.8%で最も高くなっています。次いで「緊急時の対応面で安心だから」が 45.5%、「専門的な介護が受けられるから」が 39.2%で続いています。

#### 《考察》

- 介護が必要となった場合にどこで介護を受けたいかについて、「一概には言えない」や「わからない」が合わせて 28.4%となっており、現状では判断ができない方が一定数いることがうかがえます。介護が必要になる前から、将来の住まいについて考える機会を提供することも有効であると考えられます。
- 住み替えや施設への入所、病院を希望する人が合わせて 30.3%となっており、その理由として、「家族に迷惑をかけたくないから」が半数以上を占めており、介護者の負担軽減や仕事と介護の両立ができる環境整備を図ることで、本人の希望に沿った生活の実現につなげることが求められます。

### (12) 見守り・安否確認について

- ・1人暮らしになった場合の見守り支援について、「受けたい」が 48.0%で最も高く、次いで「必要ない」が 21.6%、「受けたくない」が 11.2%で続いています。夫婦2人暮らしでは「受けたい」、1人暮らしでは「必要ない」の割合がそれぞれ他の世帯と比較して高くなっています。
- ・受けたい支援の内容として、「緊急通報器による見守り」が 43.2%で最も高くなっています。次いで「地域の方の訪問による見守り」が 40.0%、「市役所や包括支援センター職員の訪問による見守り」が 35.8%で続いています。

#### 《考察》

- 単身世帯では他の世帯と比較して「受けたい」の割合が低くなっていますが、日頃からの見守りによって孤独死等の問題を防ぐことが重要です。万が一に備えた見守り・安否確認の必要性を周知することが求められます。

### (13)スマートフォンやパソコンの活用について

- ・スマートフォンの使用について「持っていてよく使用する」が 47.1%で最も高く、次いで「持っていない」が 20.7%、「持っているがほとんど使用しない」が 11.6%が続いています。年齢層が上がるほど「持っていてよく使用する」の割合が低くなっており、85 歳以上では「持っていてよく使用する」の割合は1割程度となっています。

#### 《考察》

- 前期高齢者では半数以上がスマートフォンを「持っていてよく使用する」と回答しており、介護予防や健康づくり活動のお知らせや勧誘といった情報発信について、メールと連携させた通知等スマートフォンを活用したアプローチを行うことが有効と考えられます。

### (14)成年後見人制度について

- ・成年後見人制度について「制度の名称は知っているが、制度の内容は詳しく知らない」が 50.3%で最も高くなっています。「まったく知らない」が 24.7%、「制度の名称だけでなく、制度の内容も知っている」が 13.8%となっています。70 歳以上では、年齢が上がるほど「制度の名称だけでなく、制度の内容も知っている」「制度の名称は知っているが、制度の内容は詳しく知らない」の割合が低くなっています。
- ・市役所内にある宇部市成年後見センターについて、「知らない」が 71.7%、「知っている」が 16.4%となっています。

#### 《考察》

- 制度の内容を知らない人は7割程度となっており、必要に応じて制度を利用できるよう、より一層の広報啓発が必要です。

### (15)新型コロナの影響について

- ・新型コロナの影響について、1人暮らし及び要支援2では1人で過ごす時間が「増えた」の割合が高くなっています。
- ・感染拡大収束後に期待することとして「医療体制の充実」が 41.8%で最も高くなっています。次いで「特に期待はない」が 28.6%、「地域のつながりの活性化」が 24.0%が続いています。

#### 《考察》

- 単身世帯や要支援1・2ではうつ傾向が疑われる割合もやや高く、コロナ禍によって一人で過ごす時間が増えたことで孤独感が深まっている可能性も考えられます。地域活動など、人と関わることのできる場への参加を促すことが求められます。

## (16) その他

- ・日常生活や将来のことで、不安に感じていることは、「自分自身の健康のこと」が73.7%で最も高くなっています。次いで「家族の健康のこと」が52.9%、「収入など経済的なこと」が34.0%が続いています。1人暮らしでは、「介護が必要になったときに世話をしてくれる人がいないこと」が3割程度と高くなっています。
- ・今後、特に力を入れてほしいと思われる高齢者に関わる施策は「困ったときに気軽に相談できる窓口の設置」が46.9%で最も高くなっています。次いで「健診や医療の充実」が33.4%、「配食や家事援助などの生活支援」が26.0%が続いています。
- ・おでかけしたいと思う場について、「温浴施設などゆっくりくつろげる場所」が44.5%で最も高く、「買い物ができる場所」が34.8%、「食事ができる場所」が32.0%が続いています。

### 《考察》

- 特に力を入れてほしいと思われる高齢者に関わる施策として、「相談窓口の設置」が高い割合となっています。既に整備されている相談窓口を身近に感じてもらえるよう、情報提供等の取組が求められます。
- 比較的閉じこもり傾向やうつ傾向の高い単身世帯や要介護1・2について、温浴施設や商店など「行ってみたい」と思える場を活用することで、リスクの低下が期待されます。

## 2 在宅介護実態調査の結果概要と考察

### (1) 在宅限界点の向上のための支援・サービスの提供体制の検討

- ・施設等への入所の検討状況は、「検討していない」が62.8%、「検討中」が15.6%、「申請済み」が12.4%となっています。その他世帯は、単身世帯や夫婦のみ世帯と比べて、「検討中」「申請済み」の割合が高くなっています。
- ・介護者が不安を感じる介護をみると、要介護1以上では、「認知症状への対応」や「外出の付き添い、送迎等」、「日中の排泄」、「夜間の排泄」、「入浴・洗身」等の割合が高くなっています。
- ・サービス利用の組み合わせ状況をみると、要介護1・2と要介護3以上では、レスパイト機能を持つ「通所系・短期系」の利用割合が要支援と比べて高くなっています。
- ・サービス利用回数別に施設等の検討状況をみると、要介護3以上の集計結果では、通所系・短期系サービスの利用回数が増えると「検討していない」の割合が低くなっています。
- ・訪問系サービスの利用回数別に介護者が不安を感じる介護をみると、要介護3以上の集計結果では、訪問系サービスを利用していない人(0回)では「認知症状への対応」「日中の排泄」「屋内の移乗・移動」「外出の付き添い、送迎等」等の介護に不安を感じており、適宜訪問系サービスの利用につなげることで介護不安の軽減を図ることが求められます。

#### 《考察》

- 在宅での介護者は、「認知症状への対応」や「外出の付き添い、送迎等」、「日中の排泄」、「夜間の排泄」、「入浴・洗身」等に不安を感じている傾向があります。「高齢者等の適切な在宅生活の継続」の達成に向けて、これらの介護不安軽減を目標とし、適切な地域資源(支援・サービス)の整備を図ることが求められます。
- 中重度の要介護者においては、通所系・短期系の組み合わせによるサービス利用の実態がうかがえます。上記の介護不安軽減に向けては、小規模多機能型居宅介護のように複数のサービスを一体的に提供できるサービス環境の整備や、医療ニーズに対応した看護小規模多機能型居宅介護の整備、通所系・短期系を含む組み合わせでのケアマネジメントも有効であると考えられます。

## (2) 仕事と介護の両立に向けた支援・サービスの提供体制の検討

- ・主な介護者がフルタイム勤務の場合は「その他世帯」、働いていない場合は「夫婦のみ世帯」の割合が高くなっています。フルタイム勤務の介護者は、約4割が「男性」で、約6割が「女性」となっています。パートタイム勤務の介護者は、「女性」が約8割を占めています。
- ・就労継続見込みを要介護度別にみると、要介護2以上では「問題なく続けていける」の割合が要支援1～要介護1と比べて低くなっています。認知症自立度別においても、Ⅱ以上では同様の傾向がみられます。
- ・不安を感じる介護をみると、就労継続の難しさ（問題なく続けていける<問題はあるが何とか続けていける<続けていくのは「やや+かなり難しい」）に応じて割合が高くなっているものは「日中の排泄」「夜間の排泄」「外出の付き添い、送迎等」「認知症状への対応」となっています。特に、就労継続が難しいと感じる人の半数程度が「認知症状への対応」を不安を感じており、また「その他の家事」については、問題なく続けていける人とそれ以外の人とで差が大きくなっています。
- ・保険外の支援・サービスの利用状況をみると、フルタイム勤務で「配食」「買い物」「外出同行」「移送サービス」「見守り、声かけ」で、必要と感じる割合が利用している割合を上回っています。
- ・就労状況別に介護のための働き方の調整状況をみると、パートタイム勤務はフルタイム勤務に比べて「特に行っていない」の割合が高くなっています。
- ・就労継続見込み別にみると、問題なく続けていける人は「特に行っていない」が5割程度となっている一方で、問題はあるが何とか続けていける人では7割程度、続けていくのは「やや+かなり難しい」人は9割程度が何らかの調整を行っていることがわかります。
- ・効果的な勤め先からの支援について、就労継続見込み別にみると、続けていくのは「やや+かなり難しい」人では「介護休業・介護休暇等の制度の充実」「介護をしている従業員への経済的な支援」の割合が高くなっています。

### 《考察》

- フルタイム勤務の介護者のうち、約4割が「男性」となっています。男性の介護者は、周囲に助けを求めず1人で介護を抱え込む傾向があると指摘されており、生活支援サービスの利用や、男性介護者同士で交流ができる機会を設けるなど、介護者の孤立防止も重要な支援策であると考えられます。
- 就労継続が難しいと感じる人は、「日中の排泄」「夜間の排泄」「外出の付き添い、送迎等」「認知症状への対応」「その他の家事」に不安を感じる割合が高くなっています。「その他の家事」については、問題なく続けていける人とそれ以外の人とで差が大きくなっており、介護者の就労状況に合わせたサービスの利用は就労継続への支援に効果があると考えられます。保険外の支援・サービスも含め、地域資源の整備が求められます。
- 就労継続が難しい人ほど、働き方について何らかの調整を行っている割合が高くなっており、介護のための調整を行うことで介護者が働きにくくなっている可能性があります。負担になっている介護について、必要に応じてサービスの利用につなげるなど、仕事と介護を両立できる環境づくりが求められます。

### (3) 保険外の支援・サービスを中心とした地域資源の整備の検討

- ・保険外の支援・サービスの利用状況をみると、「外出同行」が15.9%で最も高く、「配食」が14.1%で続いています。
- ・利用状況と利用希望との差をみると、「移送サービス」が11.5ポイントで最も差が大きく、移動支援へのニーズが一定程度みられます。
- ・世帯類型別にみると、単身世帯の6割程度が何かしらの保険外の支援・サービスを利用していることがわかります。また、要介護3以上では、「移送サービス」の割合が17.2%となっており、要支援1・2や要介護1・2と比べ高いことから、重度化に伴い利用割合が高まることがうかがえます。

#### 《考察》

- 外出に係る支援・サービスへの利用希望が高くなっています。交通については、公共交通機関のほか、デマンドタクシーやコミュニティタクシーといった既存の地域内交通について、要介護者が利用する際に生じる課題や改善策の検討等を行うことで利用の促進につなげることが大切です。また、「外出同行」は利用希望の割合が高く、介護者が不安に感じる介護でも「外出の付き添い、送迎等」の割合が高くなっているため、介護者の負担軽減及び要介護者の外出の機会確保に向けて、交通機関の充実とともに、外出同行等のサービスについても充実を図ることが求められます。

### (4) 将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制の検討

- ・要介護度別に世帯類型をみると、重度化に伴い「単身世帯」の割合が低くなり「その他世帯」の割合が高くなっています。世帯類型別に要介護度をみると、「要介護3以上」が単身世帯では5.8%、夫婦のみ世帯では17.9%、その他世帯では25.5%となっています。
- ・世帯類型別に家族等による介護の頻度をみると、「ほぼ毎日」の割合は単身世帯が24.2%、夫婦のみ世帯が36.4%、その他世帯が65.1%となっています。単身世帯であっても、近居の家族等により介護が行われていることがうかがえます。
- ・同居の家族がいる夫婦のみ世帯やその他世帯においては、要介護1・2では「訪問系を含む組み合わせ」は1割未満ですが、要介護3以上では利用が増えていることがわかります。
- ・世帯類型別に施設等検討の状況をみると、夫婦のみ世帯は要介護1以上において「検討していない」の割合が単身世帯やその他世帯と比較してやや高くなっています。

#### 《考察》

- 中重度の要介護者は、夫婦のみ世帯やその他世帯の割合が高くなっています。一方で、単身世帯の要介護者のうち5.8%が「要介護3以上」であり、近居の家族等により介護が行われていることがうかがえますが、生活や介護の実態を把握し、適切な支援・サービスにつなげていくことが大切です。
- 夫婦のみ世帯では、要介護1以上において施設等の利用検討をしていない割合がやや高くなっています。配偶者が介護をしている割合が高く、介護者が高齢であるケースも多いため、必要に応じて「訪問系を含む組み合わせ」によるサービス利用や総合事業、保険外のサービスの利用等により介護者の負担軽減につなげることが大切です。

#### (5) 医療ニーズの高い在宅療養者を支える支援・サービスの提供体制の検討

- ・主な介護者が行っている介護について、「医療面での対応（経管栄養・ストーマ等）」は 10.4%となっています。
- ・訪問診療は、「利用している」が 13.7%、「利用していない」が 82.1%となっています。要介護度別にみると、要介護度が上がるほど利用割合は高くなっています。
- ・訪問診療の利用の有無別に各サービスの利用有無をみると、サービスの種類に関わらず、訪問診療を利用している人は利用していない人に比べて利用割合が高くなっています。特に訪問系サービスは差が大きくなっています。

##### 《考察》

- 重度化に伴い、介護と医療の両方のニーズがある在宅療養者が増加することから、訪問介護や訪問看護を包括的に提供する定期巡回・随時対応型訪問介護看護等のサービス利用により、介護負担の軽減につなげることが期待されます。

#### (6) サービス未利用の理由など

- ・要介護度別にサービス未利用の理由をみると、要支援 1・2、要介護 1・2 では、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が最も高くなっています。要介護 3 以上では、「家族が介護をするため必要ない」が 31.4%で最も高くなっています。
- ・要介護者本人の年齢別に、主な介護者の年齢をみると、本人が 65～69 歳の場合、介護者が 60 歳以上の割合は 8 割程度、本人が 90 歳以上の場合には介護者が 70 歳以上の割合は 4 割程度となっており、多くの人が老老介護の課題を抱えていることがわかります。
- ・要介護度別に、本人が抱えている傷病をみると、重度化に伴い割合が高くなる傷病は「脳血管疾患（脳卒中）」「認知症」となっています。

##### 《考察》

- 介護保険サービス未利用の理由として、要支援 1・2、要介護 1・2 では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が、要介護 3 以上では「家族が介護をするため必要ない」が主要な理由となっています。こうした家族介護者に対し、必要な時に効果的な支援やサービスが受けられるよう、適宜相談に対応するとともにどのような支援・サービスがあるか情報提供を行うことも必要な支援であると考えられます。



## (7) 独自設問

- ・新型コロナウイルス感染症の流行による影響について、「増えた」もしくは「減った」の割合が高いものをみると、「一人で過ごす時間」では「増えた」の割合が19.0%、「外出する頻度」では「減った」の割合が48.6%、「友人・知人と過ごす時間」では「減った」の割合が39.5%となっています。特に単身世帯では、夫婦2人暮らしやその他世帯と比較して一人で過ごす時間が増えている割合が高くなっています。
- ・今後の生活に関する不安について、夫婦2人暮らしや介護者が働いていない場合では、1人暮らしやその他世帯、介護者が働いている場合と比較して「家族等の介護」の割合が高くなっています。
- ・介護者が感じる不安について、介護の頻度が多いほど不安を感じる内容が多くなっています。介護者がパートタイム勤務をしている場合、フルタイム勤務や働いていない場合と比較して「介護で仕事や家事ができない」の割合が高くなっています。

### 《考察》

- 新型コロナウイルス感染症の影響によって、一人で過ごす時間が増加し、外出の機会や友人・知人と過ごす時間が減少しています。人と接する機会の減少は運動機能や認知機能等の低下につながる可能性があり、感染予防と両立できる高齢者の社会参加の手法について検討する必要があります。
- 夫婦2人暮らしでは、働いていない高齢の配偶者が介護をしている場合も多いことから、介護を不安に感じる割合が高くなっていると考えられます。介護不安の軽減に向けて、サービスを適切に利用できるようサービス提供体制を整備することが求められます。
- パートタイム勤務の介護者は介護によって思うように働けていない割合が高くなっており、介護者の負担軽減及び介護と仕事・家事等を両立できる環境づくりに向けた支援が求められます。

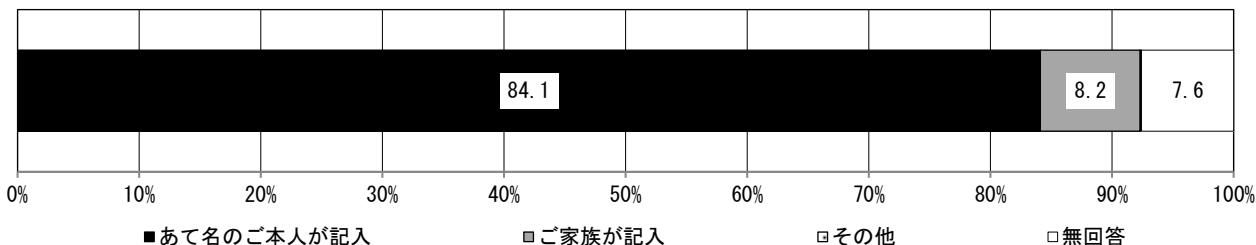
### 第3章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果

#### 問1 あなたのことについて

##### 1.1 集計結果

調査票を記入されたのはどなたですか (SA)

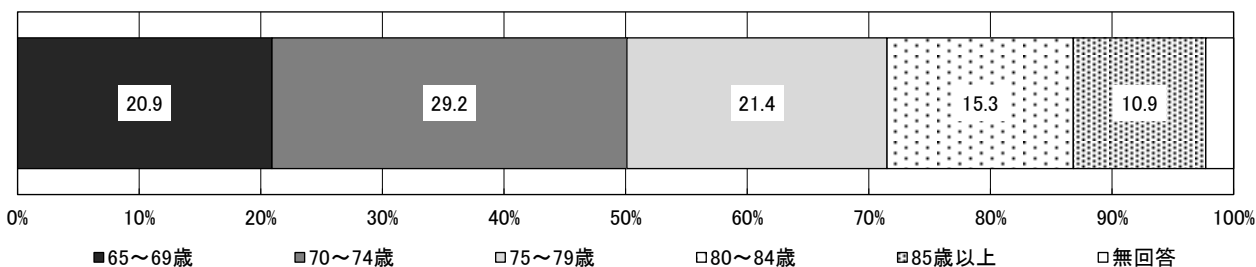
(SA) n=2,537



問1(1) あなたの年齢(現在の満年齢)をお教えてください(数量)

「70～74歳」が29.2%で最も高くなっています。「75～79歳」が21.4%、「65～69歳」が20.9%となっています。

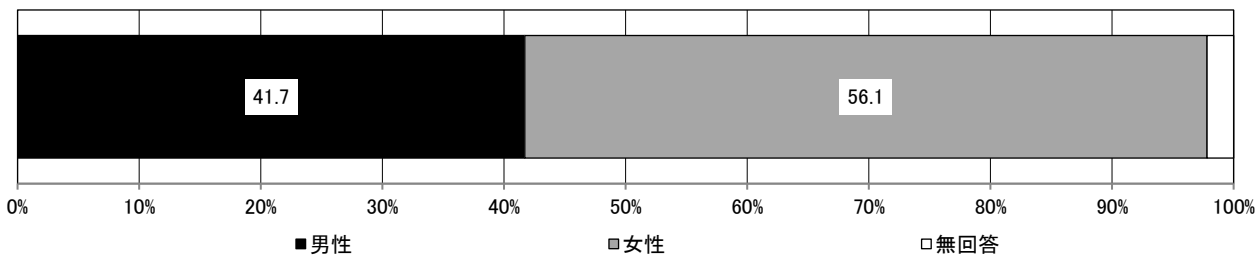
(SA) n=2,537



問1(2) あなたの性別をお教えてください (SA)

「女性」が56.1%を占めています。

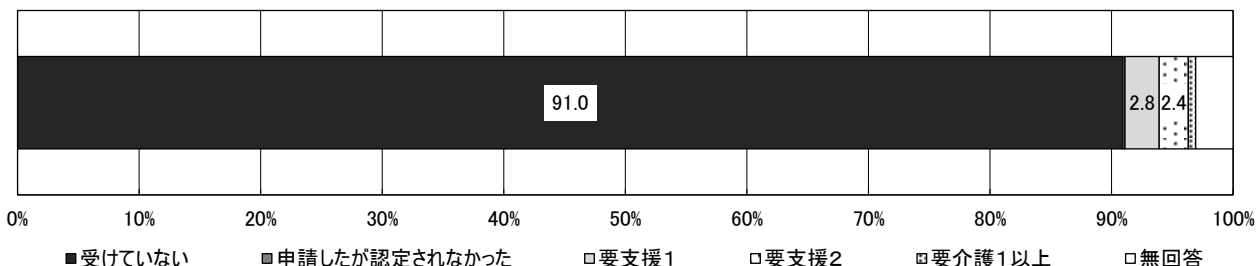
(SA) n=2,537



問1(3) あなたは要介護認定を受けていますか (SA)

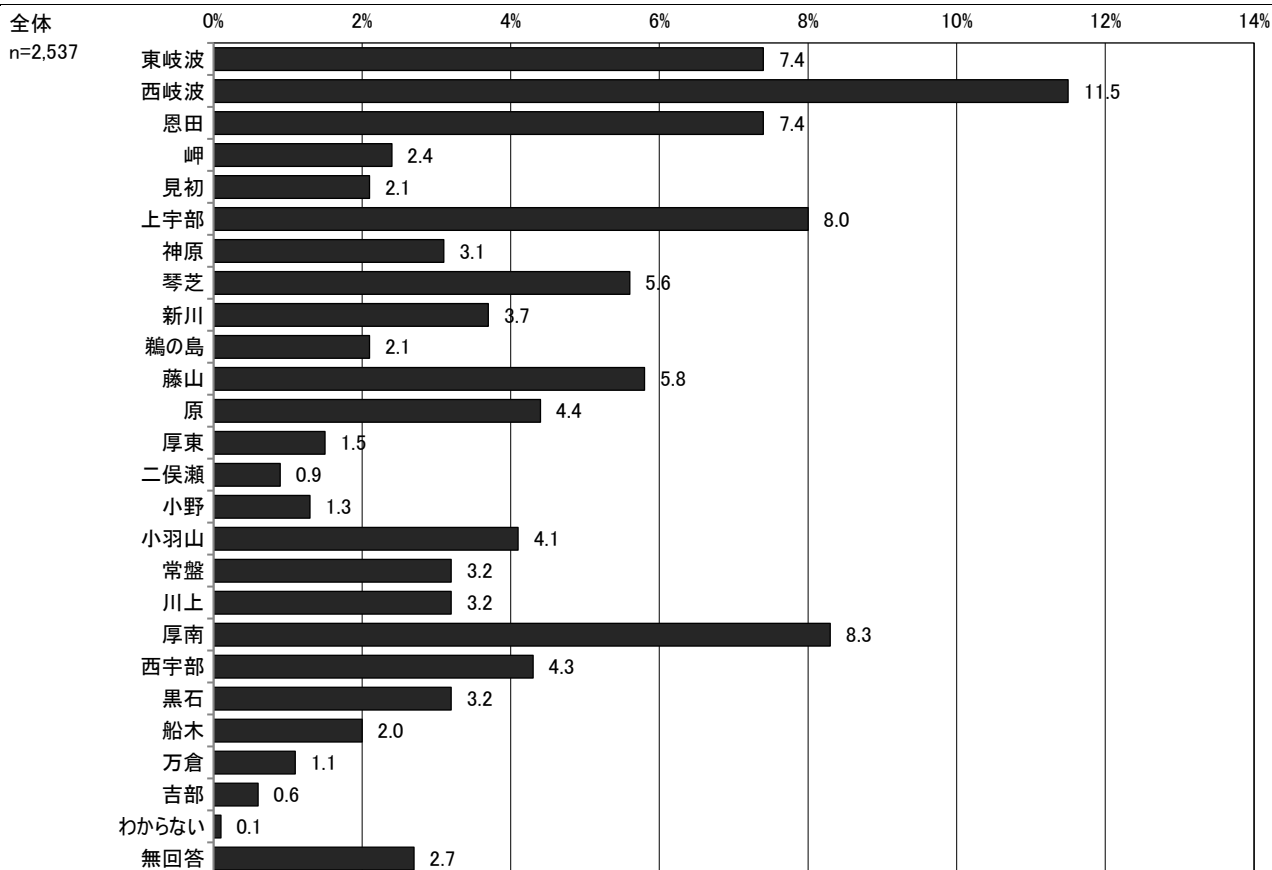
「受けていない」が91.0%で最も高くなっています。「要支援1」が2.8%、「要支援2」が2.4%となっています。

(SA) n=2,537



問1(4)A あなたのお住まいの地域を教えてください(SA)

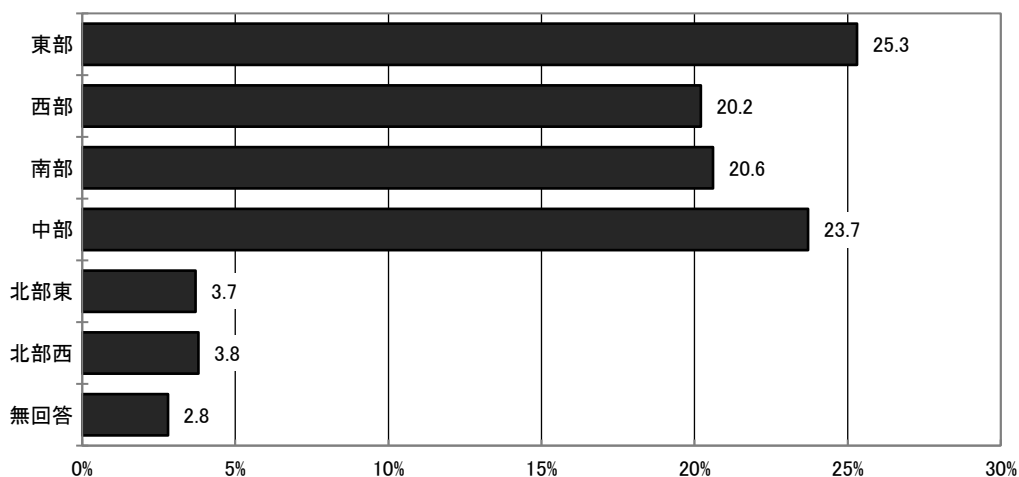
「西岐波」が11.5%で最も高くなっています。「厚南」が8.3%、「上宇部」が8.0%となっています。



問1(4)B 日常生活圏域(SA)

「東部」が25.3%で最も高くなっています。「中部」が23.7%、「南部」が20.6%、「西部」が20.2%となっています。

(SA) n=2,537



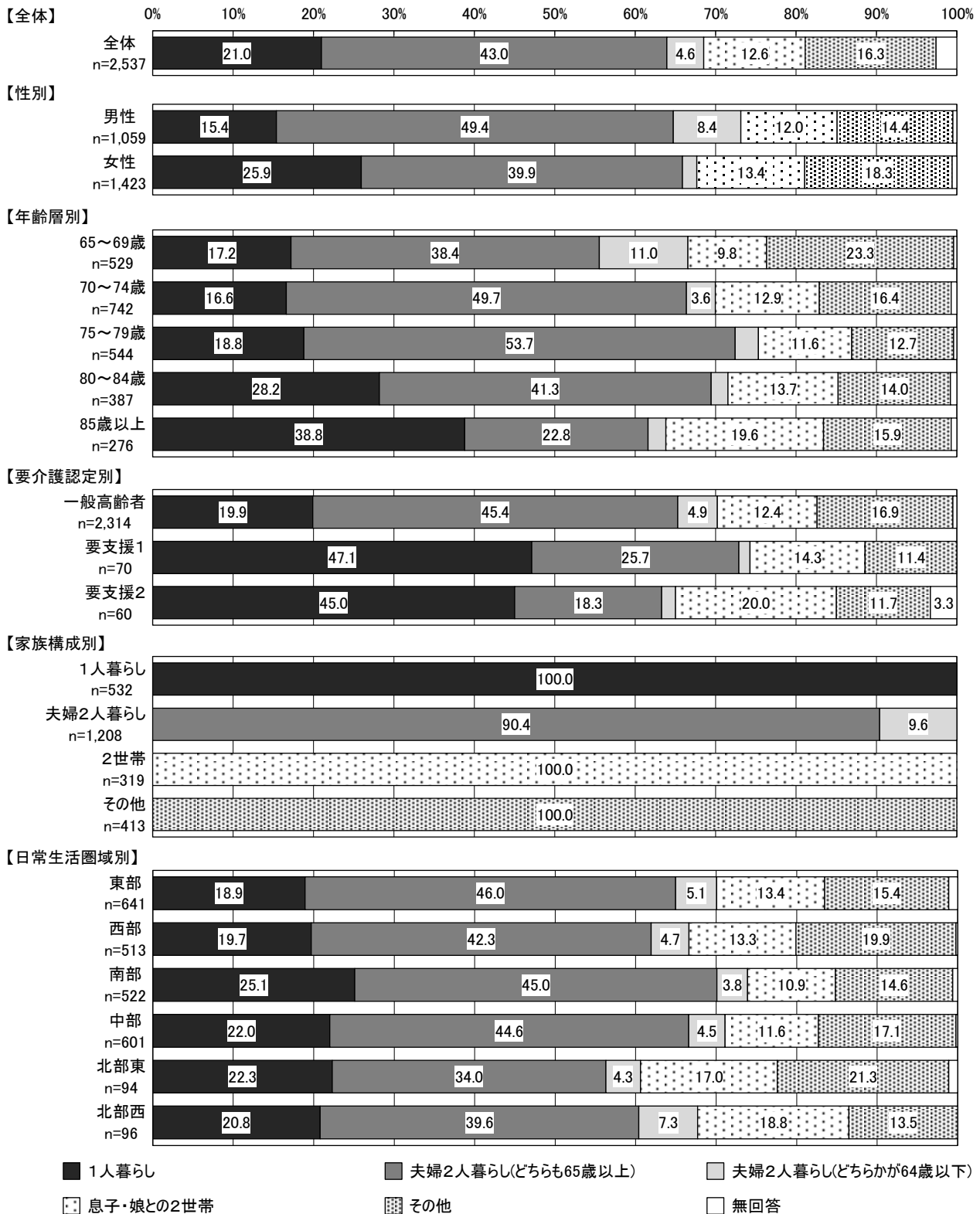
## 問2 あなたのご家族や生活状況について

### 2.1 集計結果

#### 問2(1) 家族構成をお教えてください(SA)

「夫婦2人暮らし(どちらも65歳以上)」が43.0%で最も高くなっています。「1人暮らし」が21.0%、「その他」が16.3%となっています。

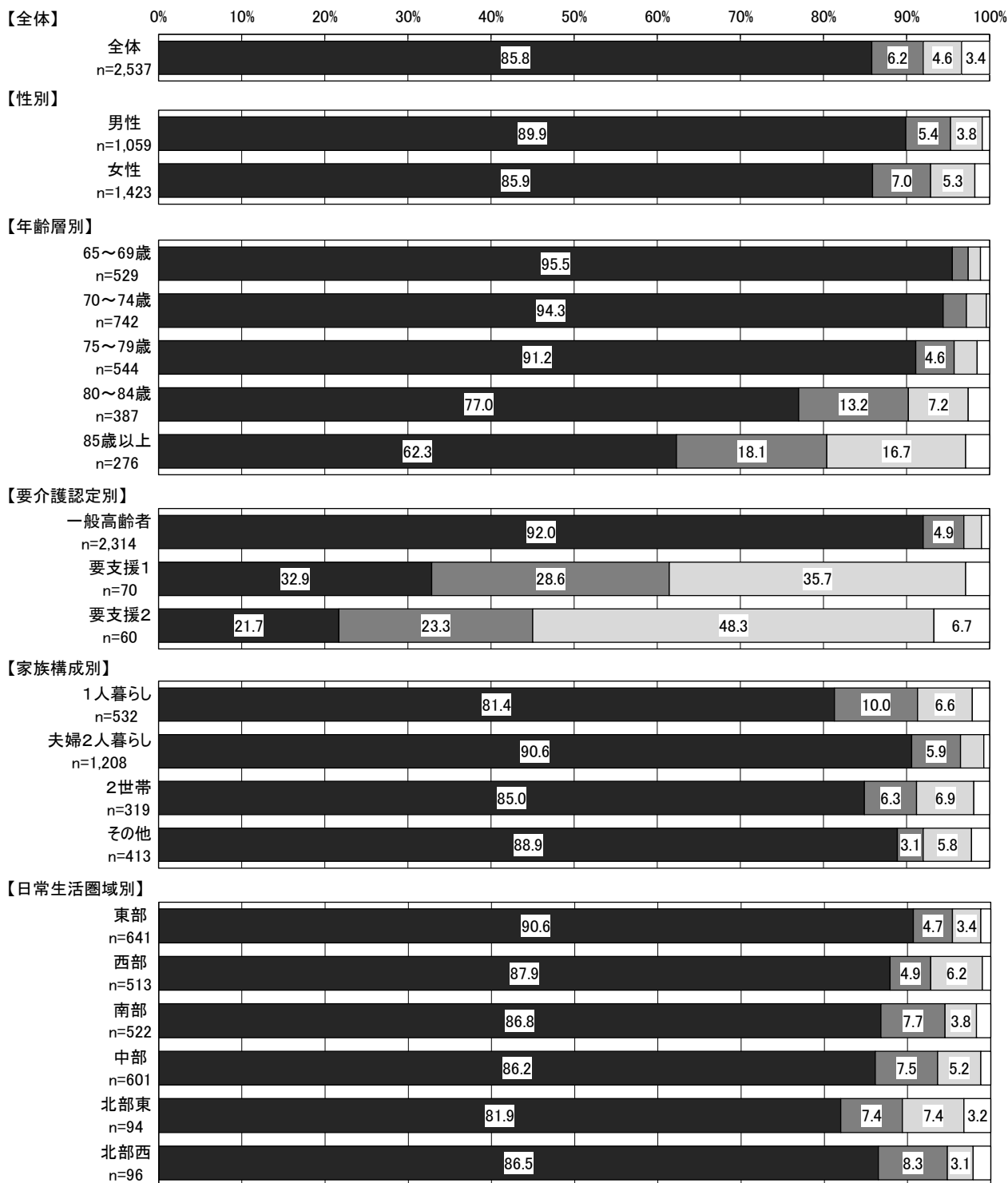
年齢層が上がるほど「1人暮らし」の割合が高くなり、要支援1・2では「1人暮らし」の割合が一般高齢者と比較して顕著に高くなっています。



問2(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか(SA)

「介護・介助は必要ない」が85.8%を占めています。

年齢層が上がるほど「介護・介助は必要ない」の割合が低くなり、要支援1・2では「介護・介助は必要ない」の割合が一般高齢者と比較して顕著に低くなっています。



■ 介護・介助は必要ない ■ 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない ■ 現在、何らかの介護を受けている □ 無回答

問2(2)-① 【(2)において「1. 介護・介助は必要ない」以外に○をした方】

介護・介助が必要になった主な原因はなんですか(MA)

「高齢による衰弱」が22.7%で最も高くなっています。「骨折・転倒」が21.6%となっています。性別でみると、女性は「骨折・転倒」、男性は「高齢による衰弱」の割合が高くなっています。要介護認定別にみると、要支援1と要支援2では「骨折・転倒」の割合が高くなっています。

		(脳出血・脳梗塞等)	脳卒中	心臓病	がん(悪性新生物)	(呼吸器の病気 肺炎等)	(関節の病気 リウマチ等)	(アルツハイマー病等)	認知症	パーキンソン病	糖尿病	腎疾患(透析)	視覚・聴覚障害	骨折・転倒	脊椎損傷	高齢による衰弱	その他	不明	無回答
	全体 n=273	10.6	8.1	5.5	4.0	7.7	6.2	1.8	7.7	3.7	5.5	21.6	5.5	22.7	15.4	2.2	17.9		
性別	男性 n=97	14.4	14.4	6.2	6.2	7.2	8.2	1.0	14.4	7.2	7.2	13.4	6.2	28.9	15.5	3.1	14.4		
	女性 n=176	8.5	4.5	5.1	2.8	8.0	5.1	2.3	4.0	1.7	4.5	26.1	5.1	19.3	15.3	1.7	19.9		
年齢層別	65～69歳 n=18	22.2	5.6	11.1	-	-	11.1	-	16.7	5.6	-	22.2	5.6	5.6	11.1	11.1	5.6		
	70～74歳 n=39	15.4	5.1	7.7	2.6	10.3	5.1	2.6	5.1	5.1	10.3	7.7	5.1	10.3	28.2	2.6	15.4		
	75～79歳 n=40	17.5	10.0	10.0	2.5	7.5	5.0	-	17.5	2.5	-	17.5	10.0	20.0	20.0	-	15.0		
	80～84歳 n=79	5.1	6.3	2.5	6.3	8.9	10.1	1.3	6.3	3.8	3.8	27.8	7.6	16.5	16.5	-	21.5		
	85歳以上 n=96	8.3	10.4	4.2	4.2	7.3	3.1	2.1	4.2	3.1	8.3	22.9	2.1	37.5	8.3	3.1	19.8		
要介護認定別	一般高齢者 n=162	10.5	6.2	6.2	3.7	6.2	8.0	1.2	8.0	3.1	4.9	13.0	4.3	21.6	16.7	1.9	22.8		
	要支援1 n=45	4.4	13.3	4.4	4.4	11.1	-	-	13.3	4.4	8.9	28.9	8.9	26.7	20.0	2.2	13.3		
	要支援2 n=43	18.6	9.3	-	7.0	11.6	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7	41.9	7.0	18.6	9.3	2.3	4.7		
家族構成別	1人暮らし n=88	8.0	11.4	1.1	4.5	9.1	1.1	2.3	9.1	3.4	4.5	27.3	5.7	23.9	15.9	2.3	23.9		
	夫婦2人暮らし n=105	10.5	7.6	10.5	4.8	9.5	10.5	2.9	9.5	3.8	4.8	13.3	4.8	19.0	19.0	2.9	17.1		
	2世帯 n=42	19.0	4.8	2.4	4.8	4.8	2.4	-	2.4	2.4	9.5	26.2	4.8	26.2	14.3	-	11.9		
	その他 n=37	8.1	2.7	5.4	-	2.7	10.8	-	5.4	5.4	5.4	27.0	8.1	24.3	5.4	2.7	13.5		
日常生活圏域別	東部 n=52	17.3	5.8	9.6	5.8	7.7	11.5	-	11.5	3.8	5.8	17.3	5.8	23.1	17.3	1.9	15.4		
	西部 n=57	8.8	3.5	5.3	7.0	3.5	5.3	1.8	5.3	5.3	7.0	24.6	7.0	28.1	12.3	1.8	19.3		
	南部 n=60	6.7	11.7	3.3	3.3	11.7	3.3	3.3	8.3	-	5.0	20.0	5.0	16.7	15.0	3.3	23.3		
	中部 n=76	11.8	10.5	6.6	1.3	7.9	3.9	1.3	9.2	5.3	5.3	23.7	6.6	19.7	13.2	2.6	15.8		
	北部東 n=14	7.1	7.1	-	-	14.3	7.1	-	-	-	7.1	28.6	-	21.4	42.9	-	7.1		
	北部西 n=11	9.1	9.1	-	9.1	-	18.2	9.1	-	9.1	-	18.2	-	36.4	-	-	18.2		

問2(2)-② 【(2)において「3. 現在、何らかの介護を受けている」に○をした方】

主にどなたの介護、介助を受けていますか(MA)

「配偶者(夫・妻)」が31.9%で最も高くなっています。「介護サービスのヘルパー」が26.7%、「娘」が24.1%となっています。

性別で見ると、男性は「配偶者(夫・妻)」、女性は「娘」の割合が高くなっています。

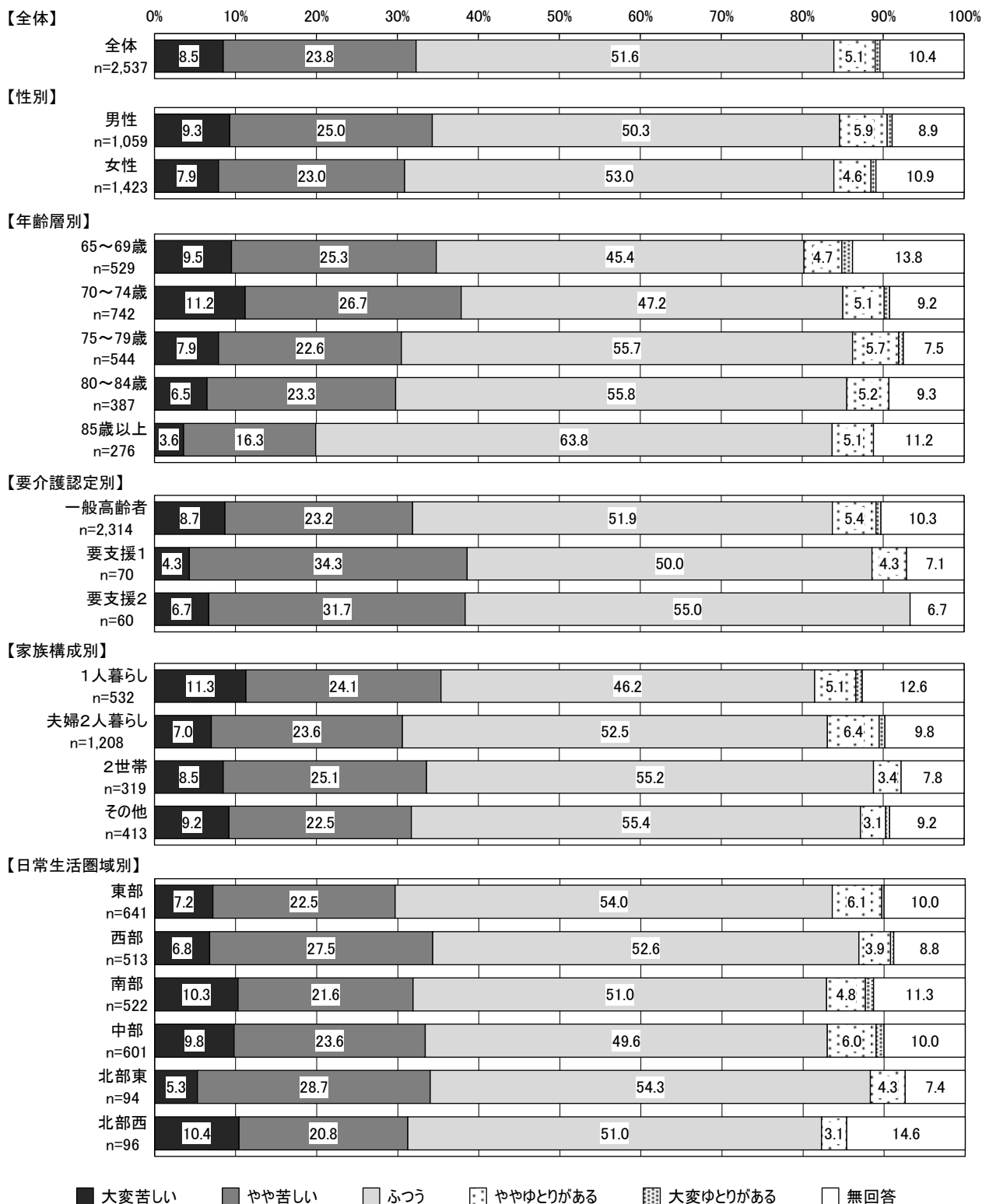
要支援1・要支援2と1人暮らしでは「介護サービスのヘルパー」の割合が高くなっています。

		(夫 配 ・ 偶 妻 者 )	息 子	娘	子 の 配 偶 者	孫	兄 弟 ・ 姉 妹	介 護 サ ー ビ ス の ヘ ル パ ー	そ の 他	無 回 答
	全体 n=116	31.9	15.5	24.1	5.2	2.6	2.6	26.7	12.9	7.8
性別	男性 n=40	50.0	12.5	15.0	5.0	-	-	27.5	15.0	5.0
	女性 n=76	22.4	17.1	28.9	5.3	3.9	3.9	26.3	11.8	9.2
年齢層別	65～69歳 n=8	50.0	-	-	-	-	-	-	25.0	25.0
	70～74歳 n=18	55.6	11.1	16.7	-	-	11.1	5.6	11.1	-
	75～79歳 n=15	26.7	20.0	20.0	-	-	6.7	26.7	26.7	6.7
	80～84歳 n=28	32.1	10.7	28.6	-	7.1	-	35.7	10.7	10.7
	85歳以上 n=46	19.6	21.7	30.4	13.0	2.2	-	32.6	8.7	6.5
要介護認定別	一般高齢者 n=49	38.8	18.4	18.4	6.1	4.1	2.0	6.1	10.2	16.3
	要支援1 n=25	20.0	8.0	16.0	4.0	-	8.0	44.0	16.0	4.0
	要支援2 n=29	34.5	17.2	31.0	6.9	3.4	-	44.8	10.3	-
家族構成別	1人暮らし n=35	-	14.3	28.6	8.6	5.7	-	57.1	14.3	8.6
	夫婦2人暮らし n=34	76.5	5.9	11.8	-	-	-	14.7	8.8	8.8
	2世帯 n=22	22.7	36.4	40.9	9.1	4.5	-	4.5	13.6	4.5
	その他 n=24	20.8	12.5	20.8	4.2	-	12.5	20.8	16.7	8.3
日常生活圏域別	東部 n=22	40.9	18.2	18.2	-	4.5	-	22.7	13.6	4.5
	西部 n=32	28.1	15.6	18.8	3.1	-	3.1	25.0	9.4	15.6
	南部 n=20	25.0	5.0	30.0	10.0	5.0	5.0	50.0	10.0	5.0
	中部 n=31	32.3	19.4	32.3	6.5	3.2	3.2	19.4	16.1	3.2
	北部東 n=7	28.6	28.6	28.6	14.3	-	-	-	14.3	14.3
	北部西 n=3	33.3	-	-	-	-	-	33.3	33.3	-

問2(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか(SA)

「ふつう」が51.6%で最も高くなっています。「やや苦しい」が23.8%、「大変苦しい」が8.5%となっています。

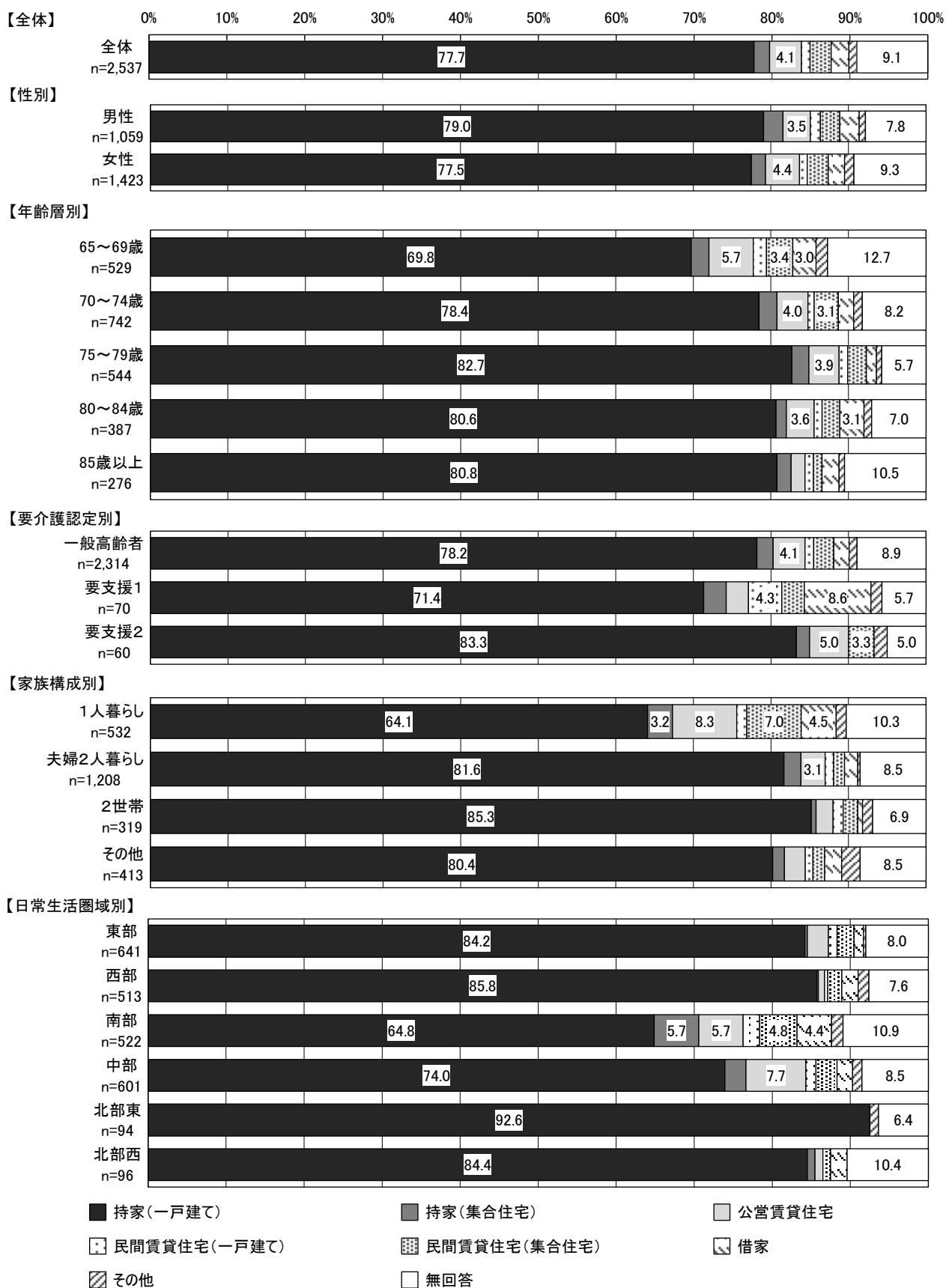
70歳以降は年齢層が上がるほど「大変苦しい」「やや苦しい」を合わせた割合が低くなっています。





## 問2(4) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか(SA)

「持家(一戸建て)」が77.7%で最も高くなっています。「公営賃貸住宅」が4.1%となっています。



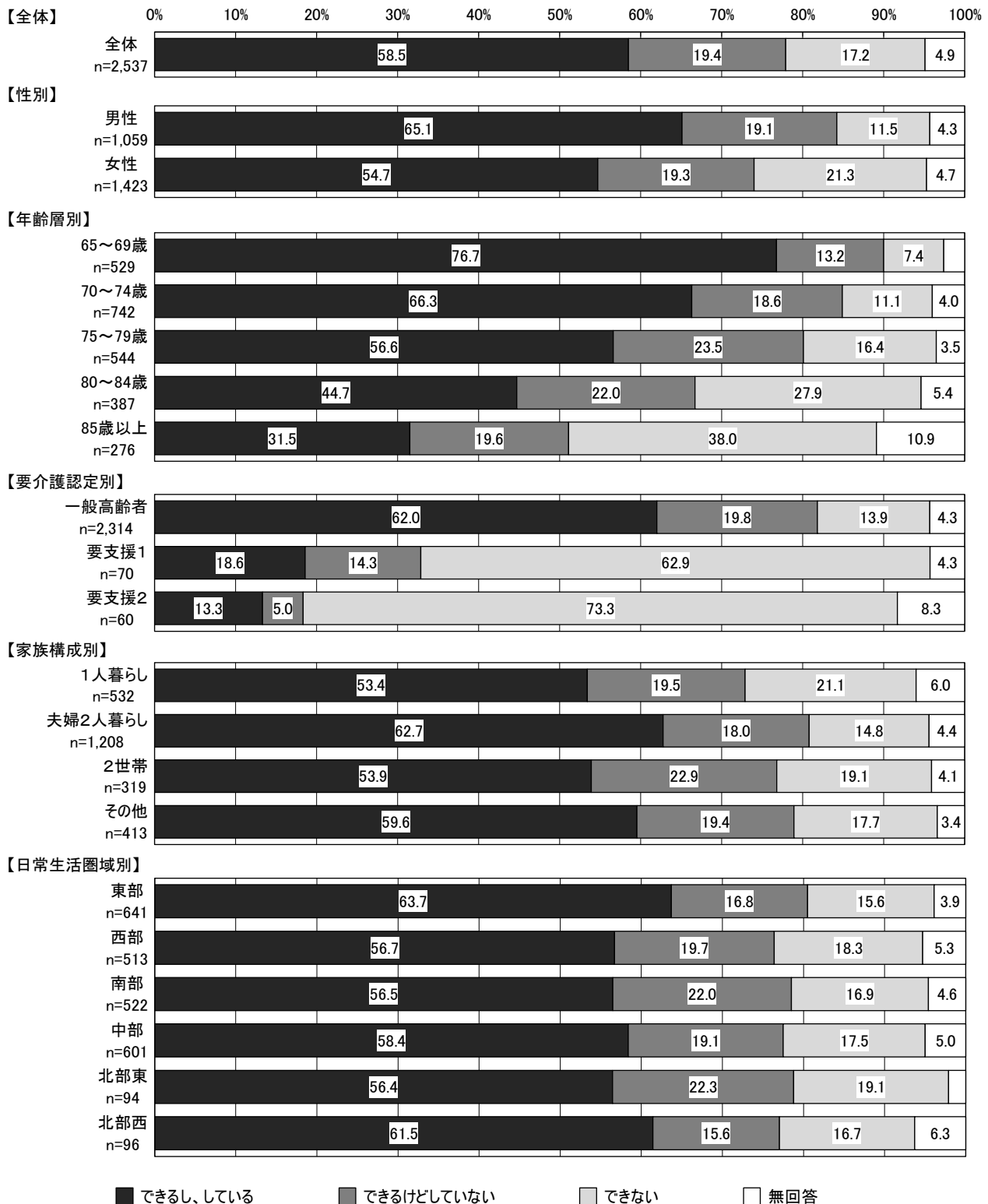
## 問3 からだを動かすことについて

### 3.1 集計結果

問3(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか(SA)

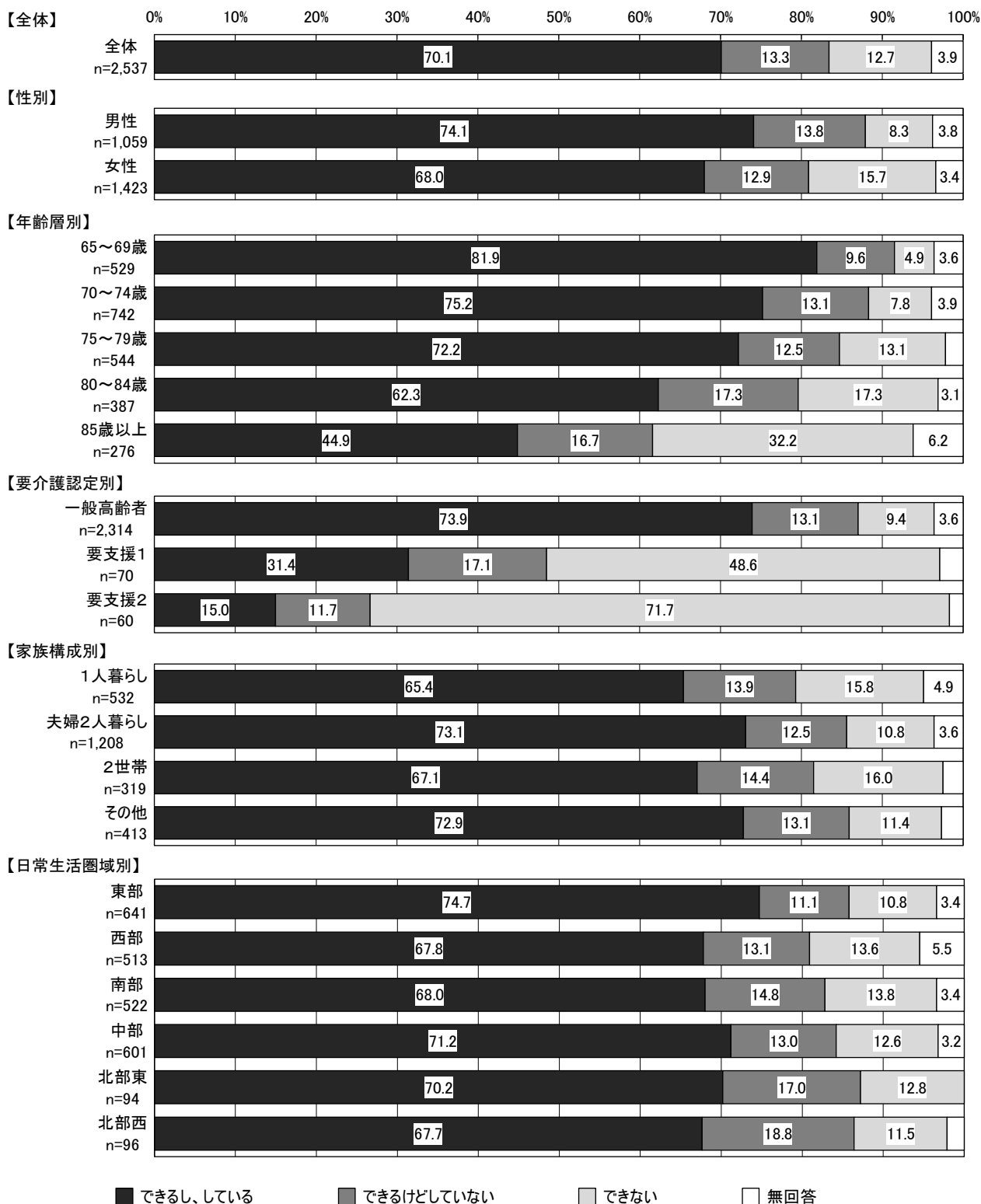
「できるし、している」が58.5%を占めています。

年齢層が上がるほど「できるし、している」の割合が低くなり、要支援1・2では「できるし、している」の割合が一般高齢者と比較して顕著に低くなっています。



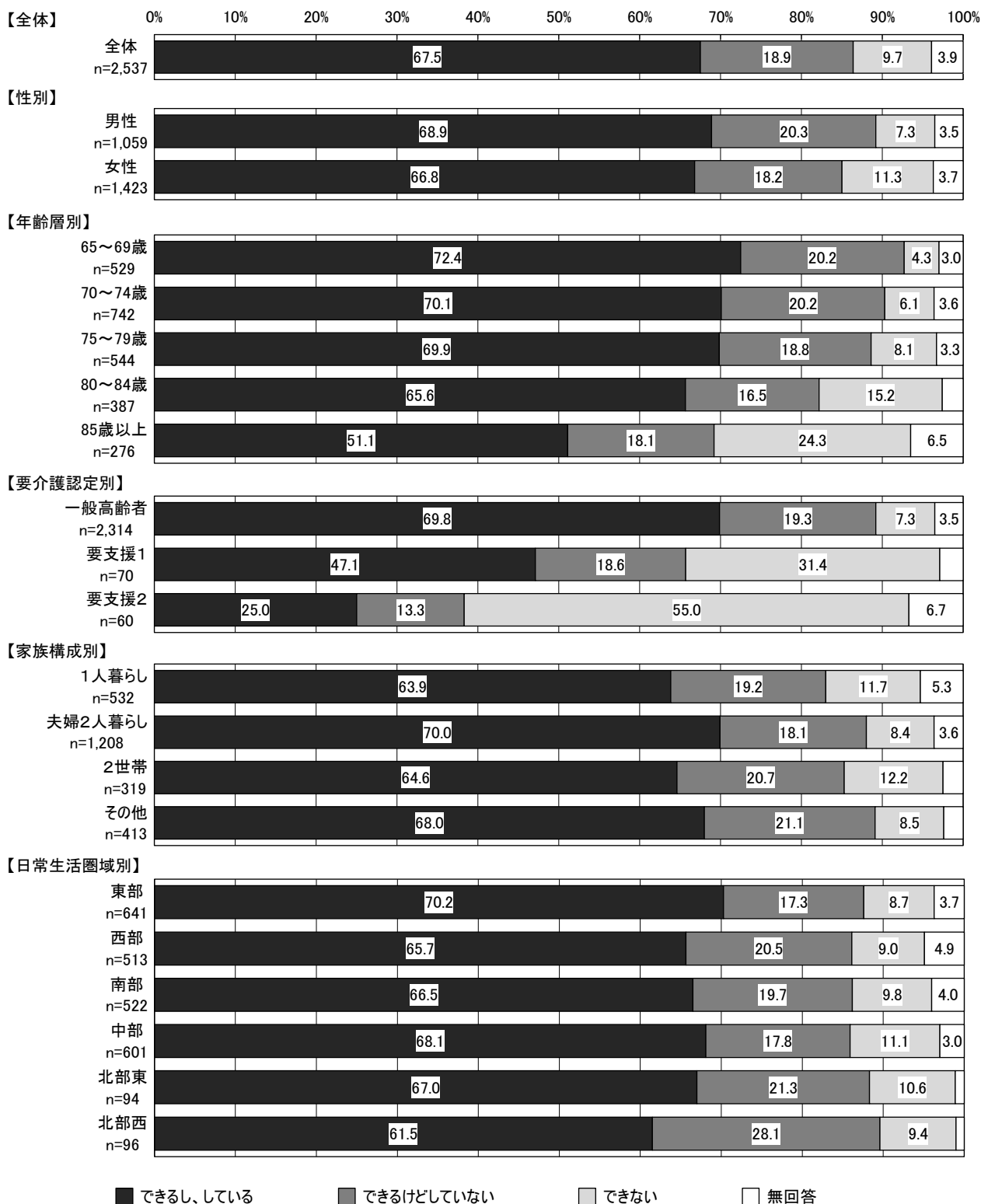
### 問3(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか(SA)

「できるし、している」が70.1%を占めています。  
 年齢層及び要介護度が上がるほど「できるし、している」の割合が低くなっています。



### 問3(3) 15分位続けて歩いていますか(SA)

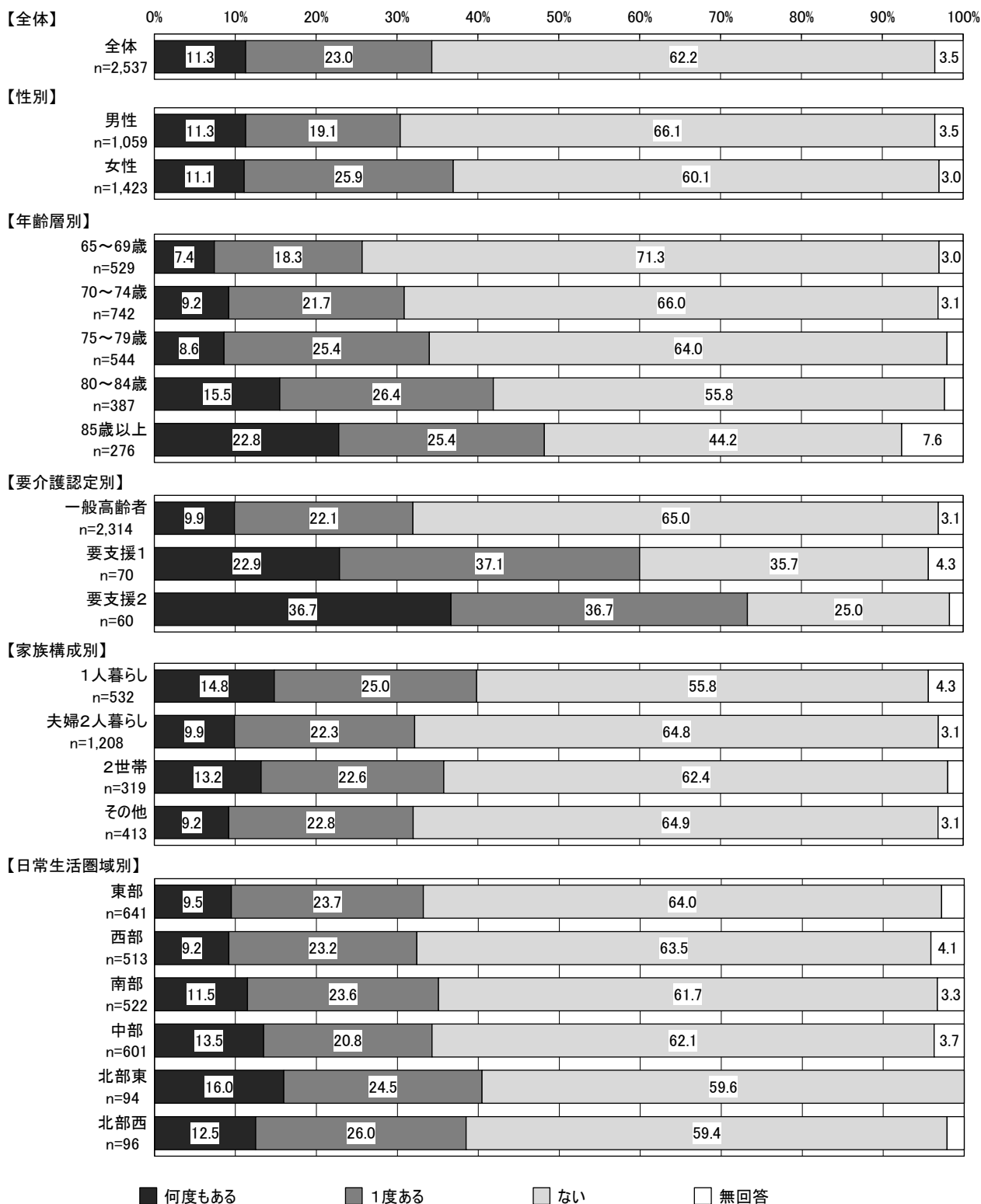
「できるし、している」が67.5%を占めています。  
 年齢層及び要介護度が上がるほど「できるし、している」の割合が低くなっています。



### 問3(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか(SA)

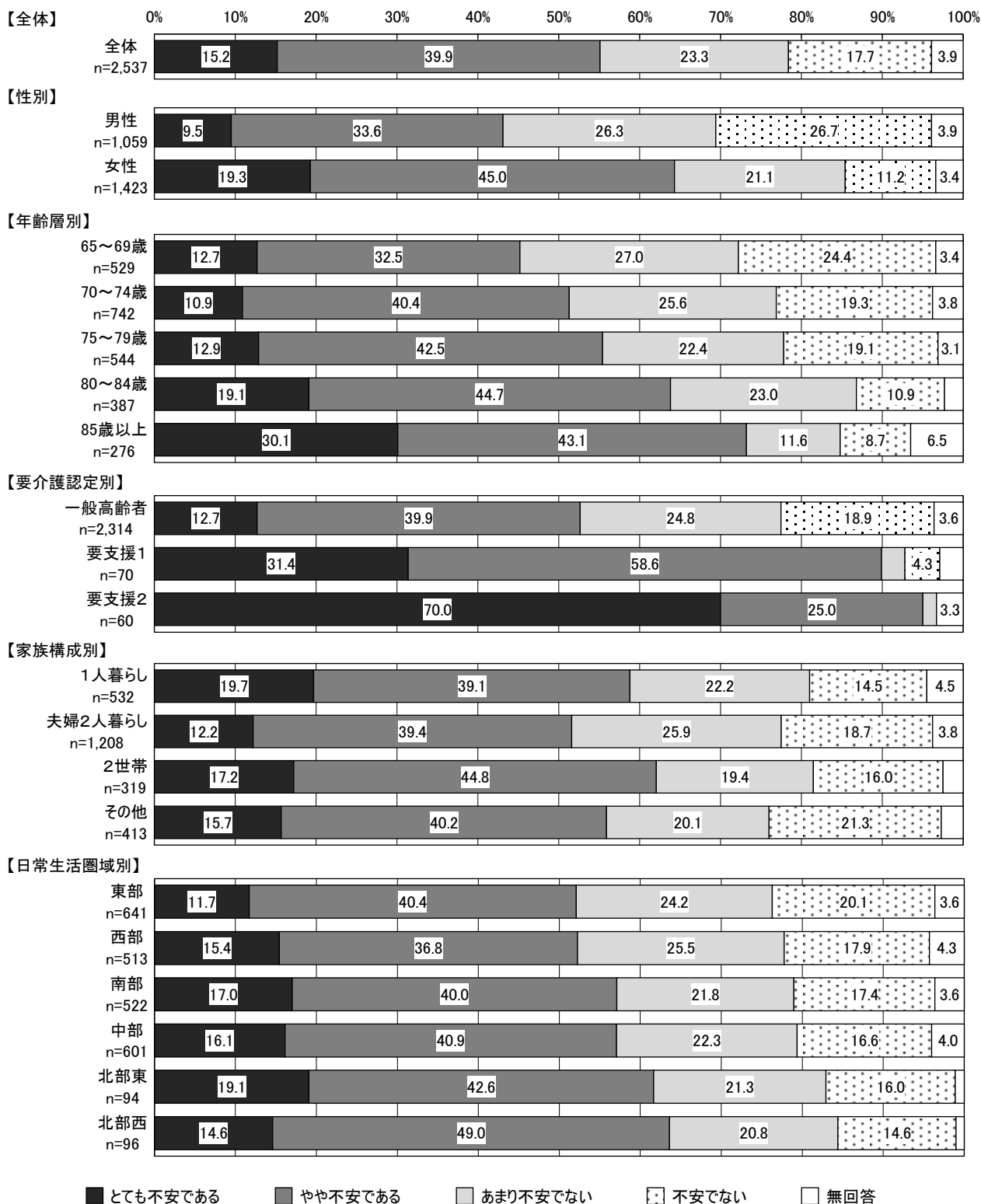
「何度もある」が11.3%、「1度ある」が23.0%となっています。

後期高齢者(75歳以上)において年齢層が上がるほど、また要介護度が上がるほど「何度もある」の割合が高くなっており、「何度もある」「1度ある」を合わせた割合は85歳以上では48.2%、要支援2では73.4%となっています。



### 問3(5) 転倒に対する不安は大きいですか(SA)

「とても不安である」「やや不安である」を合わせると55.1%と、半数以上が不安を抱えています。  
 女性は男性と比較して「とても不安である」「やや不安である」を合わせた割合が高くなっています。  
 年齢層及び要介護度が上がるほど「とても不安である」「やや不安である」を合わせた割合が高くなっており、要支援1・2では一般高齢者と比較して顕著に高くなっています。

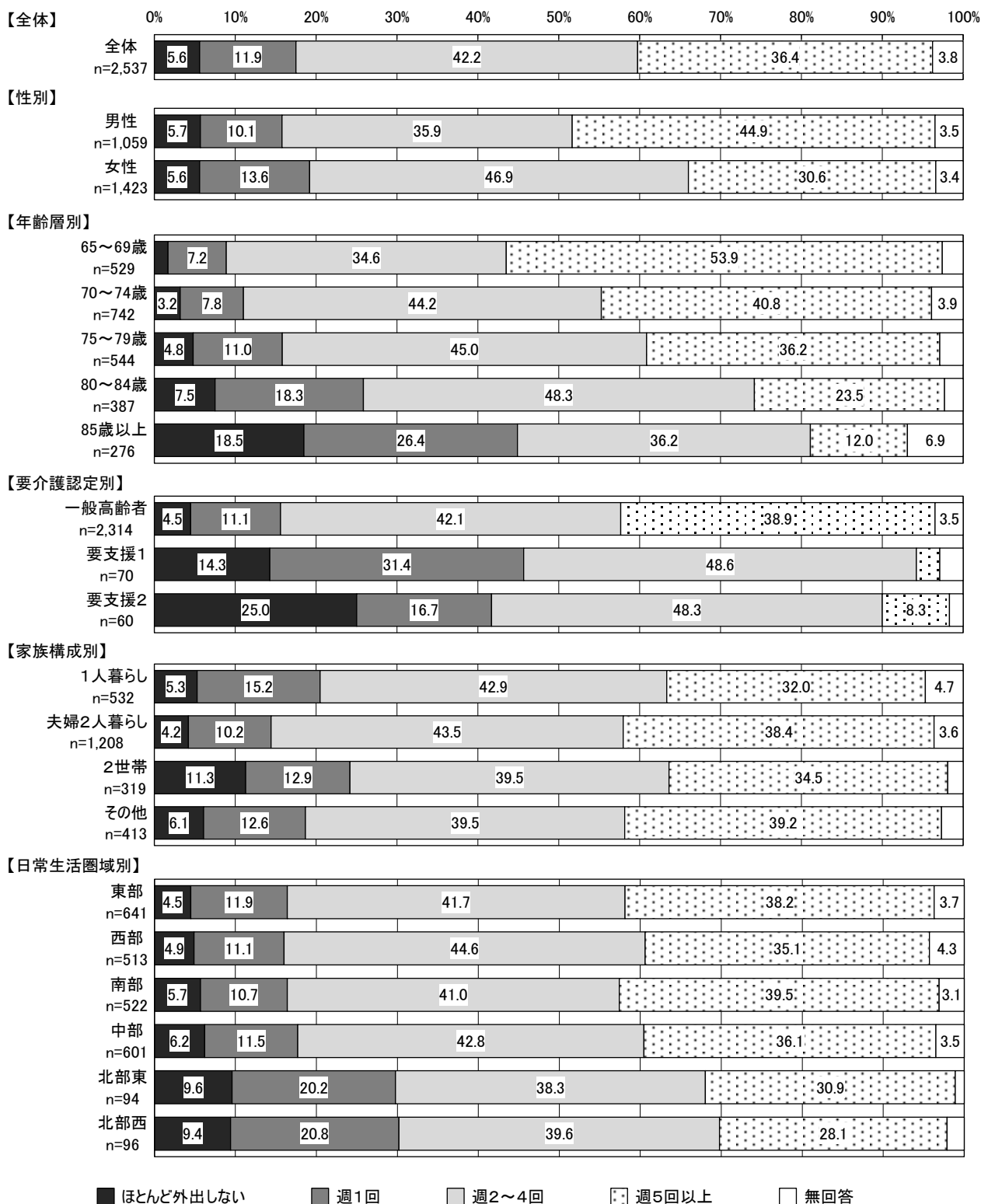


### 問3(6) 週に1回以上は外出していますか (SA)

「週2～4回」が42.2%で最も高くなっています。「週5回以上」が36.4%、「週1回」が11.9%となっています。

年齢層及び要介護度が上がるほど「ほとんど外出しない」の割合が高くなっています。

「北部東」「北部西」では、他の地区と比較して「ほとんど外出しない」「週1回」の割合が高くなっています。

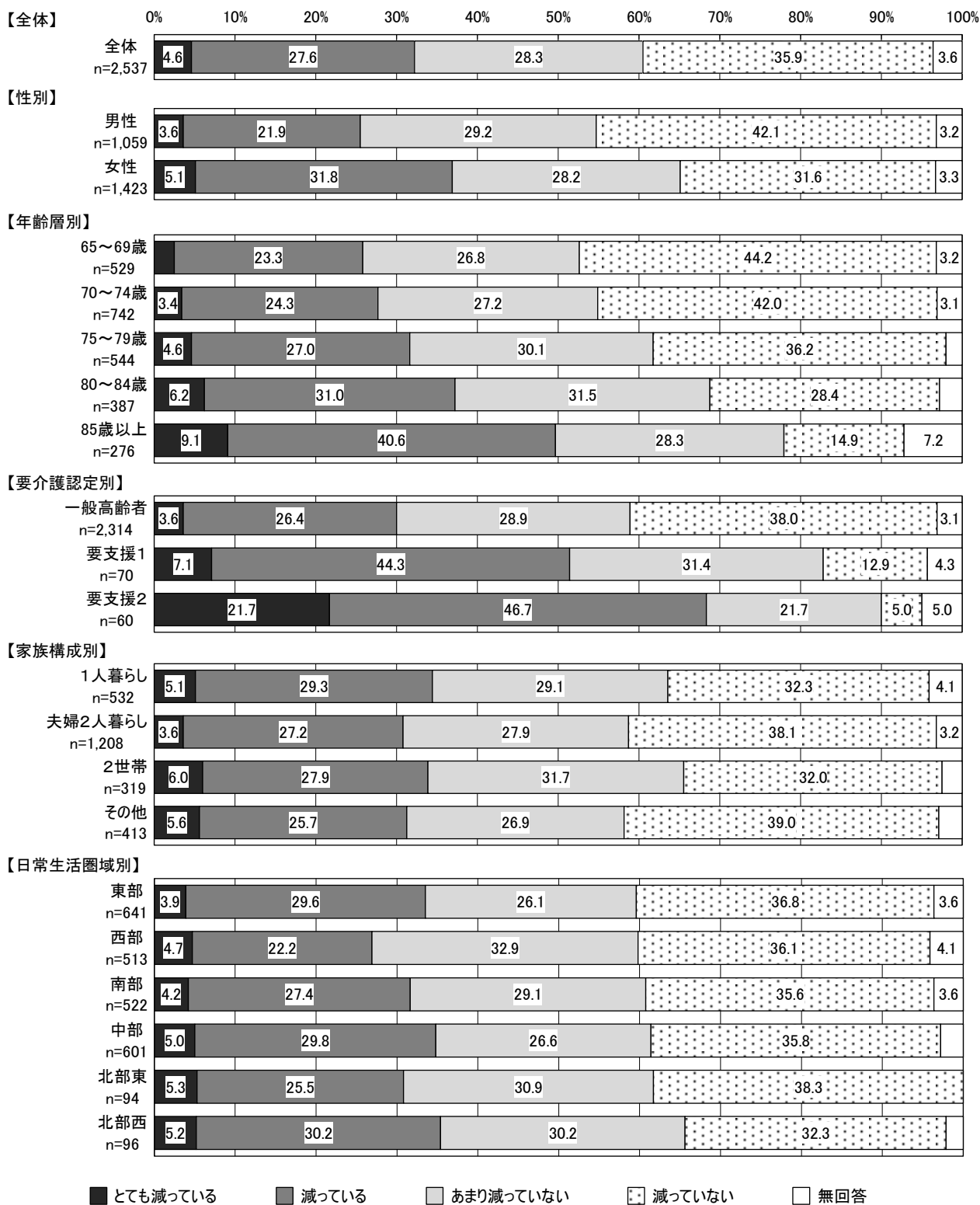


### 問3(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか(SA)

「減っていない」が35.9%で最も高くなっています。「あまり減っていない」が28.3%、「減っている」が27.6%となっています。

女性は男性と比較して「とても減っている」「減っている」を合わせた割合が高くなっています。

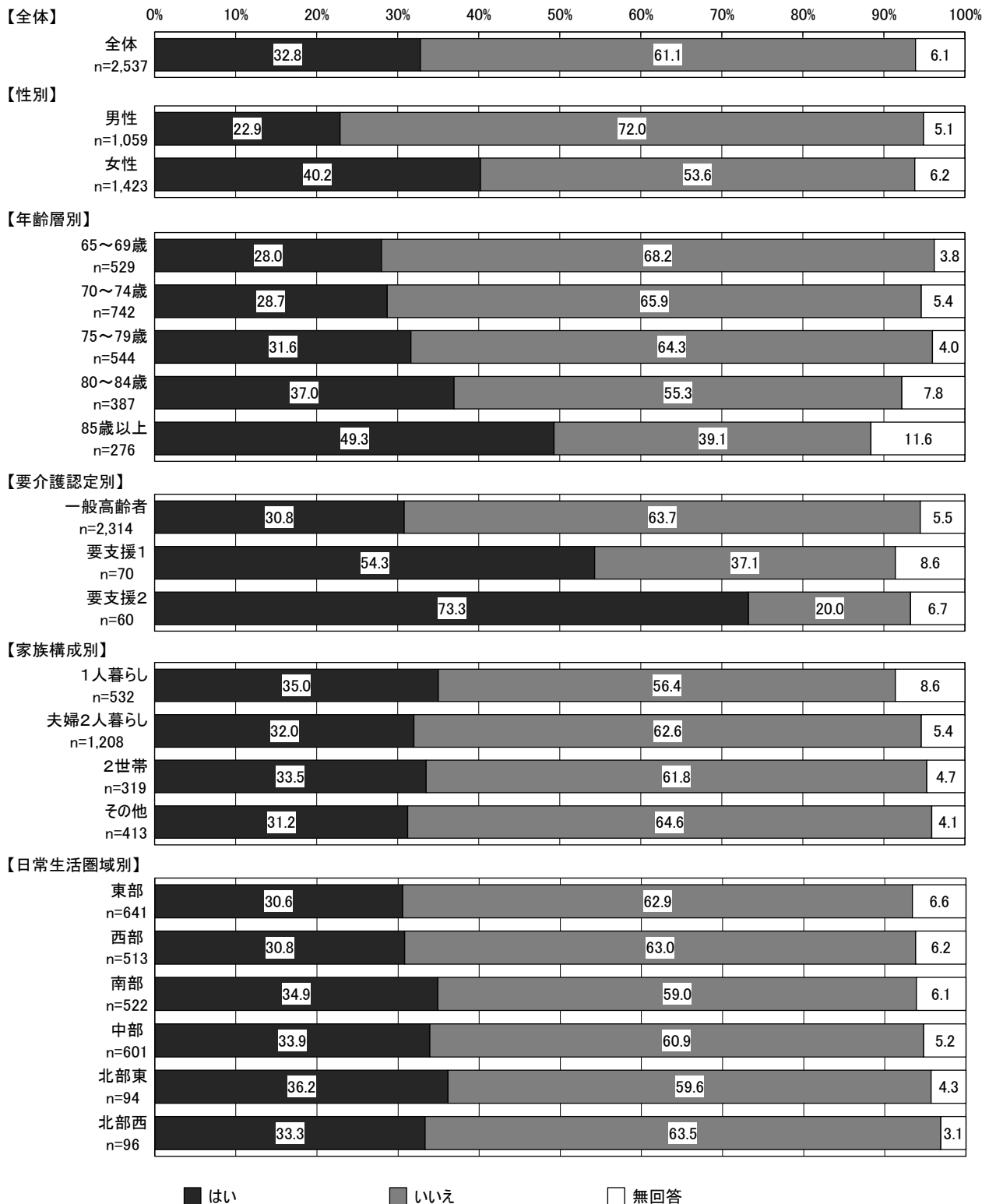
年齢層及び要介護度が上がるほど「とても減っている」「減っている」を合わせた割合が高くなっています。





### 問3(8) 外出を控えていますか(SA)

「はい」が32.8%となっています。  
 女性は男性と比較して「はい」の割合が高くなっています。  
 年齢層及び要介護度が上がるほど「はい」の割合が高くなっています。



問3(8)-①【(8)で「1. はい」に○をした方(外出を控えている方)】

外出を控えている理由は、次のどれですか(MA)

「コロナ禍による外出自粛」が72.6%で最も高くなっています。「足腰などの痛み」が29.7%、「外での楽しみがない」が11.2%となっています。

前期高齢者(65～74歳)及び一般高齢者では「コロナ禍による外出自粛」の割合が高くなっています。

		病気	障害(脳卒中の後遺症など)	足腰などの痛み	トイレの心配(失禁など)	耳の障害(聞こえの問題など)	目の障害	楽しみがない	外での出られない	経済的に出られない	交通手段がない	コロナ禍による外出自粛	その他	無回答
	全体 n=833	7.6	1.7	29.7	8.6	4.3	4.4	11.2	7.0	10.7	72.6	5.2	0.8	
性別	男性 n=243	10.7	3.3	25.1	10.7	2.1	4.9	14.4	11.1	11.1	71.6	4.5	0.8	
	女性 n=572	6.3	1.0	31.8	7.9	5.2	4.2	9.8	5.1	10.3	73.3	5.4	0.5	
年齢層別	65～69歳 n=148	4.7	2.7	15.5	5.4	0.7	2.7	15.5	12.2	3.4	83.8	6.1	0.7	
	70～74歳 n=213	6.6	2.3	19.7	6.1	2.3	3.8	10.3	8.9	5.2	84.5	4.2	-	
	75～79歳 n=172	10.5	1.7	24.4	14.5	1.2	0.6	8.1	6.4	7.6	78.5	2.3	-	
	80～84歳 n=143	10.5	0.7	43.4	7.0	5.6	7.7	10.5	1.4	19.6	64.3	5.6	0.7	
	85歳以上 n=136	5.9	0.7	52.9	11.0	14.0	8.8	11.8	3.7	20.6	44.1	8.8	2.2	
要介護認定別	一般高齢者 n=712	6.6	1.4	25.0	7.0	3.4	3.8	11.4	7.2	8.6	76.4	4.9	0.4	
	要支援1 n=38	10.5	2.6	55.3	13.2	7.9	10.5	10.5	5.3	18.4	55.3	10.5	2.6	
	要支援2 n=44	11.4	4.5	75.0	29.5	9.1	6.8	9.1	4.5	31.8	47.7	6.8	-	
家族構成別	1人暮らし n=186	10.2	-	38.7	8.1	8.1	5.9	13.4	7.0	15.6	66.1	5.9	1.6	
	夫婦2人暮らし n=387	7.0	2.8	25.8	9.3	2.3	3.9	9.8	6.7	5.7	78.3	3.1	0.3	
	2世帯 n=107	8.4	1.9	32.7	12.1	3.7	6.5	13.1	5.6	17.8	63.6	9.3	-	
	その他 n=129	5.4	0.8	26.4	4.7	4.7	1.6	9.3	7.8	10.1	72.9	6.2	0.8	
日常生活圏域別	東部 n=196	7.1	2.0	30.1	9.7	4.6	5.6	7.1	8.2	7.7	75.0	6.1	-	
	西部 n=158	7.6	1.9	27.8	8.2	4.4	1.9	13.3	4.4	10.8	74.7	7.0	-	
	南部 n=182	7.7	1.6	33.5	7.7	4.9	4.4	11.0	6.0	9.3	72.0	3.8	1.1	
	中部 n=204	9.3	1.5	26.0	9.3	2.9	4.4	13.2	7.8	12.3	75.0	3.9	0.5	
	北部東 n=34	-	2.9	35.3	8.8	8.8	8.8	8.8	8.8	8.8	26.5	64.7	2.9	2.9
	北部西 n=32	9.4	-	34.4	9.4	3.1	6.3	12.5	9.4	6.3	56.3	3.1	3.1	

問3(9) 外出する際の移動手段は何ですか(MA)

「自動車（自分で運転）」が58.3%で最も高くなっています。「徒歩」が36.4%、「自動車（人に乗せてもらう）」が22.7%となっています。

65～79歳では「自動車（自分で運転）」の割合が高くなっており、年齢層が上がるほど「自動車（人に乗せてもらう）」「路線バス」「タクシー」の割合は高くなっています。

「北部東」では「路線バス」の割合が他の地区と比較して低くなっています。

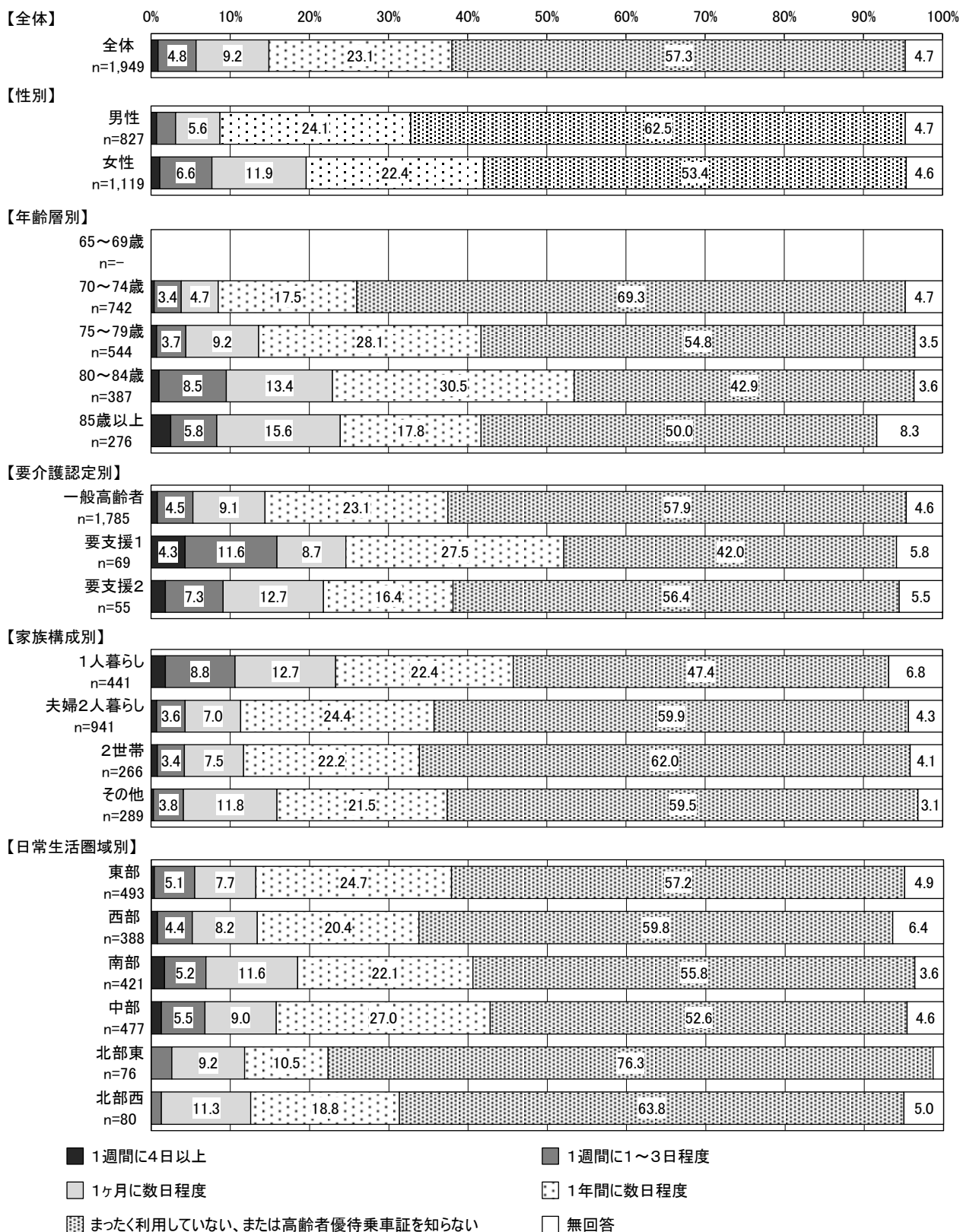
		徒歩	自転車	バイク	自動車 (自分で運転)	自動車 (人に乗せてもらう)	電車	路線バス	病院や施設のバス	車いす	電動車いす(カート)	歩行器・シルバーカー	タクシー	その他	無回答
全体 n=2,537		36.4	14.5	2.1	58.3	22.7	3.0	14.8	1.0	0.5	0.2	1.5	10.7	1.5	5.8
性別	男性 n=1,059	37.7	17.4	3.2	74.3	11.3	3.3	9.3	0.7	0.5	0.2	0.5	6.3	0.6	5.8
	女性 n=1,423	35.6	12.4	1.3	46.7	31.3	2.7	18.6	1.3	0.5	0.1	2.3	14.0	2.2	5.3
年齢層別	65～69歳 n=529	31.8	14.9	2.3	72.6	17.4	4.0	8.3	0.8	-	-	-	4.0	0.2	7.2
	70～74歳 n=742	35.6	15.6	2.0	68.7	18.5	2.3	10.9	0.3	0.4	0.1	0.1	4.9	0.9	5.8
	75～79歳 n=544	39.2	14.5	2.6	64.9	21.9	3.1	15.4	0.2	0.2	-	0.7	10.7	1.1	3.5
	80～84歳 n=387	40.6	15.8	2.1	39.5	27.9	3.9	23.8	2.1	0.8	-	2.6	18.1	2.6	4.9
	85歳以上 n=276	37.0	8.7	1.4	17.8	39.5	1.1	21.7	3.6	1.4	0.7	8.3	29.3	5.1	6.9
要介護認定別	一般高齢者 n=2,314	37.2	15.2	2.3	61.8	21.4	3.1	14.3	0.5	0.3	-	0.6	8.8	1.2	5.4
	要支援1 n=70	34.3	7.1	-	14.3	37.1	-	27.1	1.4	1.4	1.4	11.4	40.0	7.1	7.1
	要支援2 n=60	23.3	6.7	-	10.0	45.0	1.7	18.3	20.0	5.0	1.7	20.0	40.0	5.0	6.7
家族構成別	1人暮らし n=532	36.5	15.8	1.9	47.0	16.5	2.8	20.9	1.3	0.4	0.4	3.2	18.2	2.3	7.0
	夫婦2人暮らし n=1,208	37.1	13.9	2.1	67.0	22.1	2.6	12.2	0.7	0.5	0.1	0.6	7.4	1.1	4.8
	2世帯 n=319	35.7	11.9	2.8	49.5	32.9	2.8	11.9	1.3	1.3	-	2.8	13.5	1.3	7.2
	その他 n=413	34.9	16.5	2.2	55.7	24.5	3.9	15.3	1.2	-	-	1.2	8.7	2.2	4.6
日常生活圏域別	東部 n=641	32.6	11.2	1.9	63.0	23.4	2.5	15.1	0.6	0.8	0.2	1.9	7.5	1.1	7.2
	西部 n=513	38.0	15.2	3.1	59.1	22.8	3.9	12.3	0.2	0.4	-	1.8	10.5	1.8	5.3
	南部 n=522	42.7	23.4	1.9	50.4	20.9	2.1	16.5	1.0	0.4	0.4	1.1	14.6	1.0	5.4
	中部 n=601	37.4	11.6	1.7	59.1	23.1	3.7	15.5	1.2	0.5	-	1.3	12.3	1.5	4.8
	北部東 n=94	18.1	6.4	2.1	63.8	31.9	1.1	6.4	6.4	-	-	2.1	6.4	2.1	1.1
	北部西 n=96	33.3	12.5	2.1	61.5	19.8	3.1	16.7	2.1	-	-	1.0	8.3	5.2	7.3

問3(9)-① 【70歳以上の方】市が70歳以上に配布する「高齢者バス優待乗車証」を、どのくらい利用していますか(SA)

「まったく利用していない、または高齢者優待乗車証を知らない」が57.3%で最も高くなっています。「1年間に数日程度」が23.1%、「1ヶ月に数日程度」が9.2%となっています。

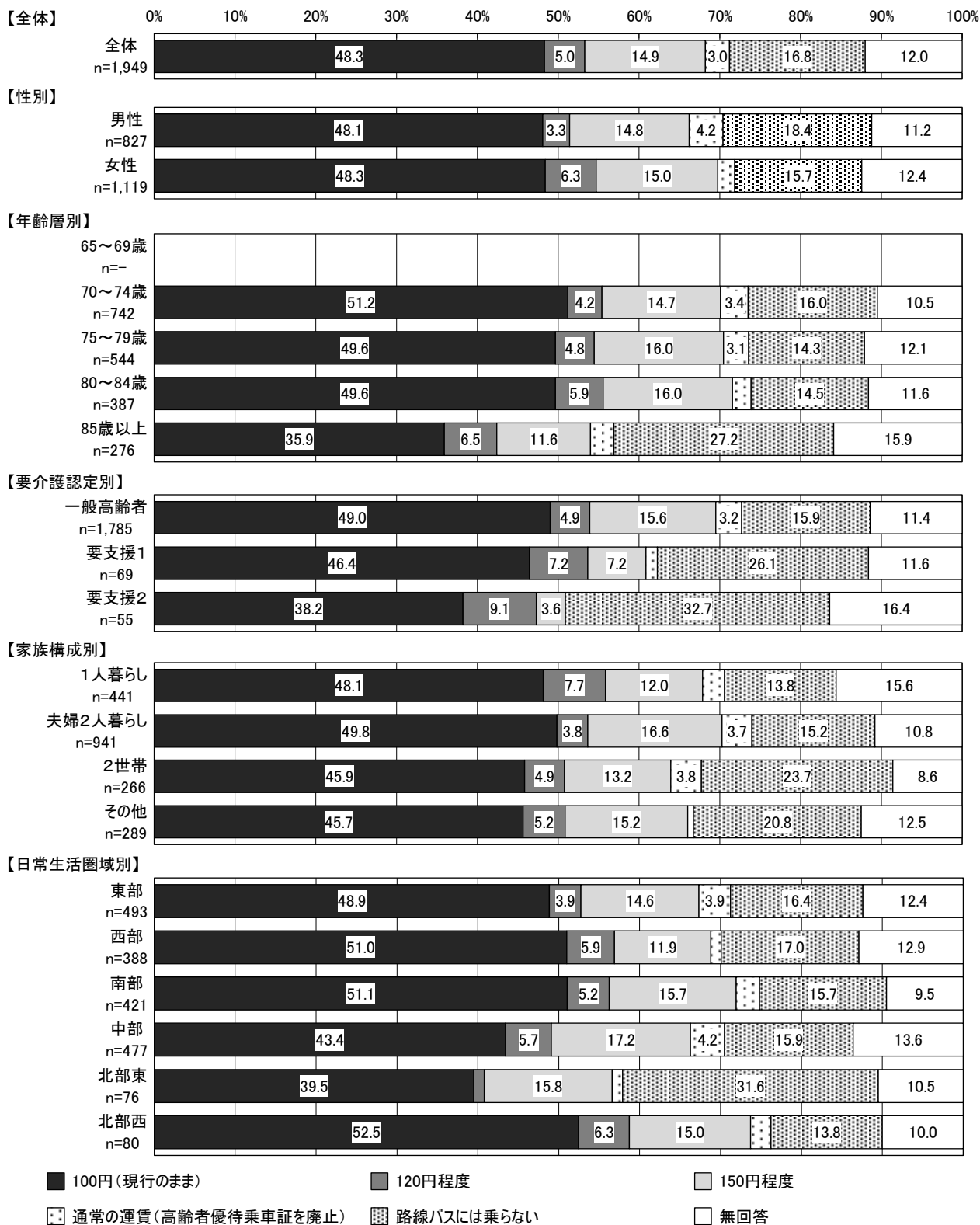
70～84歳にかけて、年齢層が上がるほど利用している割合は高くなっています。

「北部東」では「まったく利用していない、または高齢者優待乗車証を知らない」の割合が高くなっています。



問3(9)-② バス路線のほとんどは不採算路線のため、国・県・市からの補助金が投入されています。将来にわたり路線バスを維持・確保するため、「高齢者優待乗車証」の運賃を見直すこととなった場合、1回の乗車につきどのくらいの金額なら、今後も路線バスを利用したいと思いますか(SA)

「100円(現行のまま)」が48.3%で最も高くなっています。「路線バスには乗らない」が16.8%、「150円程度」が14.9%となっています。



### 3.2 【健康リスク判定】運動器の機能低下

#### ■判定方法

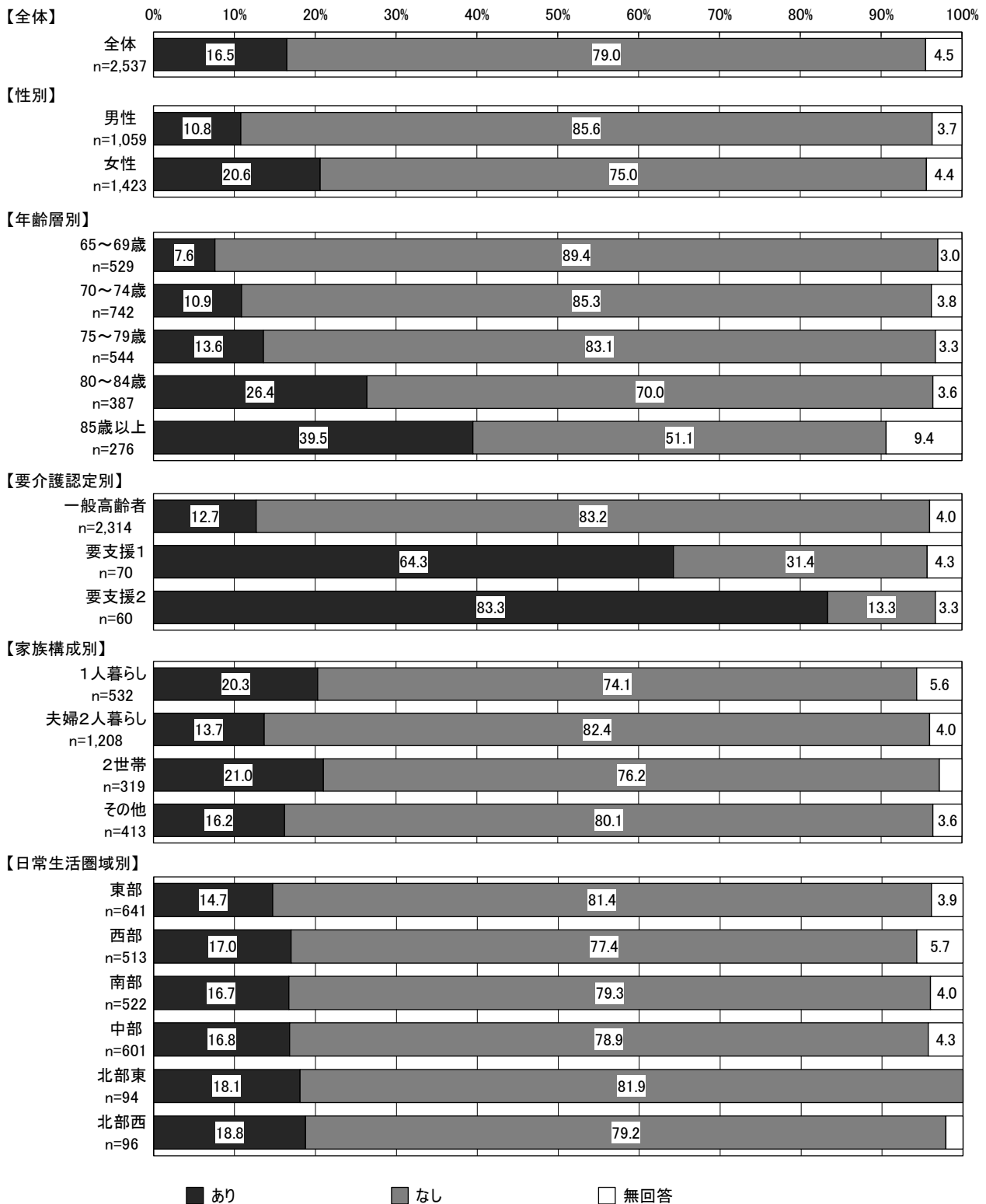
下記の設問で3問以上、該当する選択肢（表の網掛け箇所）を回答された場合は、運動器の機能が低下している高齢者になります。

該当設問 問3 からだを動かすことについて

項目	設問	選択肢
(1)	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
(2)	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
(3)	15分位続けて歩いていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
(4)	過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない
(5)	転倒に対する不安は大きいですか	1. とても不安である 2. やや不安である 3. あまり不安でない 4. 不安でない

## 運動器の機能低下 (SA)

「あり」は16.5%となっています。  
 女性は男性と比較して「あり」の割合が高くなっています。  
 年齢層が上がるほど「あり」の割合が高くなっています。



### 3.3 【健康リスク判定】転倒リスク

#### ■判定方法

下記の設問で該当する選択肢（表の網掛け箇所）を回答された場合は、転倒リスクのある高齢者になります。

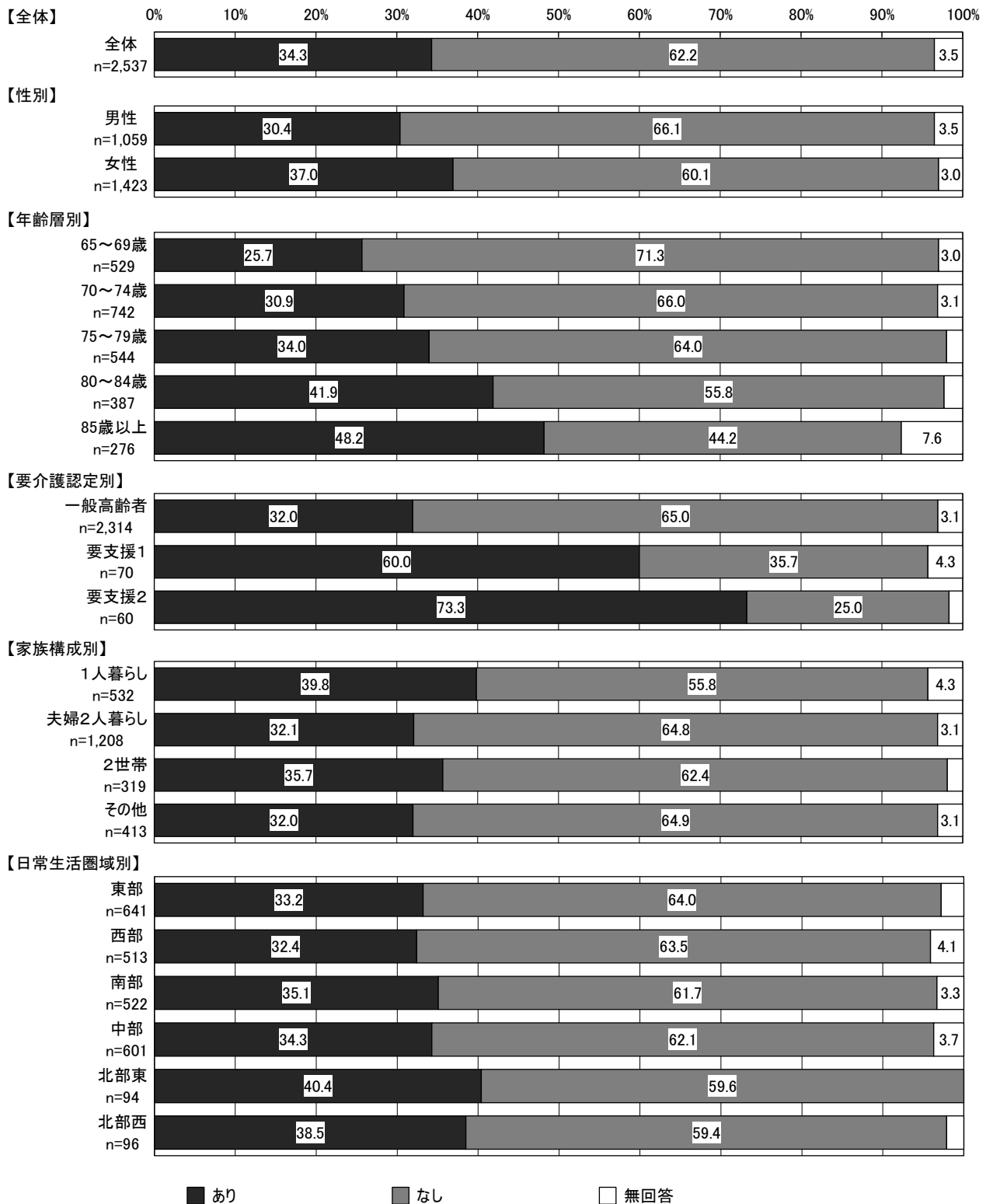
該当設問 問3 からだを動かすことについて

項目	設問	選択肢
(4)	過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない



## 転倒リスク(SA)

「あり」は34.3%となっています。  
 女性は男性と比較して「あり」の割合が高くなっています。  
 年齢層が上がるほど「あり」の割合が高くなっています。



### 3.4 【健康リスク判定】閉じこもり傾向

#### ■判定方法

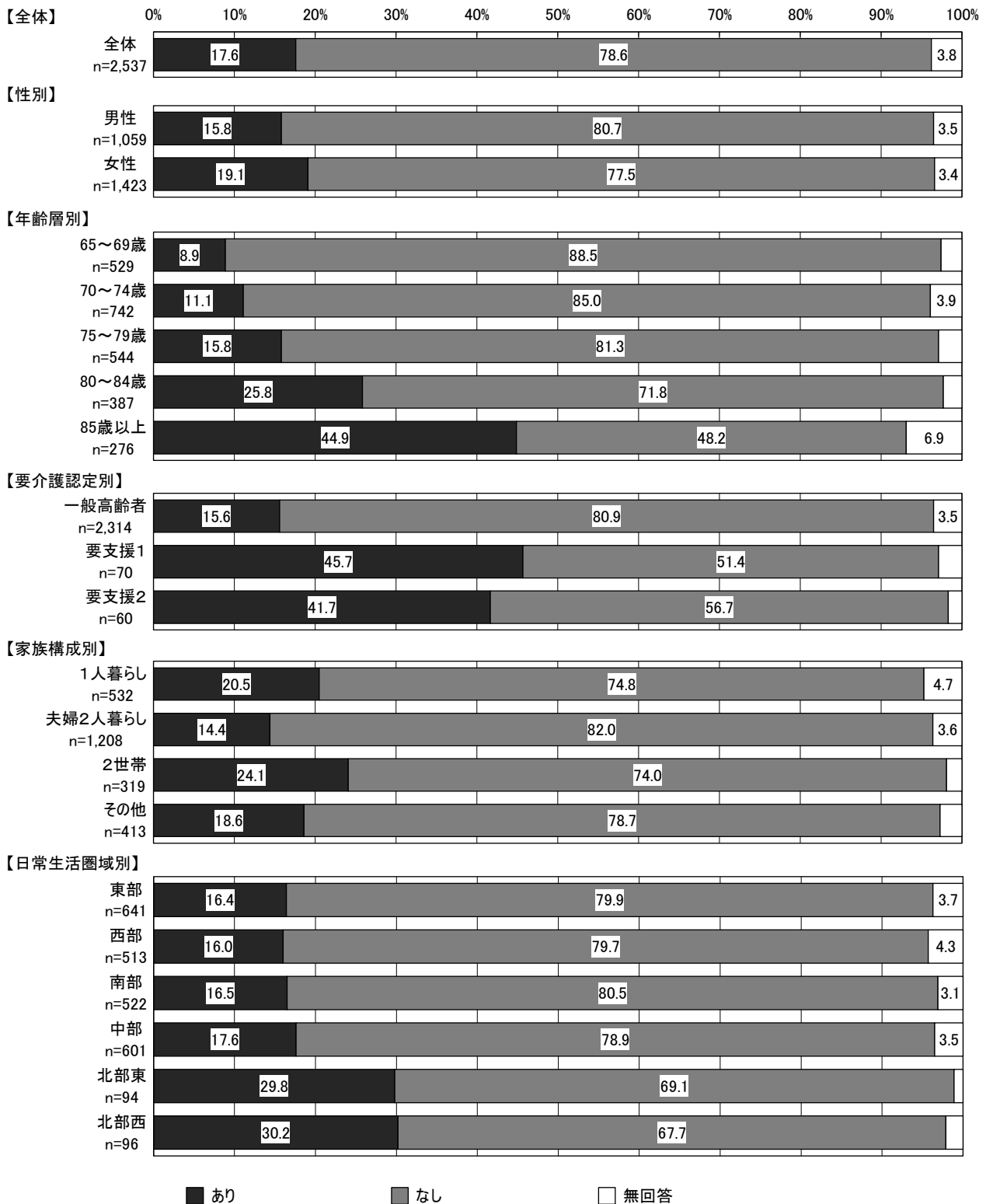
下記の設問で該当する選択肢（表の網掛け箇所）を回答された場合は、閉じこもり傾向のある高齢者になります。

該当設問 問3 からだを動かすことについて

項目	設問	選択肢
(6)	週に1回以上は外出していますか	1. ほとんど外出しない 2. 週1回 3. 週2～4回 4. 週5回以上

## 閉じこもり傾向 (SA)

「あり」は17.6%となっています。  
 年齢層が上がるほど「あり」の割合が高くなっています。  
 「北部東」「北部西」では他の地区と比較して「あり」の割合が高くなっています。



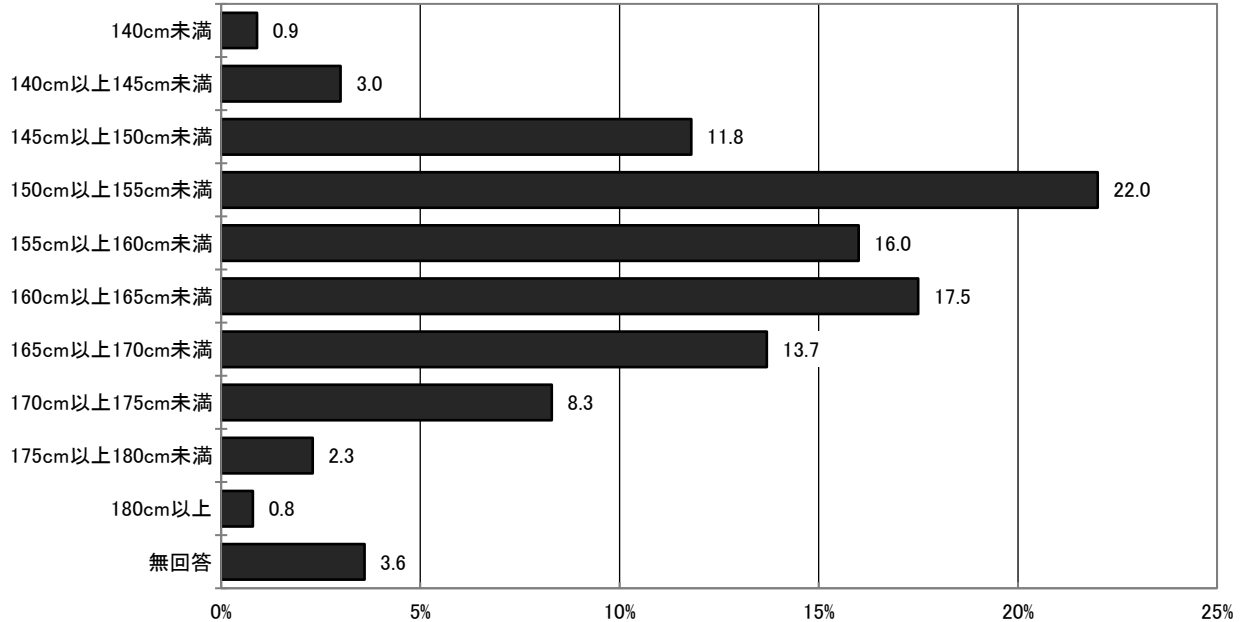
## 問4 食べることについて

### 4.1 集計結果

#### 問4(1)A 身長は何cmですか(数量)

「150cm以上155cm未満」が22.0%で最も高くなっています。「160cm以上165cm未満」が17.5%、「155cm以上160cm未満」が16.0%となっています。

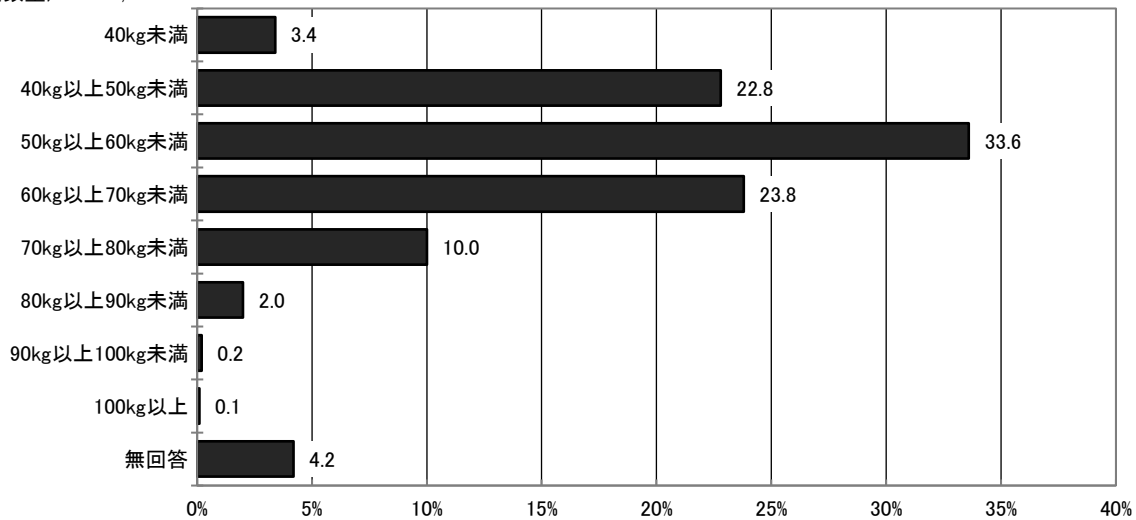
(数量) n=2,537



#### 問4(1)B 体重は何kgですか(数量)

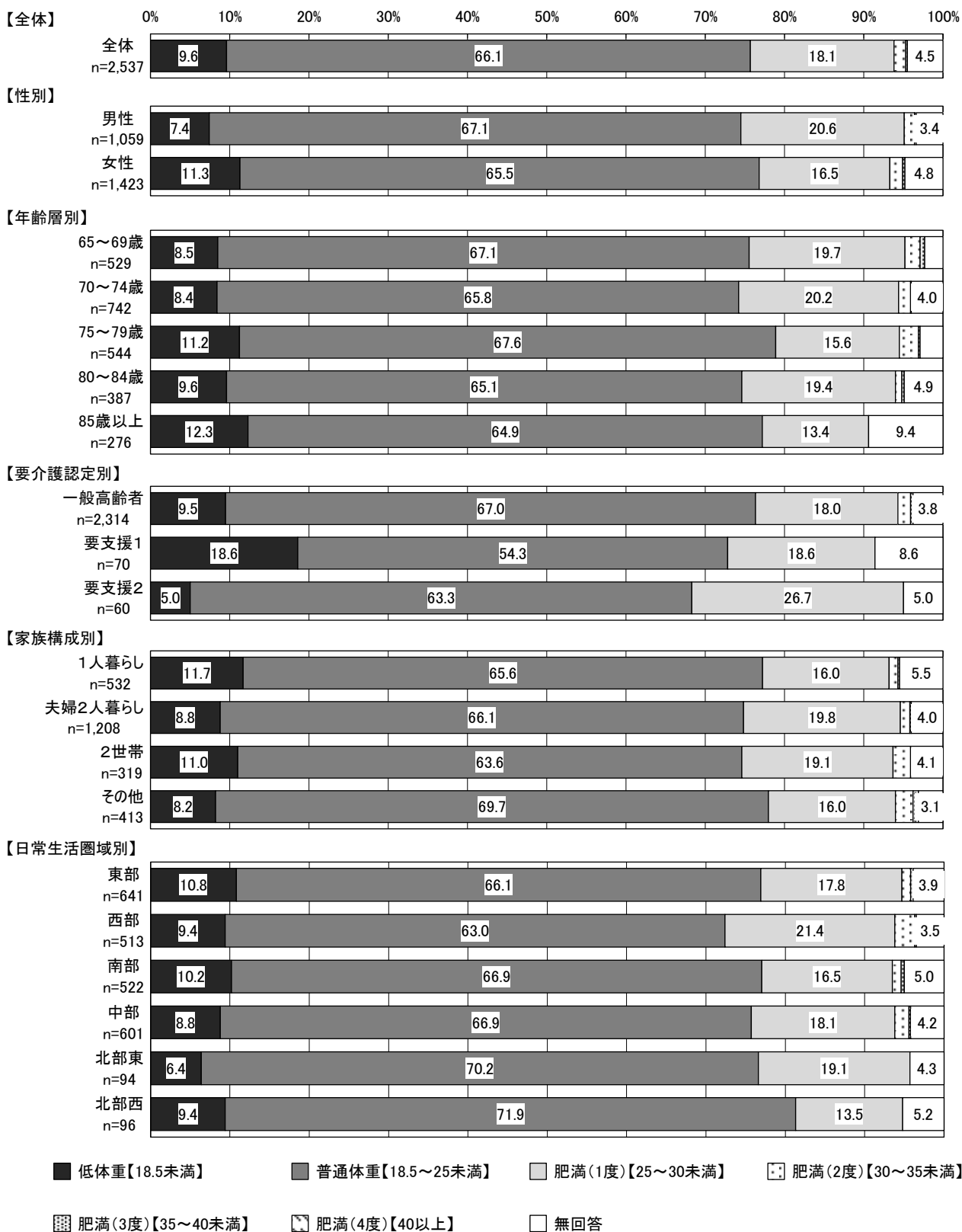
「50kg以上60kg未満」が33.6%で最も高くなっています。「60kg以上70kg未満」が23.8%、「40kg以上50kg未満」が22.8%となっています。

(数量) n=2,537



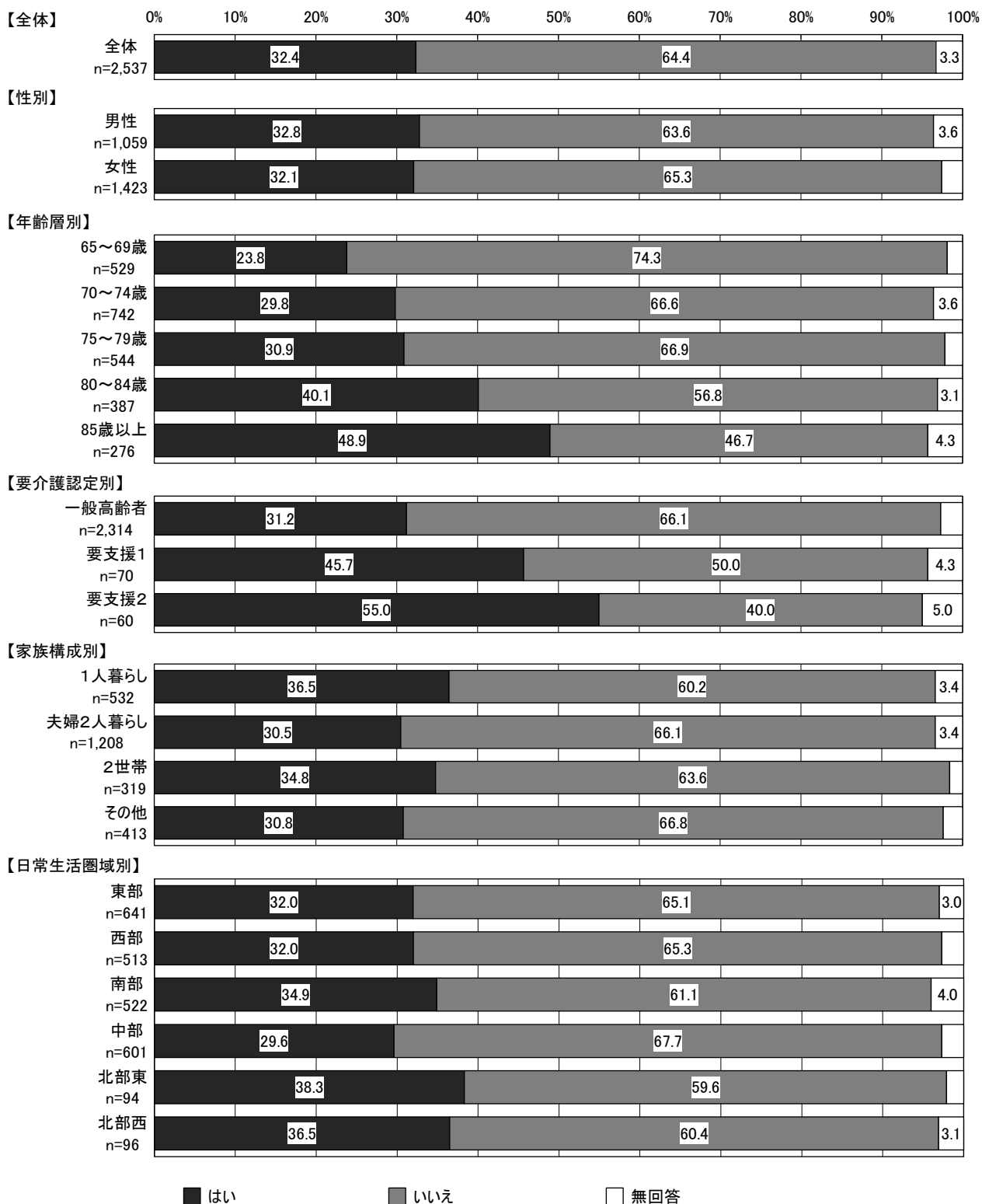
### 問4(1)C BMI(SA)

「普通体重【18.5～25未満】」が66.1%で最も高くなっています。「肥満(1度)【25～30未満】」が18.1%、「低体重【18.5未満】」が9.6%となっています。



問4(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか(SA)

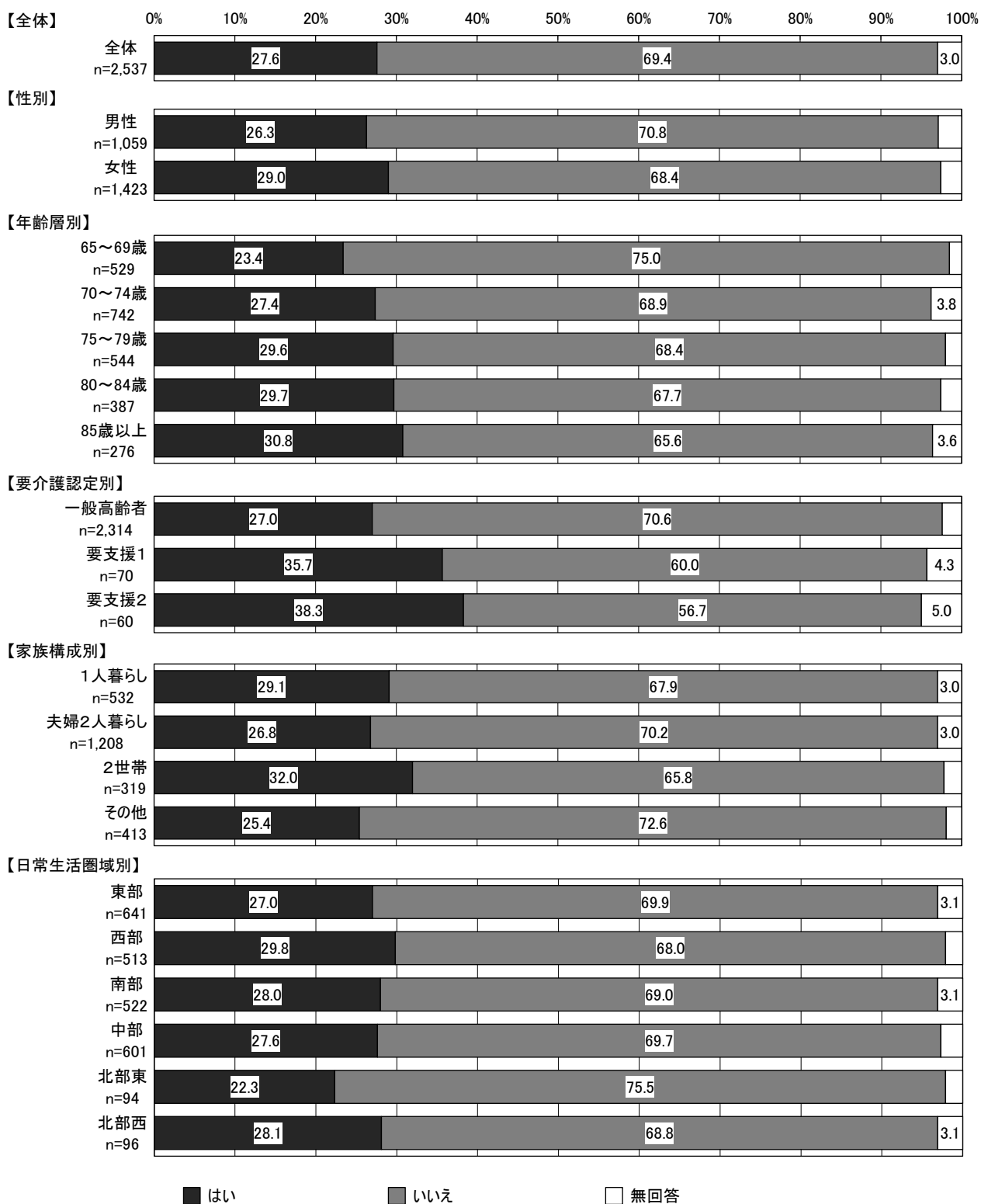
「はい」が32.4%となっています。  
年齢層及び要介護度が上がるほど「はい」の割合が高くなっています。



■ はい      ■ いいえ      □ 無回答

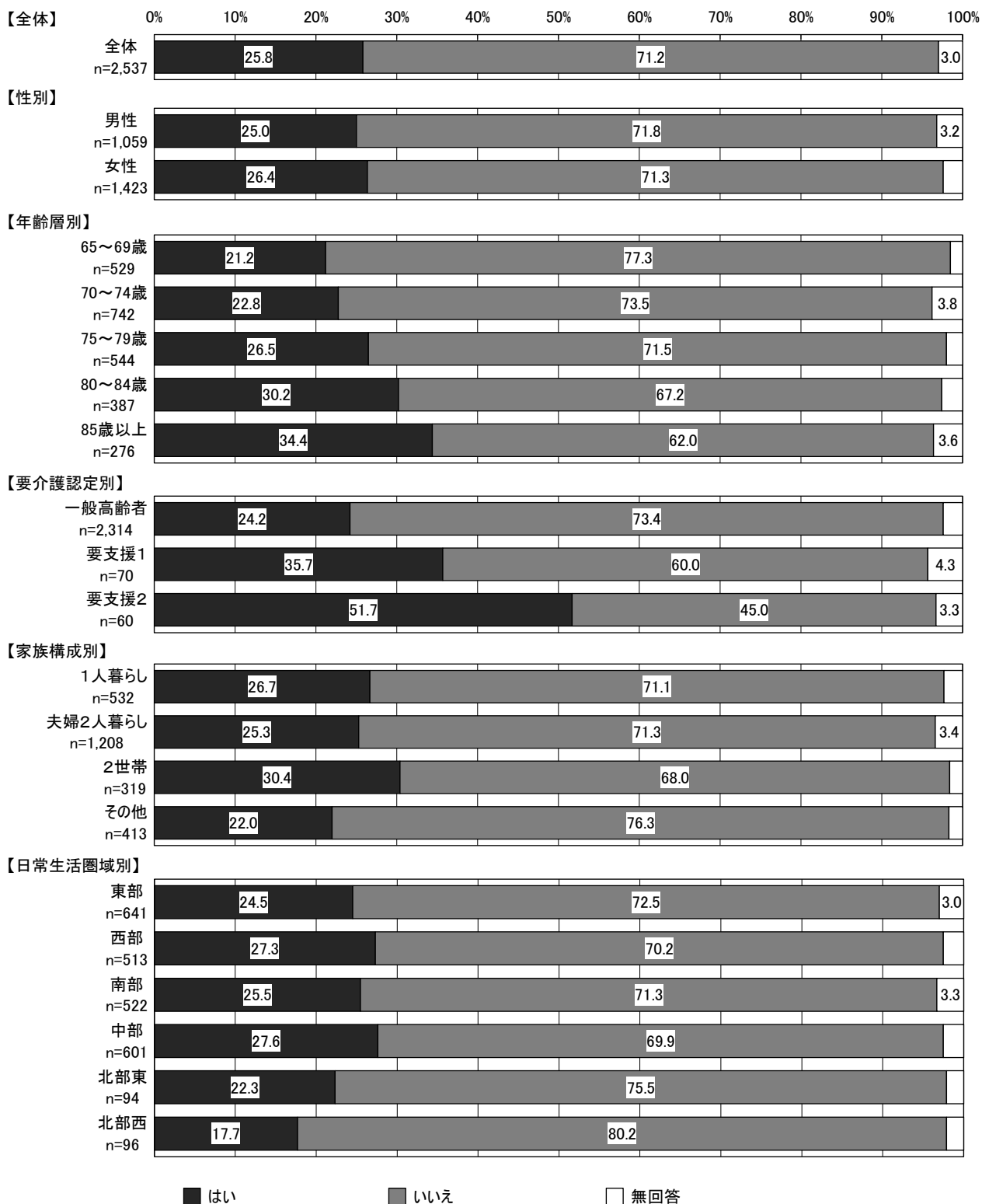
### 問4(3) お茶や汁物等でむせることがありますか(SA)

「はい」が27.6%となっています。



#### 問4(4) 口の渇きが気になりますか(SA)

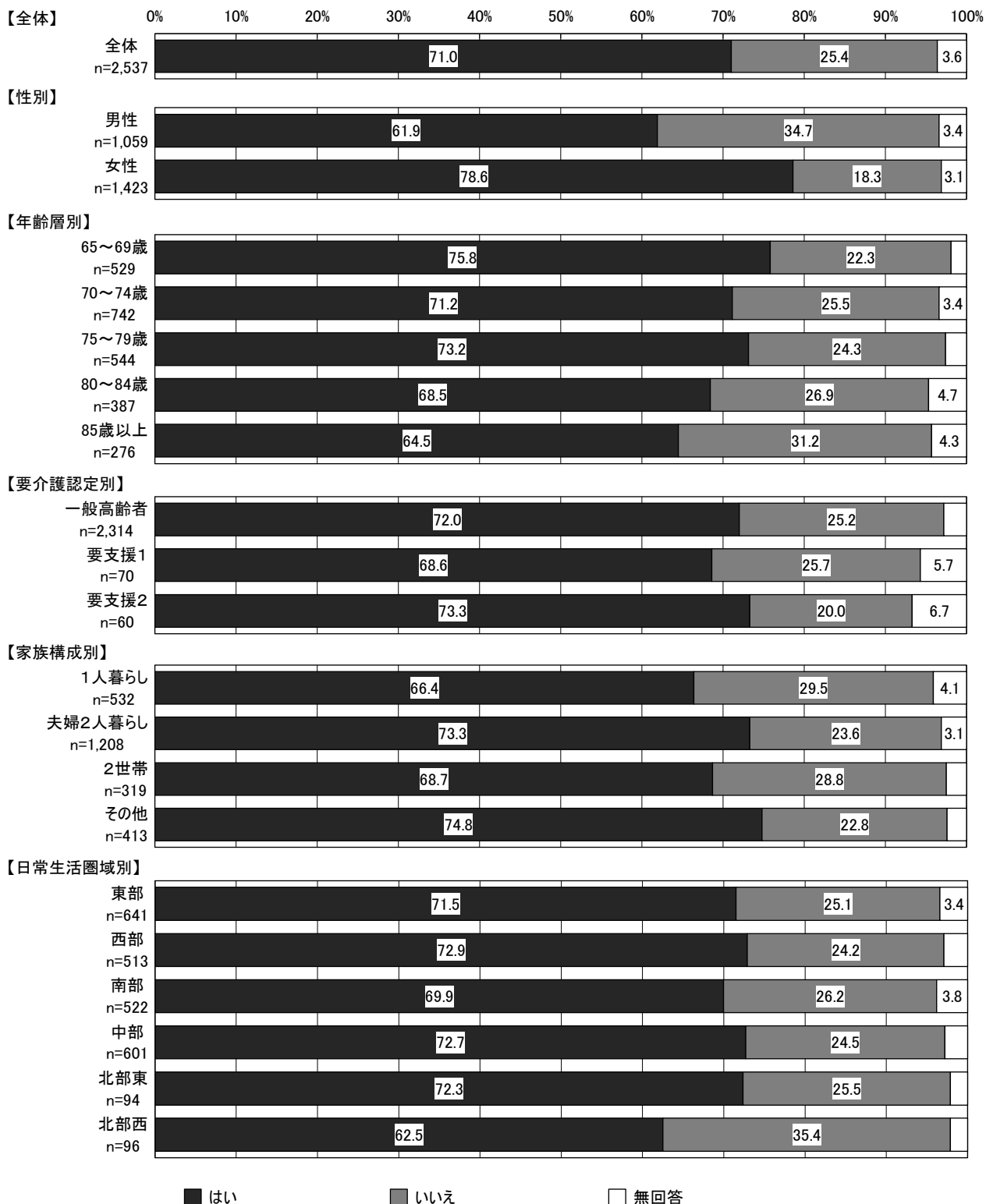
「はい」が25.8%となっています。  
年齢層及び要介護度が上がるほど「はい」の割合が高くなっています。





問4(5) 歯磨き(人にやってもらう場合も含む)を毎日していますか(SA)

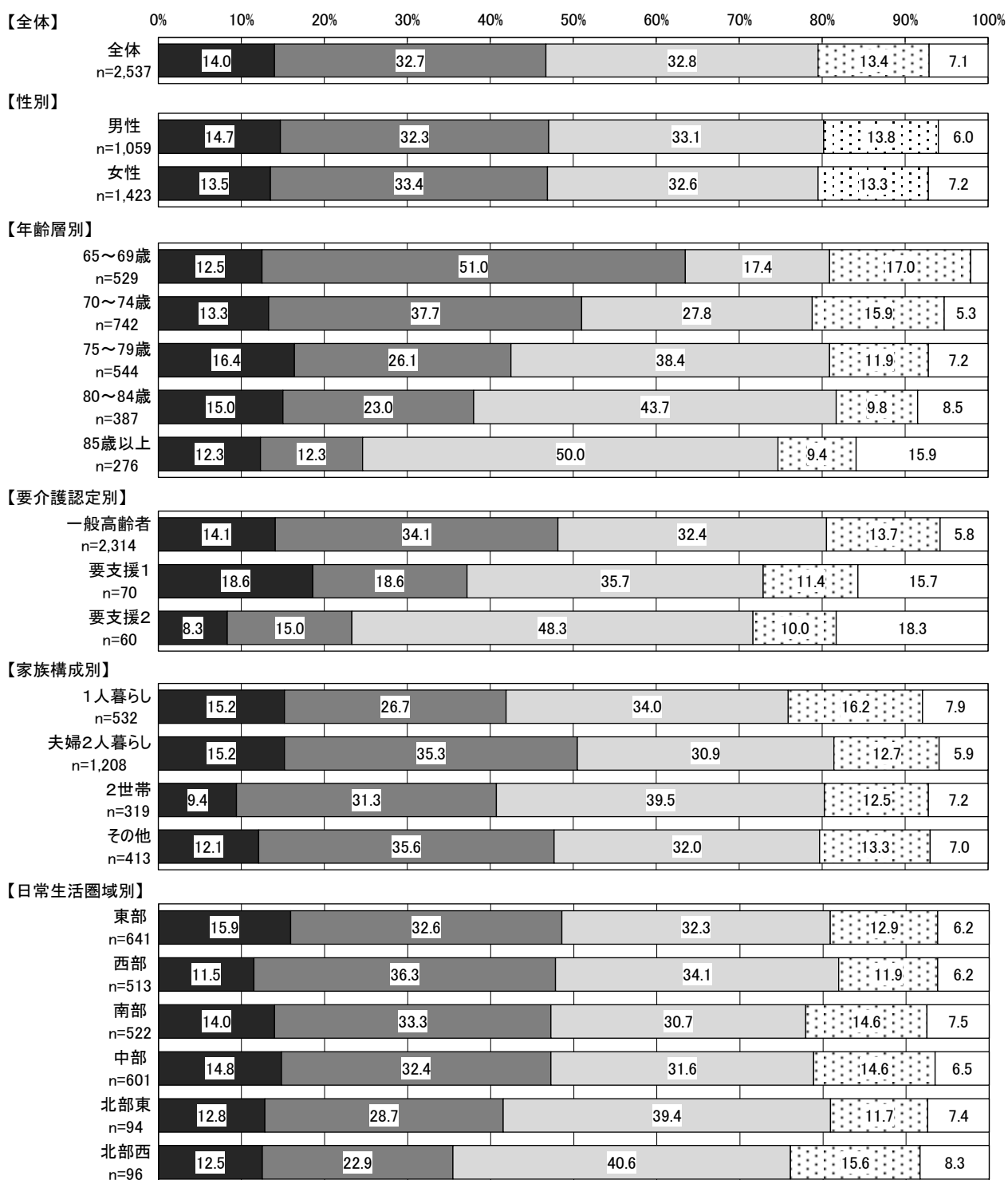
「はい」が71.0%を占めています。  
 男性は女性と比較して「はい」の割合が低くなっています。  
 後期高齢者(75歳以上)において年齢層が上がるほど、「はい」の割合が低くなっています。



#### 問4(6) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください(SA)

「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が32.8%で最も高くなっています。「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が32.7%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」が14.0%となっています。

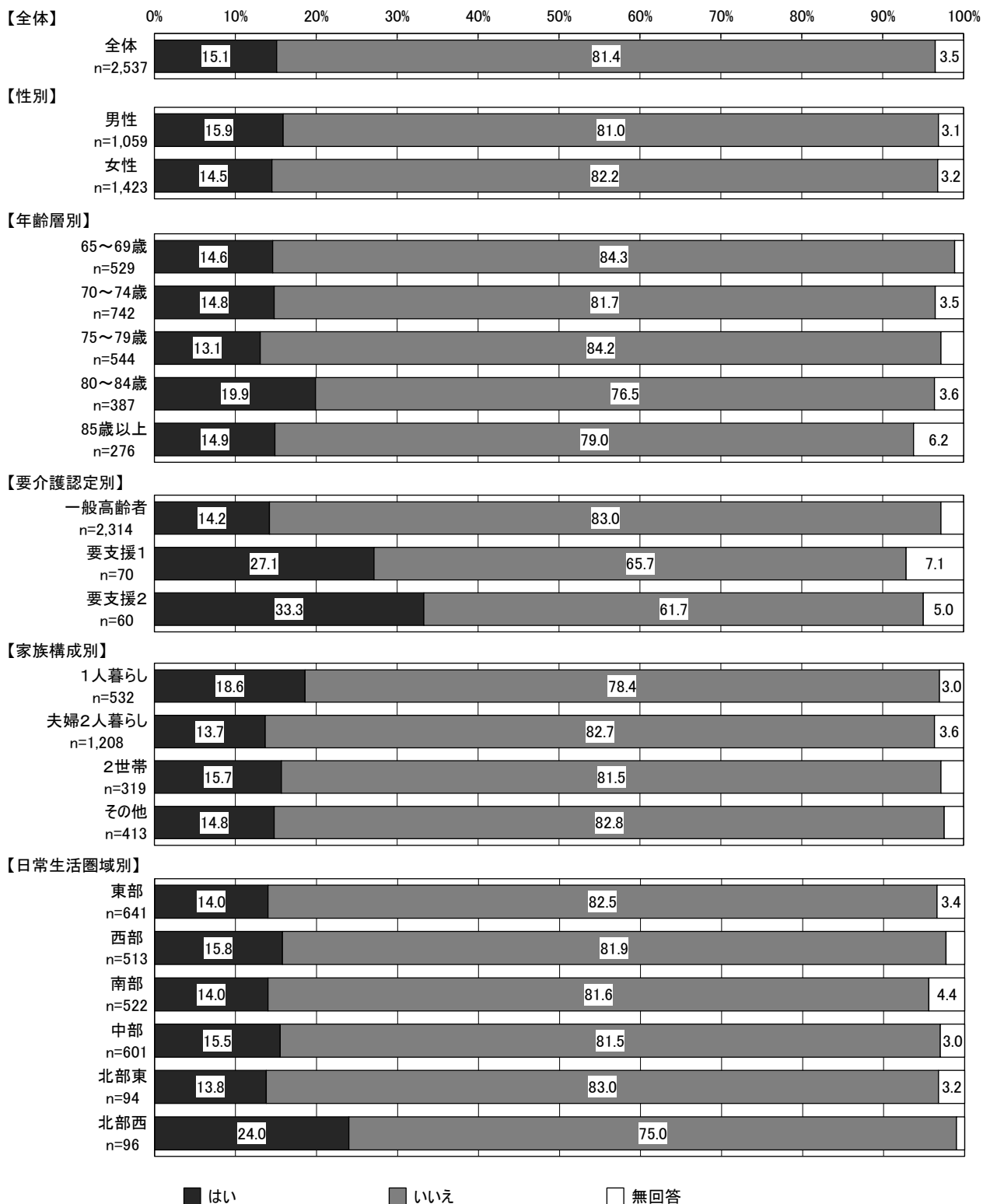
年齢層及び要介護度が上がるほど「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」の割合が低くなっています。



自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用
  自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし
  自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用
  自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし
  無回答

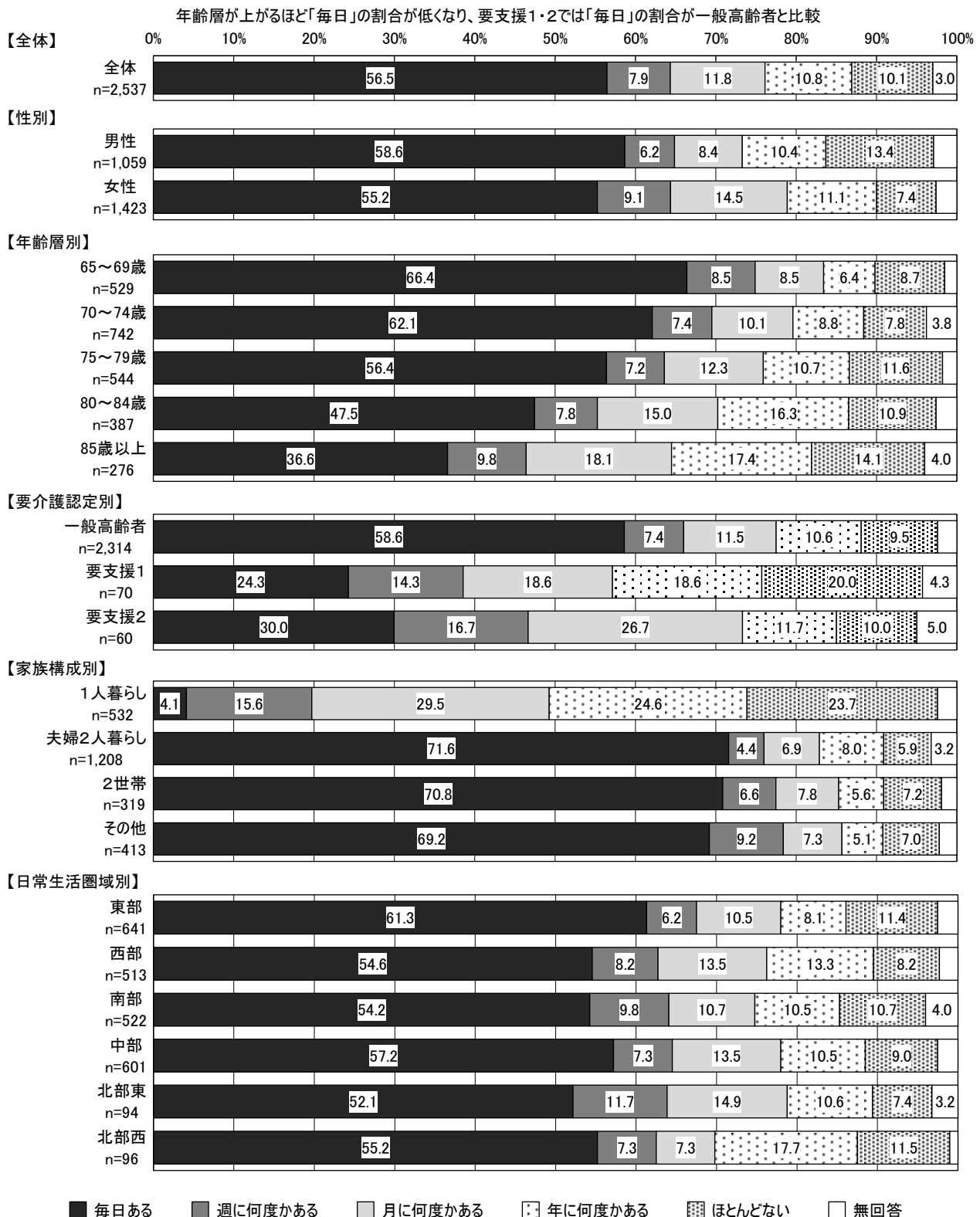
問4(7) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか(SA)

「はい」が15.1%となっています。  
 要介護度が上がるほど「はい」の割合が高くなっています。  
 「北部西」では「はい」の割合が他の地区と比較して高くなっています。



### 問4(8) どなたかと食事をとにもする機会がありますか(SA)

「毎日ある」が56.5%で最も高くなっています。「月に何度かある」が11.8%、「年に何度かある」が10.8%となっています。



## 4.2 【健康リスク判定】低栄養状態

### ■判定方法

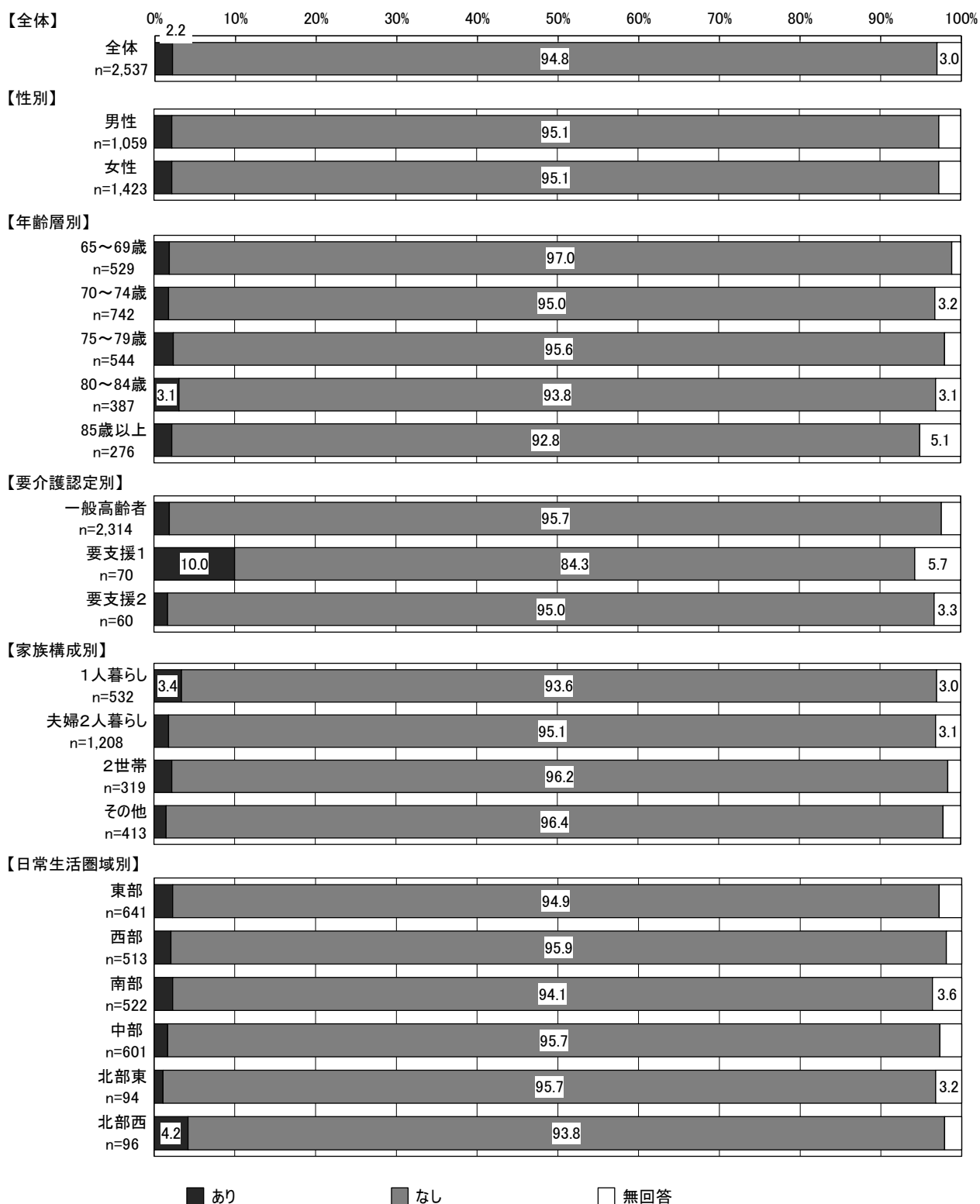
下記の設問で該当する選択肢（表の網掛け箇所）を回答された場合は、低栄養状態にある高齢者になります。

該当設問 問4 食べることについて

項目	設問	選択肢
(1)	身長、体重（BMI） （BMI = 体重 kg ÷ (身長m) ²）	18.5 以下
(7)	6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	1. はい 2. いいえ

## 低栄養状態 (SA)

「あり」は2.2%となっています。



### 4.3 【健康リスク判定】咀嚼機能の低下

#### ■判定方法

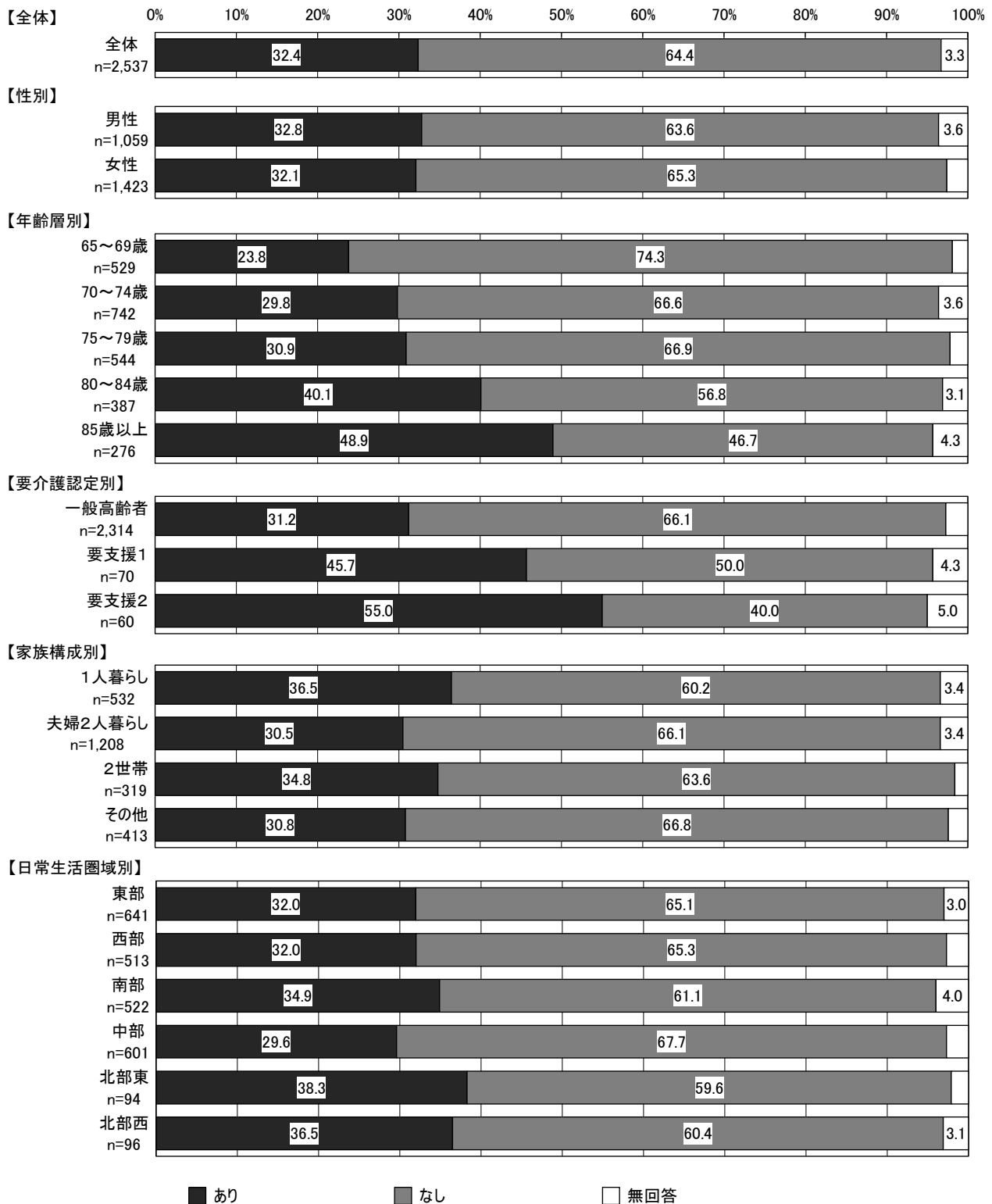
下記の設問で該当する選択肢（表の網掛け箇所）を回答された場合は、咀嚼機能の低下が疑われる高齢者になります。

該当設問 問4 食べることについて

項目	設問	選択肢
(2)	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1. はい 2. いいえ

## 咀嚼機能の低下 (SA)

「あり」は32.4%となっています。  
年齢層が上がるほど「あり」の割合が高くなっています。





## 4.4 【健康リスク判定】口腔機能の低下

### ■判定方法

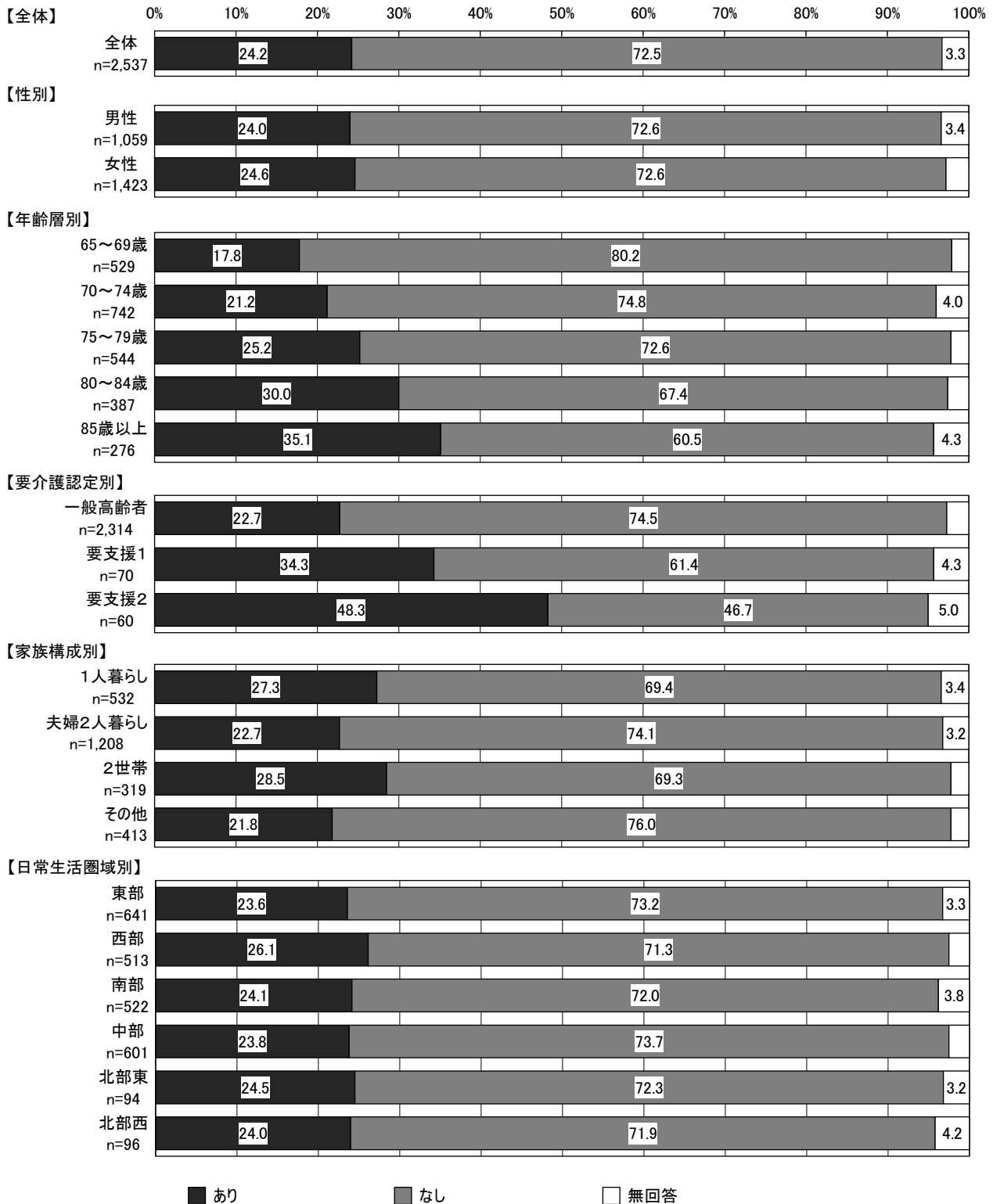
下記の設問で2問以上、該当する選択肢（表の網掛け箇所）を回答された場合は、口腔機能の低下が疑われる高齢者になります。

該当設問 問4 食べることについて

項目	設問	選択肢
(2)	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1. はい 2. いいえ
(3)	お茶や汁物等でむせることがありますか	1. はい 2. いいえ
(4)	口の渇きが気になりますか	1. はい 2. いいえ

## 口腔機能の低下 (SA)

「あり」は24.2%となっています。  
年齢層が上がるほど「あり」の割合が高くなっています。



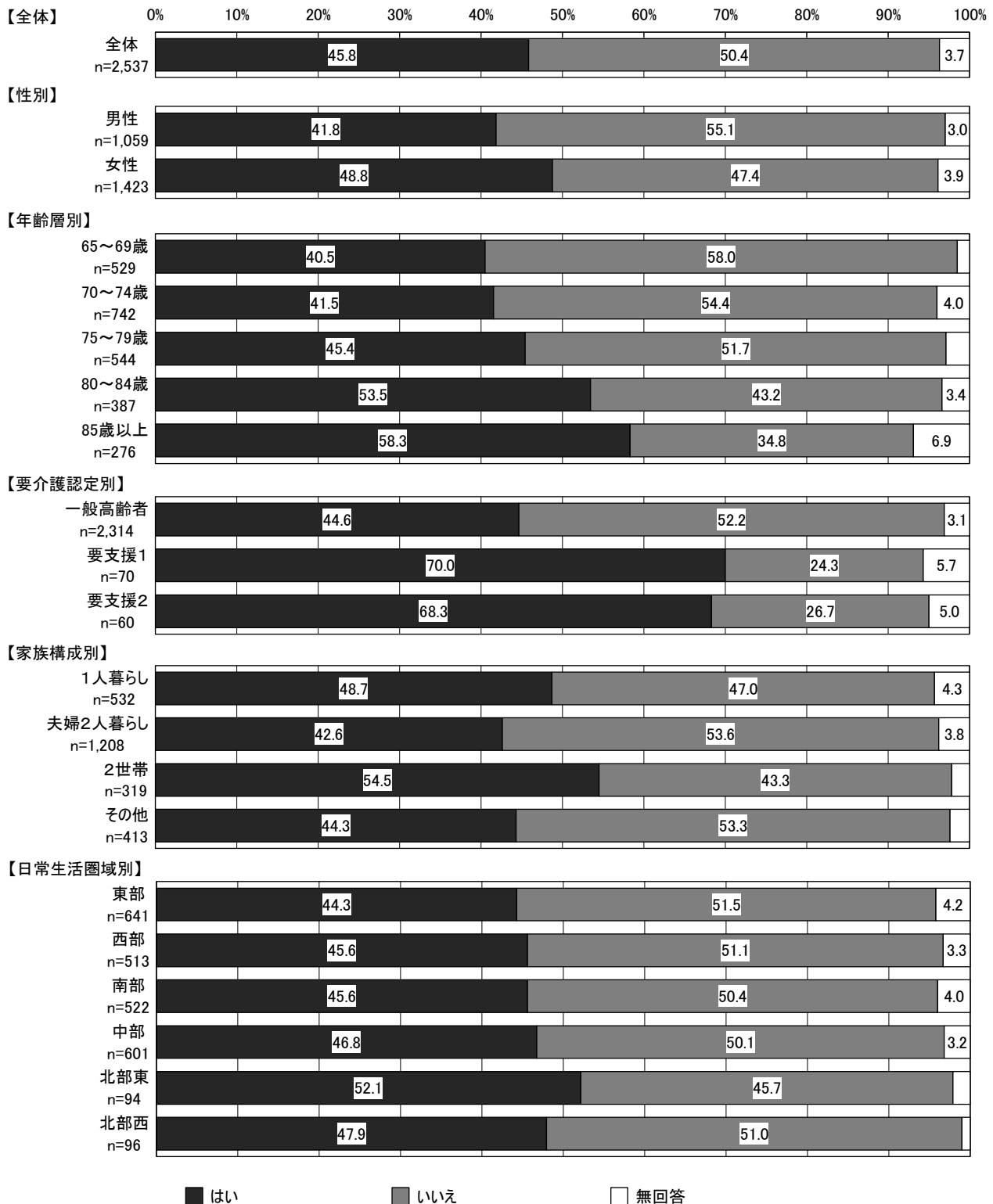
## 問5 毎日の生活について

### 5.1 集計結果

#### 問5(1) 物忘れが多いと感じますか(SA)

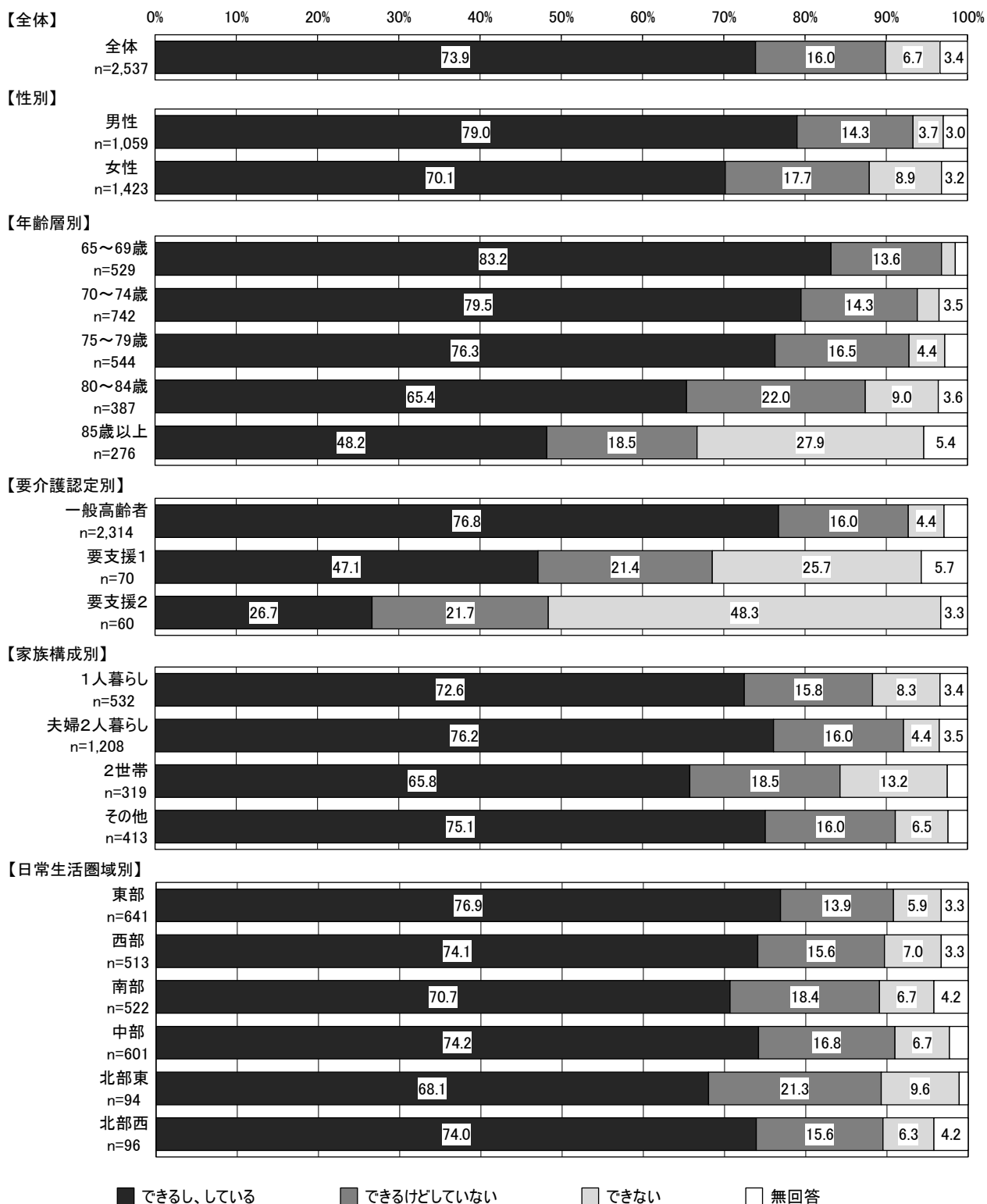
「はい」が45.8%となっています。

年齢層が上がるほど「はい」の割合が高くなり、要支援1・2では「はい」の割合が一般高齢者と比較して顕著に高くなっています。



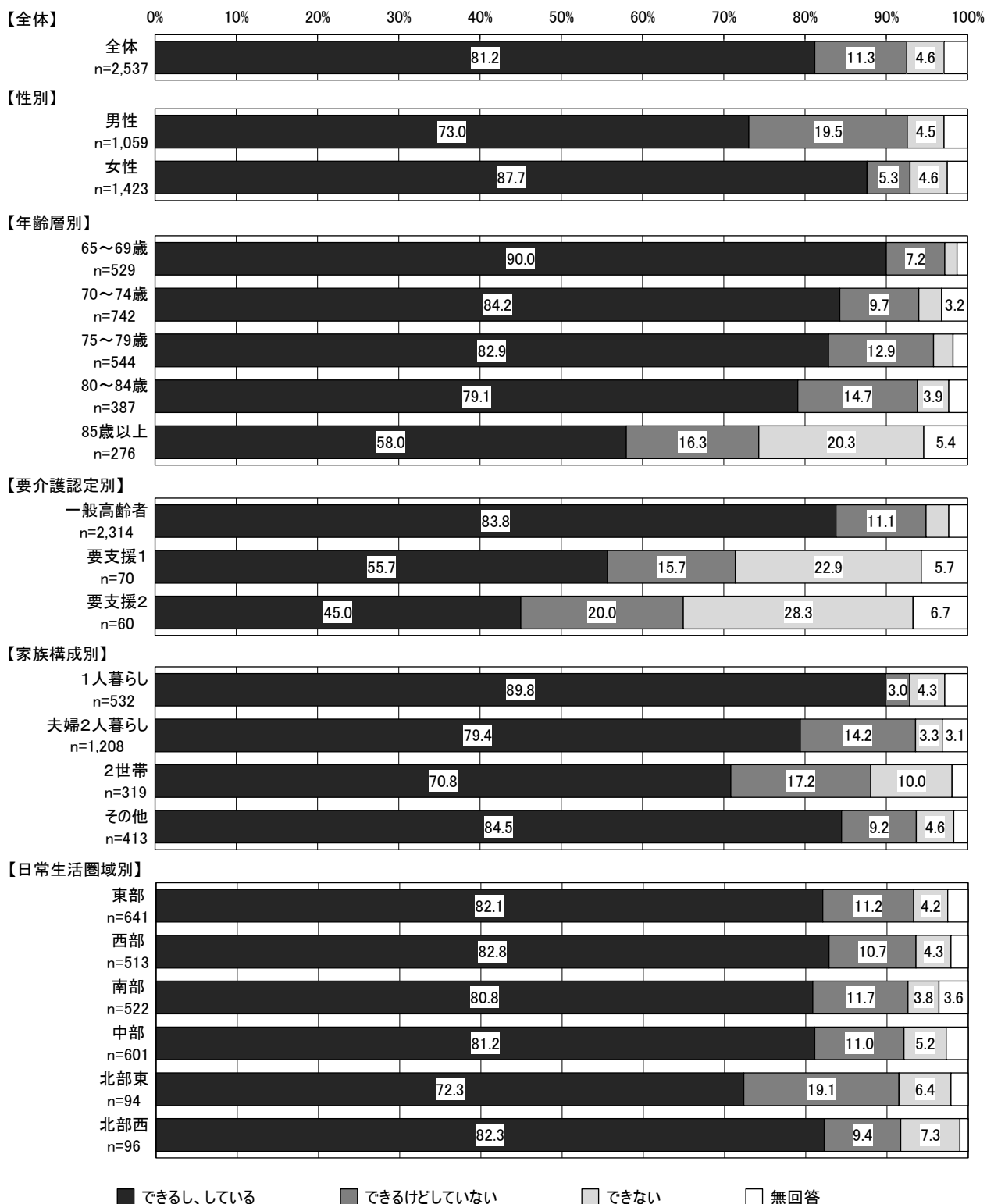
問5(2) バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)(SA)

「できるし、している」が73.9%を占めています。  
 年齢層及び要介護度が上がるほど「できるし、している」の割合が低くなっています。



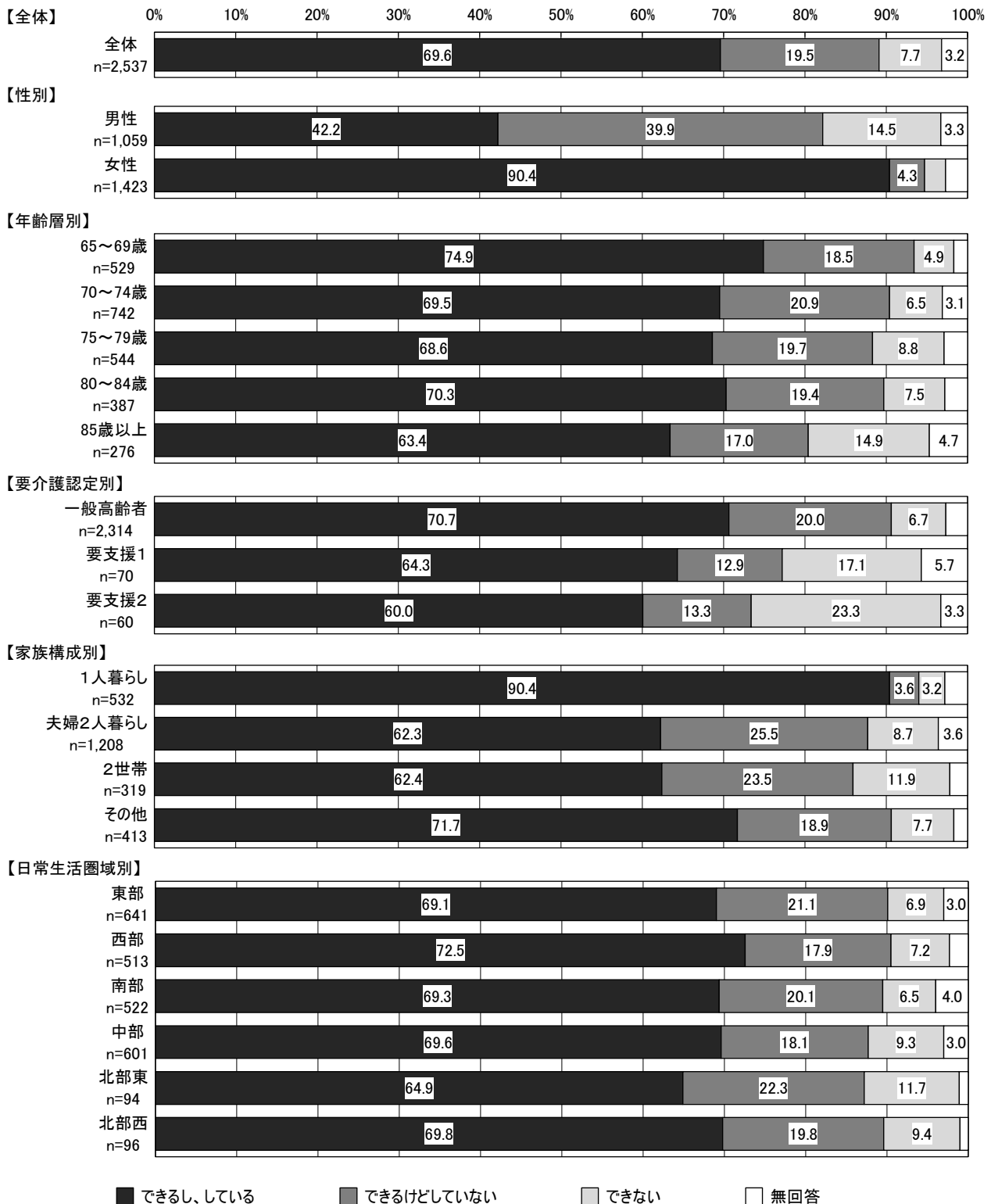
### 問5(3) 自分で食品・日用品の買物をしていますか(SA)

「できるし、している」が81.2%を占めています。  
 年齢層及び要介護度が上がるほど「できるし、している」の割合が低くなっています。



### 問5(4) 自分で食事の用意をしていますか(SA)

「できるし、している」が69.6%を占めています。  
 男性は女性と比較して「できるし、している」の割合が顕著に低くなっています。  
 要介護度が上がるほど「できるし、している」の割合が低くなっています。



問5(5) 今後の自分の食事の用意についてどんな不安がありますか(MA)

「不安はない」が54.5%で最も高くなっています。「買い物や外食する近くの店がなくなること」が18.6%、「用意してくれる人が高齢になること」が18.4%となっています。

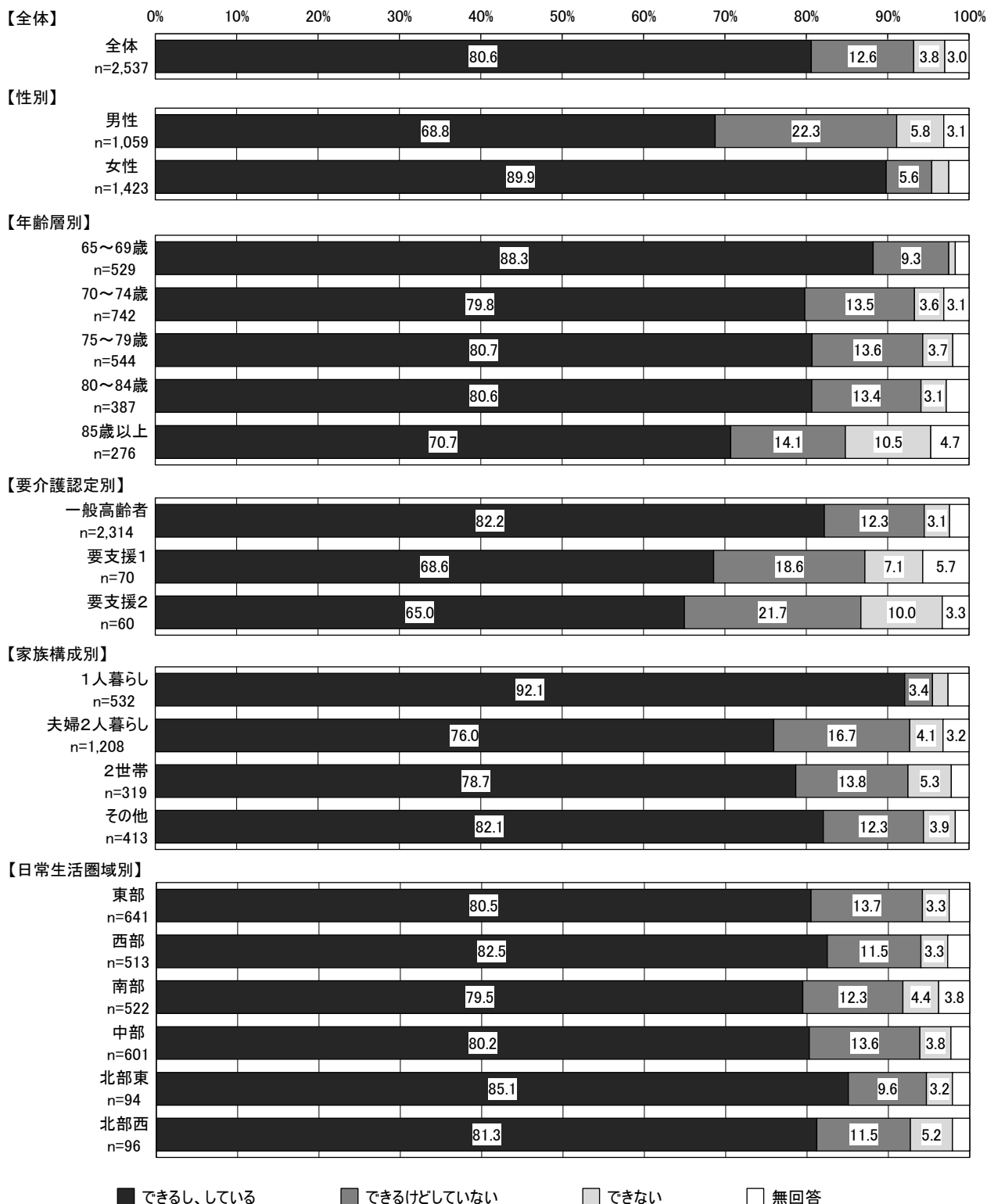
男性は女性と比較して「用意してくれる人が高齢になること」の割合が高くなっています。

年齢層及び要介護度が上がるほど「買い物や外食する近くの店がなくなること」の割合が高くなっています。

		不安はない	用意してくれる人が 高齢になること	弁当の配達(配食)が なくなること	近くの店がなくなること 買い物や外食する	その他	無回答
	全体 n=2,537	54.5	18.4	4.1	18.6	7.9	5.8
性別	男性 n=1,059	49.7	36.4	3.3	13.2	4.3	3.7
	女性 n=1,423	58.5	5.4	4.8	22.6	10.3	6.7
年齢層別	65～69歳 n=529	65.4	13.2	1.1	16.3	5.7	3.6
	70～74歳 n=742	56.2	19.7	3.2	18.6	7.1	4.9
	75～79歳 n=544	51.5	20.4	4.6	18.8	9.7	4.8
	80～84歳 n=387	49.6	20.9	6.2	19.9	8.8	5.4
	85歳以上 n=276	44.6	18.8	8.3	21.4	7.6	11.6
要介護認定別	一般高齢者 n=2,314	56.1	18.5	3.7	18.5	7.5	4.8
	要支援1 n=70	40.0	10.0	10.0	21.4	11.4	12.9
	要支援2 n=60	28.3	25.0	10.0	28.3	16.7	10.0
家族構成別	1人暮らし n=532	55.6	2.1	7.5	23.5	13.0	7.0
	夫婦2人暮らし n=1,208	49.7	27.6	3.6	18.8	6.0	5.2
	2世帯 n=319	62.7	17.2	2.8	15.4	5.0	5.0
	その他 n=413	63.2	14.3	2.7	14.3	8.0	3.9
日常生活圏域別	東部 n=641	55.5	18.7	4.1	16.8	6.7	5.1
	西部 n=513	58.3	17.3	3.7	13.3	10.9	4.5
	南部 n=522	55.6	16.9	4.0	18.4	7.5	6.5
	中部 n=601	52.7	19.5	4.8	22.6	7.7	5.3
	北部東 n=94	41.5	26.6	6.4	27.7	6.4	6.4
	北部西 n=96	53.1	20.8	2.1	25.0	2.1	5.2

### 問5(6) 自分で請求書の支払いをしていますか(SA)

「できるし、している」が80.6%を占めています。  
 85歳以上では他の年齢層と比較して「できるし、している」の割合が低くなっています。  
 要介護度が上がるほど「できるし、している」の割合が低くなっています。



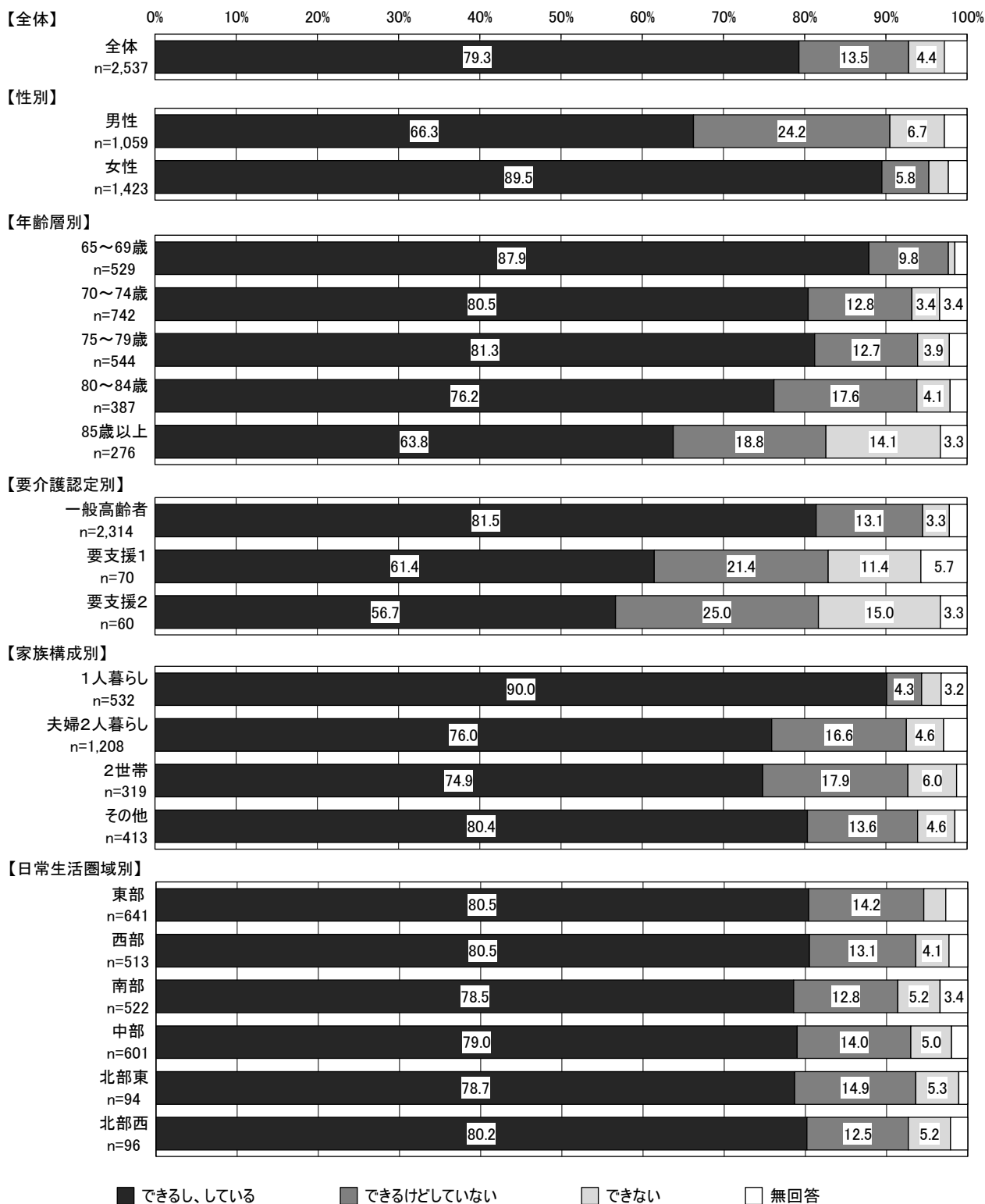


### 問5(7) 自分で預貯金の出し入れをしていますか(SA)

「できるし、している」が79.3%を占めています。

女性は男性と比較して「できるし、している」の割合が高くなっています。

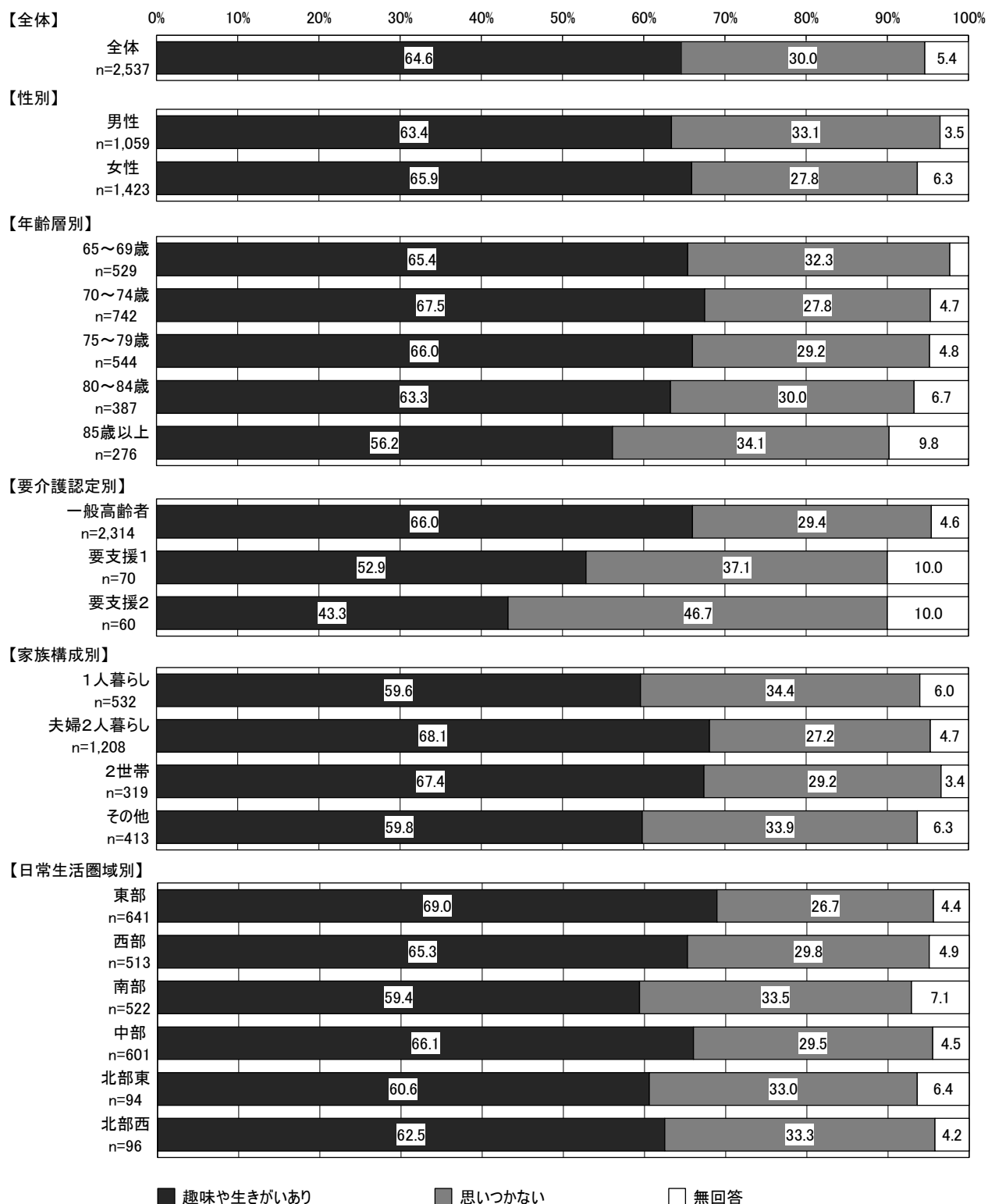
後期高齢者(75歳以上)において年齢層が上がるほど、また要介護度が上がるほど「できるし、している」の割合が低くなっています。



## 問5(8) 趣味や生きがいはありますか(SA)

「趣味や生きがいあり」が64.6%を占めています。

70歳以上において年齢層が上がるほど、また要介護度が上がるほど「趣味や生きがいあり」の割合が低くなっています。



## 5.2 【健康リスク判定】認知機能の低下

### ■判定方法

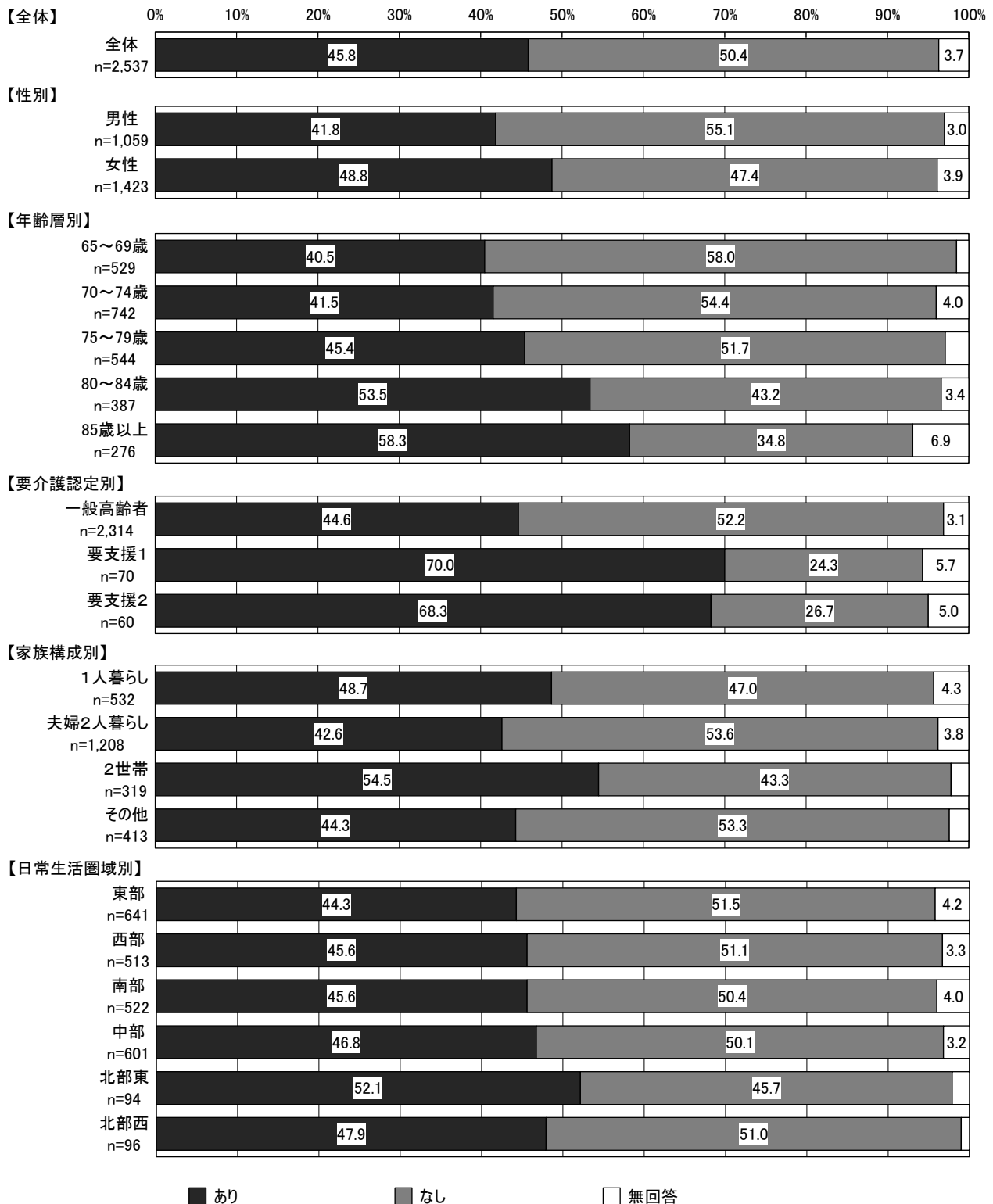
下記の設問で該当する選択肢（表の網掛け箇所）を回答された場合は、認知機能の低下がみられる高齢者になります。

該当設問 問5 毎日の生活について

項目	設問	選択肢
(1)	物忘れが多いと感じますか	1. はい 2. いいえ

## 認知機能の低下 (SA)

「あり」は45.8%となっています。  
 女性は男性と比較して「あり」の割合が高くなっています。  
 年齢層が上がるほど「あり」の割合が高くなっています。



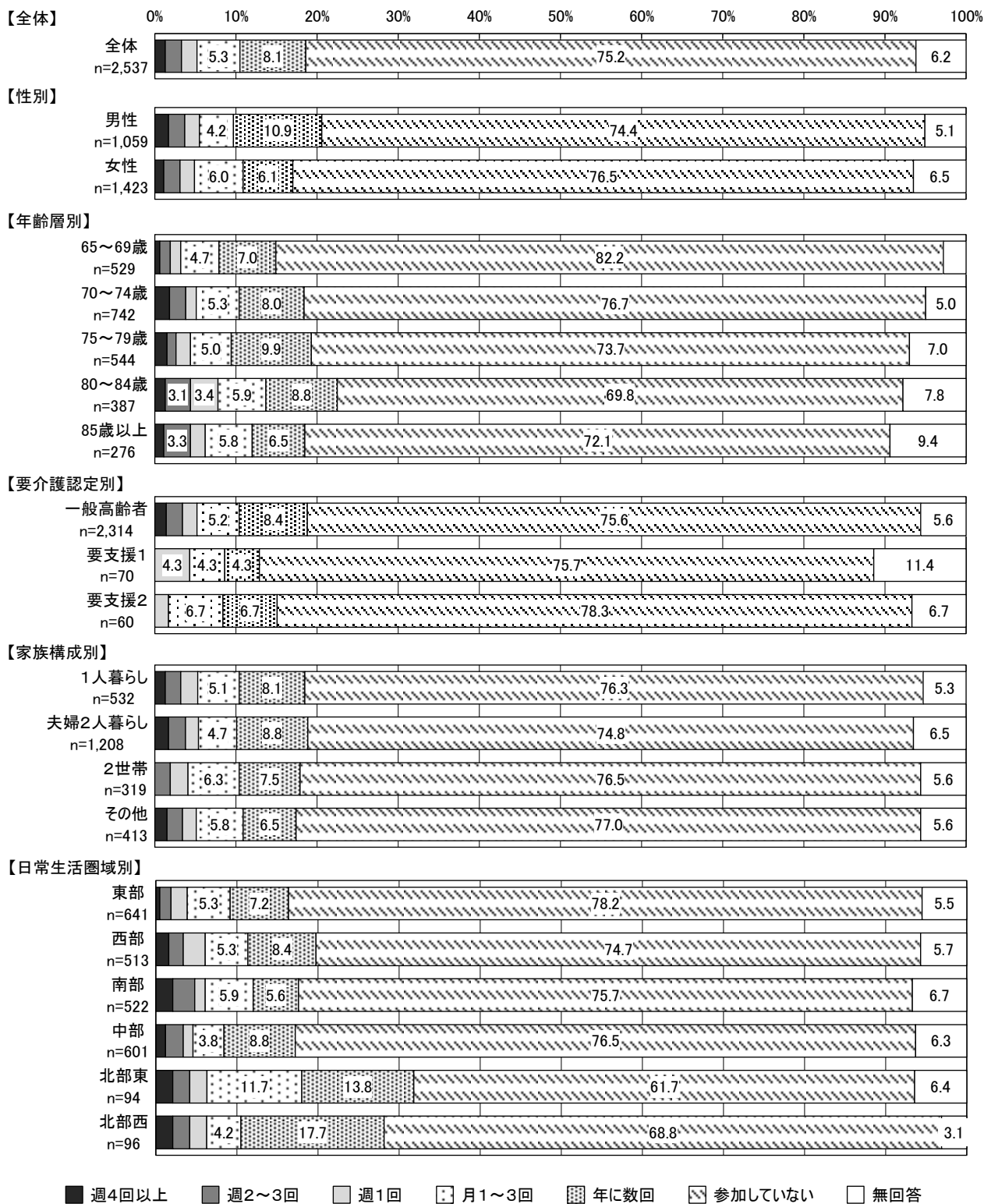
## 問6 地域での活動について

### 6.1 集計結果

#### 問6(1)①「ボランティアのグループ」にどのくらいの頻度で参加していますか(SA)

「参加していない」が75.2%で最も高くなっています。「年に数回」が8.1%、「月1～3回」が5.3%となっています。

「北部東」「北部西」では参加率が高くなっています。

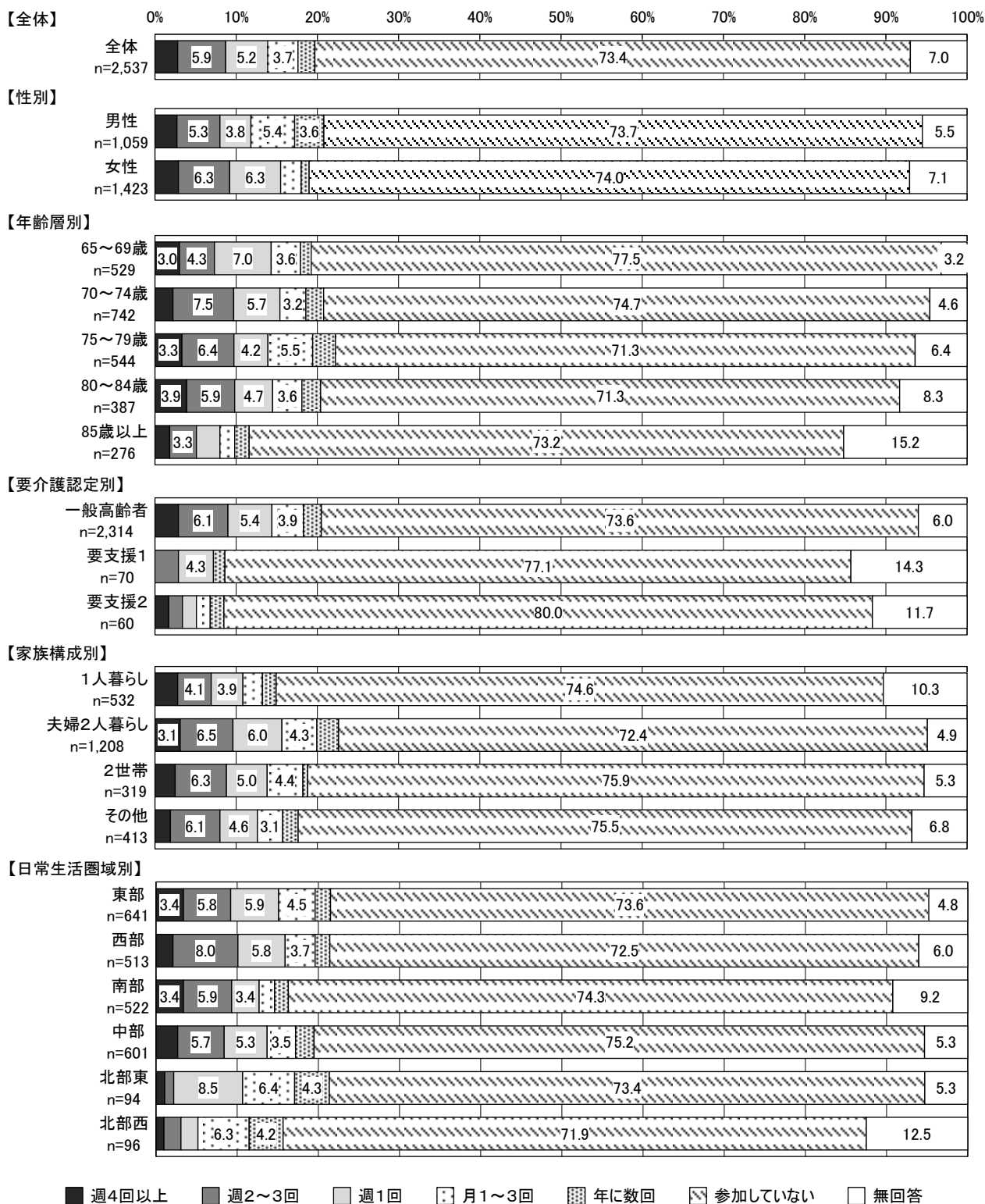


問6(1)② 「スポーツ関係のグループやクラブ」にどのくらいの頻度で参加していますか(SA)

「参加していない」が73.4%で最も高くなっています。「週2～3回」が5.9%、「週1回」が5.2%となっています。

要支援1・2は一般高齢者と比較して参加率が低くなっています。

1人暮らしでは参加率がやや低くなっています。

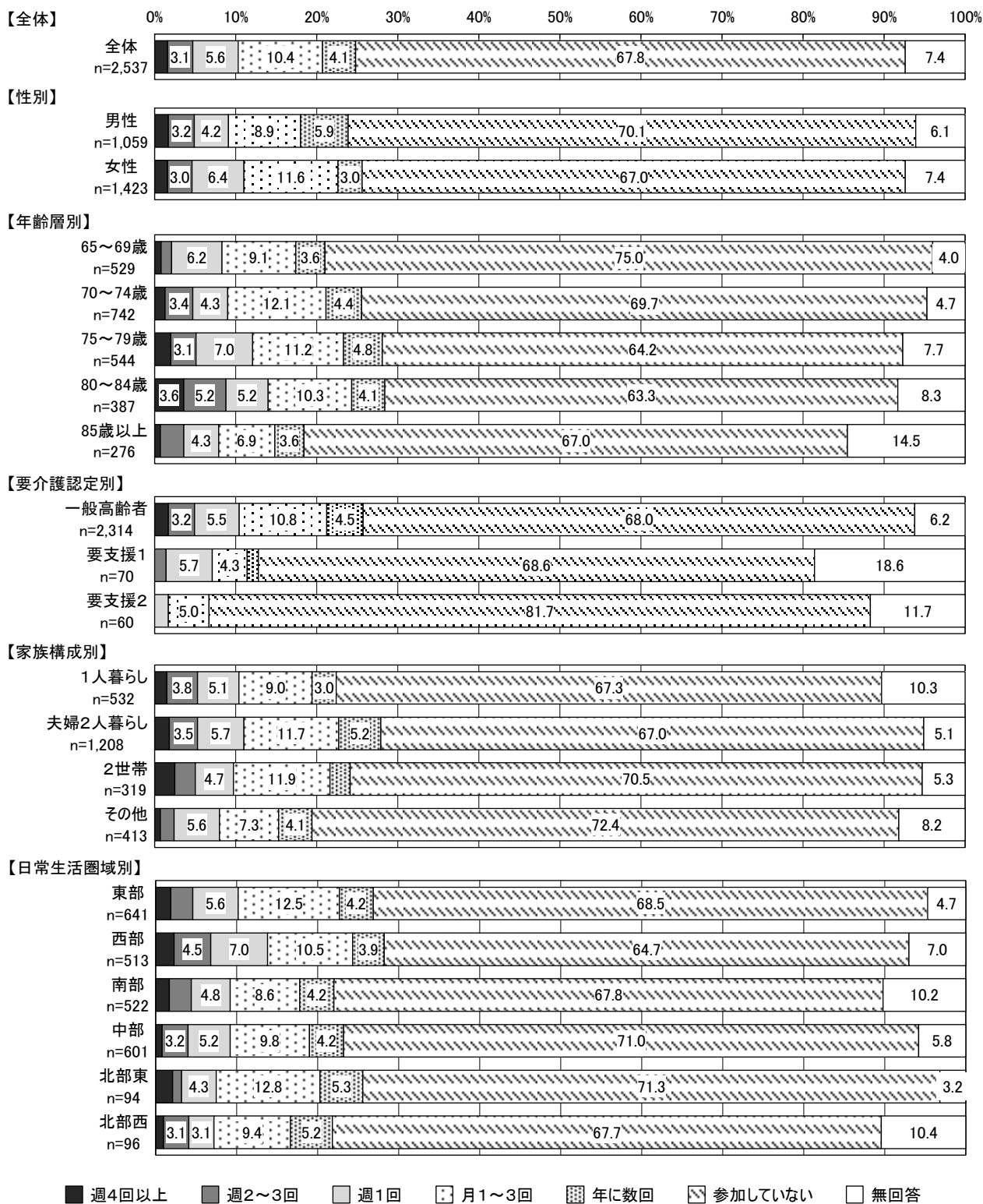


問6(1)③ 「趣味関係のグループ」にどのくらいの頻度で参加していますか(SA)

「参加していない」が67.8%で最も高くなっています。「月1～3回」が10.4%、「週1回」が5.6%となっています。

85歳以上では、他の年齢層と比較して参加率が低くなっています。

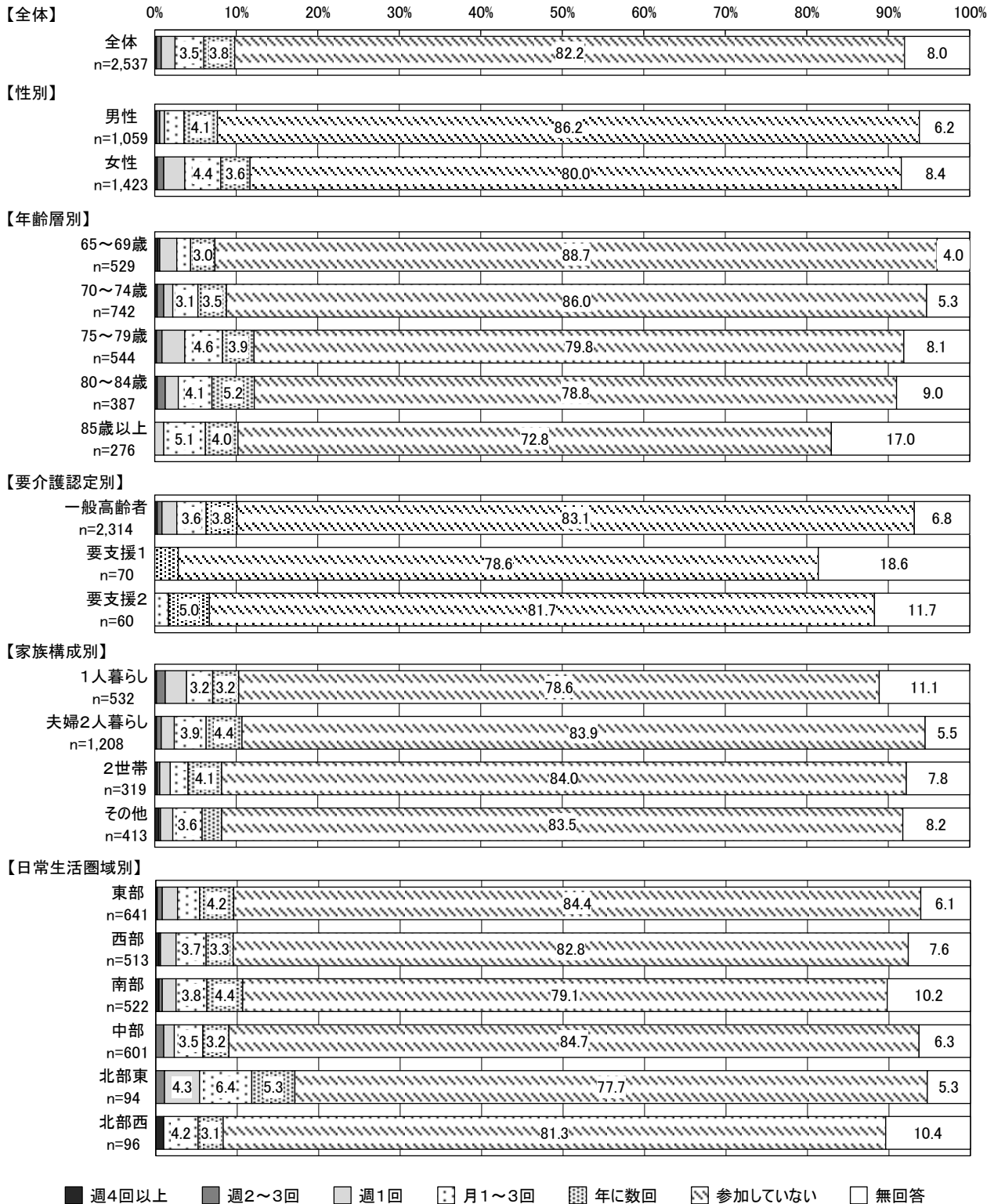
要支援1・2では参加率が一般高齢者と比較して顕著に低くなっています。



問6(1)④ 「学習・教養サークル」にどのくらいの頻度で参加していますか(SA)

「参加していない」が82.2%で最も高くなっています。「年に数回」が3.8%、「月1～3回」が3.5%となっています。

「北部東」では他の地区と比較して参加率が高くなっています。



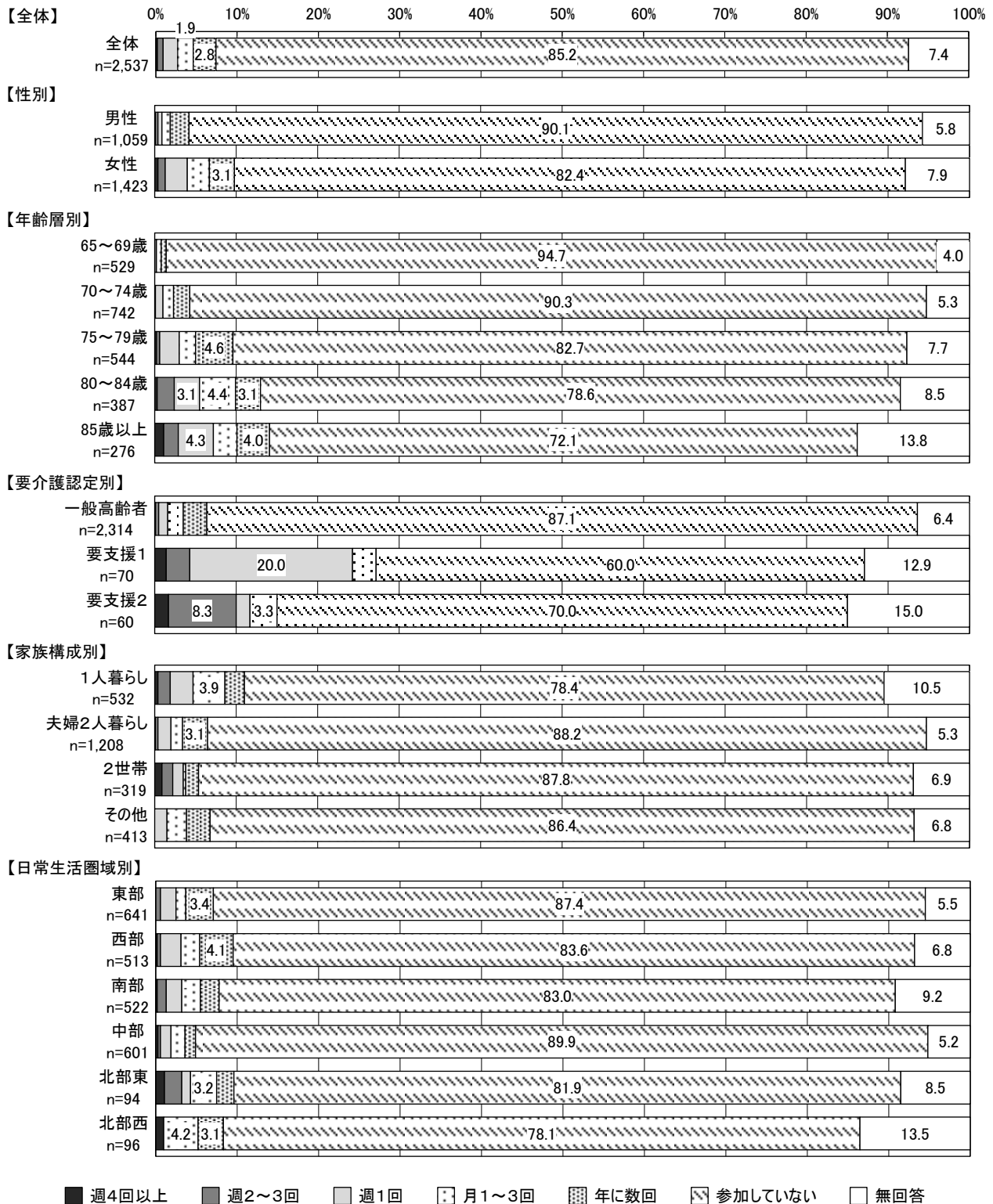


問6(1)⑤ 「介護予防のための通いの場」にどのくらいの頻度で参加していますか(SA)

「参加していない」が85.2%で最も高くなっています。「年に数回」が2.8%、「月1～3回」が1.9%となっています。

年齢層が上がるほど参加率が高くなっています。

要支援1は一般高齢者や要支援2と比較して参加率が高くなっています。

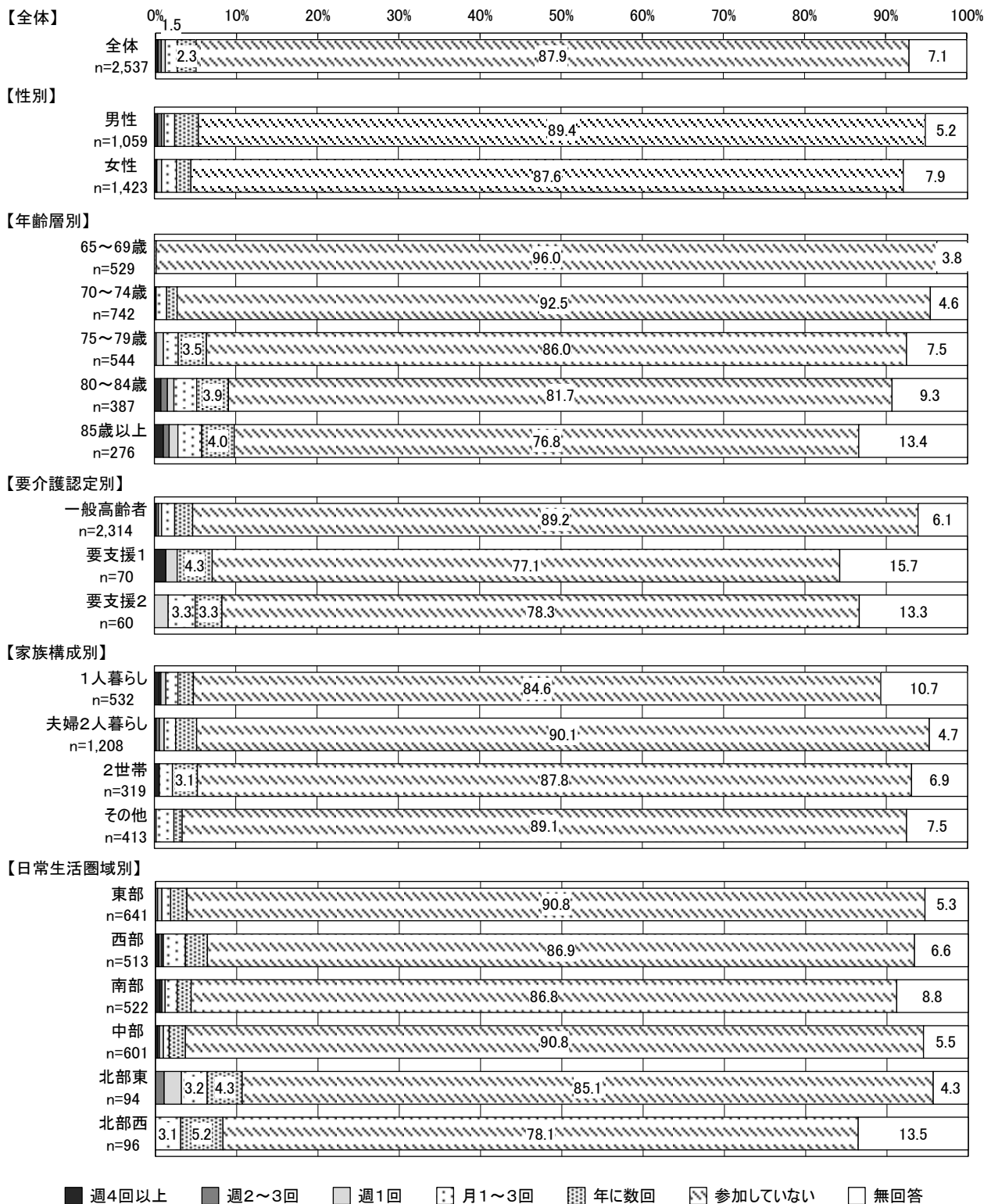


問6(1)⑥ 「老人クラブ」にどのくらいの頻度で参加していますか(SA)

「参加していない」が87.9%で最も高くなっています。「年に数回」が2.3%、「月1～3回」が1.5%となっています。

年齢層が上がるほど参加率が高くなっています。

「北部東」「北部西」では他の地区と比較して参加率がやや高くなっています。

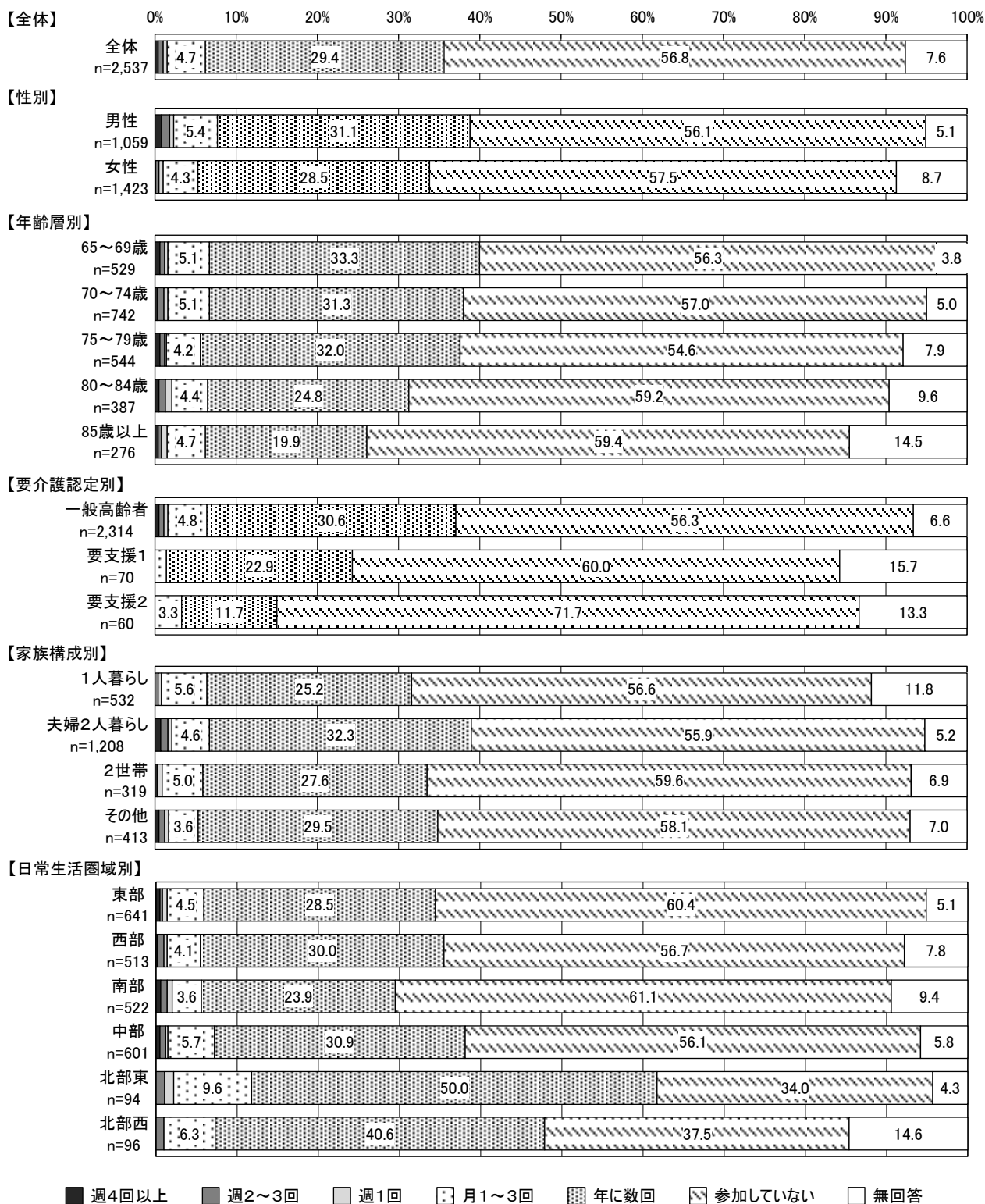


問6(1)⑦ 「町内会・自治会」にどのくらいの頻度で参加していますか(SA)

「参加していない」が56.8%で最も高くなっています。「年に数回」が29.4%、「月1～3回」が4.7%となっています。

男性は女性と比較して参加率が高くなっています。

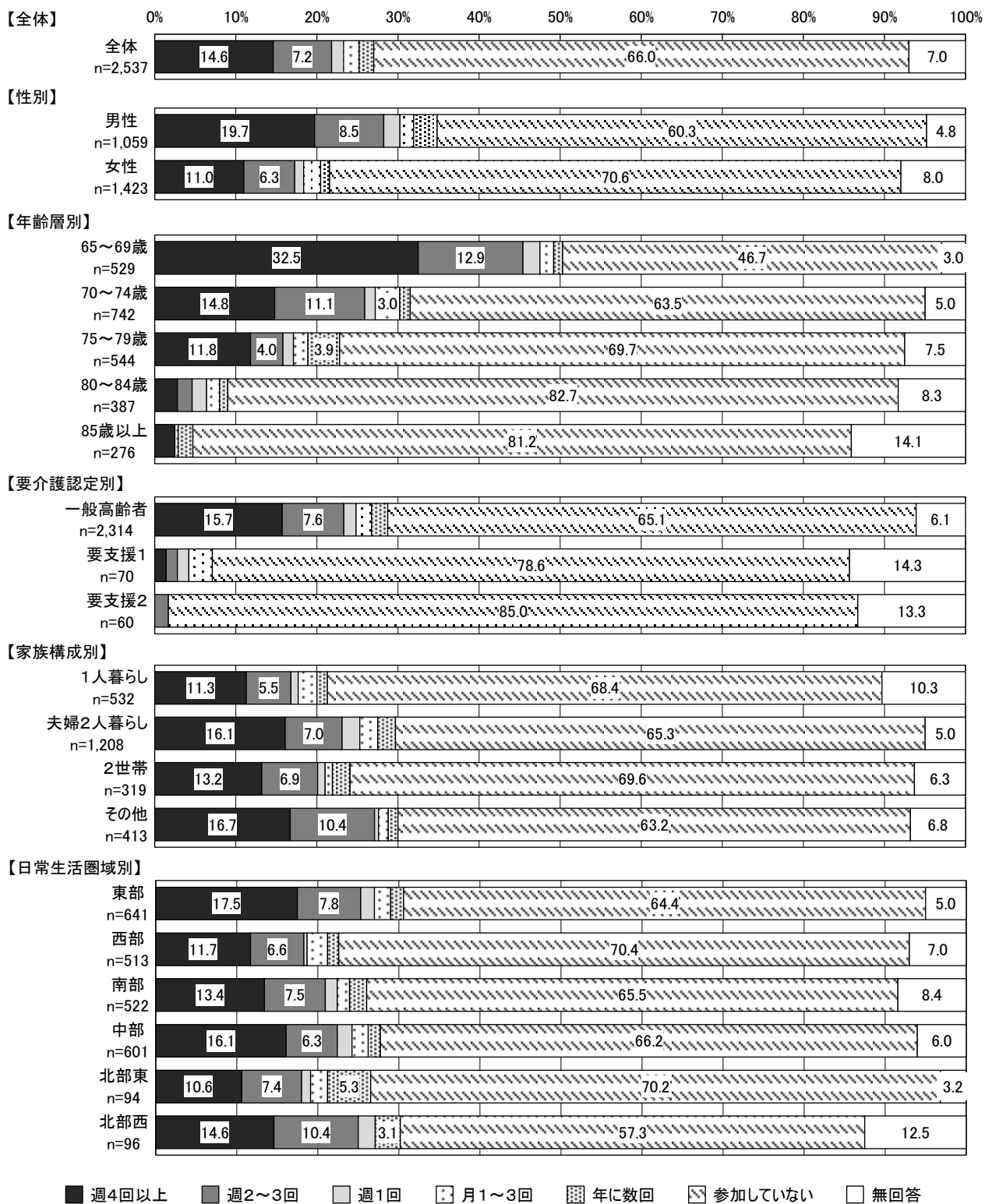
「北部東」では他の地区と比較して参加率がやや高くなっています。



問6(1)⑧ 「収入のある仕事」にどのくらいの頻度で参加していますか(SA)

「参加していない」が66.0%で最も高くなっています。「週4回以上」が14.6%、「週2～3回」が7.2%となっています。

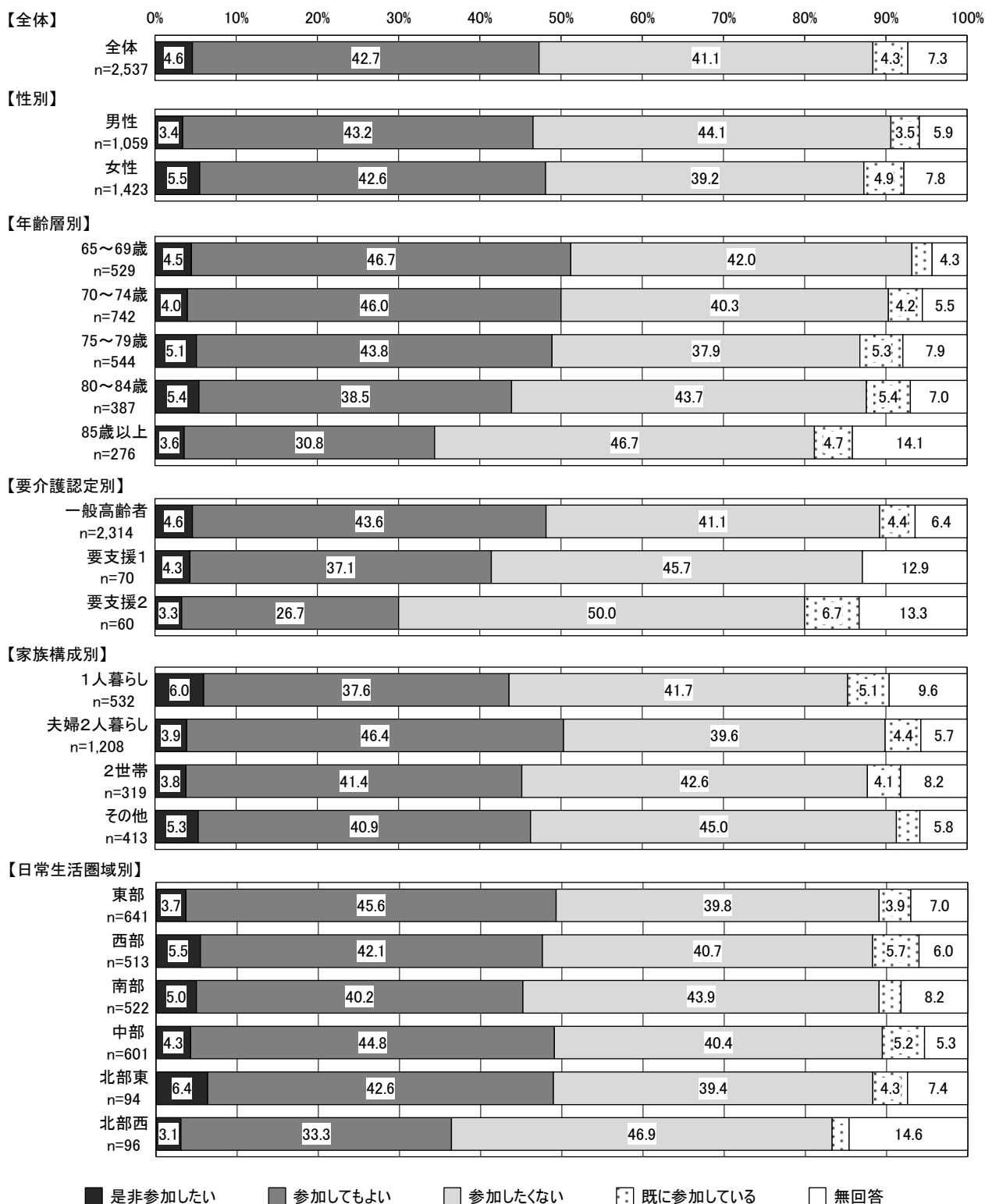
年齢層が上がるほど参加率が低くなり、要支援1・2では参加率が一般高齢者と比較して顕著に低くなっています。



問6(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか(SA)

「参加してもよい」が42.7%最も高くなっています。「参加したくない」が41.1%、「是非参加したい」が4.6%となっています。

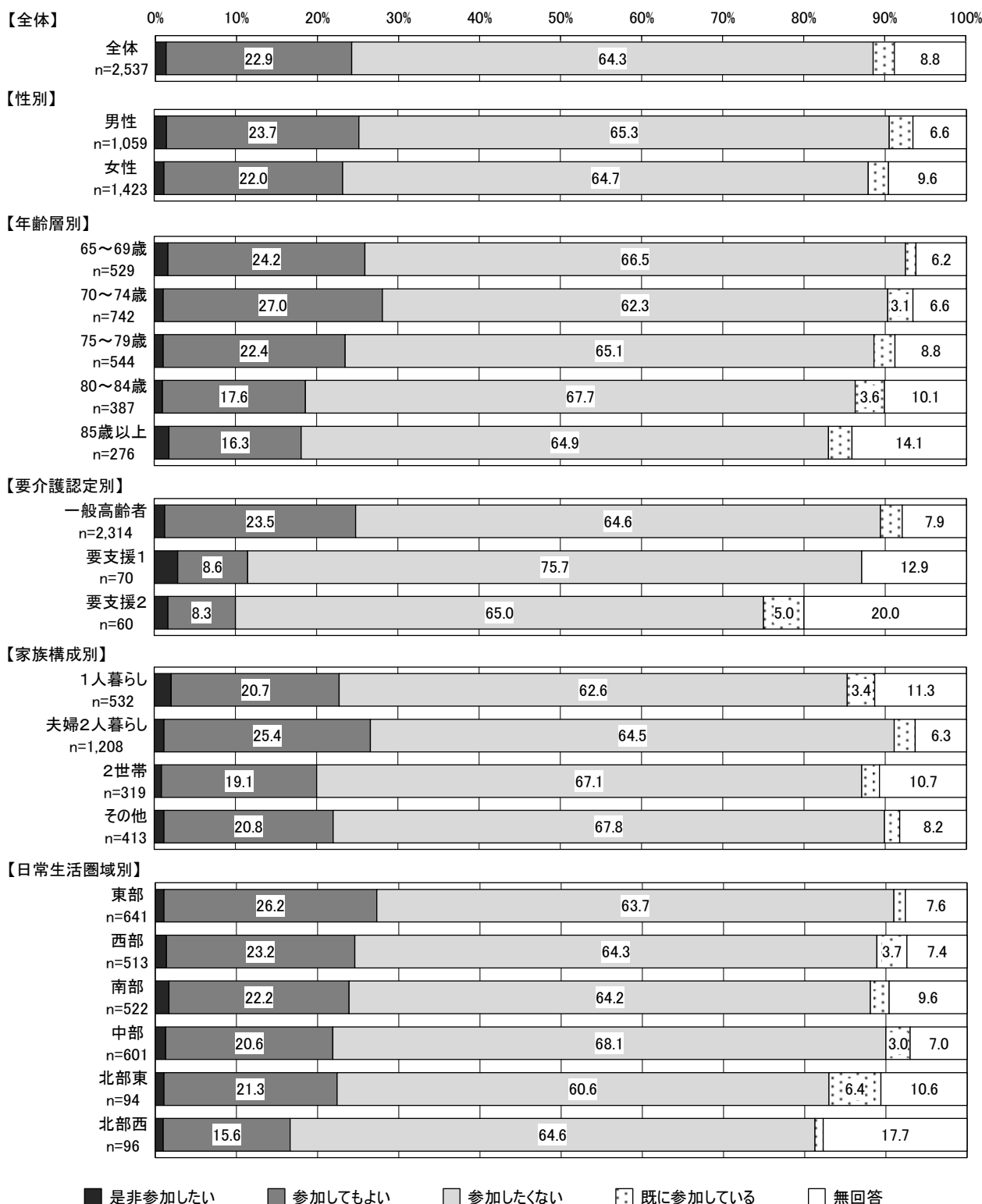
年齢層及び要介護度が上がるほど「是非参加したい」「参加してもよい」を合わせた割合が低くなっています。



■ 是非参加したい ■ 参加してもよい □ 参加したくない □ 既に参加している □ 無回答

問6(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか(SA)

「参加したくない」が64.3%で最も高くなっています。「参加してもよい」が22.9%となっています。



問6(4) どのようなきっかけがあれば、介護予防につながる活動(健康づくり活動)に参加しやすいですか(MA)

「特にない・わからない」が53.2%で最も高くなっています。「試しに一度参加できる仮体験イベントが開催される」が17.7%、「実際に活動している団体・個人等からの誘いがある」が14.6%となっています。女性は男性と比較して「試しに一度参加できる仮体験イベントが開催される」の割合が高くなっています。65～69歳では他の年齢層と比較して「試しに一度参加できる仮体験イベントが開催される」「冊子やインターネットなどで活動のようすがわかる」の割合が高くなっています。

		実際に活動している団体・個人等からの誘いがある	仮体験イベントが開催される 試しに一度参加できる	冊子やインターネットなどで活動のようすがわかる	会社、グループ等自身所属する組織で参加する	相談窓口で、活動のようすがわかる情報提供や誘いがある	その他	特にない・わからない	無回答
	全体 n=2,537	14.6	17.7	7.7	2.8	6.3	3.7	53.2	10.1
性別	男性 n=1,059	13.1	14.1	8.7	3.4	6.8	2.9	59.8	6.5
	女性 n=1,423	15.7	20.7	7.0	2.3	6.0	4.4	48.8	11.9
年齢層別	65～69歳 n=529	15.9	27.8	14.0	5.1	6.2	2.3	49.3	4.7
	70～74歳 n=742	13.3	17.9	7.7	2.3	6.5	3.8	54.9	8.0
	75～79歳 n=544	14.3	17.3	5.5	2.6	7.0	3.5	55.5	9.4
	80～84歳 n=387	17.1	11.4	4.7	1.8	6.2	4.9	55.0	12.7
	85歳以上 n=276	12.0	8.7	4.0	1.4	4.7	5.8	52.5	19.2
要介護認定別	一般高齢者 n=2,314	14.8	18.5	8.1	2.9	6.2	3.6	53.7	8.8
	要支援1 n=70	8.6	8.6	-	1.4	8.6	5.7	57.1	15.7
	要支援2 n=60	15.0	3.3	5.0	-	5.0	3.3	48.3	25.0
家族構成別	1人暮らし n=532	14.8	15.0	4.7	1.7	6.6	4.3	53.9	14.1
	夫婦2人暮らし n=1,208	16.6	19.6	8.9	3.5	6.6	2.7	53.6	7.0
	2世帯 n=319	10.0	14.1	7.2	1.9	6.9	4.1	55.2	11.9
	その他 n=413	11.1	19.9	8.7	2.7	5.1	5.8	51.8	9.2
日常生活圏域別	東部 n=641	14.5	18.4	9.2	3.4	5.3	3.3	54.8	7.8
	西部 n=513	15.0	17.5	6.0	2.9	5.8	4.3	52.8	9.4
	南部 n=522	13.4	16.5	5.9	2.9	6.3	4.2	55.4	10.7
	中部 n=601	14.1	20.3	9.5	2.0	8.8	3.8	51.7	8.7
	北部東 n=94	18.1	14.9	9.6	2.1	5.3	4.3	51.1	12.8
	北部西 n=96	19.8	14.6	4.2	3.1	3.1	2.1	46.9	18.8

## 問7 たすけあいについて

### 7.1 集計結果

#### 問7(1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人は誰ですか(MA)

「配偶者」が51.3%で最も高くなっています。「友人」が33.9%、「別居の子ども」が30.5%となっています。

男性は女性と比較して「配偶者」の割合が高く、女性は男性と比較して「同居の子ども」「別居の子ども」「近隣」「友人」等の割合が高くなっています。

1人暮らしでは他の世帯と比較して「そのような人はいない」の割合が高くなっています。

		配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親戚・親・孫 兄弟姉妹	近隣	友人	その他	人その はいよう ないな	無回答
全体 n=2,537		51.3	14.9	30.5	24.6	9.3	33.9	2.0	5.4	5.1
性別	男性 n=1,059	67.6	10.1	18.7	15.6	5.3	22.1	1.7	8.3	4.4
	女性 n=1,423	39.6	18.7	39.1	31.7	12.4	43.1	2.3	3.3	4.9
年齢層別	65～69歳 n=529	58.0	13.8	31.4	26.5	7.2	39.1	3.0	5.5	3.2
	70～74歳 n=742	60.0	14.7	27.0	25.6	9.3	37.7	1.1	4.7	3.8
	75～79歳 n=544	53.1	13.4	29.6	25.6	10.8	35.5	2.4	5.9	5.3
	80～84歳 n=387	43.4	14.5	30.7	26.1	9.0	29.7	2.3	5.7	4.4
	85歳以上 n=276	24.3	22.5	39.1	16.3	11.2	19.2	1.8	6.2	9.1
要介護認定別	一般高齢者 n=2,314	53.4	15.0	29.9	25.1	9.4	34.7	1.9	5.4	4.1
	要支援1 n=70	25.7	12.9	37.1	24.3	8.6	31.4	4.3	8.6	11.4
	要支援2 n=60	25.0	16.7	45.0	13.3	10.0	25.0	5.0	5.0	13.3
家族構成別	1人暮らし n=532	0.4	0.6	40.4	32.7	14.1	41.7	3.8	12.8	7.5
	夫婦2人暮らし n=1,208	79.6	2.2	31.5	20.4	7.4	33.4	1.1	2.9	3.2
	2世帯 n=319	45.1	57.7	22.3	23.5	9.1	27.9	2.5	2.5	5.3
	その他 n=413	41.2	37.8	21.3	28.1	9.0	31.2	2.4	5.8	4.6
日常生活圏域別	東部 n=641	56.2	14.5	33.2	25.9	7.8	34.3	2.8	5.0	3.9
	西部 n=513	51.7	18.3	30.6	25.7	11.5	34.9	1.9	3.3	3.9
	南部 n=522	45.4	12.8	25.1	25.9	6.1	32.4	1.3	7.5	7.1
	中部 n=601	52.7	14.1	32.9	24.0	9.0	35.9	2.3	5.3	3.8
	北部東 n=94	51.1	16.0	30.9	20.2	20.2	31.9	1.1	4.3	2.1
	北部西 n=96	49.0	18.8	24.0	20.8	18.8	30.2	-	7.3	10.4



問7(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人は誰ですか(MA)

「配偶者」が49.5%で最も高くなっています。「友人」が34.5%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が26.2%となっています。

男性は女性と比較して「配偶者」の割合が高く、女性は男性と比較して「同居の子ども」「別居の子ども」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」「近隣」「友人」の割合が高くなっています。

1人暮らしでは他の世帯と比較して「そのような人はいない」の割合が高くなっています。

		配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親戚・親・孫・兄弟姉妹	近隣	友人	その他	人はいない	そのような人	無回答
全体 n=2,537		49.5	12.1	25.5	26.2	11.9	34.5	1.8	7.4	5.4	
性別	男性 n=1,059	66.5	8.3	17.9	18.8	7.0	21.6	2.0	10.0	4.5	
	女性 n=1,423	37.4	15.0	31.5	32.2	15.7	44.3	1.7	5.3	5.4	
年齢層別	65～69歳 n=529	56.3	12.7	28.5	31.6	8.5	37.1	3.0	5.5	3.0	
	70～74歳 n=742	58.0	12.7	26.3	27.6	13.1	38.8	1.2	5.3	4.2	
	75～79歳 n=544	51.5	11.0	24.6	24.6	12.5	37.9	1.3	6.6	5.7	
	80～84歳 n=387	42.1	8.8	24.3	26.6	12.7	30.0	1.6	9.3	5.2	
	85歳以上 n=276	21.7	17.0	22.8	17.0	13.8	19.2	2.2	15.6	10.1	
要介護認定別	一般高齢者 n=2,314	51.6	12.1	25.5	26.8	11.8	35.1	1.8	7.1	4.6	
	要支援1 n=70	24.3	14.3	28.6	27.1	11.4	32.9	2.9	10.0	8.6	
	要支援2 n=60	26.7	13.3	31.7	15.0	16.7	20.0	3.3	10.0	15.0	
家族構成別	1人暮らし n=532	0.2	0.6	29.5	30.8	15.6	41.2	1.9	17.3	7.1	
	夫婦2人暮らし n=1,208	76.6	1.9	27.7	23.2	10.2	33.8	1.2	3.4	3.9	
	2世帯 n=319	46.4	46.1	19.7	25.4	12.5	31.7	2.2	5.3	5.3	
	その他 n=413	38.0	30.0	19.9	31.0	11.4	30.8	3.1	7.7	5.3	
日常生活圏域別	東部 n=641	54.6	12.0	30.4	28.4	10.0	35.7	3.0	7.3	3.9	
	西部 n=513	49.7	15.2	25.0	27.3	12.7	34.3	1.2	5.5	5.3	
	南部 n=522	43.9	10.7	22.6	27.0	11.3	33.1	0.8	8.8	7.1	
	中部 n=601	51.7	11.5	24.8	25.3	12.6	36.8	2.0	7.5	3.5	
	北部東 n=94	41.5	9.6	22.3	18.1	20.2	29.8	2.1	6.4	5.3	
	北部西 n=96	45.8	11.5	24.0	24.0	14.6	30.2	1.0	7.3	11.5	

問7(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人は誰ですか(MA)

「配偶者」が56.8%で最も高くなっています。「別居の子ども」が29.4%、「同居の子ども」が18.1%となっています。

要介護度が上がるほど「そのような人はいない」の割合が高くなっています。

1人暮らしでは他の世帯と比較して「そのような人はいない」の割合が高くなっています。

		配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親戚・親・孫 兄弟姉妹・	近隣	友人	その他	人その はいよ うない	無回答
全体 n=2,537		56.8	18.1	29.4	12.1	1.3	4.7	1.5	7.3	5.2
性別	男性 n=1,059	71.6	11.8	19.8	9.6	0.8	1.9	0.8	8.3	4.2
	女性 n=1,423	46.3	22.8	36.6	14.1	1.5	6.8	2.0	6.5	5.3
年齢層別	65～69歳 n=529	65.8	14.4	24.6	12.5	0.4	4.0	1.1	7.9	3.4
	70～74歳 n=742	66.8	18.3	26.3	11.6	0.9	4.9	1.1	5.7	3.4
	75～79歳 n=544	58.8	16.5	29.4	12.7	2.2	5.9	0.9	8.6	5.9
	80～84歳 n=387	47.0	18.6	32.8	13.7	0.5	5.2	2.3	7.5	6.2
	85歳以上 n=276	24.3	27.2	43.1	10.5	2.9	2.9	3.3	7.6	7.6
要介護認定別	一般高齢者 n=2,314	59.1	17.7	29.0	12.3	1.2	4.8	1.2	7.0	4.5
	要支援1 n=70	25.7	22.9	41.4	12.9	2.9	5.7	5.7	10.0	8.6
	要支援2 n=60	30.0	20.0	35.0	11.7	1.7	3.3	3.3	13.3	10.0
家族構成別	1人暮らし n=532	0.8	0.8	44.9	23.9	2.8	11.7	3.2	23.5	8.1
	夫婦2人暮らし n=1,208	87.9	2.2	29.6	6.6	1.2	2.9	0.4	2.6	3.4
	2世帯 n=319	47.6	68.0	16.0	7.8	-	1.9	1.6	2.8	4.1
	その他 n=413	47.0	47.7	19.6	16.7	0.5	3.4	2.7	3.6	5.1
日常生活圏域別	東部 n=641	62.1	17.2	27.6	11.5	0.8	3.1	1.9	7.5	3.7
	西部 n=513	56.7	20.5	32.9	11.5	1.4	3.7	1.9	5.1	4.3
	南部 n=522	53.3	15.7	26.4	14.8	1.5	5.2	1.3	9.8	6.9
	中部 n=601	56.6	18.8	31.9	11.6	1.3	6.5	1.2	6.5	3.7
	北部東 n=94	58.5	20.2	24.5	11.7	2.1	5.3	1.1	6.4	5.3
	北部西 n=96	52.1	20.8	30.2	10.4	1.0	5.2	1.0	6.3	10.4

問7(4) 反対に、看病や世話をしあける人は誰ですか(MA)

「配偶者」が58.8%で最も高くなっています。「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が19.4%、「別居の子ども」が18.8%となっています。

		配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親戚・親・孫 兄弟姉妹・	近隣	友人	その他	人その はいよ うない	無回答
	全体 n=2,537	58.8	15.2	18.8	19.4	3.3	6.4	1.4	13.6	6.1
性別	男性 n=1,059	70.6	9.8	11.6	13.8	1.7	2.7	1.1	13.6	4.4
	女性 n=1,423	50.6	19.3	24.4	24.0	4.4	9.1	1.7	13.6	6.6
年齢層別	65～69歳 n=529	66.0	15.7	20.4	27.8	2.3	5.5	2.3	9.3	3.4
	70～74歳 n=742	67.9	16.6	18.9	19.5	3.5	7.5	1.2	9.8	3.6
	75～79歳 n=544	60.8	15.1	21.3	17.8	3.9	7.4	0.2	12.9	6.4
	80～84歳 n=387	51.2	12.4	18.1	17.8	2.1	5.4	1.0	17.3	6.2
	85歳以上 n=276	29.7	15.6	12.7	10.1	5.1	4.7	3.6	27.9	13.8
要介護認定別	一般高齢者 n=2,314	61.3	15.6	19.4	20.1	3.2	6.5	1.2	12.6	4.9
	要支援1 n=70	30.0	14.3	12.9	17.1	7.1	5.7	2.9	27.1	11.4
	要支援2 n=60	28.3	6.7	10.0	5.0	1.7	3.3	6.7	30.0	21.7
家族構成別	1人暮らし n=532	0.6	0.6	22.4	26.5	5.6	13.7	1.3	39.8	10.3
	夫婦2人暮らし n=1,208	90.1	2.2	21.0	14.5	2.8	4.2	0.7	4.6	3.3
	2世帯 n=319	52.4	53.6	11.9	13.8	2.2	4.7	1.9	11.3	6.6
	その他 n=413	49.4	41.6	14.0	30.3	2.2	4.6	3.4	8.2	5.8
日常生活圏域別	東部 n=641	64.0	14.0	19.8	20.1	2.5	4.2	1.7	13.9	4.4
	西部 n=513	59.1	18.9	21.4	19.5	3.3	5.7	1.8	11.5	5.1
	南部 n=522	54.8	14.4	16.9	20.9	3.3	6.7	1.1	14.9	7.7
	中部 n=601	59.1	14.6	18.6	18.8	3.8	8.7	1.0	14.6	4.2
	北部東 n=94	58.5	12.8	11.7	20.2	6.4	7.4	2.1	11.7	8.5
	北部西 n=96	53.1	16.7	17.7	15.6	2.1	7.3	2.1	8.3	14.6

問7(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手は誰ですか(MA)

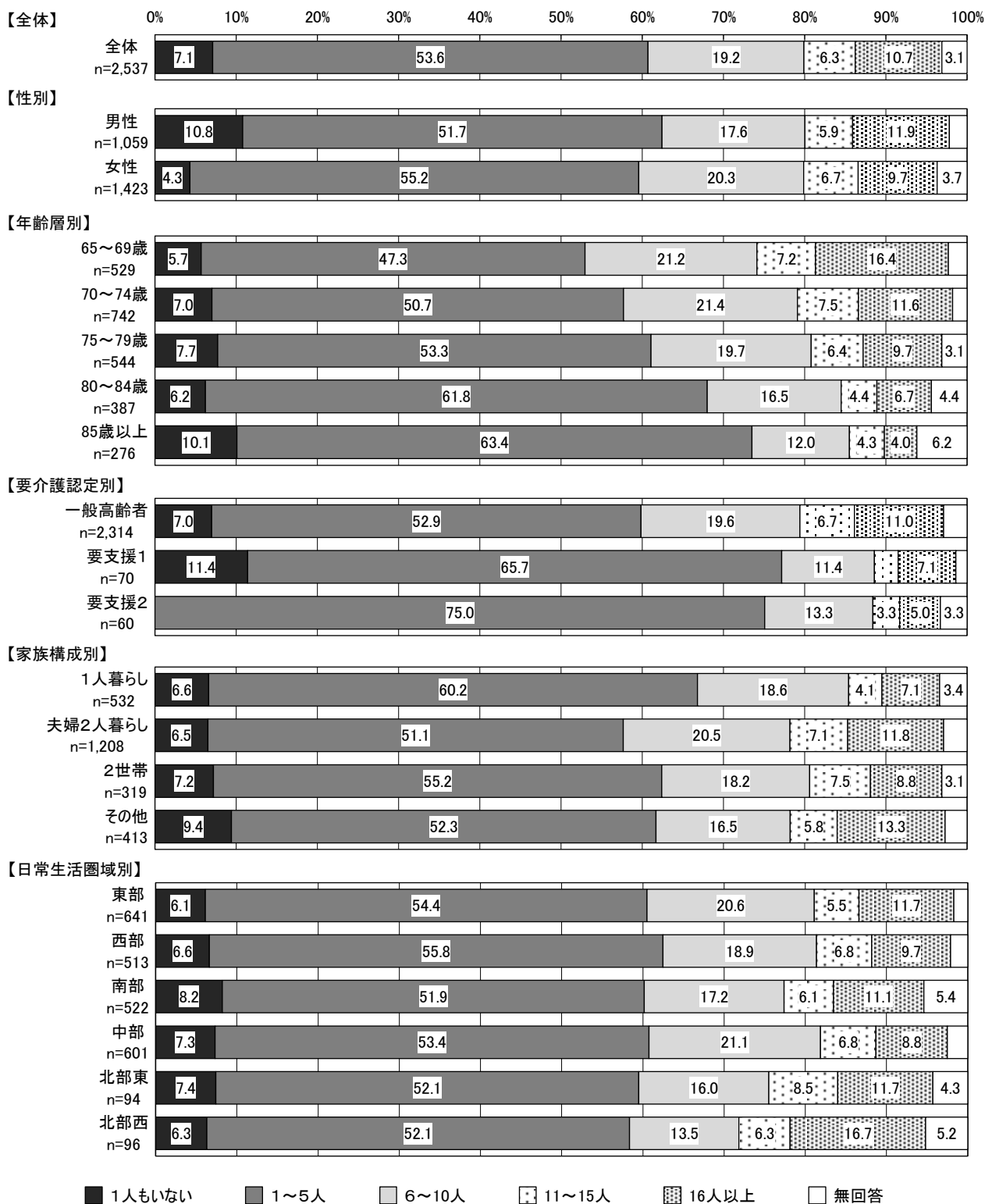
「そのような人はいない」が44.3%で最も高くなっています。「医師・歯科医師・看護師」が23.8%、「地域包括支援センター・役所・役場」が12.3%となっています。

要支援1・2では「そのような人はいない」の割合が一般高齢者と比較して顕著に低くなっています。

		自治会・町内会 ・老人クラブ	社会福祉協議会 ・民生委員	ケアマネジャー	医師・歯科医師 ・看護師	地域包括支援セン ター・役所・役場	その他	その よう ない	無 回 答
	全体 n=2,537	8.7	9.4	6.9	23.8	12.3	5.6	44.3	7.4
性別	男性 n=1,059	10.3	7.6	5.3	23.5	11.0	6.0	49.0	3.9
	女性 n=1,423	7.7	10.8	8.2	23.9	13.4	5.2	41.0	9.9
年齢層別	65～69歳 n=529	6.2	4.0	4.2	21.6	9.5	6.0	55.4	5.9
	70～74歳 n=742	7.5	7.0	3.8	22.0	13.1	6.7	49.2	5.9
	75～79歳 n=544	9.0	11.2	4.8	22.4	13.6	4.4	42.6	7.9
	80～84歳 n=387	11.9	14.2	11.6	29.7	12.9	3.6	33.1	9.6
	85歳以上 n=276	12.3	16.7	18.8	26.8	12.7	6.5	29.7	9.8
要介護認定別	一般高齢者 n=2,314	8.7	9.1	3.9	23.8	11.7	5.6	46.6	7.2
	要支援1 n=70	8.6	14.3	42.9	18.6	21.4	8.6	20.0	7.1
	要支援2 n=60	6.7	13.3	66.7	25.0	26.7	1.7	10.0	3.3
家族構成別	1人暮らし n=532	9.4	14.5	9.4	19.7	13.7	6.4	42.5	7.5
	夫婦2人暮らし n=1,208	9.3	8.5	5.1	25.3	12.7	5.3	45.0	7.0
	2世帯 n=319	8.2	5.3	7.8	26.6	9.7	3.8	44.5	8.2
	その他 n=413	6.8	9.0	8.5	22.0	11.1	6.8	46.2	6.5
日常生活圏域別	東部 n=641	8.9	9.4	5.5	24.3	12.5	5.8	46.2	6.6
	西部 n=513	9.6	10.1	7.8	24.0	11.1	6.4	42.7	7.4
	南部 n=522	7.9	8.8	6.9	21.3	11.1	5.2	47.3	7.7
	中部 n=601	7.0	8.7	8.0	25.8	13.1	5.7	44.3	6.7
	北部東 n=94	11.7	10.6	10.6	13.8	13.8	6.4	40.4	7.4
	北部西 n=96	17.7	15.6	2.1	28.1	19.8	1.0	31.3	11.5

問7(6) この1週間で、どのくらいの人と交流がありましたか(SA)

「1～5人」が53.6%で最も高くなっています。「6～10人」が19.2%、「16人以上」が10.7%となっています。



問7(6)-①【(6)で「1～5人」から「16人以上」に○をした方】

交流した相手はどんな人ですか(MA)

「家族や親族」が61.2%で最も高くなっています。「近所・同じ地域の人、自治会の人」が38.4%、「趣味や関心が同じ友人」が27.9%となっています。

80歳以上では、「近所・同じ地域の人・自治会の人」の割合が高くなっています。

「北部東」では、「近所・同じ地域の人・自治会の人」の割合が高くなっています。

		家族や親族	近所・同じ地域の人、自治会の人	幼なじみ	学生時代の友人	同僚・元同僚	仕事での同僚	趣味や関心が同じ友人	ボランティア等の活動での友人	その他近所・同じ地域の人	無回答
	全体 n=2,277	61.2	38.4	5.1	8.5	25.1	27.9	5.0	9.7	7.0	
性別	男性 n=922	56.9	31.8	5.2	7.8	31.1	27.0	5.2	10.0	4.7	
	女性 n=1,309	64.0	43.0	4.8	9.1	20.7	28.5	4.8	9.6	8.6	
年齢層別	65～69歳 n=487	65.7	27.9	3.9	9.0	42.5	23.8	3.5	9.9	7.2	
	70～74歳 n=677	61.9	38.7	5.0	8.7	26.6	29.1	6.8	10.6	5.6	
	75～79歳 n=485	57.7	35.7	7.0	9.5	23.3	30.5	5.4	8.9	8.7	
	80～84歳 n=346	57.2	47.4	5.5	8.7	13.3	30.6	4.6	8.1	6.6	
	85歳以上 n=231	62.8	51.5	2.2	4.8	4.8	23.4	2.6	11.3	7.4	
要介護認定別	一般高齢者 n=2,085	61.3	38.0	5.1	8.7	26.1	28.7	5.1	8.8	7.1	
	要支援1 n=61	57.4	52.5	3.3	4.9	6.6	13.1	6.6	26.2	3.3	
	要支援2 n=58	58.6	36.2	5.2	8.6	8.6	17.2	1.7	22.4	3.4	
家族構成別	1人暮らし n=479	52.8	37.4	5.2	9.0	21.1	28.2	4.4	10.9	7.3	
	夫婦2人暮らし n=1,094	63.5	39.0	5.0	8.8	26.0	29.7	5.8	8.4	6.7	
	2世帯 n=286	61.5	37.1	4.9	5.9	21.7	22.4	4.2	12.6	9.4	
	その他 n=363	63.9	37.5	4.7	9.6	30.3	26.2	3.9	10.2	5.8	
日常生活圏域別	東部 n=591	61.6	34.7	5.6	9.6	28.8	29.3	3.6	10.0	5.8	
	西部 n=468	64.3	38.5	4.7	9.0	22.9	28.2	5.1	7.1	8.8	
	南部 n=451	60.3	37.0	4.0	7.5	22.6	28.2	5.5	13.5	6.2	
	中部 n=542	58.1	38.6	4.6	7.7	25.3	27.5	5.4	10.1	7.6	
	北部東 n=83	62.7	59.0	3.6	7.2	18.1	22.9	9.6	6.0	7.2	
	北部西 n=85	63.5	49.4	10.6	10.6	27.1	25.9	4.7	4.7	5.9	

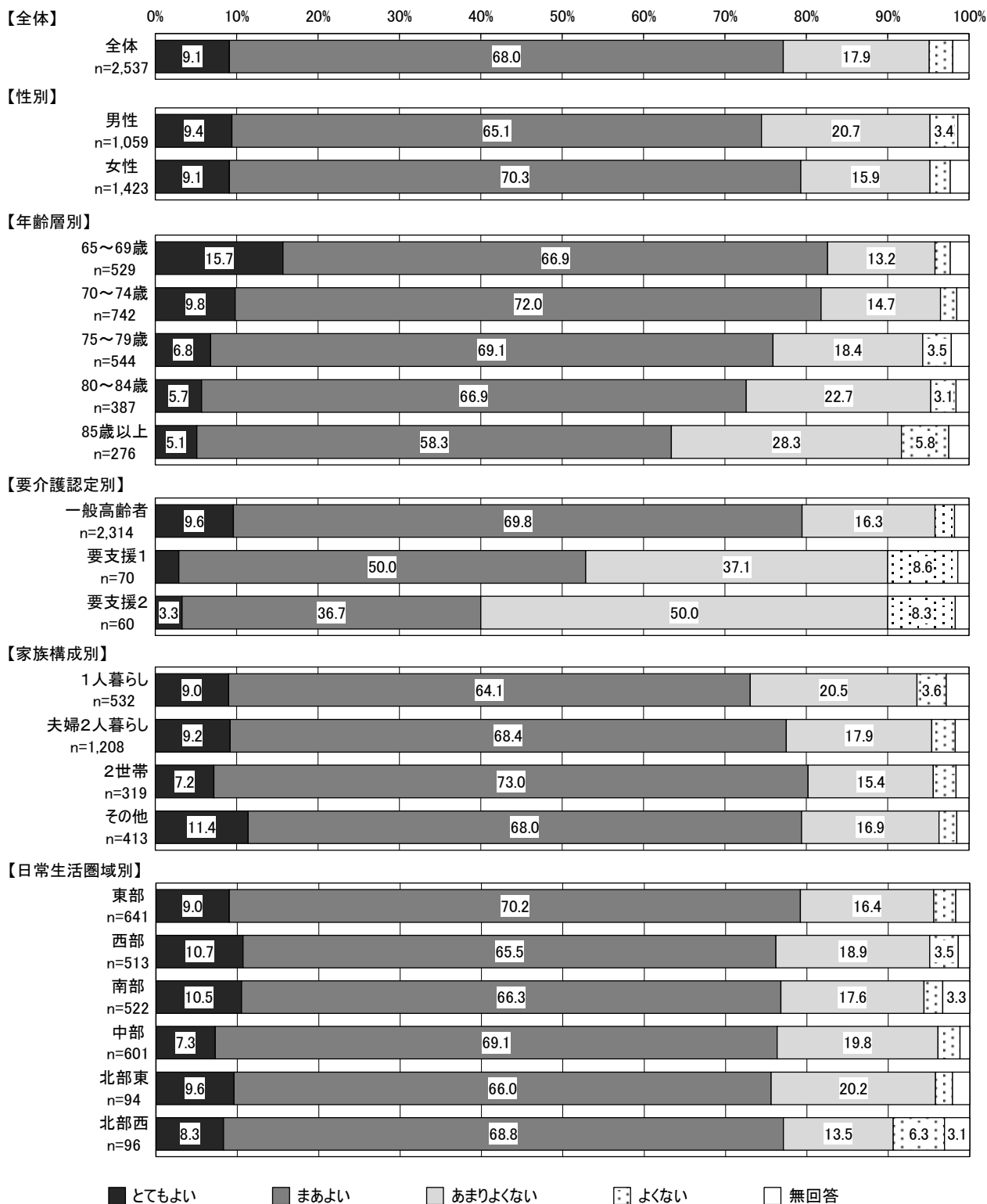
## 問8 健康について

### 8.1 集計結果

問8(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか(SA)

「まあよい」が68.0%で最も高くなっています。「あまりよくない」が17.9%、「とてもよい」が9.1%となっています。

年齢層が上がるほど「とてもよい」「まあよい」を合わせた割合が低くなっています。



問8(2) あなたは、現在どの程度幸せですか(SA)

「8点」が26.6%で最も高くなっています。「7点」が17.0%、「5点」が16.7%となっています。

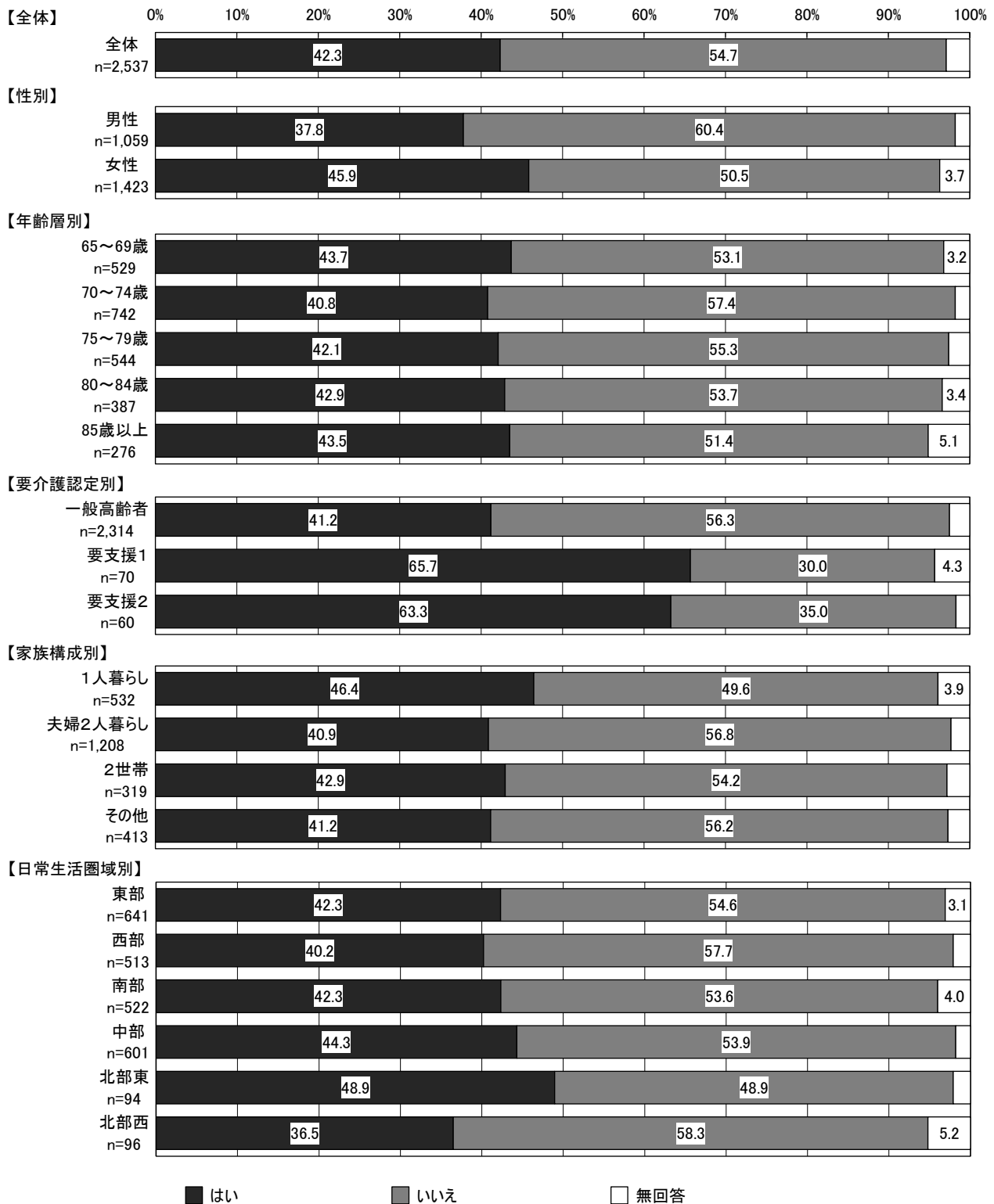
		0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点以上	無回答
全体 n=2,537		0.7	0.3	0.9	1.5	1.9	16.7	7.8	17.0	26.6	8.9	13.8	4.0
性別	男性 n=1,059	1.0	0.5	0.9	2.0	2.5	19.0	9.5	17.1	24.9	7.2	13.0	2.4
	女性 n=1,423	0.6	0.1	0.8	1.2	1.5	15.0	6.7	17.1	27.4	10.3	14.3	4.9
年齢層別	65～69歳 n=529	1.3	0.2	0.8	1.3	2.1	12.1	8.1	16.3	29.5	10.8	13.2	4.3
	70～74歳 n=742	0.7	0.4	0.8	1.3	1.5	15.9	7.4	17.4	27.9	10.5	13.9	2.3
	75～79歳 n=544	0.7	-	0.4	2.2	2.4	15.1	8.5	19.3	25.4	8.6	14.9	2.6
	80～84歳 n=387	0.3	0.5	0.8	1.6	2.1	23.0	7.8	18.3	25.1	5.7	9.6	5.4
	85歳以上 n=276	0.7	0.4	2.2	1.1	1.4	22.1	8.0	12.0	19.6	7.2	18.1	7.2
要介護認定別	一般高齢者 n=2,314	0.7	0.3	0.7	1.5	1.8	15.9	8.0	17.2	27.0	9.4	14.2	3.5
	要支援1 n=70	1.4	-	2.9	2.9	-	37.1	10.0	15.7	17.1	-	8.6	4.3
	要支援2 n=60	1.7	1.7	3.3	3.3	8.3	18.3	5.0	16.7	23.3	6.7	6.7	5.0
家族構成別	1人暮らし n=532	1.5	0.8	1.9	2.8	3.2	21.4	10.0	15.0	21.1	5.6	11.7	5.1
	夫婦2人暮らし n=1,208	0.6	0.1	0.4	1.3	1.4	14.7	7.5	17.5	29.3	9.9	13.8	3.5
	2世帯 n=319	-	-	-	0.9	1.3	16.0	9.4	16.0	27.0	9.7	16.3	3.4
	その他 n=413	1.0	0.5	1.5	0.7	1.9	17.2	5.6	19.4	24.2	10.2	14.8	3.1
日常生活圏域別	東部 n=641	0.6	0.5	0.9	1.4	1.9	14.2	7.5	18.1	27.5	10.5	14.0	3.0
	西部 n=513	1.0	0.2	0.8	1.6	1.2	16.2	7.8	16.6	27.7	10.5	14.6	1.9
	南部 n=522	0.8	0.6	0.6	1.1	1.7	17.8	9.2	16.3	26.2	7.5	13.0	5.2
	中部 n=601	0.7	-	1.3	2.2	2.5	19.0	7.8	16.0	25.1	7.7	13.3	4.5
	北部東 n=94	-	-	-	1.1	5.3	16.0	7.4	22.3	23.4	7.4	13.8	3.2
	北部西 n=96	2.1	-	-	-	-	18.8	5.2	17.7	25.0	9.4	15.6	6.3



問8(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか (SA)

「いいえ」が54.7%を占めています。

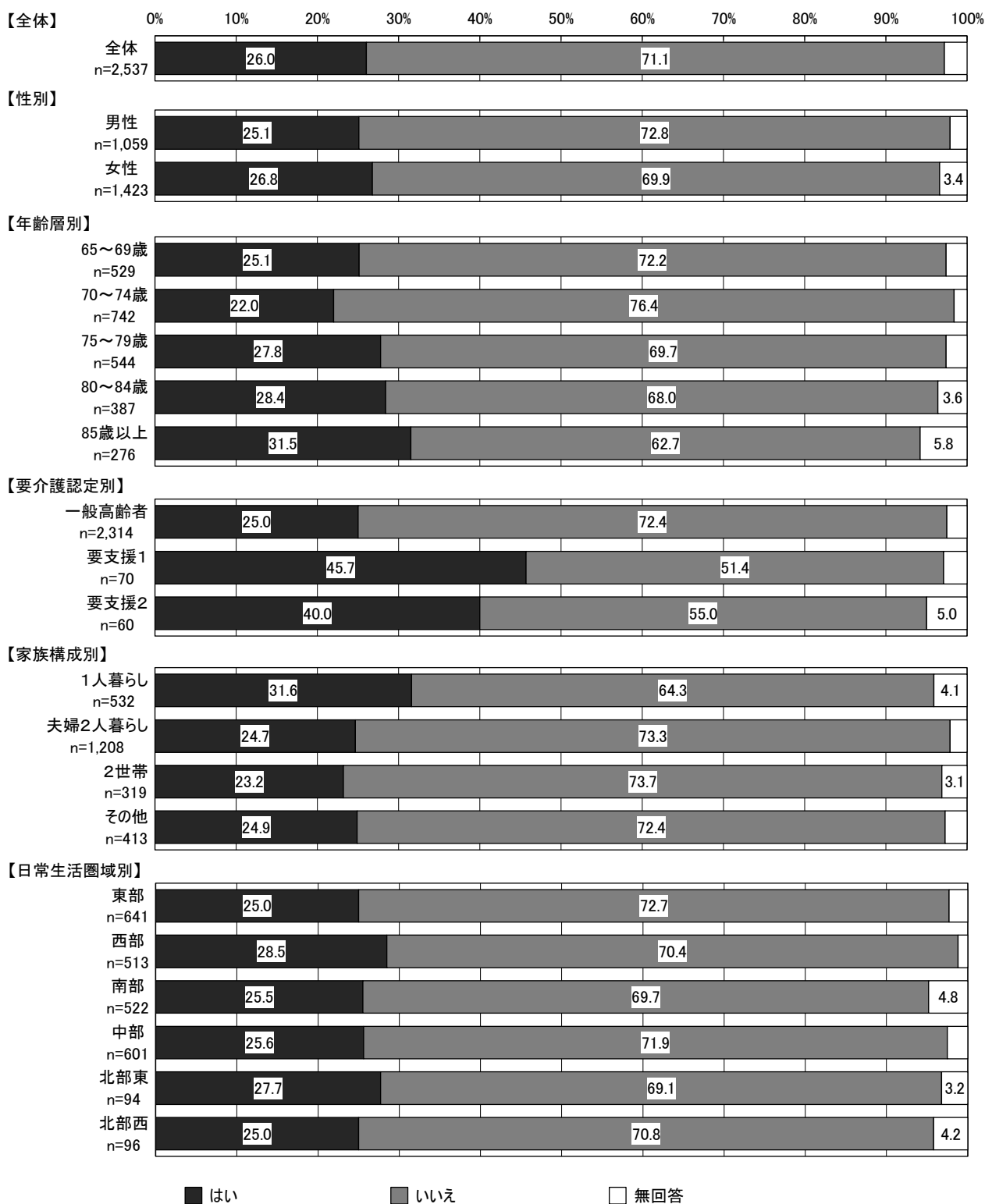
要支援1・2では「はい」の割合が一般高齢者と比較して顕著に高くなっています。



問8(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか (SA)

「いいえ」が71.1%を占めています。

70歳以上において年齢層が上がるほど「はい」の割合が高くなり、要支援1・2では「はい」の割合が一般高齢者と比較して顕著に高くなっています。

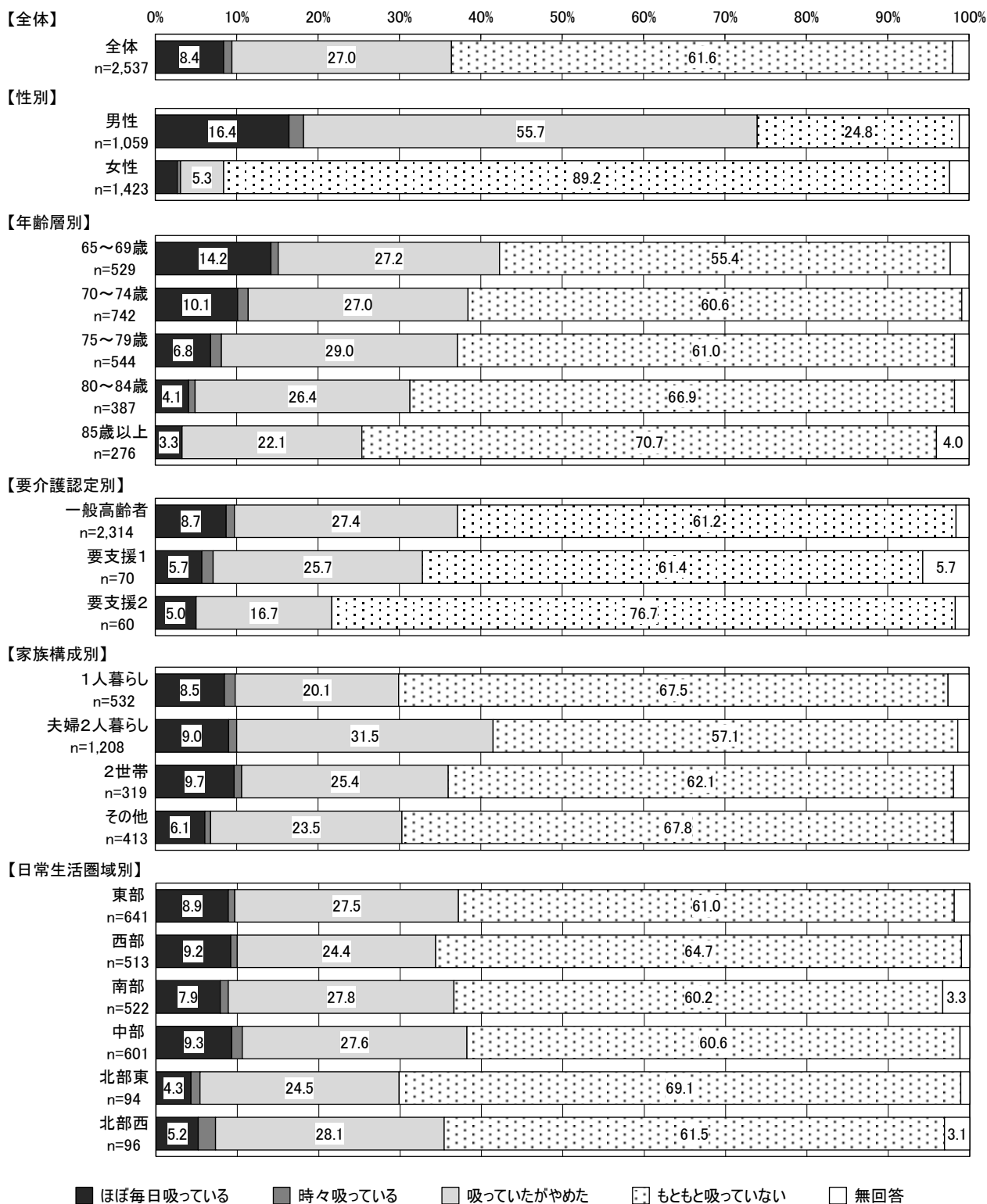


### 問8(5) タバコは吸っていますか (SA)

「もともと吸っていない」が61.6%で最も高くなっています。「吸っていたがやめた」が27.0%、「ほぼ毎日吸っている」が8.4%となっています。

男性は女性と比較して喫煙をしている(していた)割合が顕著に高くなっています。

年齢層及び要介護度が上がるほど喫煙をしている(していた)割合が低くなっています。



問8(6) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか (MA)

「高血圧」が46.5%で最も高くなっています。「目の病気」が16.5%、「高脂血症(脂質異常)」が15.4%となっています。

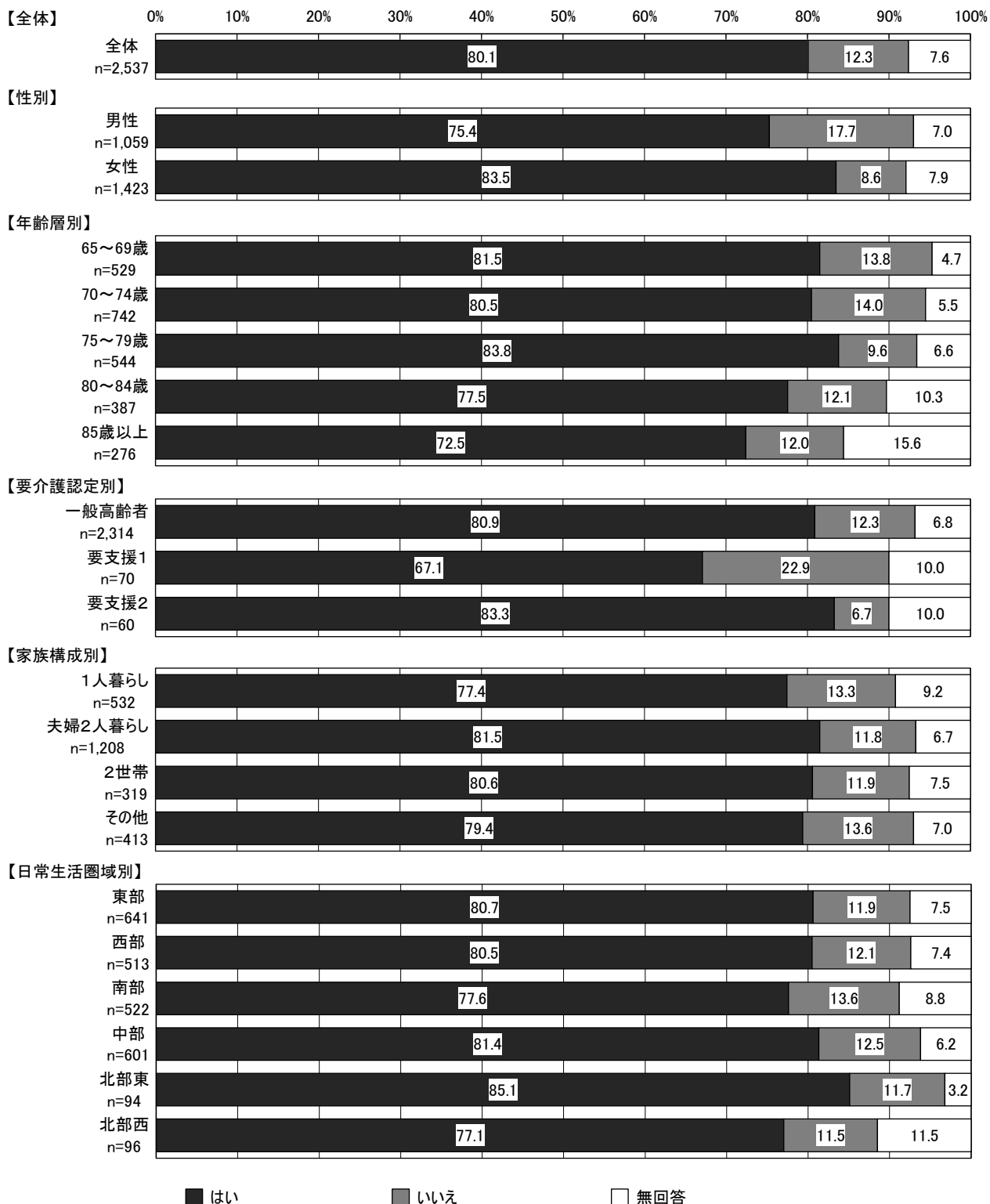
男性は女性と比較して「高血圧」「心臓病」「糖尿病」「腎臓・前立腺の病気」等の割合が高くなっています。

年齢層が上がるほど「心臓病」「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)」「外傷(転倒・骨折等)」「目の病気」「耳の病気」の割合が高くなっています。

		ない	高血圧	脳出血・脳梗塞等	心臓病	糖尿病	高脂血症(脂質異常)	呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等)	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)	外傷(転倒・骨折等)	がん(悪性新生物)	血液・免疫の病気	うつ病	認知症(アルツハイマー病等)	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	無回答
	全体 n=2,537	14.7	46.5	3.7	10.5	14.9	15.4	6.1	5.8	7.8	9.3	3.4	4.4	2.0	1.2	0.6	0.4	16.5	6.3	9.1	5.0
性別	男性 n=1,059	13.9	51.0	5.1	15.6	19.2	12.9	6.7	6.2	15.8	2.8	2.0	5.8	1.9	0.8	0.8	0.2	14.6	6.7	6.8	3.6
	女性 n=1,423	15.8	43.4	2.7	6.9	11.7	17.6	5.8	5.5	1.7	14.0	4.5	3.3	2.1	1.5	0.6	0.5	17.8	5.8	10.6	5.6
年齢層別	65～69歳 n=529	23.3	37.6	3.0	5.5	12.9	18.7	4.9	7.4	5.3	7.0	1.7	2.8	1.1	1.3	0.2	0.4	11.3	3.6	9.1	5.3
	70～74歳 n=742	16.4	45.1	4.2	7.5	15.5	16.3	5.5	4.3	6.1	7.5	2.0	5.3	2.4	1.5	0.3	0.4	15.0	4.9	9.3	3.9
	75～79歳 n=544	11.8	50.4	3.9	12.7	17.5	15.4	7.2	5.3	9.6	9.2	2.8	5.9	1.8	0.7	0.6	0.2	17.5	6.6	9.6	4.6
	80～84歳 n=387	10.6	51.7	3.6	15.8	16.8	14.5	7.5	5.7	9.8	11.4	4.9	3.9	2.3	1.3	1.0	-	20.9	7.2	8.8	5.7
	85歳以上 n=276	7.6	52.5	4.0	17.4	9.4	9.8	6.2	8.0	10.5	14.9	9.4	2.5	2.5	0.7	2.2	0.7	22.1	13.0	7.2	5.1
要介護認定別	一般高齢者 n=2,314	15.7	46.4	3.2	10.1	15.0	15.9	6.1	5.6	7.6	8.1	2.6	4.4	1.8	1.0	0.4	0.3	15.9	5.9	8.6	4.8
	要支援1 n=70	5.7	50.0	7.1	20.0	17.1	15.7	8.6	11.4	11.4	20.0	18.6	7.1	4.3	4.3	1.4	-	24.3	14.3	15.7	1.4
	要支援2 n=60	3.3	51.7	18.3	15.0	13.3	6.7	8.3	6.7	11.7	30.0	11.7	-	3.3	1.7	5.0	3.3	25.0	8.3	13.3	3.3
家族構成別	1人暮らし n=532	14.5	43.2	4.3	12.2	12.4	15.4	6.8	7.0	5.1	12.4	4.7	3.2	2.8	1.7	0.2	0.8	19.9	7.7	10.5	6.0
	夫婦2人暮らし n=1,208	14.2	47.4	3.6	11.8	16.2	17.4	5.7	6.0	9.5	7.1	2.3	5.1	2.1	1.2	0.7	0.3	15.0	5.5	7.8	4.8
	2世帯 n=319	14.4	52.4	4.1	8.5	16.6	14.7	7.2	4.7	9.1	12.2	5.6	3.4	2.5	0.6	0.9	0.3	16.0	8.2	9.1	2.5
	その他 n=413	18.2	44.8	3.1	6.1	12.3	11.4	5.8	4.4	5.3	8.5	3.1	4.1	0.5	0.7	0.7	-	16.5	4.8	10.7	4.6
日常生活圏域別	東部 n=641	16.1	45.6	3.6	9.8	14.0	15.1	6.6	6.4	8.3	8.0	3.9	3.9	1.2	1.2	0.9	-	14.2	6.4	9.2	4.1
	西部 n=513	17.3	47.4	3.5	9.7	17.3	16.6	4.7	4.1	7.2	9.7	2.7	4.3	2.9	1.9	0.8	0.6	15.4	7.6	9.6	3.9
	南部 n=522	14.2	45.2	4.6	11.3	12.8	13.8	6.7	5.2	6.3	10.2	3.6	3.8	2.3	1.5	0.2	0.4	20.3	5.6	8.8	6.7
	中部 n=601	12.3	47.8	3.8	10.8	15.6	19.3	6.7	7.2	9.5	9.7	2.8	5.7	1.7	0.3	0.3	0.5	17.1	6.2	9.2	4.3
	北部東 n=94	17.0	46.8	3.2	9.6	14.9	9.6	5.3	5.3	4.3	8.5	4.3	5.3	4.3	1.1	1.1	-	16.0	1.1	6.4	5.3
	北部西 n=96	12.5	49.0	2.1	15.6	10.4	9.4	6.3	6.3	9.4	9.4	6.3	2.1	1.0	-	2.1	1.0	12.5	7.3	7.3	3.1

問8(7) 健康についての記事や番組に関心がありますか (SA)

「はい」が80.1%を占めています。  
 女性は男性と比較して「はい」の割合が高くなっています。  
 後期高齢者(75歳以上)において年齢層が上がるほど「はい」の割合は低くなっています。



## 8.2 【健康リスク判定】うつ傾向

### ■判定方法

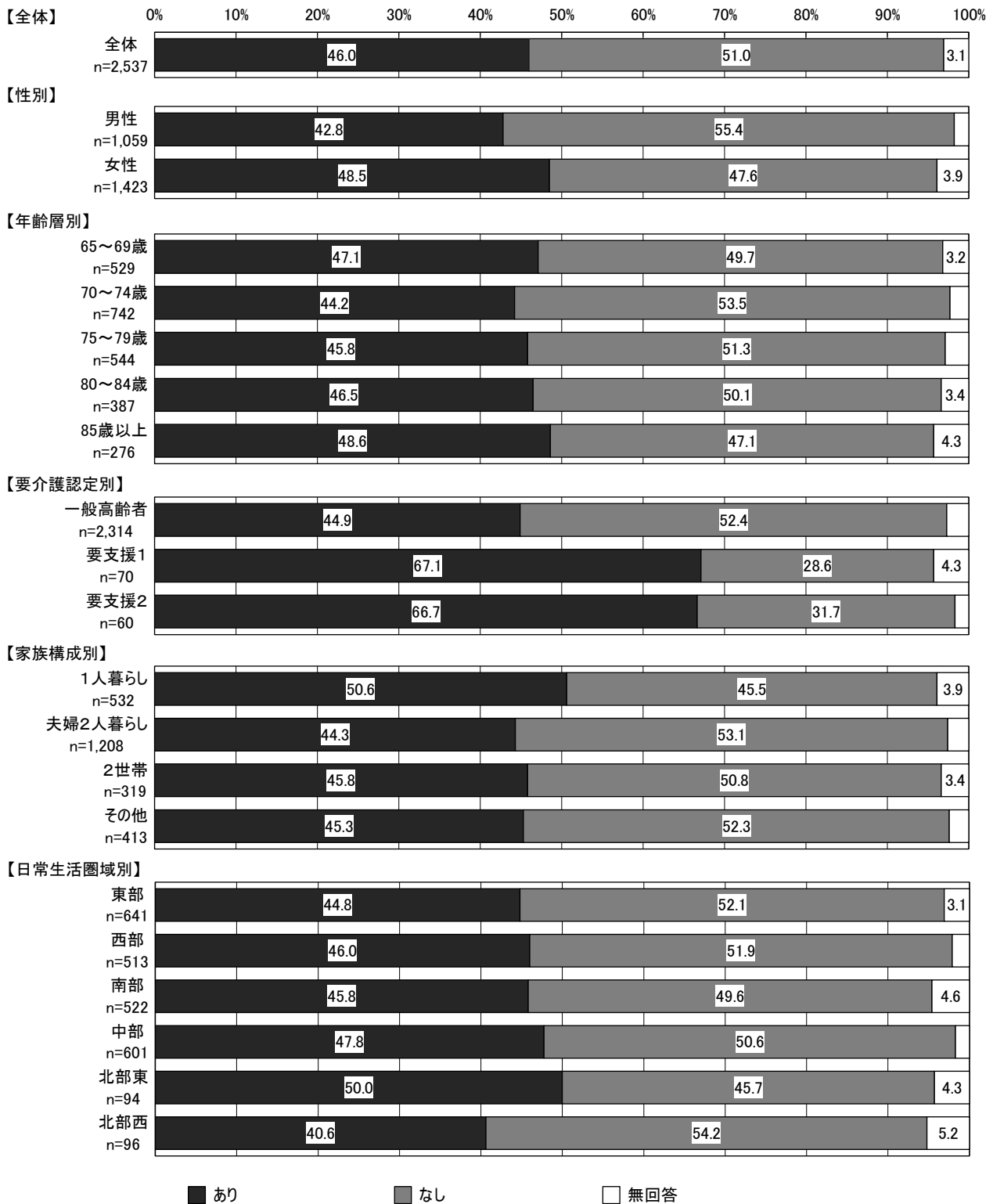
下記の設問で、いずれかひとつでも該当する選択肢（表の網掛け箇所）を回答された場合は、うつ傾向の高齢者になります。

該当設問 問8 健康について

項目	設問	選択肢
(3)	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	1. はい 2. いいえ
(4)	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	1. はい 2. いいえ

## うつ傾向 (SA)

「あり」は46.0%となっています。  
 要支援1・2では「あり」の割合が一般高齢者と比較して顕著に高くなっています。  
 1人暮らしでは「あり」の割合が他の世帯と比較してやや高くなっています。

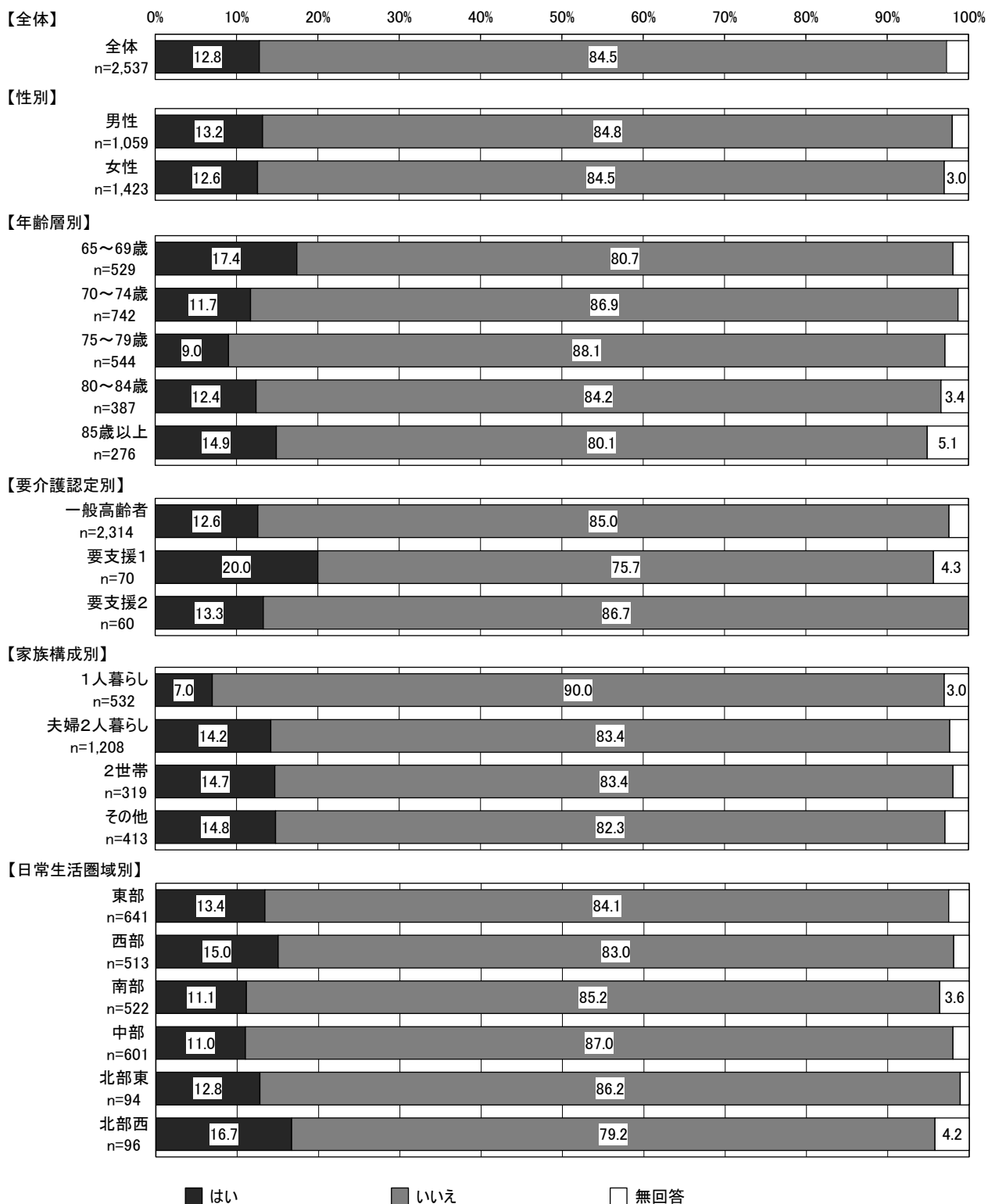


## 問9 認知症について

### 9.1 集計結果

問9(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか (SA)

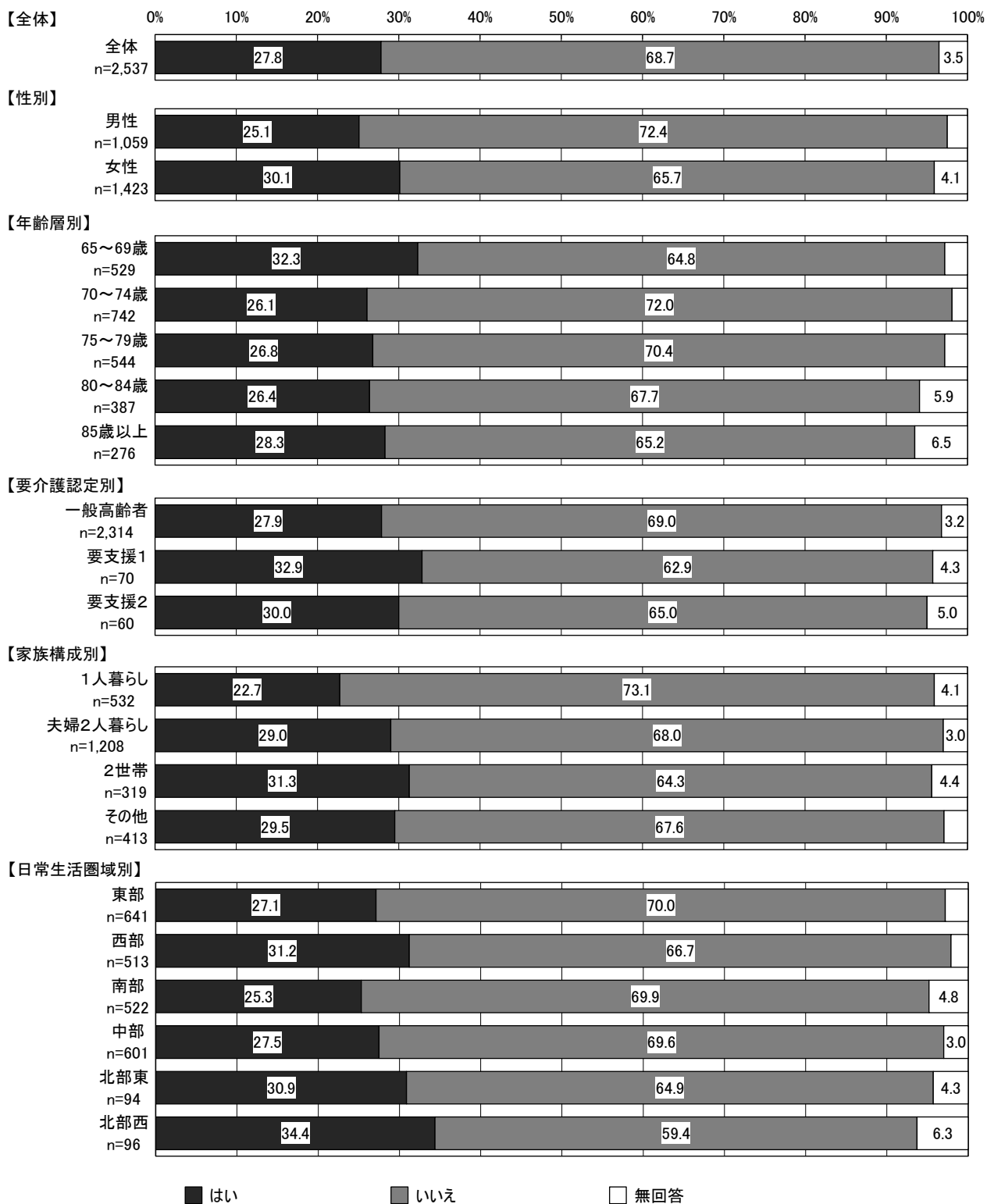
「いいえ」が84.5%を占めています。





問9(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか (SA)

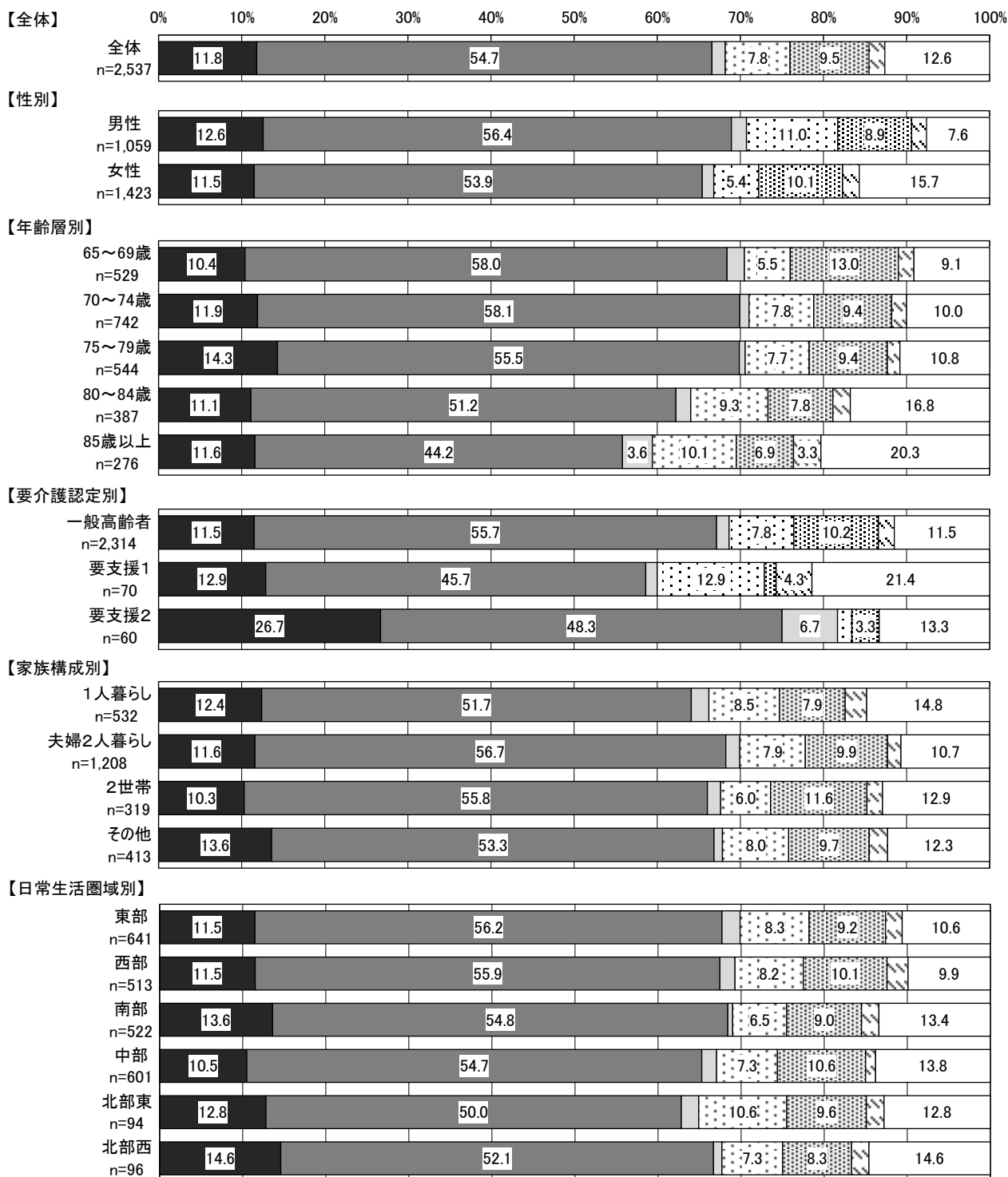
「いいえ」が68.7%を占めています。  
65～69歳では他の年齢層と比較して「はい」の割合が高くなっています。



問9(3) 認知症の治療に関して、最もあなたのイメージに当てはまるものはどれですか (SA)

「早期の治療により進行を遅らせる可能性がある」が54.7%で最も高くなっています。「治療によって治せる認知症もある」が11.8%、「認知症の種類によって治療法は異なる」が9.5%となっています。

要支援2では一般高齢者や要支援1と比較して「治療によって治せる認知症もある」の割合が高くなっています。



- 治療によって治せる認知症もある
- 早期の治療により進行を遅らせる可能性がある
- 早期に治療しても効果はない
- 認知症は加齢によるもので治療方法はない
- ▨ 認知症の種類によって治療法は異なる
- ▨ その他
- 無回答

問9(4) 認知症になった時に不安に思うのはどのようなことですか (MA)

「症状の進行する速度や進行の仕方」が51.3%で最も高くなっています。「医療・介護にかかる費用」が44.6%、「周りの人とうまく関係性が保てるか」が38.0%となっています。

65～69歳では他の年齢層と比較して「症状の進行する速度や進行の仕方」「医療・介護にかかる費用」の割合が高くなっています。

		どんな相談窓口があるか	近所付き合いや体裁	症状の進行する速度や進行の仕方	医療・介護にかかる費用	薬の効能や副作用	周りの人とうまく関係性が保てるか	その他	不安に思うことはない	無回答
全体 n=2,537		34.5	11.7	51.3	44.6	23.5	38.0	3.9	4.6	4.5
性別	男性 n=1,059	33.9	12.3	48.6	43.9	18.5	35.8	3.9	6.6	3.2
	女性 n=1,423	34.8	11.0	53.3	45.3	27.3	39.8	3.9	3.3	5.0
年齢層別	65～69歳 n=529	31.6	12.1	62.4	51.2	23.8	40.1	4.7	3.0	2.8
	70～74歳 n=742	35.3	10.1	54.9	45.6	22.9	37.5	2.8	4.4	2.7
	75～79歳 n=544	35.1	13.6	48.9	41.7	23.7	40.3	3.5	4.2	4.4
	80～84歳 n=387	35.4	11.1	42.9	43.7	24.8	33.9	4.7	5.4	6.2
	85歳以上 n=276	34.8	11.2	37.3	36.2	22.5	37.3	5.1	8.3	8.0
要介護認定別	一般高齢者 n=2,314	34.3	11.4	52.2	44.6	23.3	37.9	3.8	4.8	4.0
	要支援1 n=70	35.7	11.4	30.0	41.4	22.9	41.4	8.6	4.3	4.3
	要支援2 n=60	38.3	13.3	46.7	50.0	25.0	41.7	3.3	3.3	3.3
家族構成別	1人暮らし n=532	39.3	12.2	41.7	41.0	22.6	38.3	4.7	5.5	5.6
	夫婦2人暮らし n=1,208	33.5	11.7	54.8	43.9	24.3	37.6	3.7	4.9	3.6
	2世帯 n=319	33.5	11.3	53.3	48.3	23.8	37.9	2.8	4.4	4.4
	その他 n=413	31.5	10.9	52.3	48.2	22.0	39.0	4.1	3.6	3.6
日常生活圏域別	東部 n=641	34.3	12.6	56.2	46.6	24.8	39.2	3.1	5.6	3.6
	西部 n=513	36.6	10.3	53.6	45.4	23.2	38.0	5.3	4.1	3.7
	南部 n=522	34.3	10.7	47.3	40.4	22.4	36.6	3.1	5.6	6.1
	中部 n=601	33.6	12.0	50.9	46.3	24.6	37.6	3.8	3.3	3.3
	北部東 n=94	26.6	10.6	42.6	39.4	17.0	38.3	6.4	5.3	4.3
	北部西 n=96	34.4	15.6	43.8	46.9	21.9	44.8	4.2	6.3	5.2

問9(5) 市が行っている認知症施策について知っているものはありますか (MA)

「相談窓口の充実」が21.2%で最も高くなっています。「家族の負担を減らす取り組み」が11.1%、「認知症の早期発見・早期診断の仕組みづくり」が10.3%となっています。

要支援2では一般高齢者や要支援1と比較して「認知症の早期発見・早期診断の仕組みづくり」「介護サービスを行う専門職の質の向上」の割合が高くなっています。

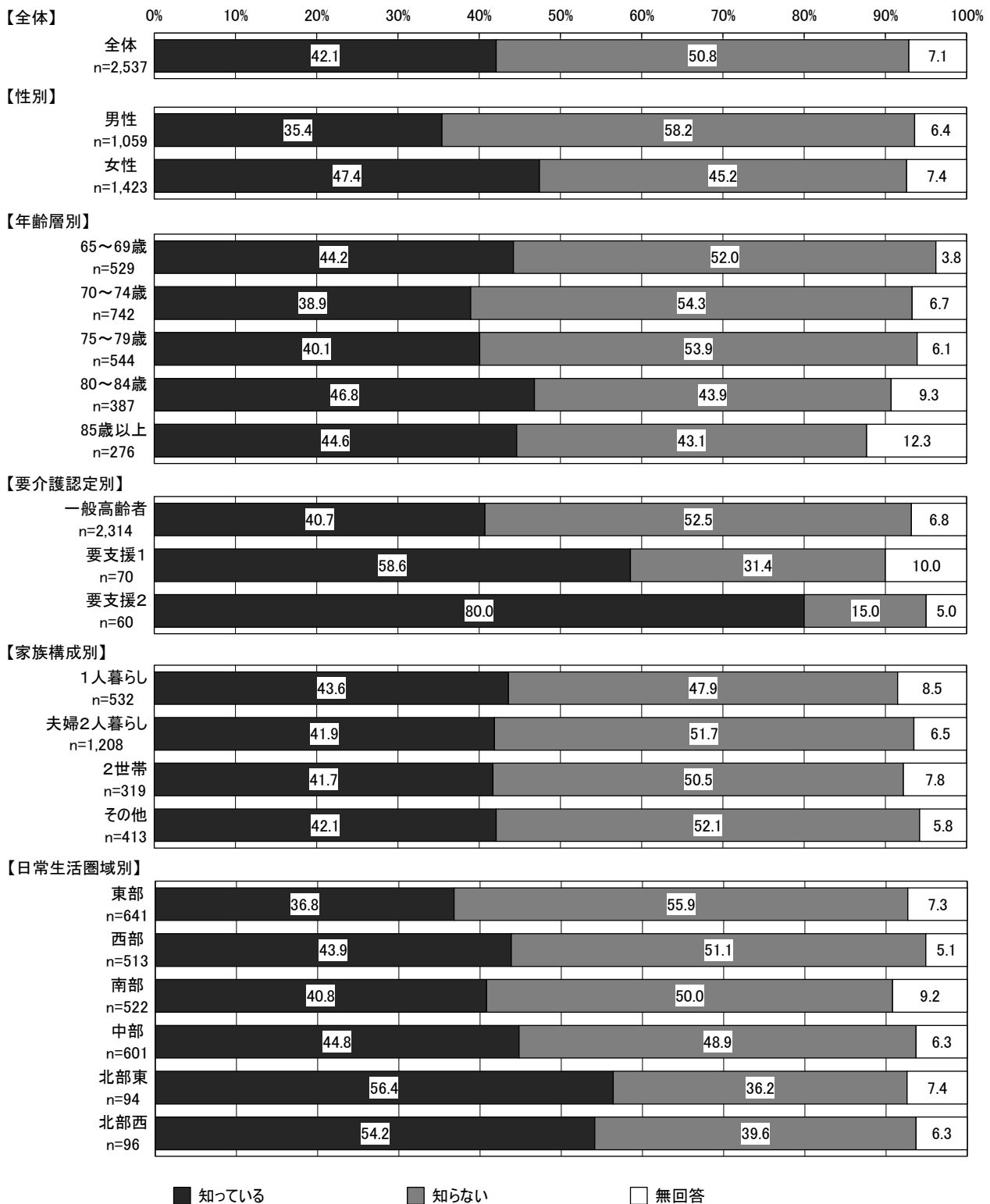
		相談窓口の充実	正しい知識を広める啓発活動	認知症の早期発見・早期診断の仕組みづくり	ボランティア活動(チームオレンジ)	ボランティアの養成(認知症サポーター養成講座など)	家族の負担を減らす取り組み	介護サービスの質の向上	活動の場づくり・社会参加への支援	若年性認知症の支援	徘徊問題行動について見守り	その他	無回答
	全体 n=2,537	21.2	9.9	10.3	4.6	6.9	11.1	6.9	3.5	2.4	7.0	12.8	44.6
性別	男性 n=1,059	21.9	10.9	10.7	4.0	5.3	9.8	5.0	3.1	1.8	6.0	14.7	42.5
	女性 n=1,423	20.9	9.1	9.8	5.2	8.1	12.2	8.2	3.7	2.8	7.7	11.5	45.7
年齢層別	65～69歳 n=529	20.0	10.2	10.2	5.1	9.1	10.2	7.8	4.5	3.0	8.1	12.3	42.3
	70～74歳 n=742	22.2	9.8	8.9	4.6	7.3	10.5	6.2	2.8	1.8	7.1	13.3	42.7
	75～79歳 n=544	23.2	12.1	11.0	5.5	7.7	12.5	5.5	4.2	2.9	6.4	13.8	42.5
	80～84歳 n=387	19.4	6.7	9.6	3.6	5.7	11.6	5.7	2.3	2.1	7.8	11.1	49.4
	85歳以上 n=276	19.9	9.1	11.6	3.6	1.8	10.9	10.5	3.3	2.2	4.7	13.4	49.6
要介護認定別	一般高齢者 n=2,314	21.3	9.9	9.9	4.7	7.1	11.2	6.5	3.5	2.2	7.1	13.0	44.2
	要支援1 n=70	21.4	8.6	7.1	5.7	2.9	10.0	7.1	1.4	2.9	4.3	14.3	45.7
	要支援2 n=60	23.3	10.0	18.3	3.3	5.0	8.3	20.0	5.0	3.3	5.0	8.3	43.3
家族構成別	1人暮らし n=532	20.7	9.2	10.0	6.0	7.1	7.3	6.4	4.7	2.6	5.3	11.1	48.1
	夫婦2人暮らし n=1,208	22.0	11.2	10.3	4.5	7.9	12.3	6.0	3.7	2.2	7.5	12.3	44.1
	2世帯 n=319	20.7	6.9	8.8	3.8	4.1	10.7	8.8	1.6	1.9	6.9	14.7	44.2
	その他 n=413	19.9	9.2	10.7	4.4	5.6	13.1	8.5	2.7	2.9	8.2	15.7	40.4
日常生活圏域別	東部 n=641	20.9	9.4	8.9	3.1	5.6	12.0	6.7	3.3	2.3	6.2	13.1	45.2
	西部 n=513	22.4	8.2	9.7	5.3	8.0	9.4	7.0	2.9	2.7	8.2	13.8	41.3
	南部 n=522	21.5	9.2	10.5	5.0	8.0	10.7	5.9	3.1	2.9	7.7	12.6	45.4
	中部 n=601	21.3	11.6	10.5	5.3	5.8	10.6	7.7	4.2	2.0	6.5	13.3	45.3
	北部東 n=94	12.8	10.6	13.8	6.4	5.3	21.3	9.6	5.3	2.1	3.2	11.7	42.6
	北部西 n=96	25.0	15.6	13.5	5.2	11.5	12.5	4.2	3.1	-	10.4	6.3	41.7

## 問 10 地域での相談や活動について

### 10.1 集計結果

問10(1) 高齢者の相談窓口として、身近な地域に高齢者総合相談センター(地域包括支援センター)があることを知っていますか (SA)

「知らない」が50.8%を占めています。  
 女性は男性と比較して「知っている」の割合が高くなっています。  
 要介護度が上がるほど「知っている」の割合が高くなっています。  
 「北部東」「北部西」では他の地区と比較して「知っている」の割合が高くなっています。



問10(2) 安心して自宅で暮らし続けるためには、どのような支援・サービスが必要ですか(現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む) (MA)

「急病など緊急時の手助け」が43.6%で最も高くなっています。「配食」が31.1%、「ゴミ出しや電球の交換などのちょっとした力仕事」が26.5%となっています。

男性は女性と比較して「特になし」の割合が高くなっています。

要介護度が上がるにつれて「掃除・洗濯」「ゴミ出しや電球の交換などのちょっとした力仕事」「外出同行(通院や買い物など)」「移送サービス(介護・福祉タクシー)」の割合が高くなっています。

		配食	調理	掃除・洗濯	買い物 (宅配は含まない)	ゴミ出しや電球の交換などの ちょっとした力仕事	外出同行(通院や買い物など)	移送サービス (介護・福祉タクシー)	見守り・声かけ	定期的な通いの場	急病など緊急時の手助け	話し相手	悩みごとの相談	その他	特になし	無回答
全体 n=2,537		31.1	13.9	23.9	25.0	26.5	19.7	23.9	20.9	8.4	43.6	12.4	11.2	2.0	17.3	11.1
性別	男性 n=1,059	33.7	15.3	24.1	23.8	19.5	15.6	20.3	18.3	4.8	40.8	10.3	9.8	1.8	22.0	9.3
	女性 n=1,423	29.5	12.9	23.9	26.1	31.9	23.0	26.8	23.0	11.0	45.8	13.8	12.2	2.1	13.8	12.1
年齢層別	65～69歳 n=529	37.2	15.7	28.4	26.3	30.1	22.7	26.7	23.1	9.5	50.5	17.0	12.1	2.1	17.4	7.0
	70～74歳 n=742	31.4	15.5	22.9	25.6	28.0	19.7	26.4	21.4	8.0	44.2	11.5	12.4	1.6	18.5	9.3
	75～79歳 n=544	28.3	13.8	22.4	22.8	23.7	18.6	20.6	21.5	9.7	41.4	9.9	11.0	1.8	16.4	12.5
	80～84歳 n=387	30.2	11.6	23.0	24.8	23.8	19.4	21.7	16.3	6.5	39.3	9.6	8.8	2.6	16.8	15.5
	85歳以上 n=276	27.5	9.1	23.2	26.4	25.7	17.8	22.8	21.7	6.5	40.9	14.5	9.4	2.2	16.3	13.4
要介護認定別	一般高齢者 n=2,314	31.2	13.9	23.6	24.8	26.1	19.7	23.8	20.9	8.2	43.5	12.1	11.1	2.0	17.8	10.8
	要支援1 n=70	30.0	15.7	27.1	28.6	30.0	21.4	24.3	25.7	12.9	45.7	10.0	18.6	2.9	12.9	11.4
	要支援2 n=60	35.0	13.3	36.7	28.3	36.7	21.7	33.3	20.0	10.0	46.7	15.0	6.7	-	5.0	10.0
家族構成別	1人暮らし n=532	28.6	11.1	23.7	24.1	28.2	16.7	18.8	19.9	10.7	43.4	14.1	10.3	1.9	16.4	11.8
	夫婦2人暮らし n=1,208	33.9	15.4	25.2	26.9	29.1	22.4	25.8	22.4	8.3	44.9	11.3	10.5	1.8	17.1	10.4
	2世帯 n=319	30.1	12.2	22.3	22.3	20.4	18.8	27.3	20.4	6.3	39.5	10.3	13.2	2.8	15.0	11.9
	その他 n=413	28.1	14.3	22.3	22.8	22.0	16.7	23.2	19.1	6.8	44.1	14.8	12.3	1.9	21.3	9.9
日常生活圏域別	東部 n=641	31.0	13.6	23.7	27.1	28.1	24.0	25.6	21.7	6.9	44.0	14.0	11.4	1.7	17.6	9.4
	西部 n=513	31.2	13.5	24.2	23.2	27.3	19.3	23.2	22.8	10.1	44.6	13.6	12.5	1.2	16.8	11.1
	南部 n=522	32.0	13.6	25.7	21.5	24.7	16.3	22.4	17.6	8.4	40.4	9.8	10.5	2.5	19.5	12.5
	中部 n=601	31.9	13.8	23.6	27.6	27.8	18.3	24.6	20.8	8.8	45.1	11.8	10.5	2.7	17.3	10.1
	北部東 n=94	26.6	18.1	20.2	28.7	22.3	22.3	23.4	19.1	5.3	50.0	8.5	8.5	2.1	12.8	13.8
	北部西 n=96	33.3	17.7	24.0	21.9	24.0	21.9	29.2	28.1	7.3	43.8	15.6	13.5	-	9.4	13.5

問10(3) あなたは地域の高齢者にお手伝いできることはありますか (MA)

「特になし」が39.6%で最も高くなっています。「見守り・声かけ」が28.0%、「話し相手」が19.7%となっています。

65～69歳では他の年齢層と比較して「見守り・声かけ」の割合が高くなっています。

要支援1・2は一般高齢者と比較して「特になし」の割合が高くなっています。

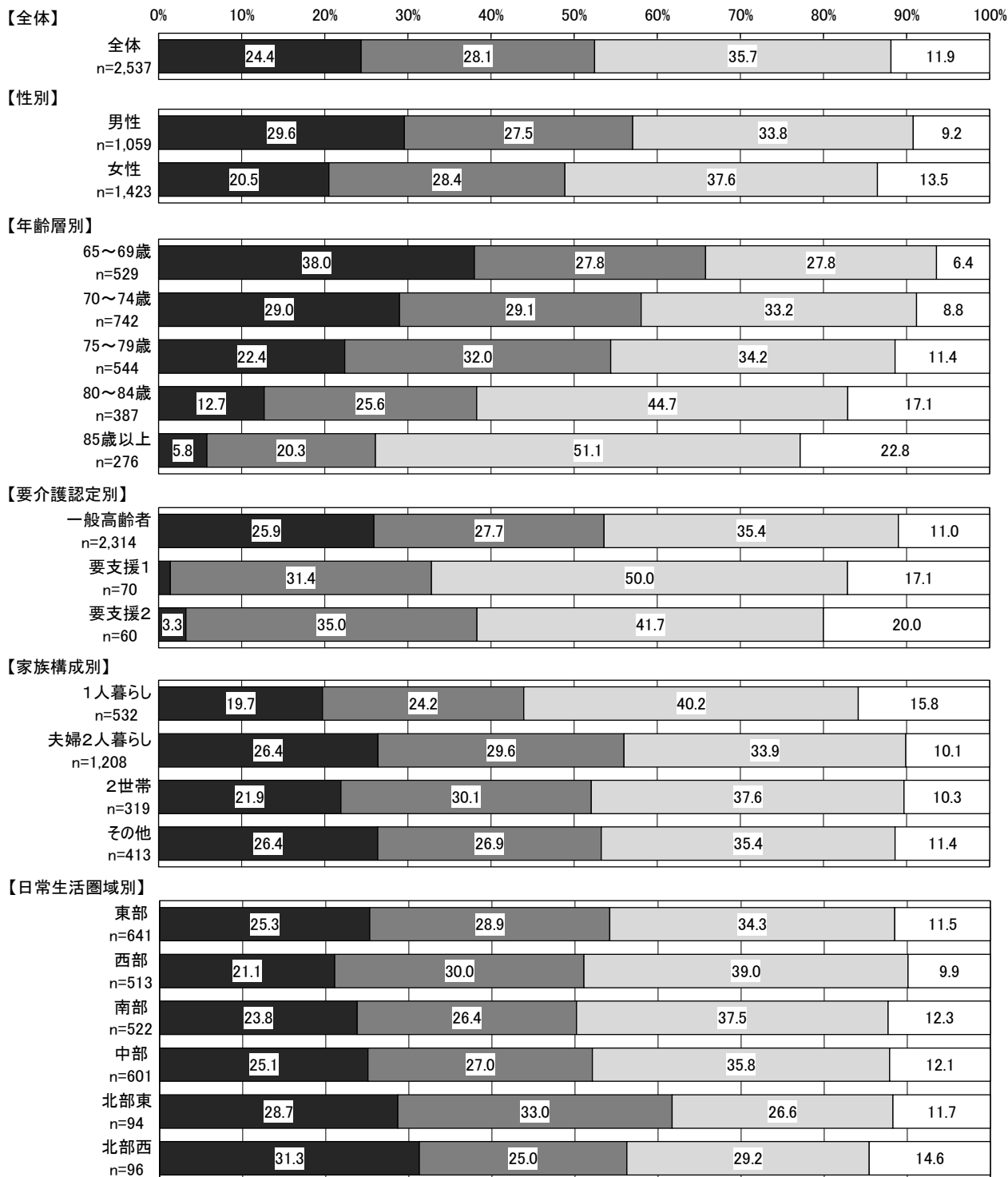
		配食	調理	掃除・洗濯	買い物 (宅配は含まない)	ゴミ出しや電球の交換などのちよっととした力仕事	外出同行(通院や買い物など)	移送サービス (介護・福祉タクシー)	見守り・声かけ	定期的な通いの場 サロンなどの場	急病など緊急時の手助け	話し相手	悩みごとの相談	その他	特になし	無回答
	全体 n=2,537	3.4	3.2	4.6	9.9	11.9	6.2	1.8	28.0	2.2	11.0	19.7	6.5	1.8	39.6	14.4
性別	男性 n=1,059	2.6	1.1	3.4	8.5	17.7	5.4	2.9	23.6	1.6	11.9	12.7	5.9	1.3	47.4	10.5
	女性 n=1,423	4.0	4.7	5.4	10.9	7.7	6.7	1.0	31.6	2.7	10.3	25.1	6.8	2.2	33.9	16.9
年齢層別	65～69歳 n=529	4.2	4.5	6.6	12.5	14.7	6.6	1.9	36.5	2.3	12.3	21.2	5.5	1.5	39.7	7.8
	70～74歳 n=742	4.3	3.2	5.1	12.0	13.1	7.1	2.0	32.1	3.0	13.2	19.0	6.6	1.8	36.5	12.8
	75～79歳 n=544	3.9	3.5	4.4	10.5	12.7	6.6	0.9	29.4	2.4	11.4	22.8	7.0	0.9	38.6	15.3
	80～84歳 n=387	1.6	2.3	2.6	4.7	9.8	4.9	2.6	18.6	1.6	8.0	18.9	6.7	2.3	41.9	18.3
	85歳以上 n=276	1.4	1.1	2.5	5.8	5.8	3.6	1.8	12.7	0.7	6.5	14.1	6.5	3.3	47.1	22.1
要介護認定別	一般高齢者 n=2,314	3.5	3.2	4.7	10.3	12.5	6.3	1.8	29.3	2.2	11.5	19.7	6.4	1.7	39.2	13.7
	要支援1 n=70	1.4	-	4.3	4.3	2.9	2.9	1.4	14.3	-	5.7	25.7	11.4	4.3	45.7	15.7
	要支援2 n=60	-	5.0	3.3	3.3	3.3	3.3	1.7	8.3	5.0	1.7	20.0	5.0	3.3	46.7	20.0
家族構成別	1人暮らし n=532	3.6	3.9	5.6	9.2	8.1	5.6	1.7	21.4	3.6	8.8	19.4	6.6	1.9	39.1	19.9
	夫婦2人暮らし n=1,208	3.6	3.1	4.2	11.1	14.5	6.5	2.2	31.4	2.0	13.4	19.6	6.6	1.5	39.1	12.2
	2世帯 n=319	3.1	3.1	4.4	7.2	11.9	6.9	1.6	25.4	1.6	9.1	19.1	5.6	1.6	42.0	13.5
	その他 n=413	2.7	2.4	4.4	9.4	9.9	5.6	1.2	29.5	1.7	8.5	21.3	6.1	2.9	41.2	12.6
日常生活圏域別	東部 n=641	2.3	3.1	3.3	10.6	11.9	6.4	2.0	28.2	1.9	11.9	17.6	5.1	1.6	41.5	13.3
	西部 n=513	4.1	3.9	6.4	8.6	12.9	4.5	2.7	27.3	3.1	11.1	20.5	6.6	2.3	41.1	12.1
	南部 n=522	3.3	3.8	4.0	10.9	11.3	6.3	1.1	29.1	2.1	11.5	20.5	8.0	1.3	39.1	15.9
	中部 n=601	3.3	1.8	4.2	9.8	13.1	6.7	1.7	27.1	2.0	8.5	20.8	6.5	1.8	38.9	14.3
	北部東 n=94	2.1	3.2	3.2	8.5	8.5	5.3	1.1	33.0	3.2	13.8	21.3	6.4	3.2	30.9	16.0
	北部西 n=96	8.3	5.2	10.4	9.4	9.4	10.4	1.0	31.3	2.1	15.6	20.8	5.2	2.1	35.4	16.7

問10(4) あなたは、元気なうちは働いたり、ボランティア活動をしたいと思いますか (SA)

「したくない」が35.7%で最も高く、「したいと思うが、今は働いたりボランティア活動をしていない」が28.1%、「働いたり、ボランティア活動をしている」が24.4%となっています。

男性は女性と比較して「働いたり、ボランティア活動をしている」の割合が高くなっています。

年齢層が上がるほど「働いたり、ボランティア活動をしている」の割合が低くなり、要支援1・2では「働いたり、ボランティア活動をしている」の割合が一般高齢者と比較して顕著に低くなっています。



■ 働いたり、ボランティア活動をしている ■ したいと思うが、今は働いたりボランティア活動をしていない □ したくない □ 無回答



## 問 11 在宅介護・施設介護について

### 11.1 集計結果

問11(1) 仮に、あなたご自身が寝たきりや認知症となり、介護が必要になった場合に、どこで介護を受けたいですか (SA)

「現在の住まいで介護を受けたい」が30.6%で最も高くなっています。「一概には言えない」が14.8%、「特別養護老人ホームや老人保健施設などの介護保険施設に入所して介護を受けたい」「わからない」がともに13.6%となっています。

		現在の住まいで 介護を受けたい	介護付きの有料老人ホームや 高齢者住宅に住みかえて 介護を受けたい	特別養護老人ホームや老人 保健施設などの介護保険施設 に入所して介護を受けたい	病院に入院して 介護を受けたい	その他	一概には言えない	わからない	無回答
	全体 n=2,537	30.6	8.9	13.6	7.8	0.5	14.8	13.6	10.2
性別	男性 n=1,059	33.1	8.4	13.2	7.1	0.3	13.4	15.1	9.3
	女性 n=1,423	28.7	9.1	14.2	8.4	0.6	16.0	12.5	10.3
年齢層別	65～69歳 n=529	27.0	9.1	18.1	5.7	-	18.3	15.9	5.9
	70～74歳 n=742	31.1	10.6	14.0	6.7	0.5	15.4	13.7	7.8
	75～79歳 n=544	33.3	8.5	11.9	7.2	0.6	14.0	14.3	10.3
	80～84歳 n=387	30.7	7.2	11.6	10.9	0.8	13.7	11.4	13.7
	85歳以上 n=276	30.4	6.2	11.2	12.0	0.7	10.9	11.2	17.4
要介護認定別	一般高齢者 n=2,314	31.1	8.9	13.7	7.4	0.5	15.2	13.6	9.6
	要支援1 n=70	24.3	5.7	11.4	12.9	-	11.4	12.9	21.4
	要支援2 n=60	26.7	13.3	13.3	16.7	-	15.0	5.0	10.0
家族構成別	1人暮らし n=532	25.9	9.2	15.0	9.6	0.8	11.5	15.4	12.6
	夫婦2人暮らし n=1,208	33.3	9.7	14.4	6.9	0.5	13.9	12.5	8.9
	2世帯 n=319	32.3	8.2	12.5	6.0	-	16.9	13.2	11.0
	その他 n=413	27.8	6.3	11.1	9.9	0.5	21.1	15.3	8.0
日常生活圏域別	東部 n=641	30.6	9.2	14.0	6.6	0.9	16.5	12.0	10.1
	西部 n=513	29.4	8.0	15.0	8.8	0.4	15.2	15.0	8.2
	南部 n=522	31.2	9.0	13.6	9.2	0.8	12.5	13.2	10.5
	中部 n=601	29.8	9.3	12.5	7.8	-	16.0	15.0	9.7
	北部東 n=94	37.2	4.3	17.0	8.5	-	13.8	9.6	9.6
	北部西 n=96	33.3	12.5	12.5	3.1	-	10.4	11.5	16.7

問11(1)-① 【(1)で「1. 現在の住まいで介護を受けたい」に○をした方】

「現在の住まい」を選ばれた理由は何ですか (MA)

「現在の住まいで生活を続けたいから」が85.2%で最も高くなっています。「施設に入るだけの経済的余裕がないから」が29.5%、「在宅で十分な介護が受けられるから」が25.1%となっています。

65～69歳では他の年齢層と比較して「他人との共同生活はしたくないから」の割合が高くなっています。

一般高齢者では要支援1・2と比較して「施設に入るだけの経済的余裕がないから」の割合が高くなっています。

		在宅で十分な介護が受けられるから	現在の住まいで生活を続けたいから	施設で他人の世話をなすだけだから	他人との共同生活はしたくないから	施設では、自由な生活ができないから	経済的余裕がないから	施設に入るだけの経済的余裕がないから	施設を利用することに抵抗を感じるから	知らず、不安だから	具体的に施設を	その他	わからない	無回答
	全体 n=776	25.1	85.2	15.3	17.1	22.7	29.5	8.2	8.4	2.7	1.4	0.9		
性別	男性 n=351	23.6	85.5	18.5	21.7	22.5	30.2	7.7	6.0	1.1	1.1	0.6		
	女性 n=409	26.4	84.8	13.0	13.9	22.7	28.9	8.8	10.5	3.9	1.7	1.2		
年齢層別	65～69歳 n=143	16.8	83.9	17.5	27.3	32.9	33.6	7.7	7.7	0.7	0.7	0.7		
	70～74歳 n=231	19.9	86.1	19.9	19.9	22.5	32.0	7.8	6.1	4.3	0.9	0.4		
	75～79歳 n=181	28.7	86.2	9.9	13.8	18.8	31.5	8.8	7.7	1.7	2.8	1.7		
	80～84歳 n=119	30.3	84.0	13.4	9.2	16.8	28.6	6.7	8.4	2.5	0.8	0.8		
	85歳以上 n=84	35.7	85.7	15.5	14.3	22.6	11.9	11.9	16.7	3.6	2.4	1.2		
要介護認定別	一般高齢者 n=719	24.2	85.3	15.7	18.4	22.8	30.0	8.2	8.2	2.8	1.4	0.8		
	要支援1 n=17	23.5	82.4	11.8	5.9	5.9	17.6	5.9	5.9	-	5.9	-		
	要支援2 n=16	50.0	87.5	6.3	-	25.0	18.8	12.5	18.8	-	-	-		
家族構成別	1人暮らし n=138	32.6	82.6	12.3	15.9	21.0	26.1	7.2	8.0	4.3	1.4	1.4		
	夫婦2人暮らし n=402	26.1	85.6	17.7	20.1	23.9	29.4	9.0	7.5	2.0	1.7	0.7		
	2世帯 n=103	20.4	83.5	15.5	14.6	24.3	34.0	6.8	9.7	1.0	-	1.0		
	その他 n=115	17.4	88.7	12.2	12.2	19.1	29.6	9.6	10.4	4.3	1.7	0.9		
日常生活圏域別	東部 n=196	25.5	87.2	16.8	15.3	26.0	25.5	10.7	7.7	1.5	0.5	0.5		
	西部 n=151	28.5	82.8	15.9	15.9	23.2	32.5	7.3	8.6	2.0	1.3	1.3		
	南部 n=163	25.8	84.7	10.4	17.8	21.5	30.7	7.4	6.7	3.1	2.5	1.2		
	中部 n=179	24.0	87.2	17.3	20.7	20.1	29.6	7.8	8.9	3.9	2.2	1.1		
	北部東 n=35	14.3	82.9	20.0	11.4	14.3	31.4	11.4	17.1	2.9	-	-		
	北部西 n=32	25.0	84.4	15.6	21.9	28.1	25.0	3.1	6.3	3.1	-	-		

問11(1)-② 【(1)で「2」「3」「4」のどれかに○をした方】

「病院や施設」を選ばれた理由は何ですか (MA)

「家族に迷惑をかけたくないから」が63.8%で最も高くなっています。「緊急時の対応面で安心だから」が45.5%、「専門的な介護が受けられるから」が39.2%となっています。

65～69歳では他の年齢層と比較して「家族に迷惑をかけたくないから」の割合が高くなっています。

1人暮らしでは他の世帯と比較して「家族がいないから」の割合が高く、夫婦2人暮らしと2世帯では1人暮らしと比較して「家族に迷惑をかけたくないから」の割合が高くなっています。

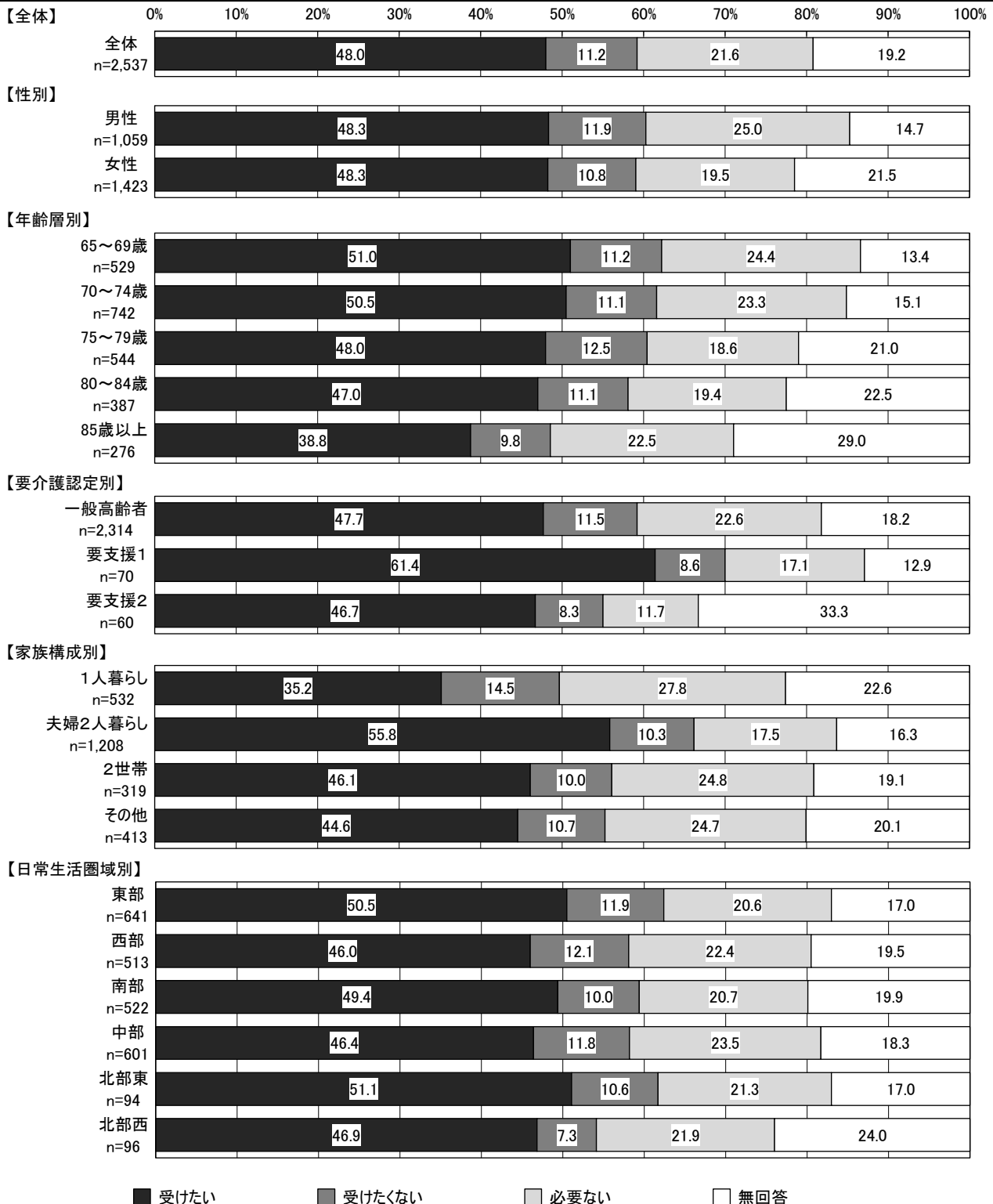
		家族がいないから	家族は仕事をしているなど、介護の時間が十分にとれないから	家族は高齢や体が弱いなど、十分な介護ができないから	家族に迷惑をかけたくないから	専門的な介護が受けられるから	緊急時の対応面で安心だから	現在の住まいで受けられる介護サービスが不十分だから	介護のための部屋がない、入浴しにくいなどの住宅の構造に問題があるから	その他	わからない	無回答
全体 n=770		8.7	19.7	16.5	63.8	39.2	45.5	4.5	14.7	1.9	1.0	4.7
性別	男性 n=304	8.6	13.2	21.7	64.1	39.5	43.1	4.6	15.1	2.0	-	5.3
	女性 n=452	9.1	24.3	12.8	63.5	38.9	47.1	4.6	14.8	2.0	1.8	3.8
年齢層別	65～69歳 n=174	6.9	18.4	11.5	78.2	39.7	44.8	4.0	14.9	1.1	-	2.3
	70～74歳 n=233	7.3	18.0	17.2	68.7	43.8	50.2	6.4	19.3	2.6	-	3.0
	75～79歳 n=150	12.0	22.0	20.7	58.7	38.7	47.3	2.7	15.3	2.0	1.3	2.0
	80～84歳 n=115	8.7	22.6	18.3	51.3	36.5	41.7	3.5	8.7	0.9	2.6	7.0
	85歳以上 n=81	12.3	19.8	13.6	45.7	28.4	34.6	6.2	9.9	3.7	3.7	13.6
要介護認定別	一般高齢者 n=696	9.1	18.8	16.7	63.9	39.1	45.5	4.6	14.8	1.9	0.7	4.6
	要支援1 n=21	4.8	28.6	23.8	57.1	33.3	38.1	-	19.0	-	14.3	-
	要支援2 n=26	7.7	26.9	11.5	65.4	34.6	42.3	3.8	11.5	7.7	-	-
家族構成別	1人暮らし n=180	30.6	20.0	2.2	51.1	31.7	41.1	5.0	10.0	2.2	2.8	6.1
	夫婦2人暮らし n=374	1.9	12.0	25.7	69.8	40.9	48.4	3.7	15.2	2.1	0.3	3.5
	2世帯 n=85	1.2	41.2	10.6	67.1	48.2	49.4	7.1	15.3	2.4	2.4	2.4
	その他 n=113	3.5	28.3	12.4	61.1	38.1	39.8	5.3	20.4	0.9	-	6.2
日常生活圏域別	東部 n=191	7.9	18.3	16.2	69.1	35.6	42.9	3.7	17.3	2.1	0.5	3.7
	西部 n=163	9.2	22.1	15.3	62.0	38.7	47.2	7.4	13.5	2.5	1.8	4.9
	南部 n=166	10.8	13.3	18.1	65.1	40.4	50.0	2.4	13.3	1.8	1.2	4.2
	中部 n=178	7.9	23.0	16.3	59.6	43.3	43.8	4.5	16.9	2.2	1.1	5.1
	北部東 n=28	7.1	25.0	25.0	57.1	53.6	50.0	10.7	7.1	-	-	3.6
	北部西 n=27	11.1	29.6	7.4	66.7	22.2	33.3	3.7	14.8	-	-	3.7

## 問 12 見守り・安否確認について

### 12.1 集計結果

問12(1) 1人暮らしになった場合や、日中一人になるような際に、見守り支援やサービスを受けたいですか (SA)

「受けたい」が48.0%で最も高く、「必要ない」が21.6%、「受けたくない」が11.2%となっています。要支援1では一般高齢者や要支援2と比較して「受けたい」の割合が高くなっています。夫婦2人暮らしでは「受けたい」、1人暮らしでは「必要ない」の割合がそれぞれ他の世帯と比較して高くなっています。



■ 受けたい      ■ 受けたくない      ■ 必要ない      □ 無回答

問12(1)-① 【(1)で「1. 受けない」に○をした方】

どのような支援を受けたいですか (MA)

「緊急通報器による見守り」が43.2%で最も高くなっています。「地域の方の訪問による見守り」が40.0%、「市役所や包括支援センター職員の訪問による見守り」が35.8%となっています。

		訪問による見守り 地域の方の 見守り	緊急通報器に よる見守り	安否確認を兼ねた 定期的な電話	新聞配達・郵便配達時の ガス検針など民間業者の 見守り	市役所や包括支援 センター職員の訪問 による見守り	その他	無回答
	全体 n=1,219	40.0	43.2	33.7	9.8	35.8	1.6	1.8
性別	男性 n=512	45.5	43.9	30.1	10.7	38.9	1.8	1.0
	女性 n=687	35.7	42.2	36.5	9.0	33.6	1.5	2.2
年齢層別	65～69歳 n=270	34.4	51.1	31.9	10.4	40.4	0.7	-
	70～74歳 n=375	40.0	43.7	36.8	9.6	31.2	1.3	1.3
	75～79歳 n=261	42.1	38.7	36.8	9.6	36.0	0.4	2.7
	80～84歳 n=182	42.3	38.5	31.9	9.9	35.2	2.2	2.2
	85歳以上 n=107	44.9	38.3	23.4	9.3	41.1	5.6	3.7
要介護認定別	一般高齢者 n=1,104	40.2	42.9	34.3	10.0	34.5	1.4	1.3
	要支援1 n=43	39.5	34.9	25.6	7.0	55.8	2.3	4.7
	要支援2 n=28	21.4	50.0	32.1	7.1	57.1	-	10.7
家族構成別	1人暮らし n=187	39.6	38.5	28.3	9.1	29.9	2.7	3.7
	夫婦2人暮らし n=674	39.0	44.5	37.4	10.2	35.8	1.0	0.9
	2世帯 n=147	44.2	44.9	29.3	8.8	35.4	2.7	1.4
	その他 n=184	39.7	41.3	31.0	9.2	42.4	1.6	2.7
日常生活圏域別	東部 n=324	38.9	43.2	34.9	10.5	33.3	1.2	1.2
	西部 n=236	44.5	41.5	32.2	7.6	37.7	1.3	2.1
	南部 n=258	38.8	41.9	31.0	11.6	39.5	1.6	1.2
	中部 n=279	38.4	45.5	36.6	9.7	35.8	1.1	2.9
	北部東 n=48	43.8	39.6	31.3	6.3	33.3	4.2	-
	北部西 n=45	33.3	46.7	37.8	11.1	28.9	4.4	-

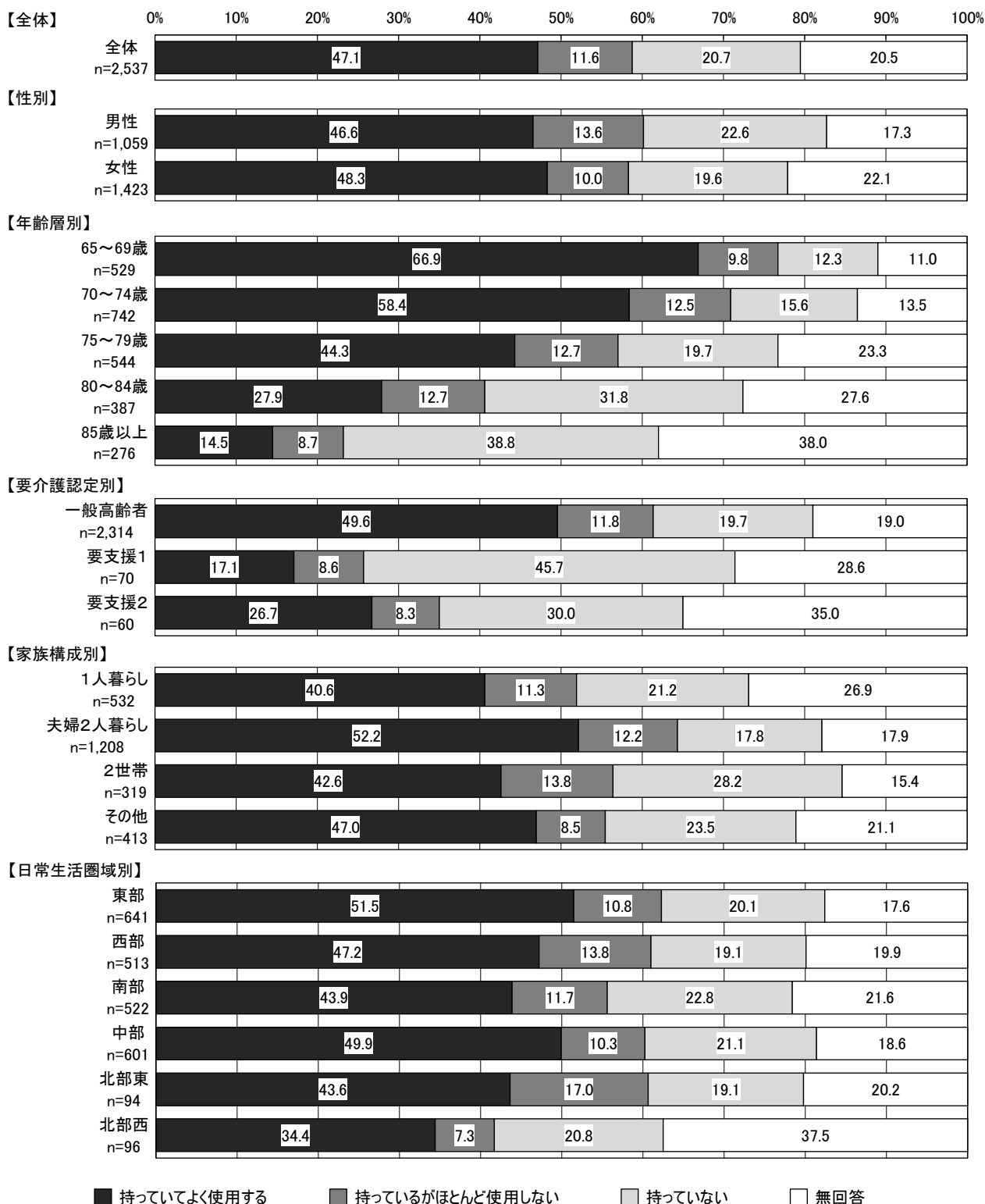
## 問 13 スマートフォンやパソコンの活用について

### 13.1 集計結果

#### 問13(1)A 「スマートフォン」を使用していますか (SA)

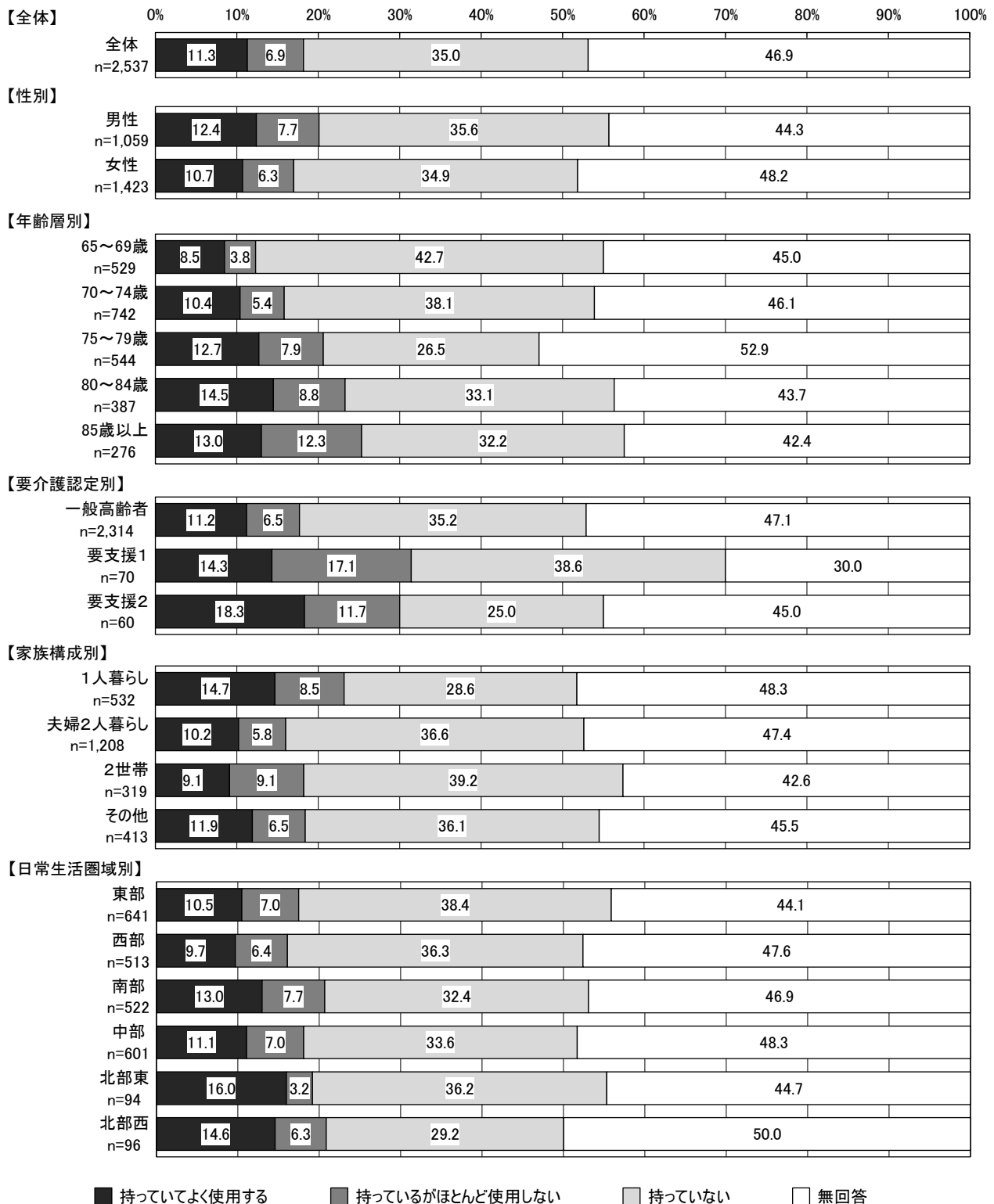
「持っているがよく使用する」が47.1%で最も高く、「持っていない」が20.7%、「持っているがほとんど使用しない」が11.6%となっています。

年齢層が上がるほど「持っているよく使用する」の割合が低くなっており、要支援1・2では一般高齢者と比較して「持っているよく使用する」の割合が顕著に低くなっています。



問13(1)B 「フィーチャーフォン(折りたたむタイプの携帯電話)」を使用していますか (SA)

「持っていない」が35.0%で最も高く、「持っていてよく使用する」が11.3%、「持っているがほとんど使用しない」が6.9%、「持っているがほとんど使用しない」が6.9%となっています。

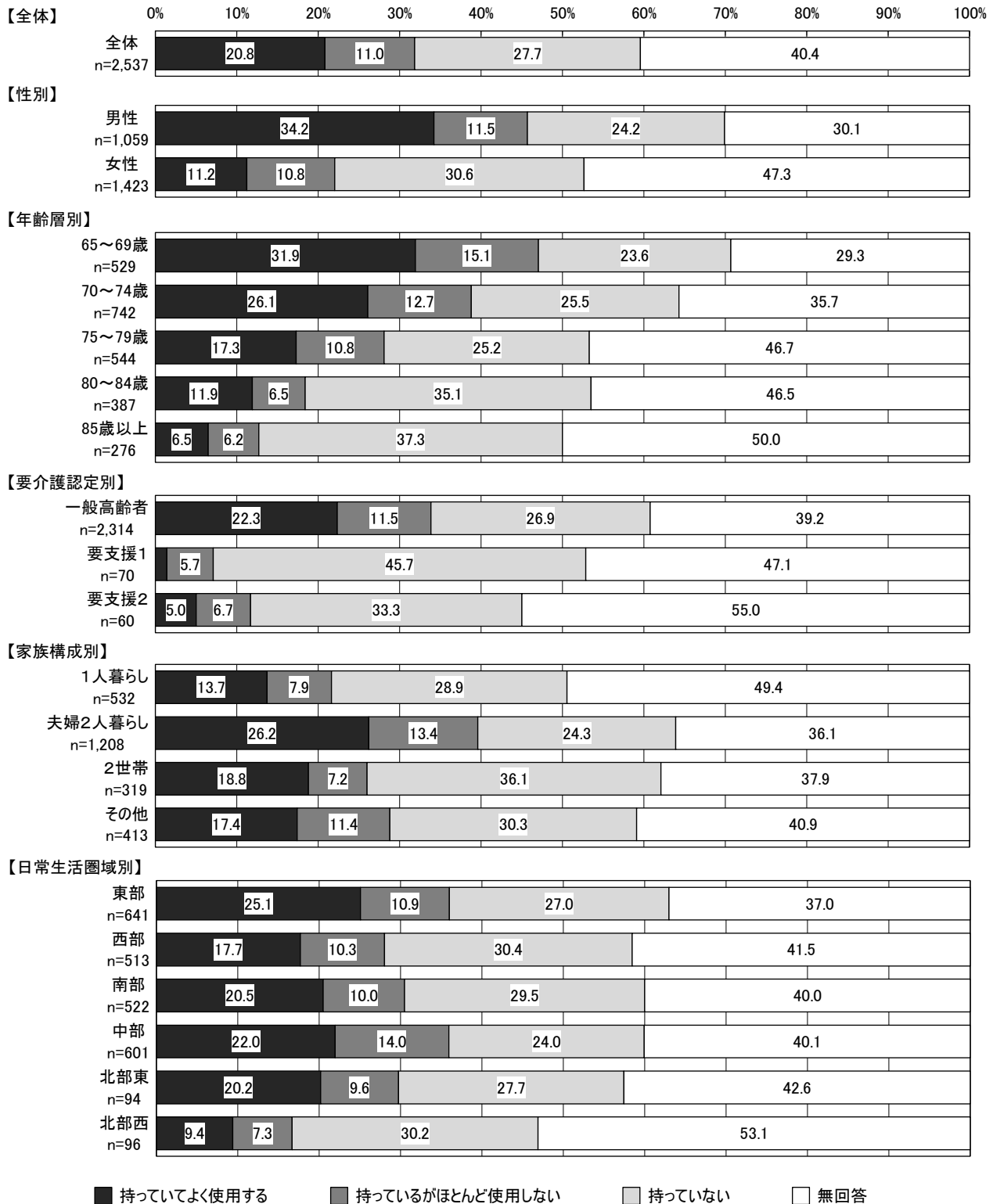


### 問13(1)C 「パソコン」を使用していますか (SA)

「持っていない」が27.7%で最も高く、「持っていてよく使用する」が20.8%、「持っているがほとんど使用しない」が11.0%となっています。

男性は女性と比較して「持っていてよく使用する」の割合が高くなっています。

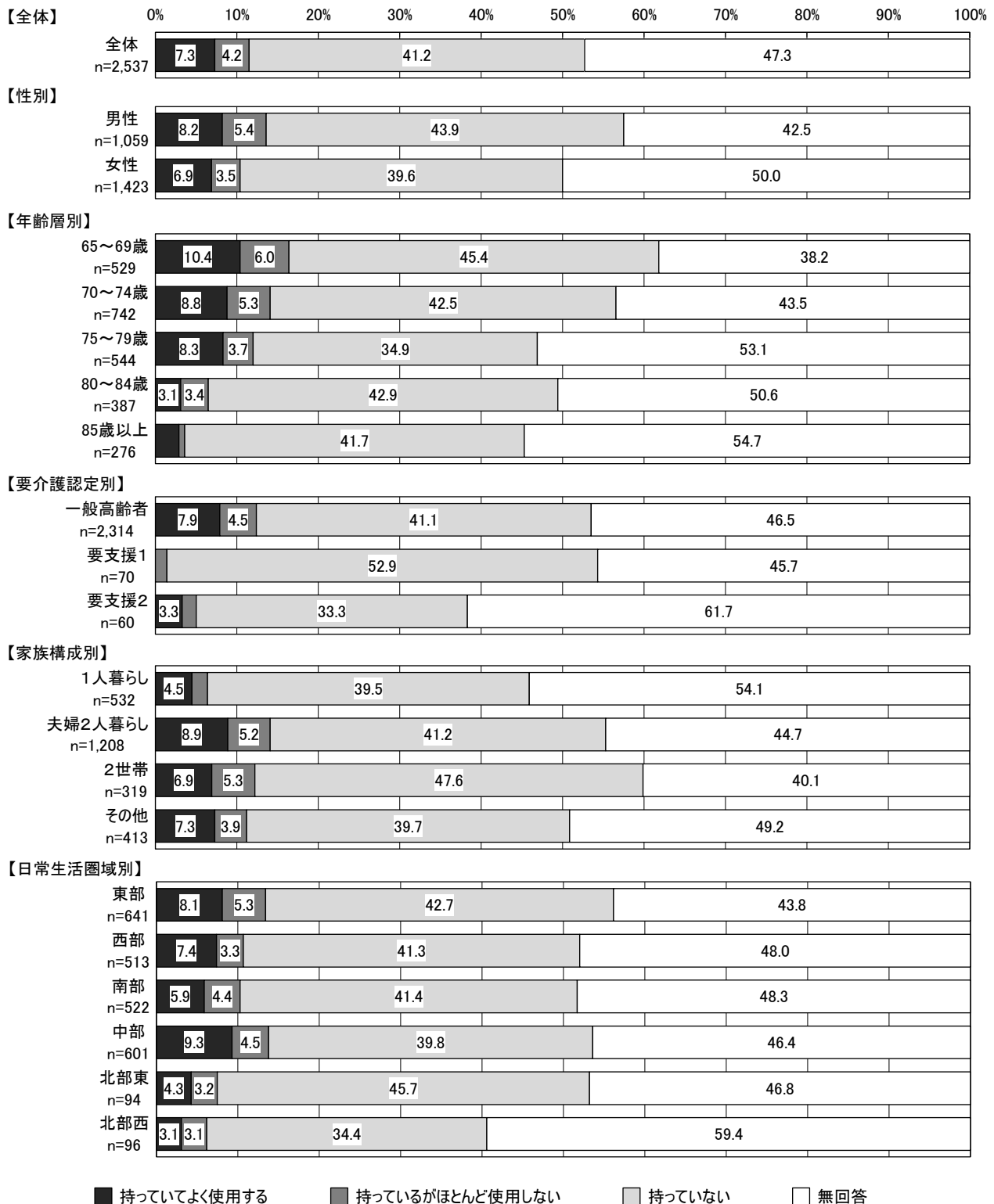
年齢層が上がるほど「持っていてよく使用する」の割合が低くなっており、要支援1・2では一般高齢者と比較して「持っていてよく使用する」の割合が顕著に低くなっています。





問13(1)D 「タブレット」を使用していますか (SA)

「持っていない」が41.2%で最も高く、「持っていてよく使用する」が7.3%、「持っているがほとんど使用しない」が4.2%となっています。



問13(1)-① 【(1)で1つでも「1. 持っていてよく使用する」に○をした方】

よく使うものは何ですか (MA)

「電話」が81.7%で最も高くなっています。「メール」が70.0%、「カメラ・アルバム」が44.9%となっています。

		電話	メール	インターネットでのウェブサイトの閲覧等	カメラ・アルバム	音楽を聴く	動画の視聴	ゲーム	SNSでの交流や情報収集	行政等各種手続き	その他	無回答
	全体 n=1,553	81.7	70.0	40.6	44.9	14.2	25.8	12.8	12.0	6.3	4.1	2.3
性別	男性 n=678	76.3	58.4	51.2	37.6	17.8	28.2	10.5	12.1	9.3	4.0	3.4
	女性 n=857	85.9	79.2	32.4	50.1	11.2	24.0	14.6	11.8	4.1	3.9	1.5
年齢層別	65～69歳 n=407	76.9	79.9	58.0	54.1	20.4	35.9	19.2	17.2	10.8	3.7	1.2
	70～74歳 n=530	81.1	72.8	43.6	44.2	13.6	28.5	11.9	13.2	7.2	4.3	2.8
	75～79歳 n=328	87.5	64.9	32.3	43.6	13.4	19.5	10.4	8.5	3.4	3.4	1.8
	80～84歳 n=184	81.0	56.0	21.2	32.1	7.6	13.0	8.7	2.7	1.6	2.7	4.9
	85歳以上 n=81	88.9	53.1	16.0	32.1	4.9	13.6	6.2	11.1	2.5	7.4	1.2
要介護認定別	一般高齢者 n=1,476	81.4	70.8	41.8	45.1	14.5	26.5	13.2	12.3	6.6	3.9	2.4
	要支援1 n=22	90.9	50.0	18.2	40.9	9.1	9.1	-	-	-	9.1	4.5
	要支援2 n=27	88.9	51.9	7.4	25.9	-	14.8	3.7	3.7	-	3.7	-
家族構成別	1人暮らし n=305	82.6	65.6	27.9	37.0	9.5	18.4	11.8	9.8	3.0	4.3	3.3
	夫婦2人暮らし n=794	81.1	72.5	46.3	48.5	16.4	27.2	12.2	13.5	7.1	3.8	1.9
	2世帯 n=177	83.1	68.4	36.7	41.8	9.6	29.4	13.6	8.5	6.2	2.8	2.3
	その他 n=251	80.9	69.7	41.4	43.4	15.5	27.5	15.1	12.4	7.6	4.8	2.4
日常生活圏域別	東部 n=416	81.0	73.8	46.2	47.4	12.0	26.9	10.8	15.1	7.2	2.2	3.1
	西部 n=307	80.8	70.7	37.8	45.0	14.7	24.1	16.9	9.8	4.9	3.6	2.3
	南部 n=311	83.0	69.1	38.6	41.2	16.1	22.8	12.9	11.9	6.8	4.2	1.3
	中部 n=386	81.6	68.9	43.0	45.3	16.8	30.8	13.0	11.7	7.0	5.4	2.3
	北部東 n=59	83.1	61.0	25.4	32.2	3.4	13.6	8.5	10.2	1.7	3.4	3.4
	北部西 n=48	85.4	64.6	25.0	47.9	6.3	20.8	4.2	4.2	6.3	6.3	2.1

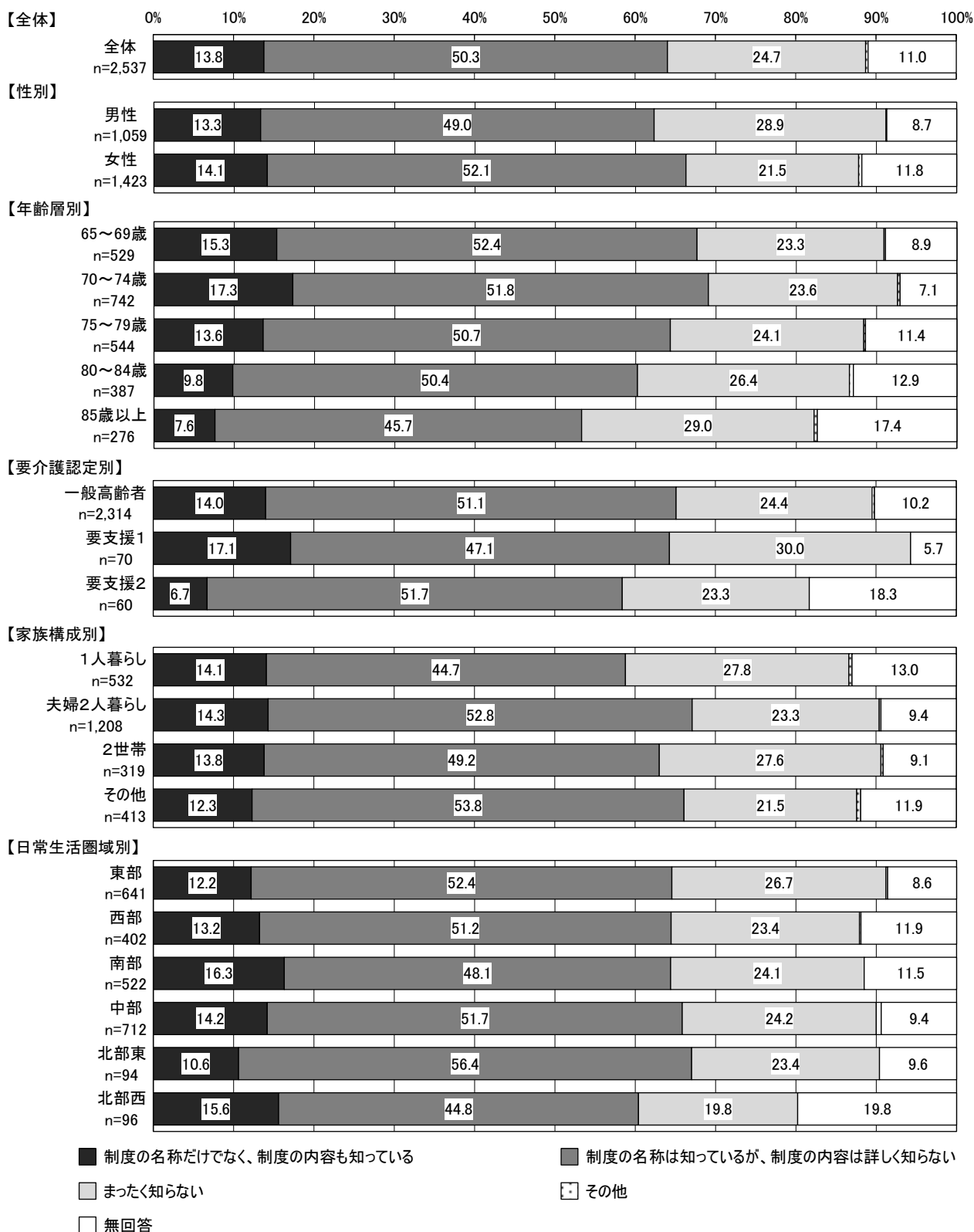
## 問 14 成年後見人制度について

### 14.1 集計結果

#### 問14(1) 成年後見人制度を知っていますか (SA)

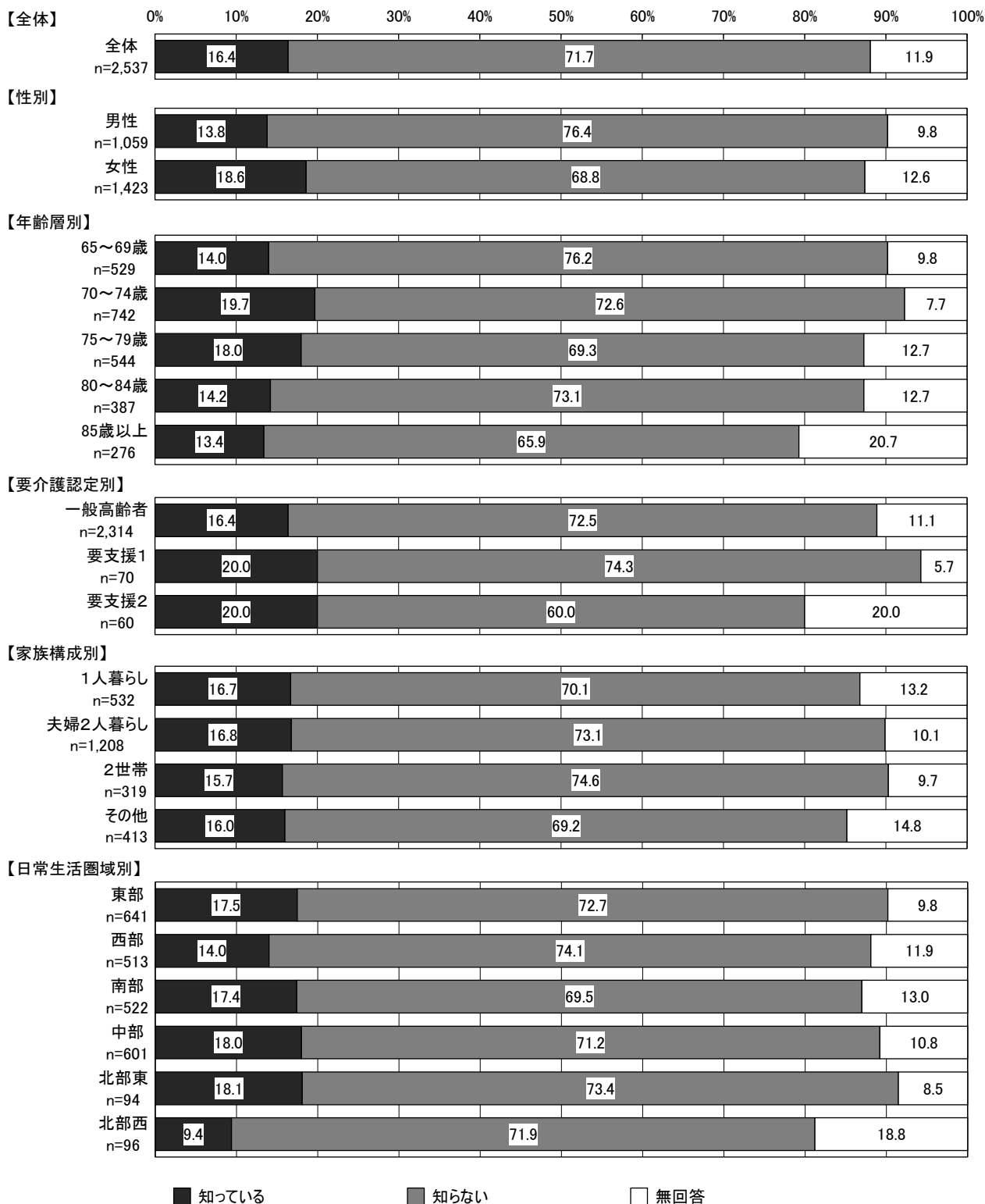
「制度の名称は知っているが、制度の内容は詳しく知らない」が50.3%で最も高くなっています。「まったく知らない」が24.7%、「制度の名称だけでなく、制度の内容も知っている」が13.8%となっています。

70歳以上において年齢が上がるほど「制度の名称だけでなく、制度の内容も知っている」「制度の名称は知っているが、制度の内容は詳しく知らない」の割合が低くなっています。



問14(2) 市役所内に成年後見人のことで相談できる「宇部市成年後見センター」があることを知っていますか (SA)

「知らない」が71.7%を占めています。

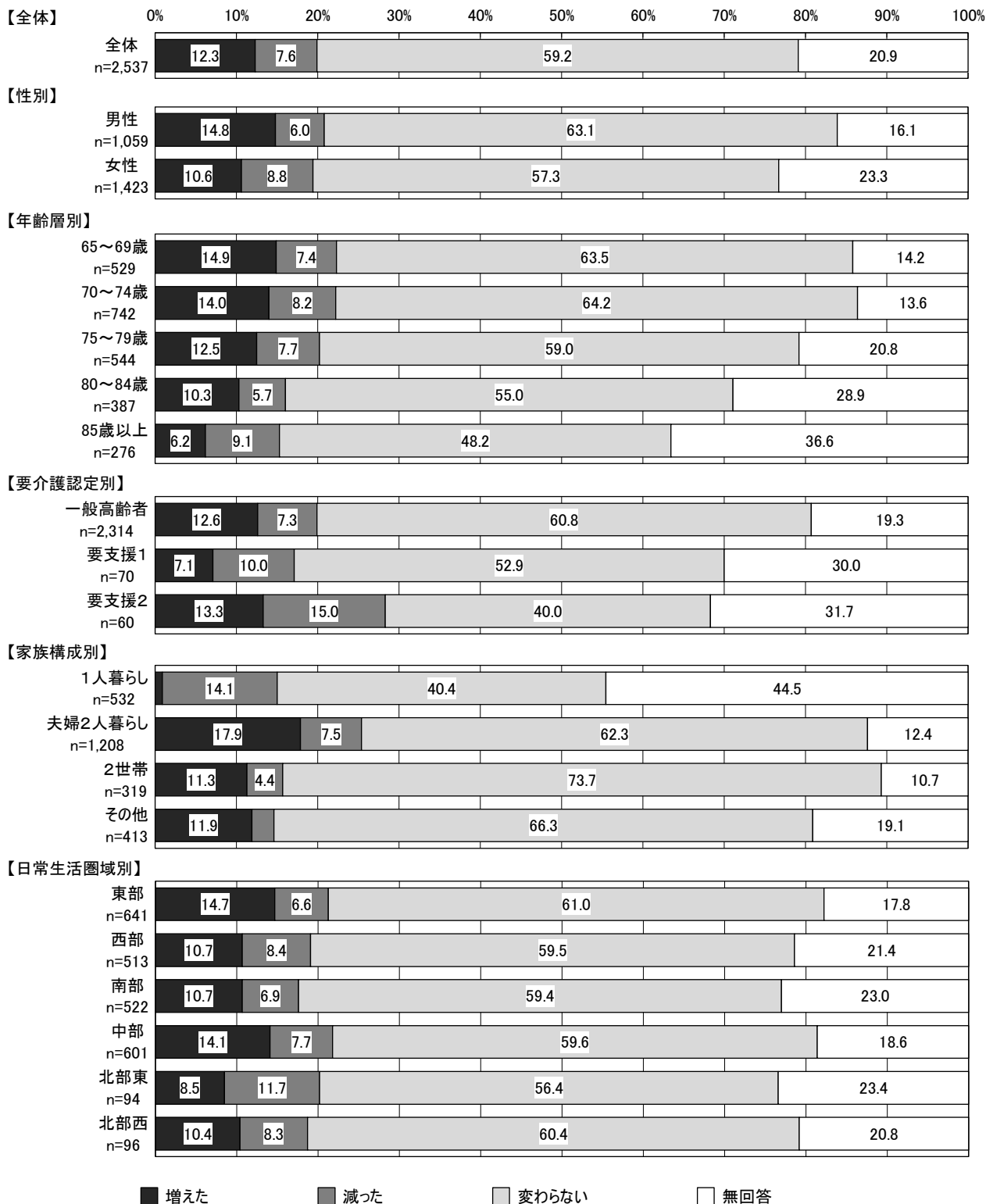


## 問 15 新型コロナの影響について

### 15.1 集計結果

問15(1)-① 新型コロナウイルス感染症の流行により、「家族と過ごす時間」にどのような変化がありましたか。(SA)

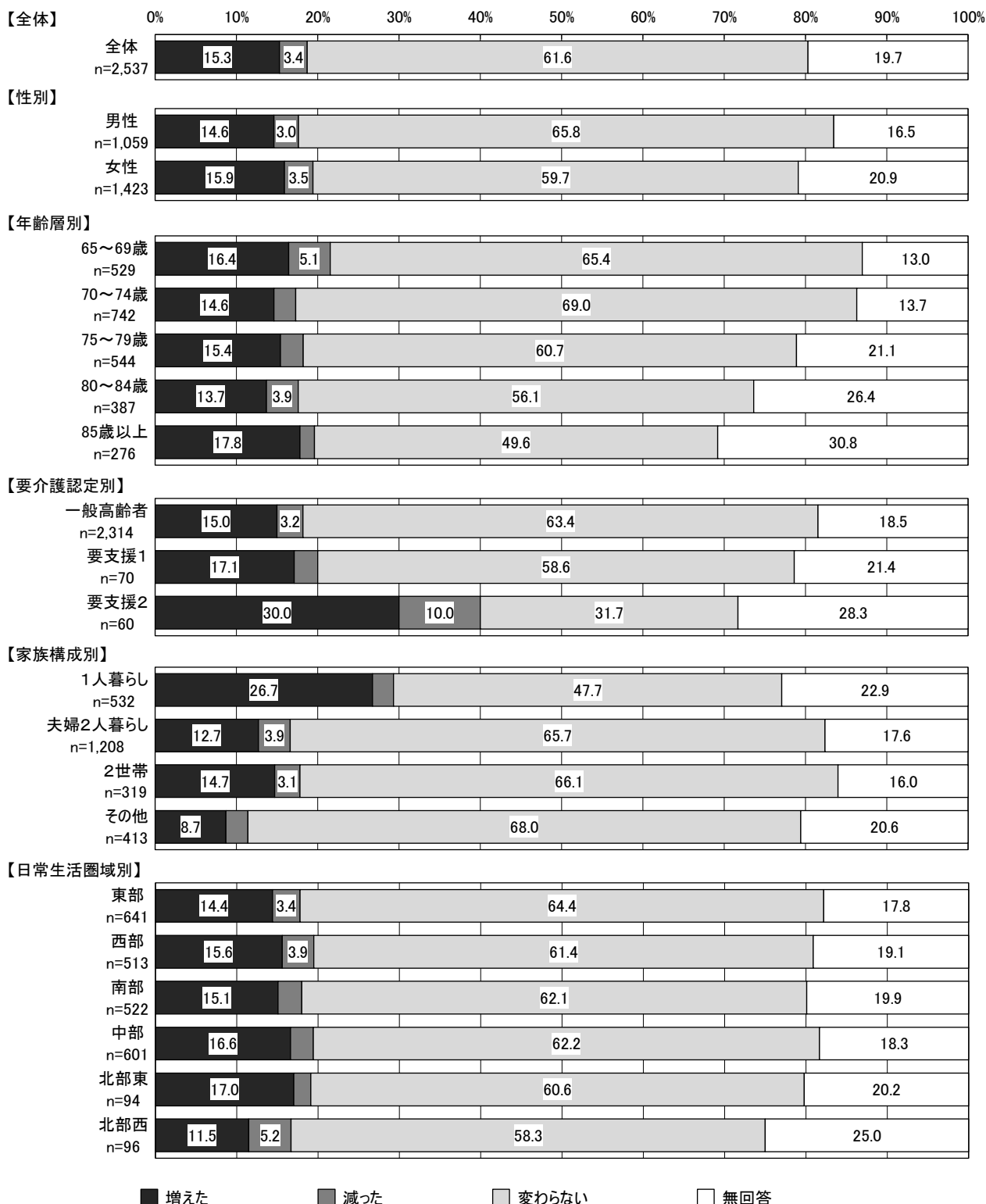
「変わらない」が59.2%を占めています。  
年齢層が上がるほど「増えた」の割合が減っています。



問15(1)-② 新型コロナウイルス感染症の流行により、「一人で過ごす時間」にどのような変化がありましたか。(SA)

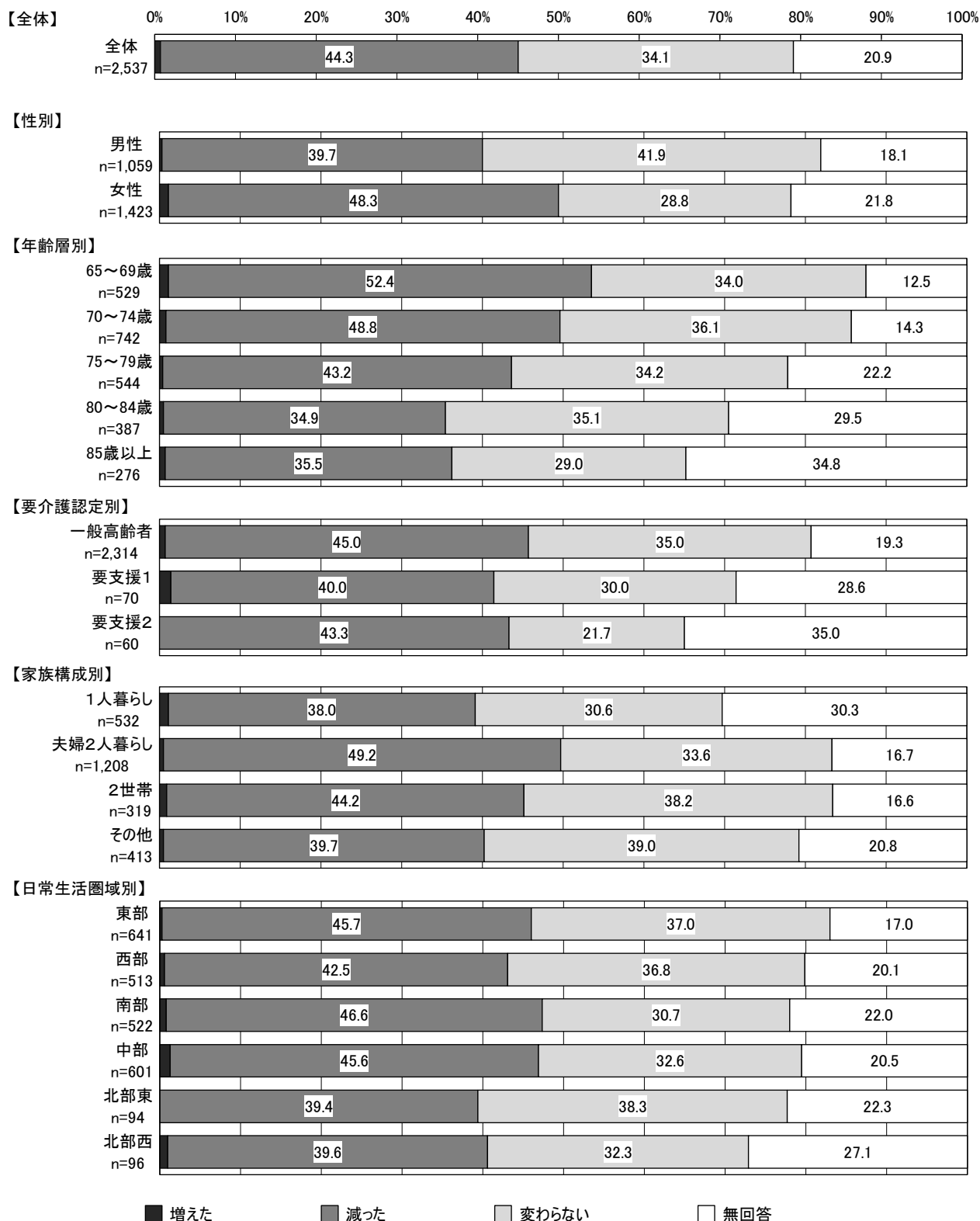
「変わらない」が61.6%を占めています。

1人暮らし及び要支援2では「増えた」の割合が高くなっています。



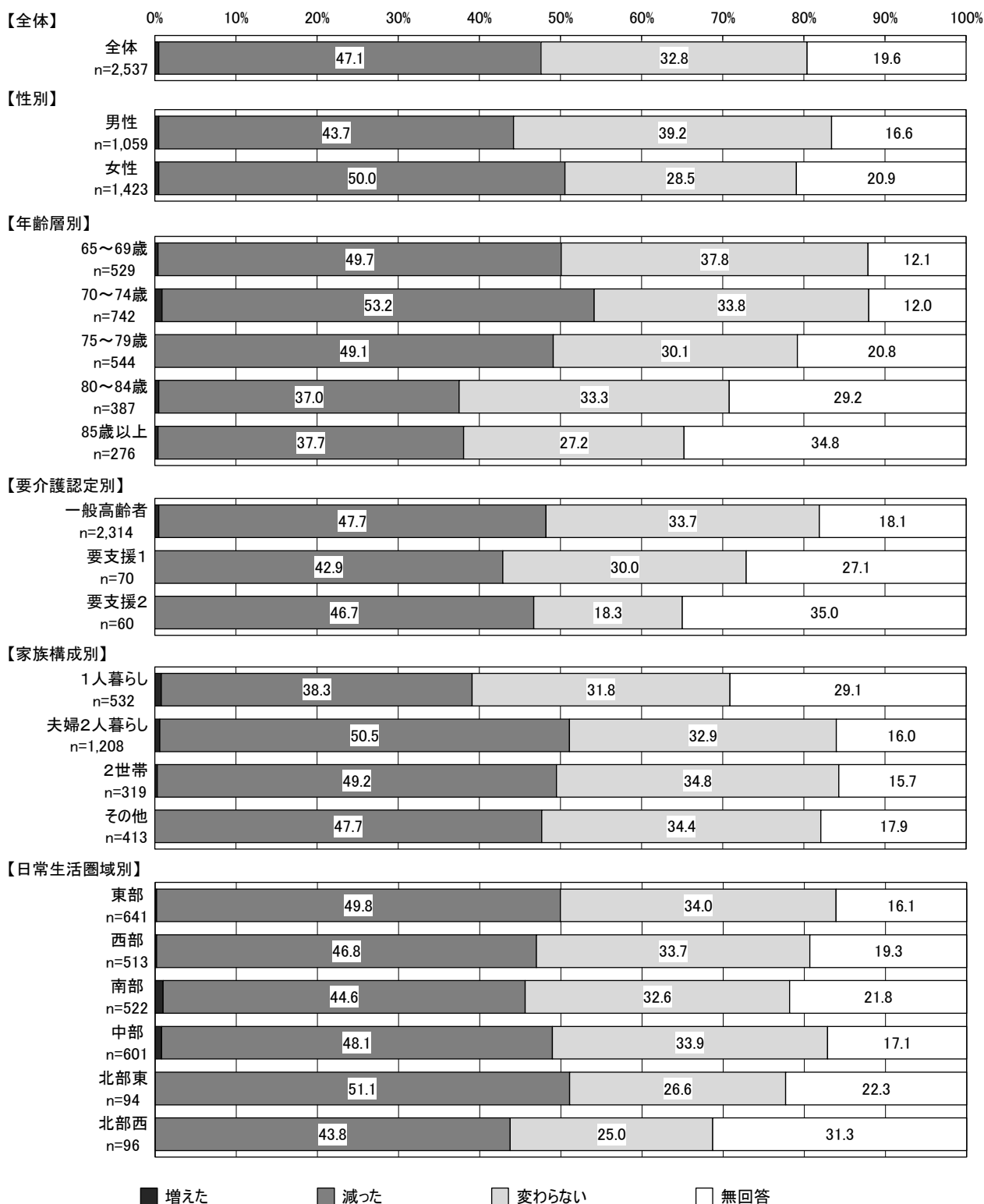
問15(1)-③ 新型コロナウイルス感染症の流行により、「友人・知人と過ごす時間」にどのような変化がありましたか。(SA)

「減った」が44.3%で最も高く、「変わらない」が34.1%となっています。



問15(1)-④ 新型コロナウイルス感染症の流行により、「外出する頻度」にどのような変化がありましたか。(SA)

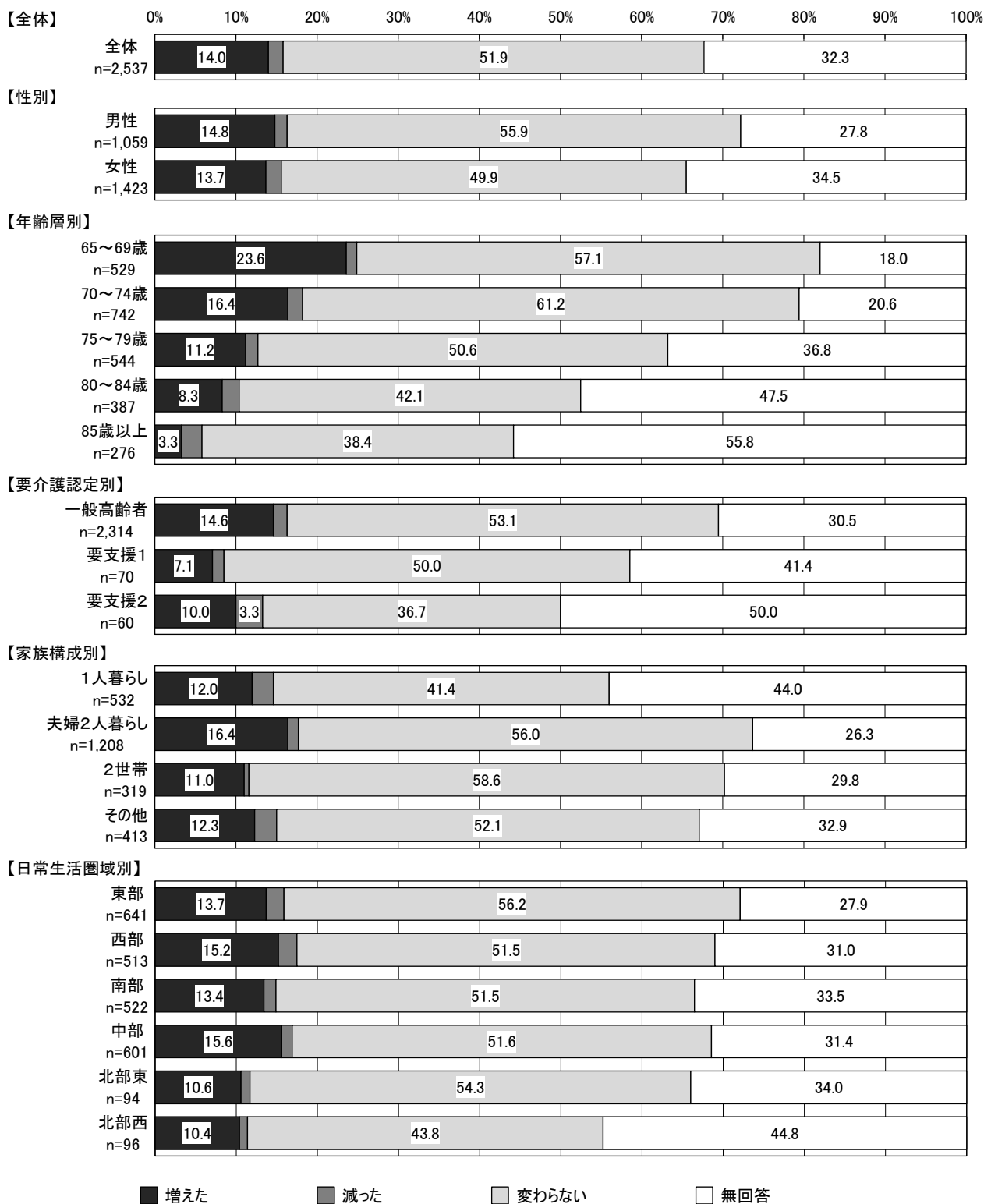
「減った」が47.1%で最も高く、「変わらない」が32.8%となっています。





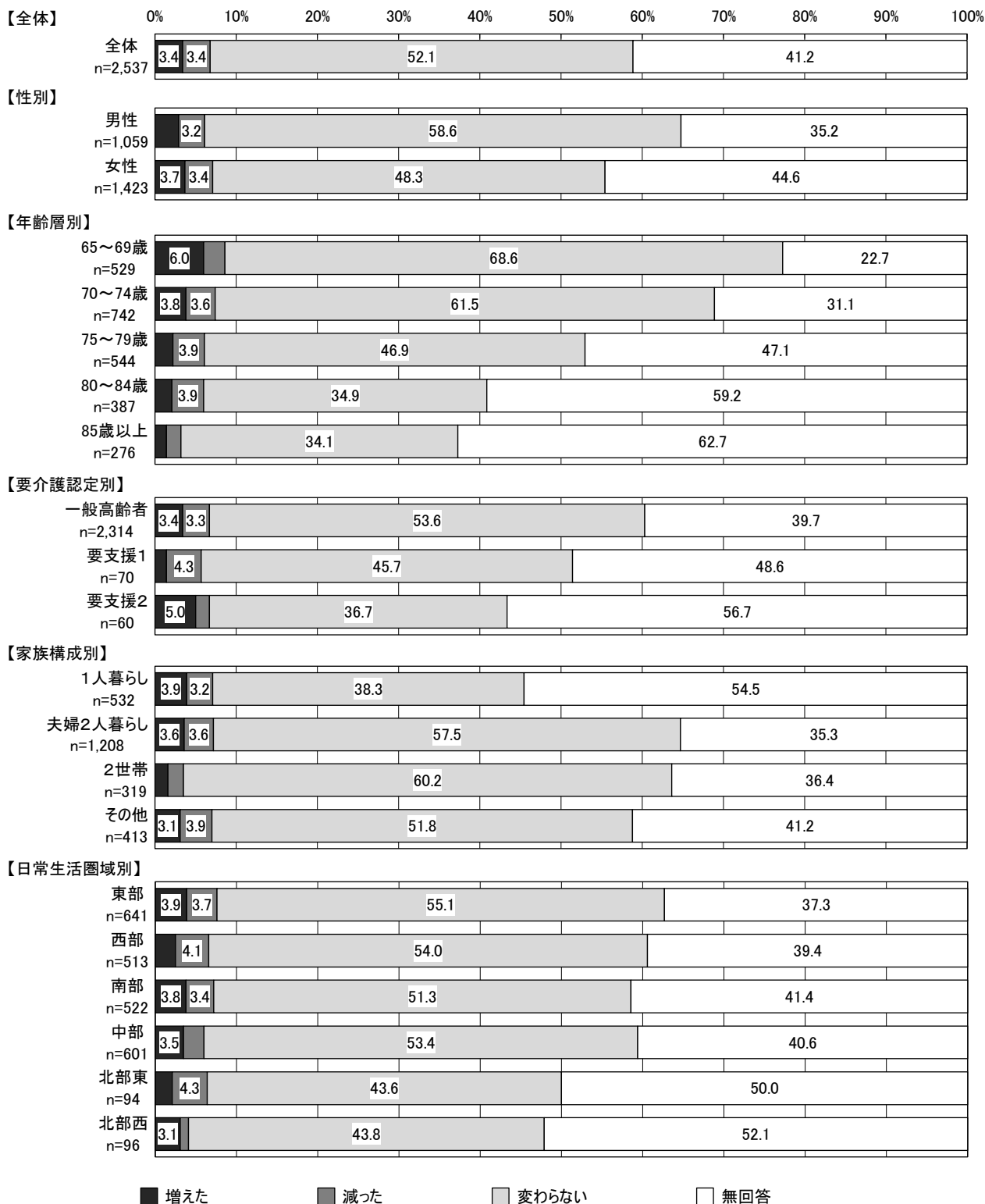
問15(1)-⑤ 新型コロナウイルス感染症の流行により、「パソコンやタブレット、スマートフォンを使う時間」にどのような変化がありましたか。(SA)

「変わらない」が51.9%を占めています。  
 一般高齢者では要支援1・2と比較して「増えた」の割合がやや高くなっています。



問15(1)-⑥ 新型コロナウイルス感染症の流行により、「SNSなどでの交流頻度」にどのような変化がありましたか。(SA)

「変わらない」が52.1%を占めています。



問15(2) 新型コロナウイルスの感染拡大収束後に期待することはどのようなことですか (MA)

「医療体制の充実」が41.8%で最も高くなっています。「特に期待はない」が28.6%、「地域のつながりの活性化」が24.0%となっています。

男性は女性と比較して「特に期待はない」の割合が高くなっています。

65～69歳では他の年齢層と比較して「新しい生活様式の定着」「働き方の多様化」の割合が高くなっています。

		地域のつながりの活性化	新しい生活様式の定着	働き方の多様化	医療体制の充実	あらゆる分野でのICTの活用	その他	特に期待はない	無回答
全体 n=2,537		24.0	19.2	8.2	41.8	3.9	3.2	28.6	13.0
性別	男性 n=1,059	23.6	21.0	10.6	39.9	4.9	2.6	33.1	9.6
	女性 n=1,423	24.5	18.1	6.3	43.5	3.1	3.7	25.6	14.6
年齢層別	65～69歳 n=529	21.0	24.6	14.4	45.2	5.7	1.7	28.2	9.3
	70～74歳 n=742	23.7	22.0	9.0	42.7	4.9	3.8	30.3	8.1
	75～79歳 n=544	27.0	15.6	6.3	40.8	2.8	4.2	28.5	14.5
	80～84歳 n=387	24.0	16.5	3.9	42.9	2.1	3.4	26.6	16.5
	85歳以上 n=276	25.4	12.7	3.3	34.4	2.5	2.9	29.3	21.4
要介護認定別	一般高齢者 n=2,314	24.2	19.7	8.5	42.0	3.9	3.2	28.7	12.1
	要支援1 n=70	18.6	12.9	7.1	35.7	4.3	5.7	37.1	12.9
	要支援2 n=60	26.7	15.0	1.7	55.0	1.7	-	21.7	25.0
家族構成別	1人暮らし n=532	23.5	16.0	5.8	37.2	2.3	4.1	28.8	16.7
	夫婦2人暮らし n=1,208	23.9	20.7	8.3	44.0	4.5	2.9	28.8	11.1
	2世帯 n=319	25.7	19.7	8.2	44.2	3.4	4.1	27.3	10.7
	その他 n=413	24.0	18.9	10.4	40.0	4.6	2.7	29.5	12.6
日常生活圏域別	東部 n=641	21.4	20.0	9.8	42.3	3.7	2.5	32.0	11.1
	西部 n=513	26.1	20.5	8.2	40.4	4.5	3.9	27.5	13.3
	南部 n=522	22.6	18.0	6.3	40.0	3.6	3.6	30.3	13.2
	中部 n=601	24.6	20.3	9.0	45.9	4.0	3.5	26.1	11.6
	北部東 n=94	28.7	14.9	3.2	41.5	3.2	4.3	26.6	13.8
	北部西 n=96	32.3	16.7	7.3	36.5	3.1	1.0	24.0	16.7

## 問 16 その他

### 16.1 集計結果

問16(1) 日常生活や将来のことで、不安に感じていることはありますか (MA)

「自分自身の健康のこと」が73.7%で最も高くなっています。「家族の健康のこと」が52.9%、「収入など経済的なこと」が34.0%となっています。

要介護度が上がるほど「災害など緊急時の対応について」の割合が高くなっています。

1人暮らしでは他の世帯と比較して「介護が必要になったときに世話をしてくれる人がいないこと」の割合が高くなっています。

		自分自身の健康のこと	家族の健康のこと	自分自身の死後のこと	介護が必要になったときに世話をしてくれる人がいないこと	親しい相談相手がいらないこと	近所の人との関係がよいこと	家族や親戚との関係がよいこと	収入など経済的なこと	災害など緊急時の対応について	その他	特に不安は感じていない	無回答
	全体 n=2,537	73.7	52.9	18.7	14.2	2.7	0.9	1.5	34.0	14.9	1.0	11.2	3.3
性別	男性 n=1,059	76.3	57.7	20.4	12.3	2.7	0.8	2.0	37.1	13.0	0.8	11.5	2.5
	女性 n=1,423	72.0	49.3	17.5	15.5	2.5	1.1	1.1	31.5	16.6	1.1	11.2	3.7
年齢層別	65～69歳 n=529	73.0	56.9	18.1	14.6	3.2	1.1	0.9	43.9	12.7	0.9	9.3	3.0
	70～74歳 n=742	74.5	55.9	21.4	12.4	1.6	0.8	1.8	37.5	16.0	0.8	10.0	2.0
	75～79歳 n=544	71.3	53.1	18.4	14.2	3.1	1.7	1.8	30.1	14.9	0.7	12.3	3.1
	80～84歳 n=387	78.6	48.1	16.3	15.8	2.6	0.8	1.3	28.7	14.7	1.3	13.7	1.8
	85歳以上 n=276	72.5	43.1	17.8	16.3	3.3	-	1.4	18.8	18.1	1.4	13.4	8.7
要介護認定別	一般高齢者 n=2,314	73.5	53.5	18.9	14.1	2.5	1.0	1.4	33.8	14.6	1.0	11.7	2.9
	要支援1 n=70	85.7	38.6	7.1	20.0	2.9	1.4	2.9	35.7	18.6	-	8.6	2.9
	要支援2 n=60	80.0	45.0	25.0	15.0	6.7	-	3.3	30.0	26.7	1.7	1.7	8.3
家族構成別	1人暮らし n=532	77.3	17.5	23.7	30.6	4.9	0.4	3.2	30.8	18.6	0.8	12.0	2.8
	夫婦2人暮らし n=1,208	74.6	65.8	16.1	10.2	1.8	1.2	0.7	33.8	14.7	0.7	10.3	3.3
	2世帯 n=319	72.7	56.1	19.4	7.2	2.2	1.9	2.2	33.2	12.2	0.9	13.8	2.5
	その他 n=413	69.2	58.4	19.4	9.4	2.4	0.2	1.0	38.7	13.1	2.2	11.9	3.1
日常生活圏域別	東部 n=641	73.0	53.5	20.7	11.9	2.7	0.9	1.4	34.0	13.6	1.6	10.9	3.4
	西部 n=513	75.0	54.2	17.9	14.6	2.5	1.6	0.8	32.9	17.2	0.8	10.1	2.5
	南部 n=522	74.5	49.2	18.6	15.7	2.9	1.0	2.5	31.8	14.9	0.4	12.6	3.4
	中部 n=601	72.0	54.4	16.6	15.1	2.8	0.3	1.5	37.1	15.1	0.8	12.1	2.3
	北部東 n=94	73.4	51.1	22.3	18.1	1.1	1.1	2.1	27.7	18.1	2.1	8.5	5.3
	北部西 n=96	81.3	56.3	20.8	11.5	2.1	2.1	-	33.3	13.5	1.0	10.4	5.2

問16(2) 今後、特に力を入れてほしいと思われる高齢者に関わる施策は何ですか (MA)

「困ったときに気軽に相談できる窓口の設置」が46.9%で最も高くなっています。「健診や医療の充実」が33.4%、「配食や家事援助などの生活支援」が26.0%となっています。

65～69歳では「健診や医療の充実」、80～84歳では「定期的な高齢者に対する見守り」の割合が他の年齢層と比較して高くなっています。

要介護度が上がるほど「定期的な高齢者に対する見守り」の割合が高くなっています。

		健康づくりの普及	介護予防の普及	健診や医療の充実	配食や家事援助などの生活支援	定期的な高齢者に対する見守り	認知症高齢者に対する支援	高齢者虐待の防止	知識や技能を活かした就労や起業の支援	趣味や社会活動等の生きがい対策	学習機会の提供	さまざまな安全な住まいづくりの相談と支援	困ったときに気軽に相談できる窓口の設置	特にない	その他	無回答
	全体 n=2,537	18.7	18.4	33.4	26.0	21.1	25.3	8.9	5.2	13.5	7.1	11.2	46.9	10.8	1.2	7.0
性別	男性 n=1,059	18.0	19.4	38.8	26.4	21.3	26.4	7.2	6.4	13.2	6.3	12.3	43.6	13.9	1.2	4.3
	女性 n=1,423	19.0	17.4	29.2	25.9	20.9	24.4	10.1	4.1	13.4	7.8	10.3	49.1	8.9	1.3	8.7
年齢層別	65～69歳 n=529	23.3	19.8	39.7	27.4	18.1	26.5	9.8	8.5	17.4	9.6	14.0	51.4	7.4	1.3	4.7
	70～74歳 n=742	16.4	15.6	34.6	27.8	19.4	24.5	10.0	5.9	12.7	8.8	12.5	46.5	11.5	0.8	5.0
	75～79歳 n=544	17.8	17.3	31.1	24.6	19.3	26.1	8.6	4.4	12.9	5.9	10.7	46.3	12.7	1.5	6.4
	80～84歳 n=387	19.4	22.2	30.2	24.0	28.2	26.1	7.5	2.6	12.9	4.7	8.8	44.7	11.4	1.3	7.5
	85歳以上 n=276	15.6	18.5	25.7	25.0	25.0	22.1	6.5	1.1	9.1	4.3	6.2	42.8	12.3	1.8	15.9
要介護認定別	一般高齢者 n=2,314	18.6	18.0	33.2	25.8	20.3	25.1	8.9	5.2	13.6	7.3	11.1	47.0	11.5	1.3	6.3
	要支援1 n=70	21.4	18.6	27.1	25.7	28.6	24.3	7.1	1.4	11.4	5.7	8.6	50.0	8.6	-	10.0
	要支援2 n=60	13.3	23.3	43.3	31.7	38.3	23.3	8.3	3.3	8.3	3.3	8.3	31.7	-	1.7	15.0
家族構成別	1人暮らし n=532	17.1	17.1	24.2	28.6	25.9	20.7	9.8	3.0	10.5	6.6	10.3	50.8	12.2	1.5	7.3
	夫婦2人暮らし n=1,208	19.1	18.5	35.3	28.0	21.3	27.0	7.9	6.2	14.5	8.1	12.2	45.9	9.8	1.1	6.6
	2世帯 n=319	15.7	20.7	37.9	20.1	15.4	25.1	8.8	4.7	10.3	3.8	8.8	40.8	12.9	0.9	6.6
	その他 n=413	21.5	17.2	35.1	22.0	18.9	26.2	10.4	4.8	16.2	7.7	10.2	49.6	11.4	1.7	6.5
日常生活圏域別	東部 n=641	18.9	16.5	30.3	26.8	20.9	26.7	10.6	5.1	13.6	8.0	12.6	46.0	11.5	0.9	5.8
	西部 n=513	18.7	17.7	35.3	24.8	21.2	26.1	7.0	5.7	14.2	7.4	10.9	50.7	10.3	1.8	6.0
	南部 n=522	18.8	18.8	32.6	28.5	19.9	24.3	8.2	5.4	13.6	6.7	11.3	44.4	11.7	1.1	8.0
	中部 n=601	18.6	21.1	34.8	25.8	22.1	25.3	9.8	5.2	12.1	7.7	10.8	47.3	10.6	1.3	5.8
	北部東 n=94	11.7	9.6	33.0	23.4	23.4	18.1	4.3	2.1	18.1	4.3	5.3	45.7	11.7	-	10.6
	北部西 n=96	21.9	22.9	41.7	22.9	20.8	26.0	7.3	3.1	9.4	4.2	7.3	43.8	7.3	1.0	10.4

問16(3) これからどのような場が充実すればおでかけしたいと思いますか (MA)

「温浴施設などゆっくりくつろげる場所」が44.5%で最も高くなっています。「買い物ができる場所」が34.8%、「食事ができる場所」が32.0%となっています。

男性は女性と比較して「温浴施設などゆっくりくつろげる場所」「公園のように体を動かせる場所」の割合が高く、女性は男性と比較して「買い物ができる場所」の割合が高くなっています。

65～69歳では他の年齢層と比較して「公園のように体を動かせる場所」「文化的な活動ができる場所」の割合が高くなっています。

		公園のように 体を動かせる場所	買い物 ができる場所	文化的な活動 ができる場所	食事 ができる場所	温浴施設など ゆっくりくつろ げる場所	その他	無回答
	全体 n=2,537	27.0	34.8	17.7	32.0	44.5	4.3	14.6
性別	男性 n=1,059	31.8	29.7	16.4	29.0	49.9	4.8	12.3
	女性 n=1,423	23.5	38.4	18.4	34.3	40.6	4.0	16.3
年齢層別	65～69歳 n=529	33.1	34.6	24.6	34.8	49.3	2.8	11.0
	70～74歳 n=742	28.7	34.8	18.7	33.7	44.6	3.5	12.3
	75～79歳 n=544	24.8	32.7	14.5	30.7	44.7	5.7	15.3
	80～84歳 n=387	24.8	37.7	14.5	28.9	43.9	4.9	15.0
	85歳以上 n=276	19.2	34.4	11.2	29.3	35.5	6.2	25.7
要介護認定別	一般高齢者 n=2,314	27.9	34.9	18.0	32.0	44.6	4.3	13.8
	要支援1 n=70	14.3	34.3	11.4	31.4	50.0	4.3	21.4
	要支援2 n=60	20.0	36.7	10.0	35.0	38.3	8.3	23.3
家族構成別	1人暮らし n=532	20.7	36.3	14.8	35.7	42.7	4.5	16.7
	夫婦2人暮らし n=1,208	29.8	35.3	19.8	32.9	47.2	4.1	11.8
	2世帯 n=319	27.0	33.2	14.7	27.9	42.6	3.8	17.9
	その他 n=413	28.3	32.2	16.7	27.4	41.4	5.3	16.5
日常生活圏域別	東部 n=641	28.7	36.0	17.8	37.3	45.6	3.7	13.4
	西部 n=513	30.2	30.8	17.3	29.6	47.2	3.7	12.3
	南部 n=522	24.9	31.2	13.8	29.7	44.8	4.2	17.2
	中部 n=601	26.0	38.8	20.6	30.6	42.9	4.7	15.8
	北部東 n=94	19.1	40.4	18.1	34.0	40.4	7.4	12.8
	北部西 n=96	27.1	38.5	20.8	31.3	39.6	6.3	12.5

## 第4章 在宅介護実態調査結果

### 1 在宅限界点の向上のための支援・サービスの提供体制の検討

#### 1.1 集計・分析の狙い

- ここでは、在宅限界点の向上に向けて必要となる支援・サービスを検討するために、「在宅生活の継続」と「介護者不安の軽減」の2つの視点からの集計を行っています。
- それぞれ、「どのようなサービス利用パターンの場合」に、「在宅生活を継続することができるのか」、もしくは「介護者の不安が軽減されているのか」を分析するために、「サービス利用パターン」とのクロス集計を行っています。
- なお、「サービス利用パターン」は、「サービス利用の組み合わせ」と「サービス利用の回数」の2つからなります。
- また、在宅限界点についての分析を行うという主旨から、多くの集計は要介護3以上、もしくは認知症高齢者の日常生活自立度Ⅲ以上の方に限定して集計をしています。

#### 1.2 集計結果

##### (1) 基礎集計

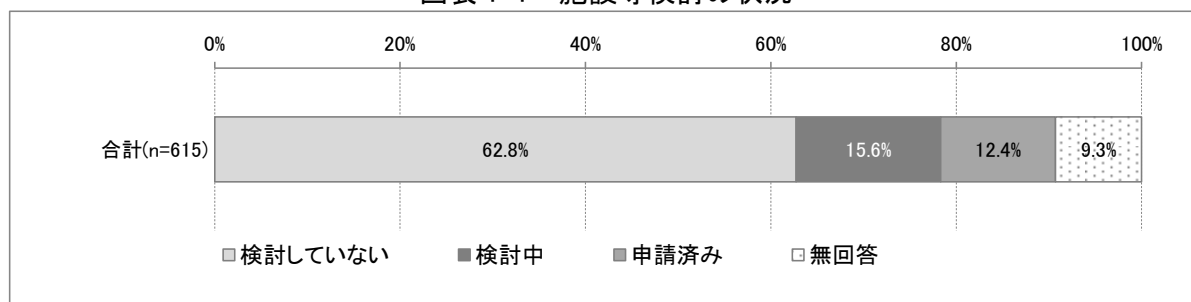
##### 【施設等検討の状況】

施設等の検討状況は「検討していない」が62.8%、「検討中」が15.6%、「申請済み」が12.4%となっています。

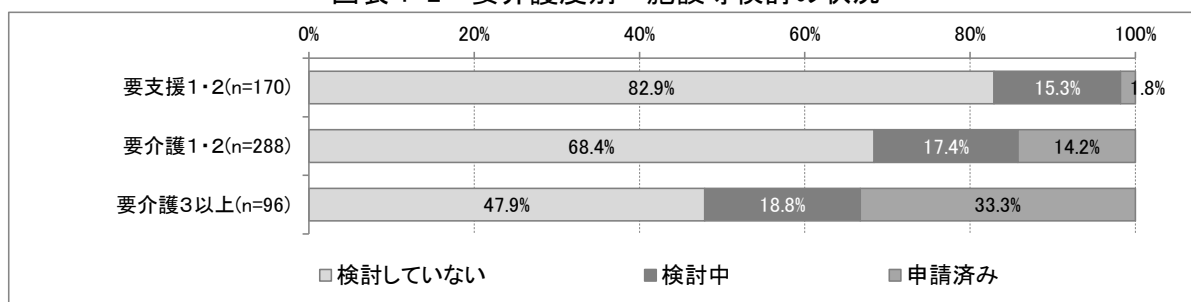
要介護度が上がるほど、施設利用を検討または申請している割合が高くなっています。

世帯類型別にみると、その他世帯は単身世帯・夫婦のみ世帯と比較して「検討中」「申請済み」の割合が高くなっています。

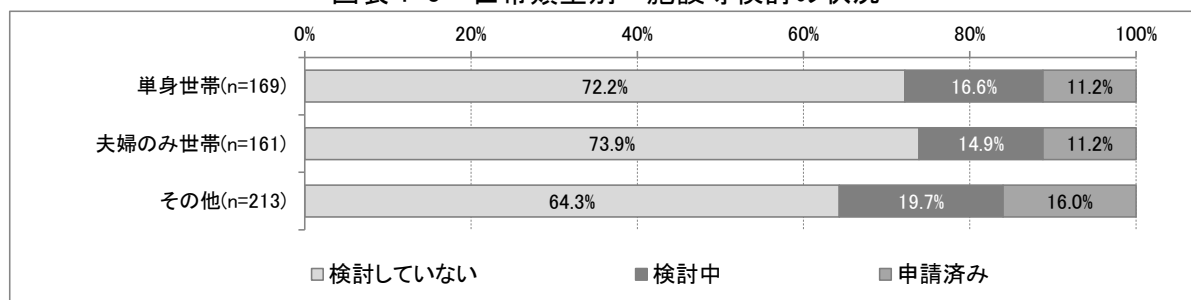
図表 1-1 施設等検討の状況



図表 1-2 要介護度別・施設等検討の状況



図表 1-3 世帯類型別・施設等検討の状況

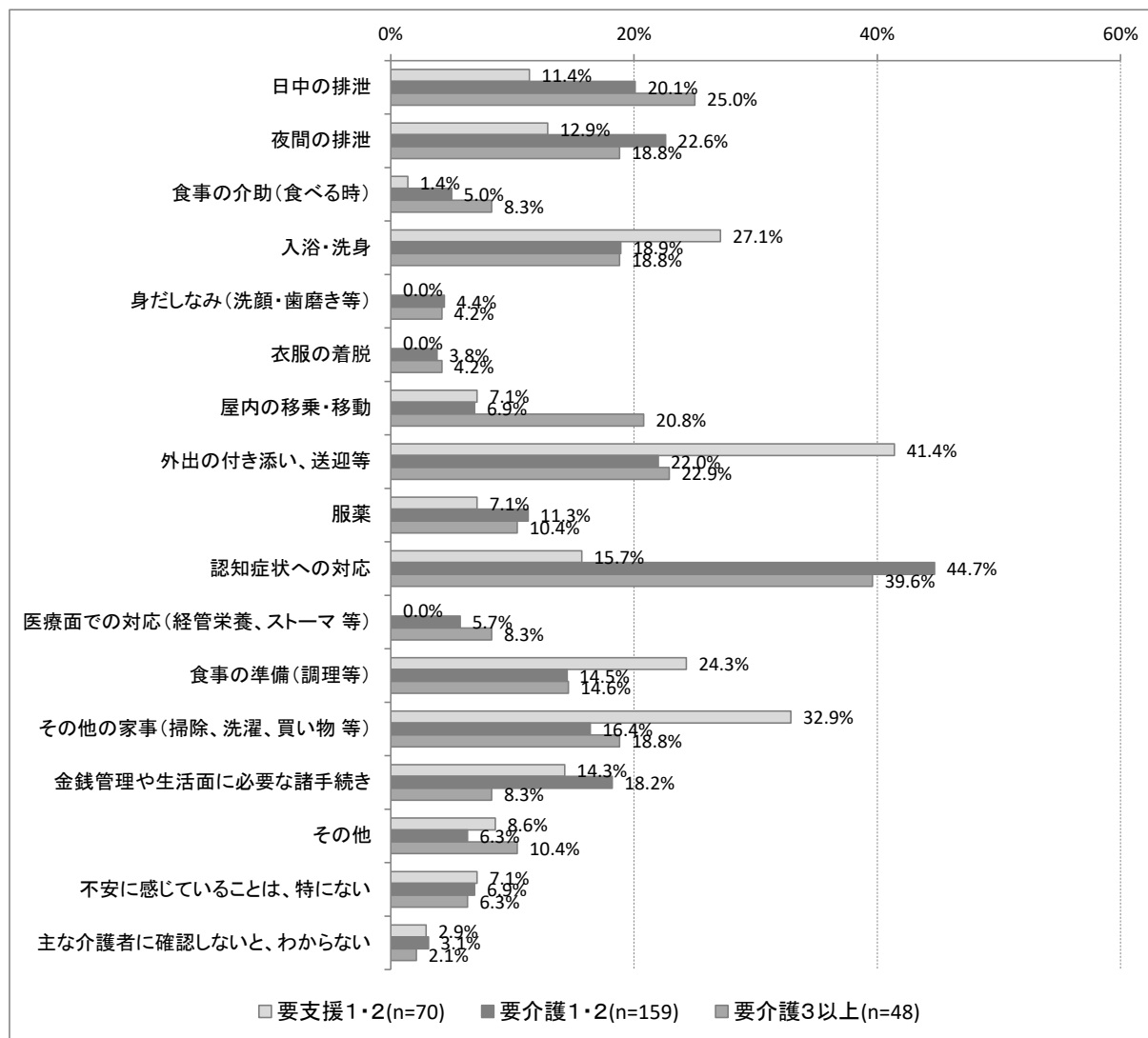


## (2) 要介護度・認知症自立度の重度化に伴う「主な介護者が不安に感じる介護」の変化

要介護度別に介護者が不安に感じる介護をみると、要支援1・2では「外出の付き添い、送迎等」が41.4%ともっとも割合が高くなっています。要介護1・2と要介護3以上では「認知症状への対応」が最も高くなっています。

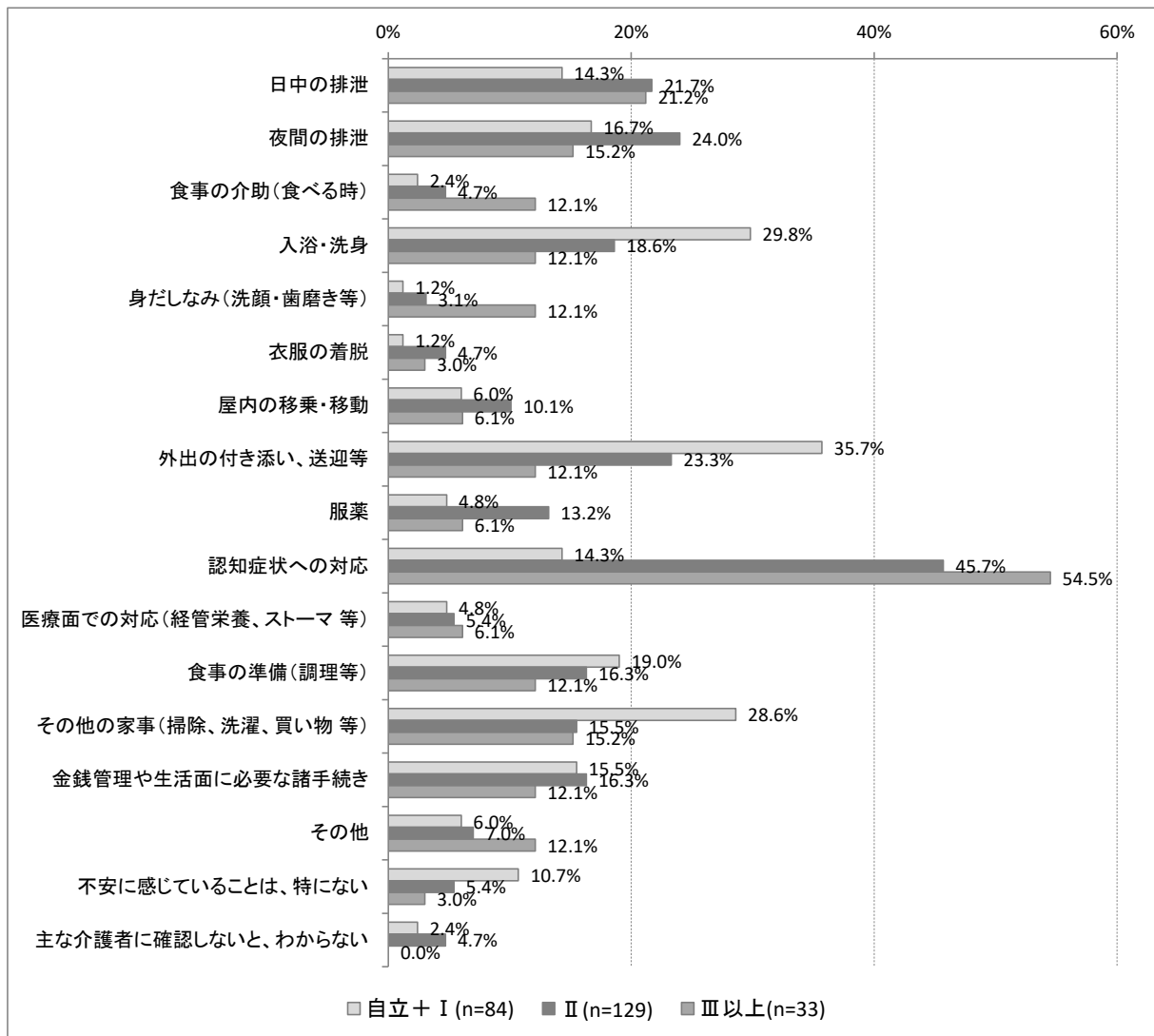
認知症自立度別Ⅱでは「認知症状への対応」の割合が半数、Ⅲ以上では半数以上となっており、認知症の重度化に伴い割合が高くなっています。

図表 1-4 要介護度別・介護者が不安に感じる介護





図表 1-5 認知症自立度別・介護者が不安を感じる介護

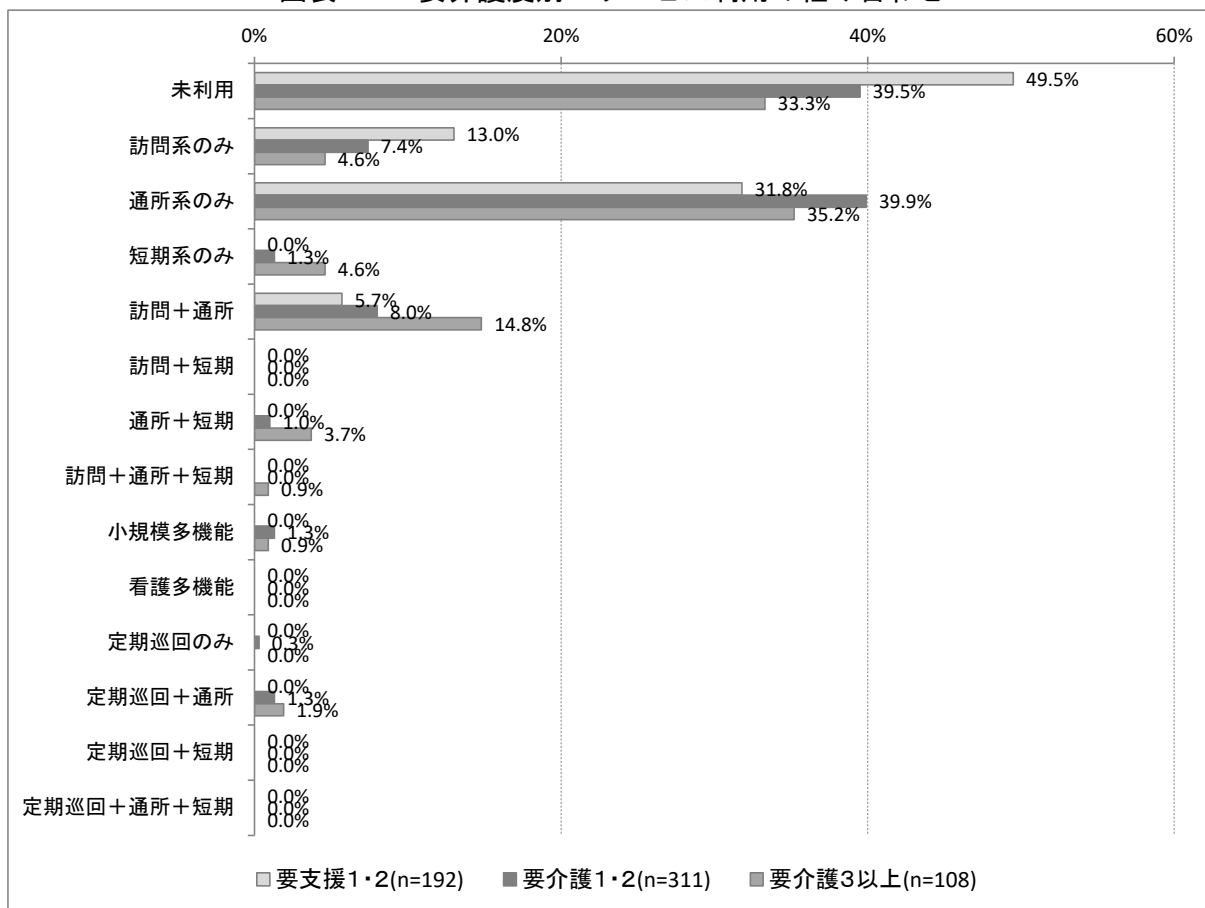


### (3) 要介護度・認知症自立度の重度化に伴う「サービス利用の組み合わせ」の変化

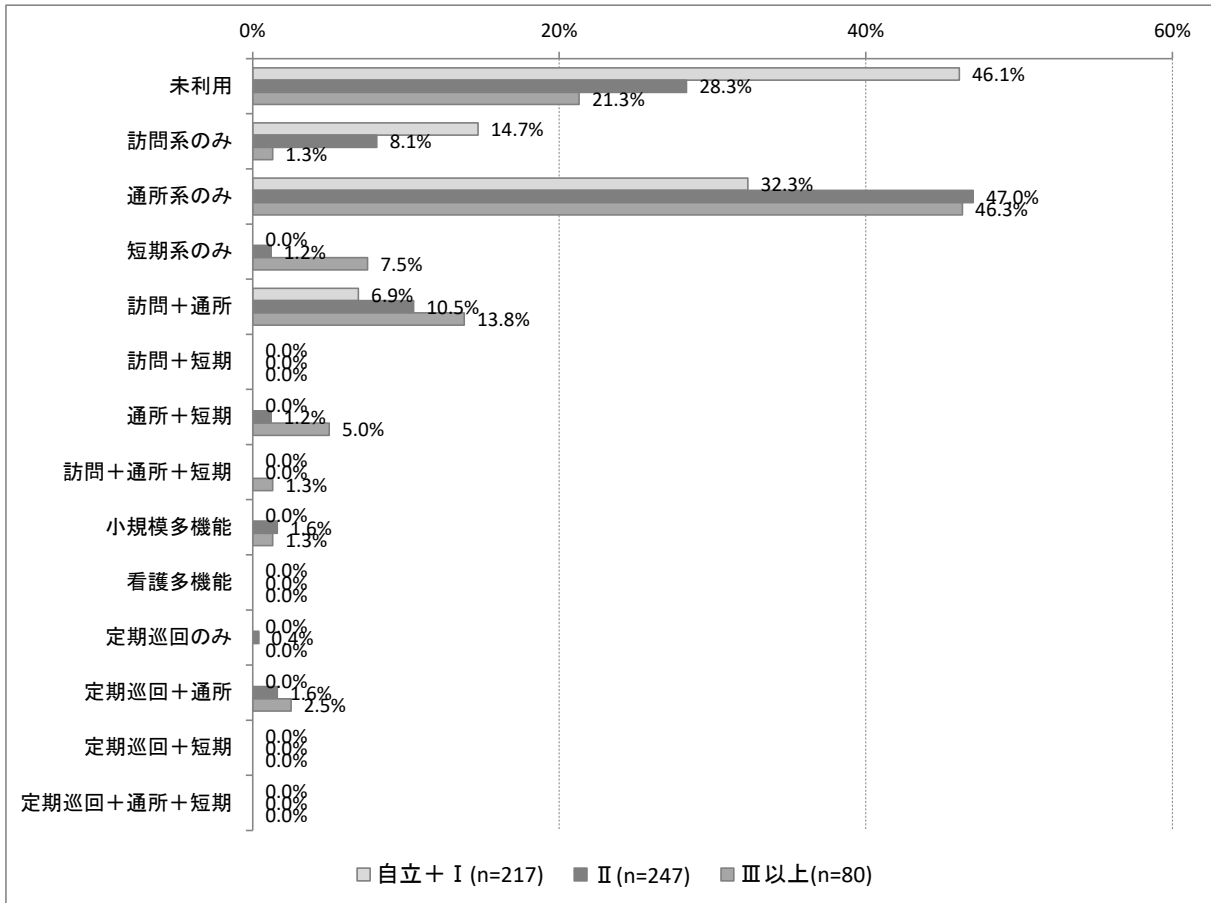
要介護度別にサービス利用の組み合わせをみると、要支援1・2では「未利用」が49.5%、「通所系のみ」が31.8%、「訪問系のみ」が13.0%となっています。要介護3以上では「通所系のみ」が35.2%、「訪問+通所」が14.8%となっており、「未利用」が33.3%となっているものの、訪問系、通所系サービスを中心に利用していることがうかがえます。

認知症高齢者自立度別にみると、「訪問+通所」は認知症の重度化に伴い割合が高くなっています。

図表 1-6 要介護度別・サービス利用の組み合わせ



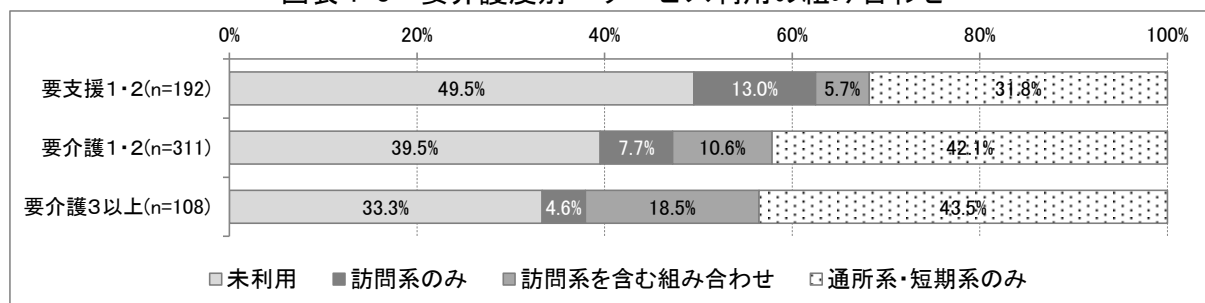
図表 1-7 認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ



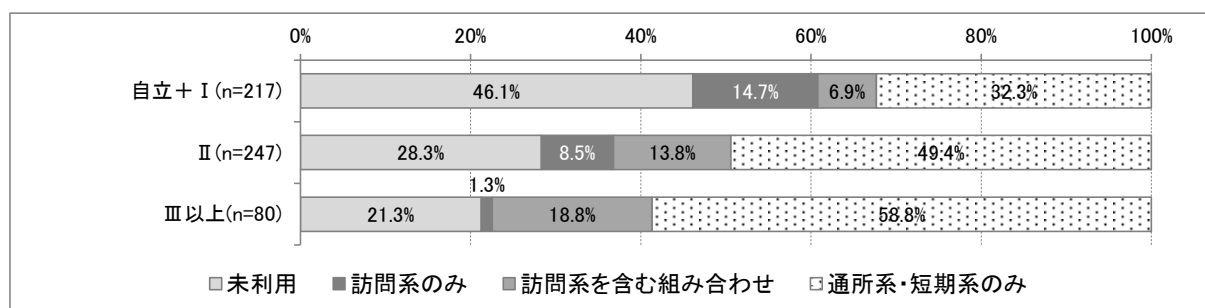
サービスの組み合わせを「訪問系のみ」「訪問系を含む組み合わせ」「通所系・短期系のみ」の3つに分類した場合には、要介護1・2と要介護3以上では、「通所系・短期系」の利用割合が要支援1・2と比べて高くなっています。

認知症自立度別にみると、認知症の重度化に伴い「訪問系を含む組み合わせ」「通所系・短期系のみ」の利用割合が高くなっています。

図表 1-8 要介護度別・サービス利用の組み合わせ



図表 1-9 認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ

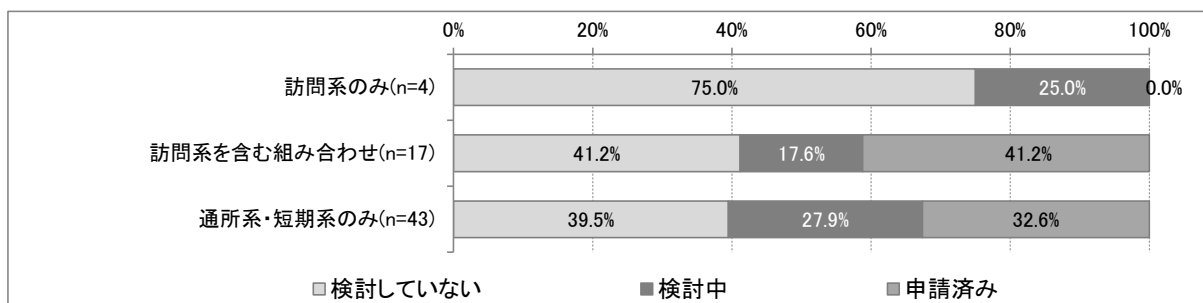


#### (4)「サービス利用の組み合わせ」と「施設等検討の状況」の関係

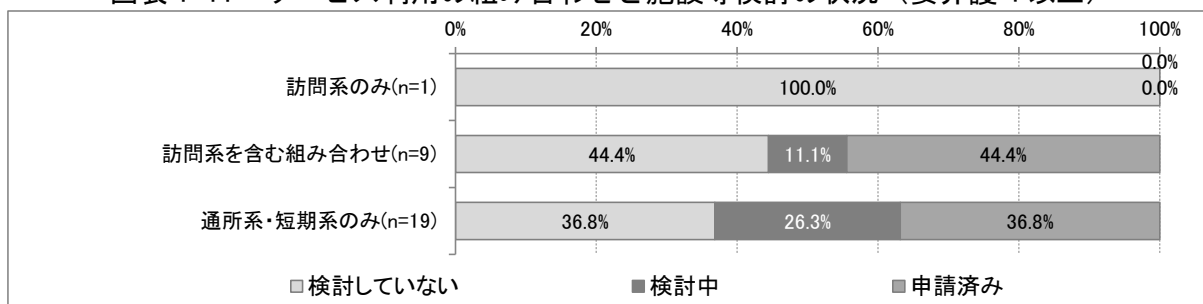
要介護3以上の集計結果をみると、訪問系のみを利用している人では「検討していない」が7割程度、訪問系を含む組み合わせを利用している人と通所系・短期系のみを利用している人では「申請済み」「検討中」を合わせた割合が半数以上となっています。

認知症Ⅲ以上の集計結果をみると、通所系・短期系のみを利用している人では「申請済み」「検討中」を合わせた割合が6割程度となっています。

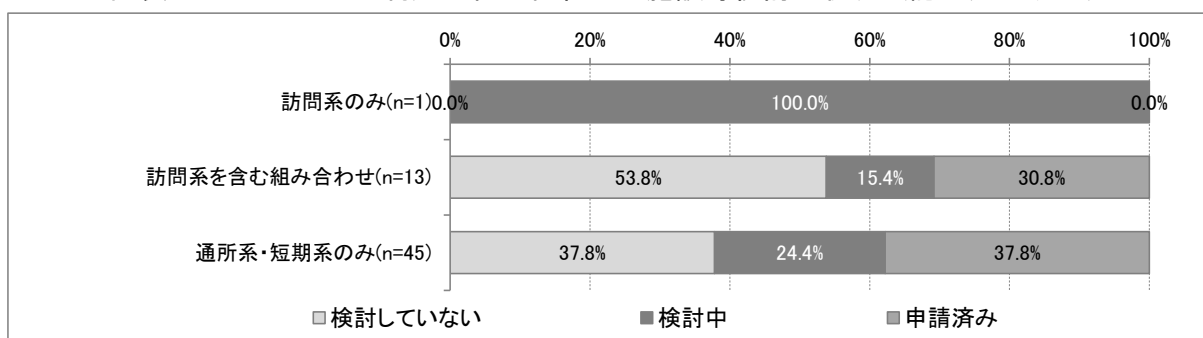
図表 1-10 サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（要介護3以上）



図表 1-11 サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（要介護4以上）

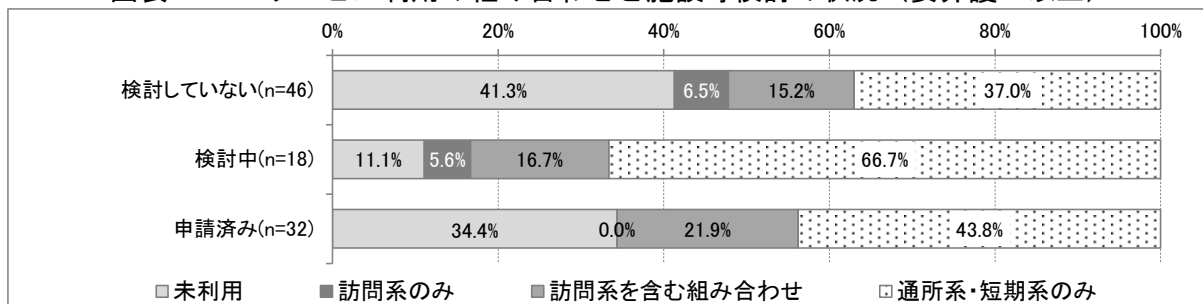


図表 1-12 サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（認知症Ⅲ以上）

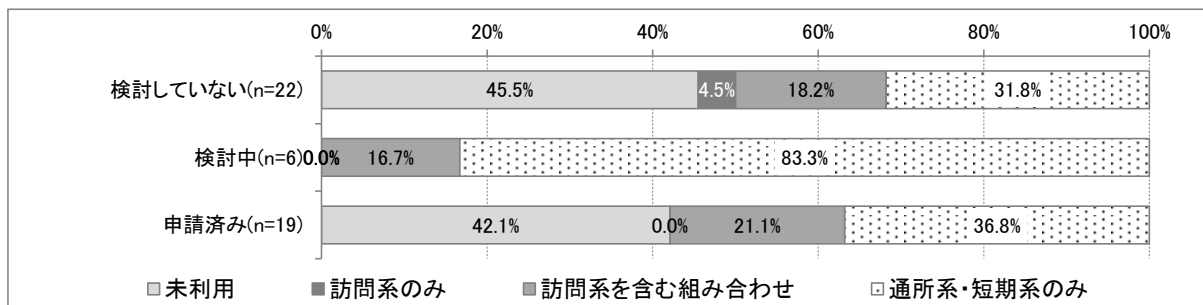


施設等検討の状況（要介護3以上）のサービス利用の組み合わせをみると、検討中の人では「通所系・短期系のみ」を利用している割合が6割程度となっています。

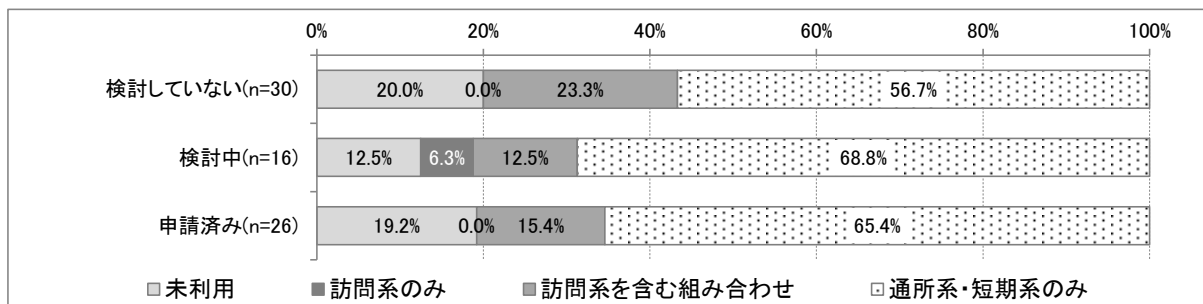
図表 1-13 サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（要介護3以上）



図表 1-14 サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（要介護4以上）



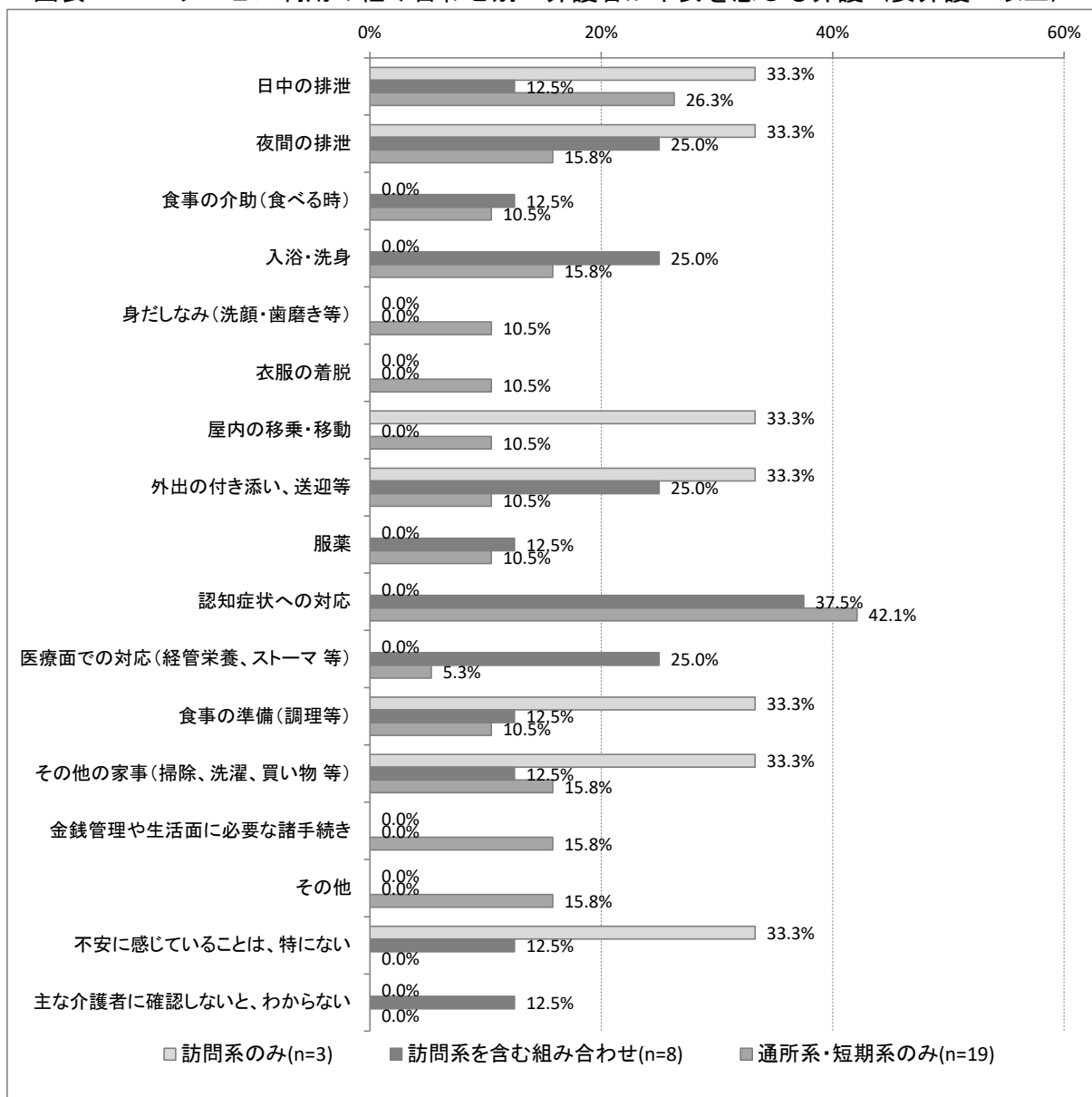
図表 1-15 サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（認知症Ⅲ以上）



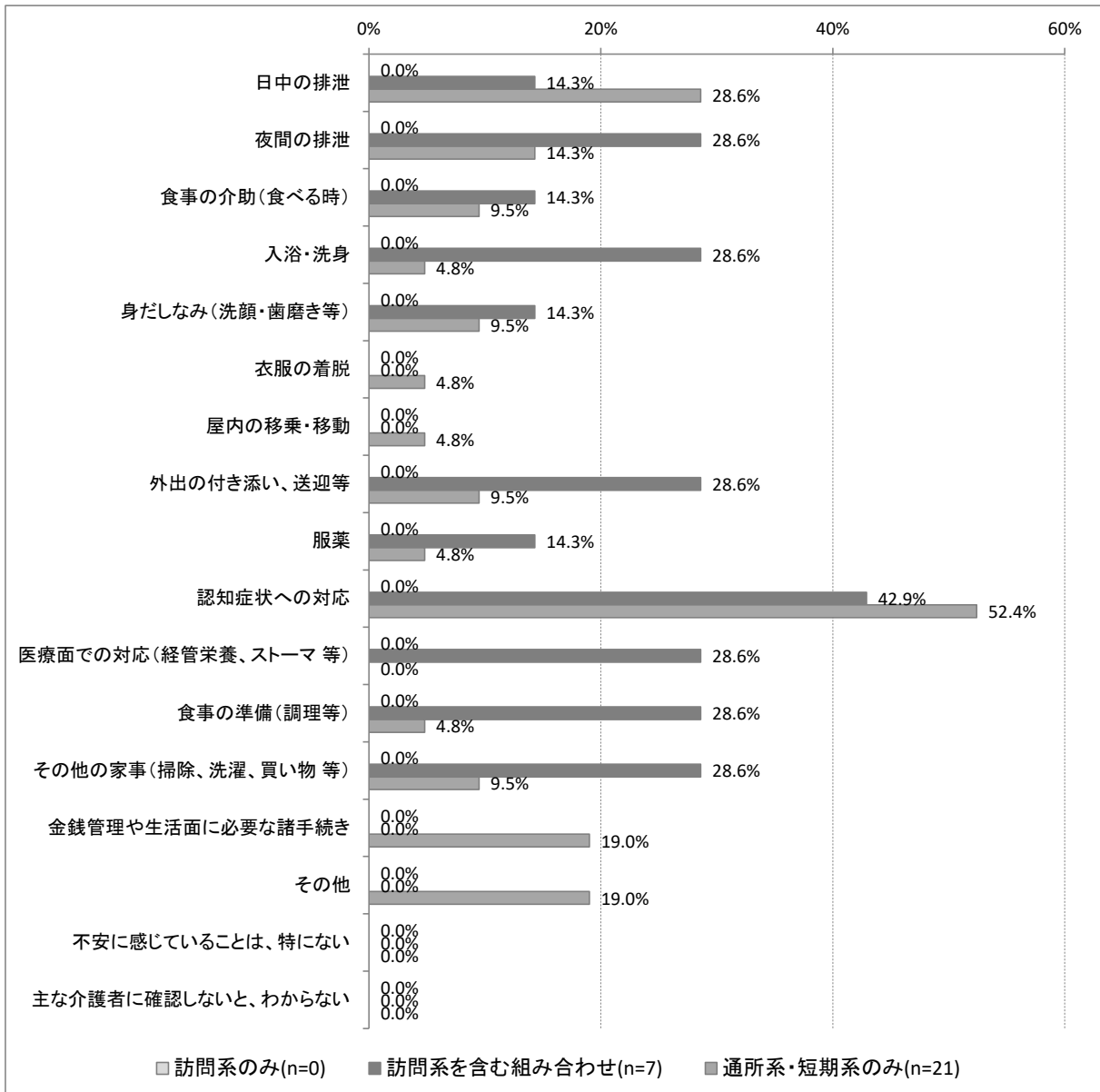
(5)「サービス利用の組み合わせ」と「主な介護者が不安を感じる介護」の関係

サービス利用の組み合わせ別に介護者が不安を感じる介護をみると、要介護3以上では「認知症状への対応」「夜間の排泄」「日中の排泄」「入浴・洗身」等が高くなっています。

図表 1-16 サービス利用の組み合わせ別・介護者が不安を感じる介護（要介護3以上）



図表 1-17 サービス利用の組み合わせ別・介護者が不安を感じる介護（認知症Ⅲ以上）

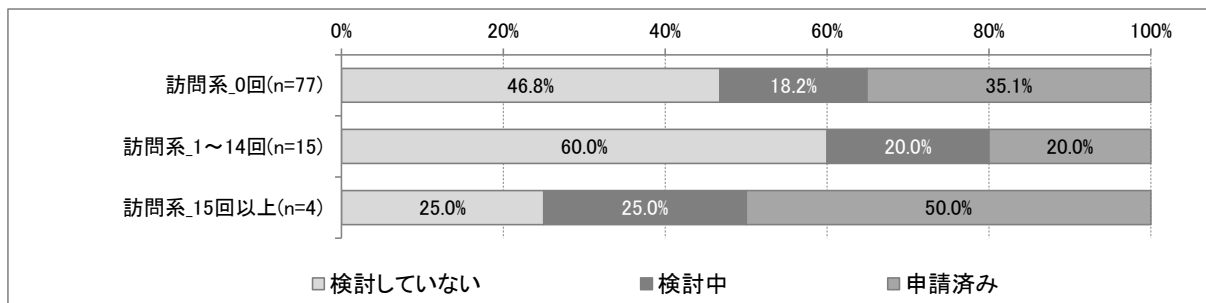




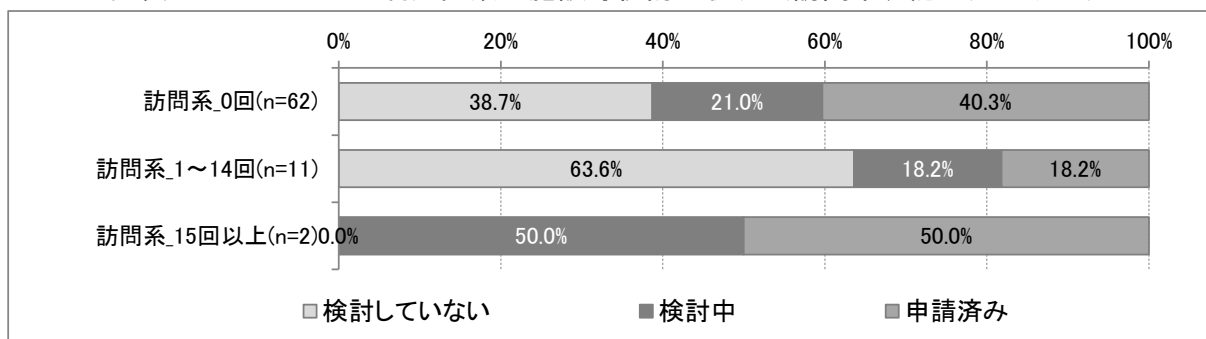
## (6)「サービス利用の回数」と「施設等検討の状況」の関係

サービス利用回数別に施設等の検討状況をみると、要介護3以上の集計結果では、通所系・短期系サービスの利用回数が増えると「検討していない」の割合が低くなっています。在宅での介護不安が強くサービス利用が増えている人の一定数が、施設利用も併せて検討・申請していることがうかがえます。

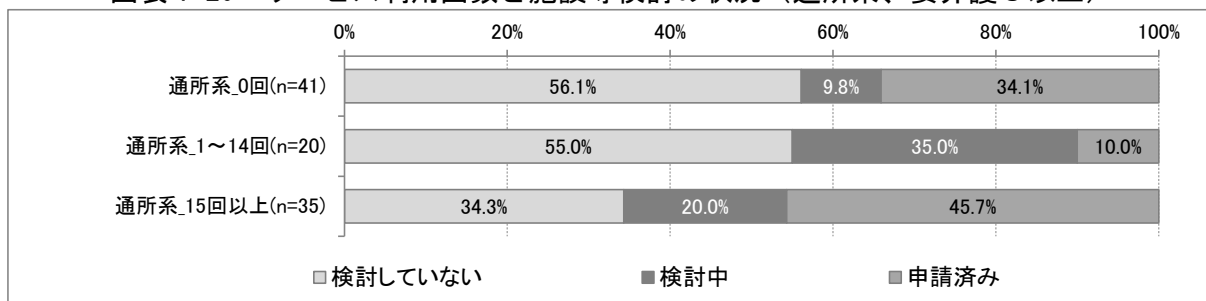
図表 1-18 サービス利用回数と施設等検討の状況（訪問系、要介護3以上）



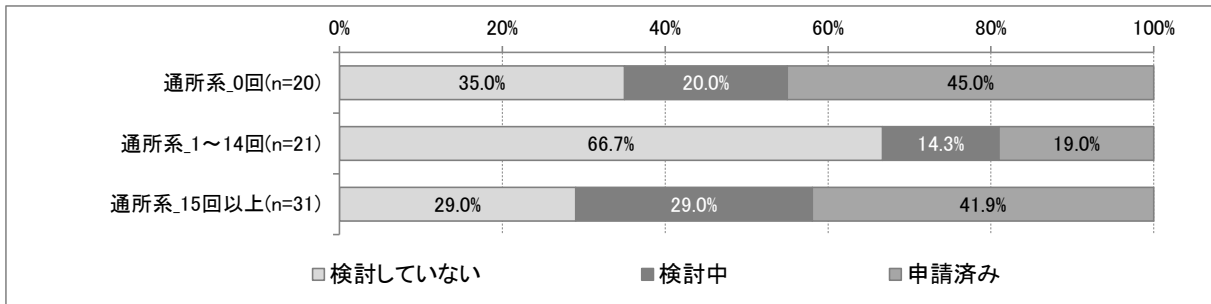
図表 1-19 サービス利用回数と施設等検討の状況（訪問系、認知症Ⅲ以上）



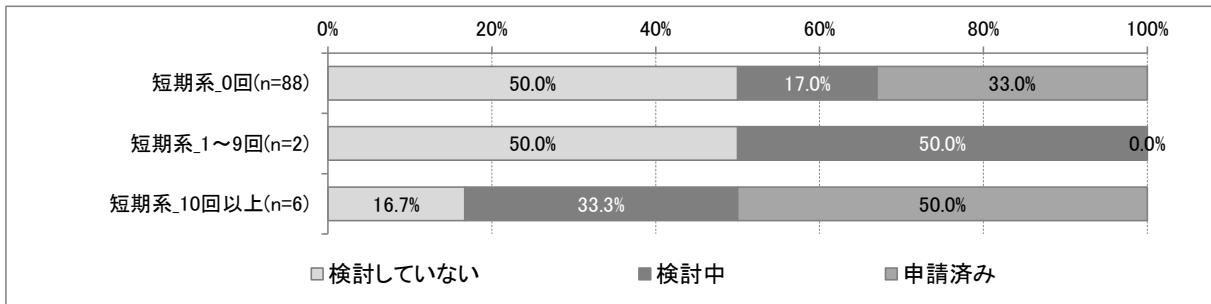
図表 1-20 サービス利用回数と施設等検討の状況（通所系、要介護3以上）



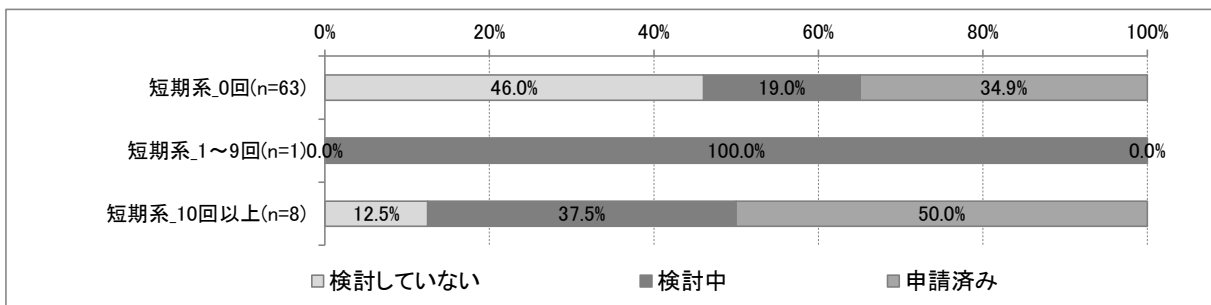
図表 1-21 サービス利用回数と施設等検討の状況（通所系、認知症Ⅲ以上）



図表 1-22 サービス利用回数と施設等検討の状況（短期系、要介護3以上）



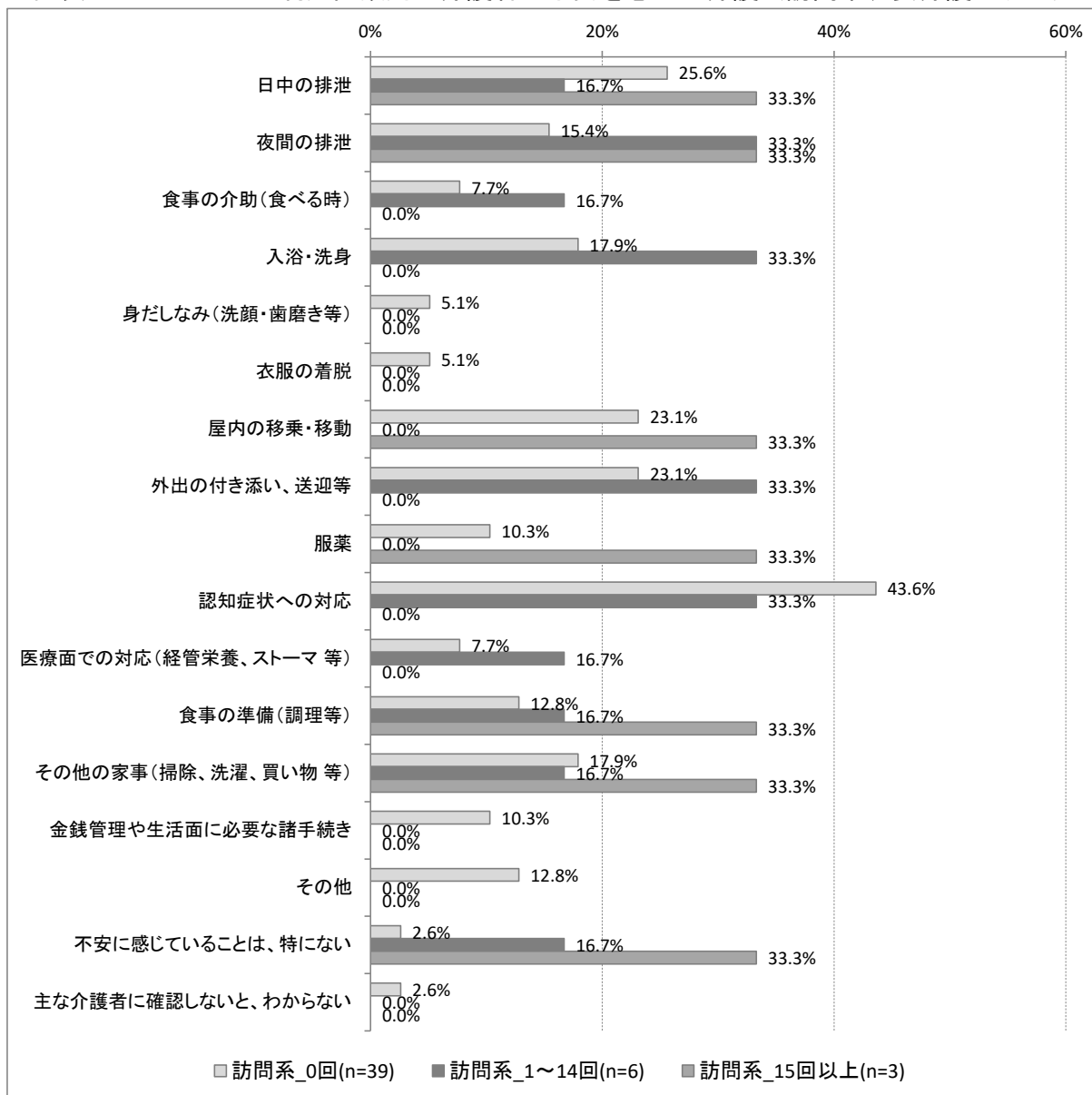
図表 1-23 サービス利用回数と施設等検討の状況（短期系、認知症Ⅲ以上）



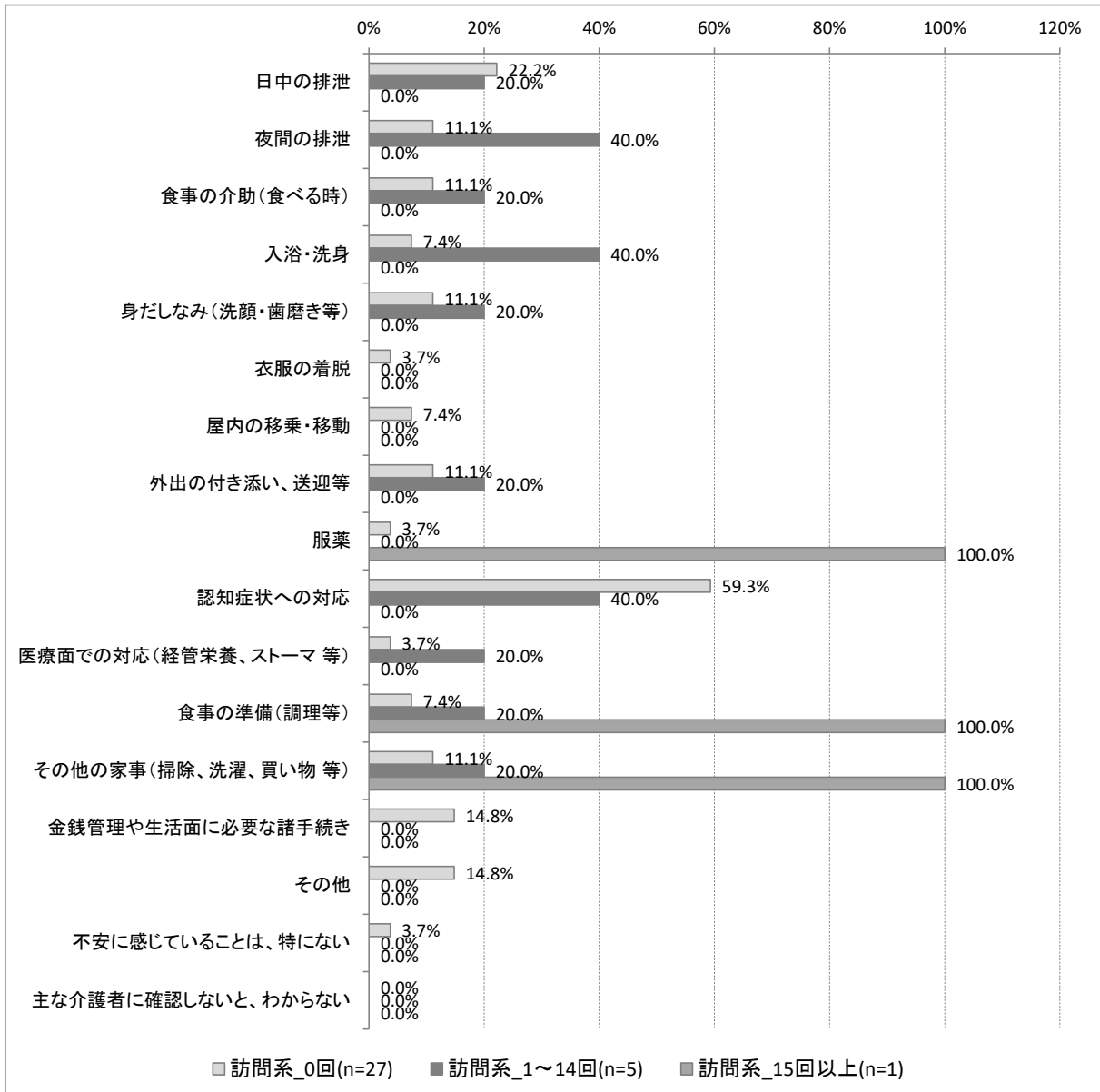
### (7)「サービス利用の回数」と「主な介護者が不安を感じる介護」の関係

訪問系サービスの利用回数別に介護者が不安を感じる介護をみると、要介護3以上の集計結果では、訪問系サービスを利用していない人（0回）では「認知症状への対応」「日中の排泄」「屋内の移乗・移動」「外出の付き添い、送迎等」等の介護に不安を感じており、適宜訪問系サービスの利用につなげることで介護不安の軽減を図ることが求められます。

図表 1-24 サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（訪問系、要介護3以上）



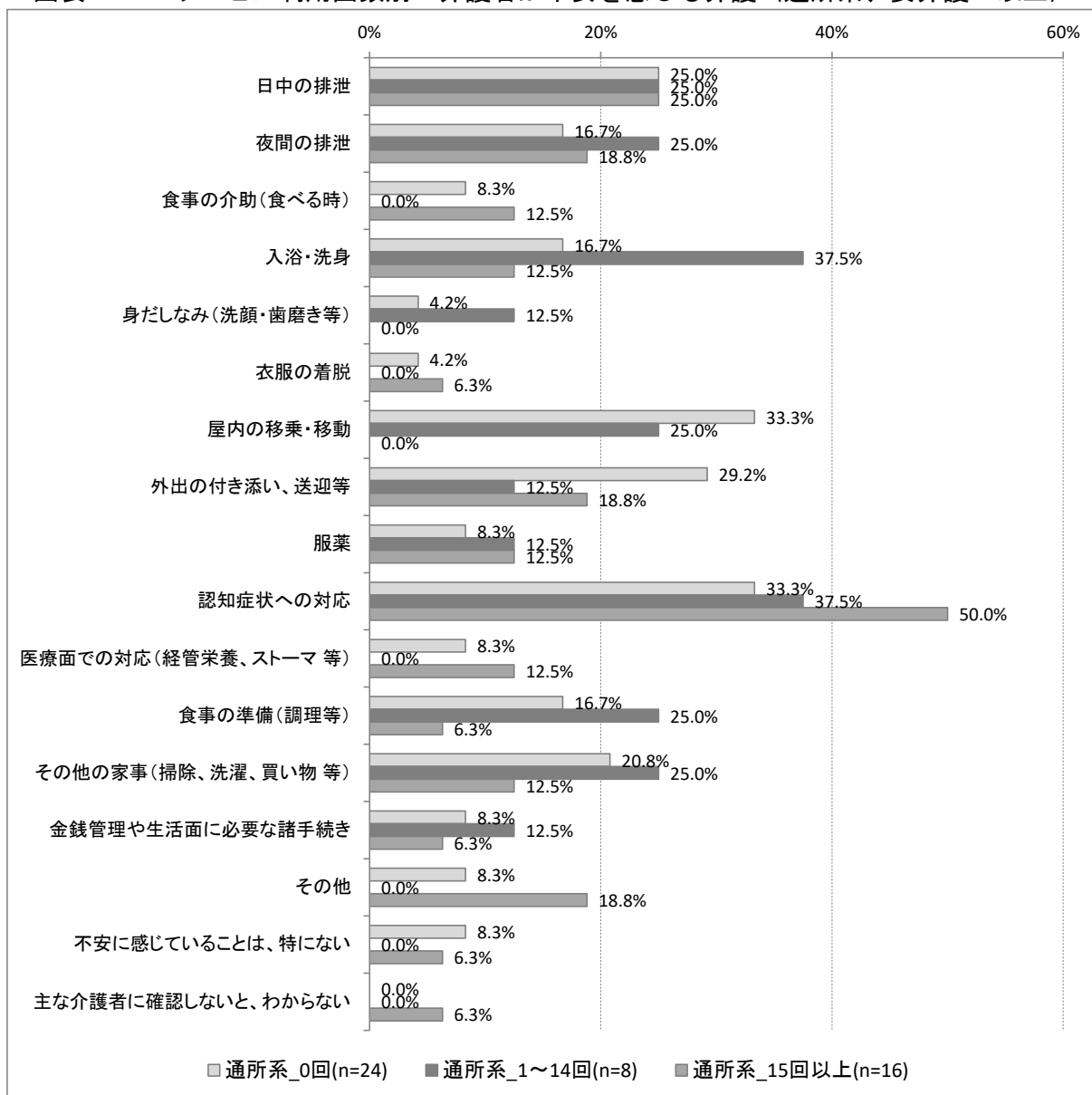
図表 1-25 サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（訪問系、認知症Ⅲ以上）



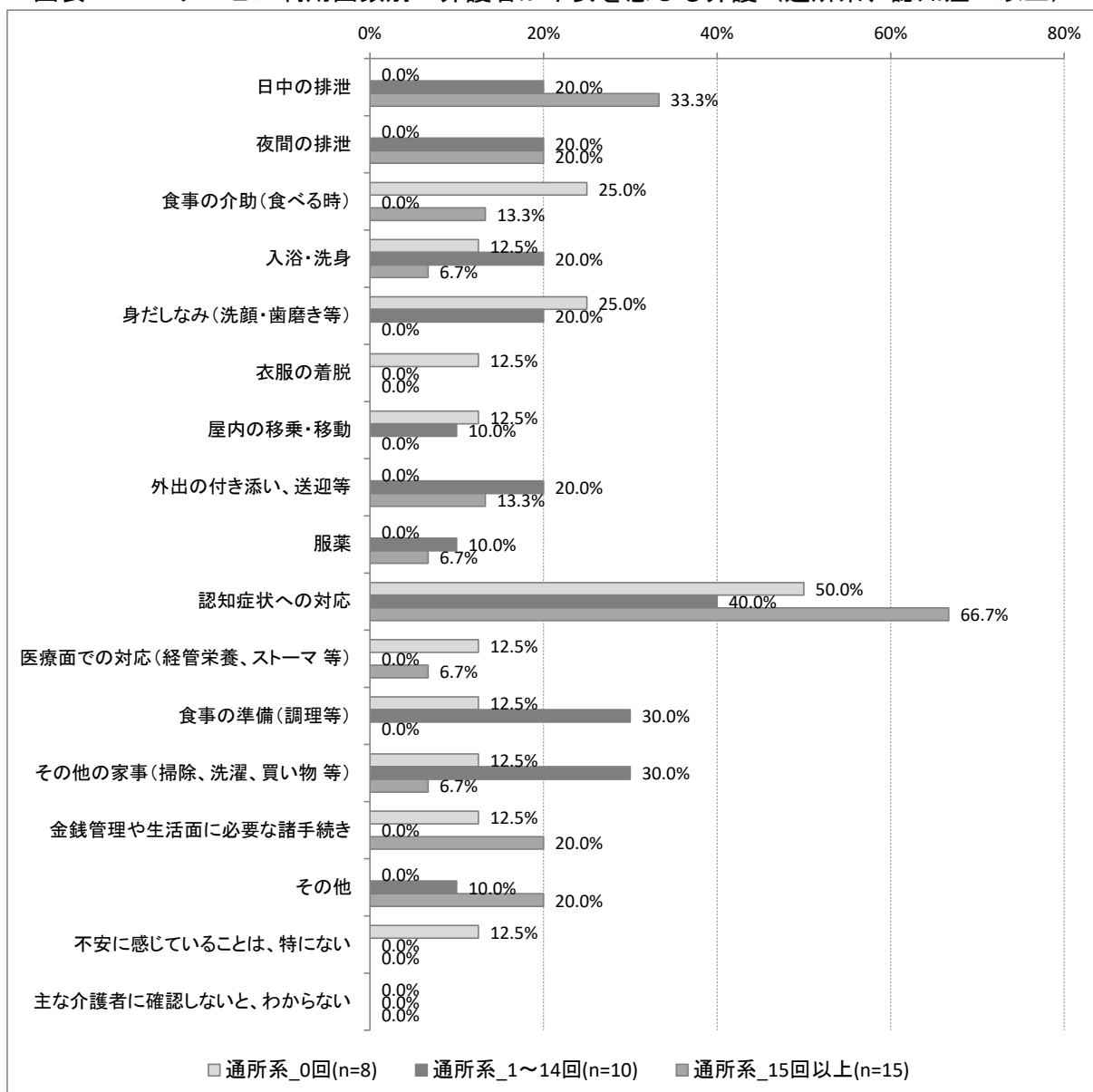
通所系サービスの利用回数別に介護者が不安を感じる介護をみると、要介護3以上の集計結果では、通所系サービスを利用していない人（0回）では「認知症状への対応」「屋内の移乗・移動」「日中の排泄」等の介護に不安を感じています。

通所系サービスを利用している人（1回以上）では「認知症状への対応」「入浴・洗身」「日中の排泄」等の介護に不安を感じています。

図表 1-26 サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（通所系、要介護3以上）

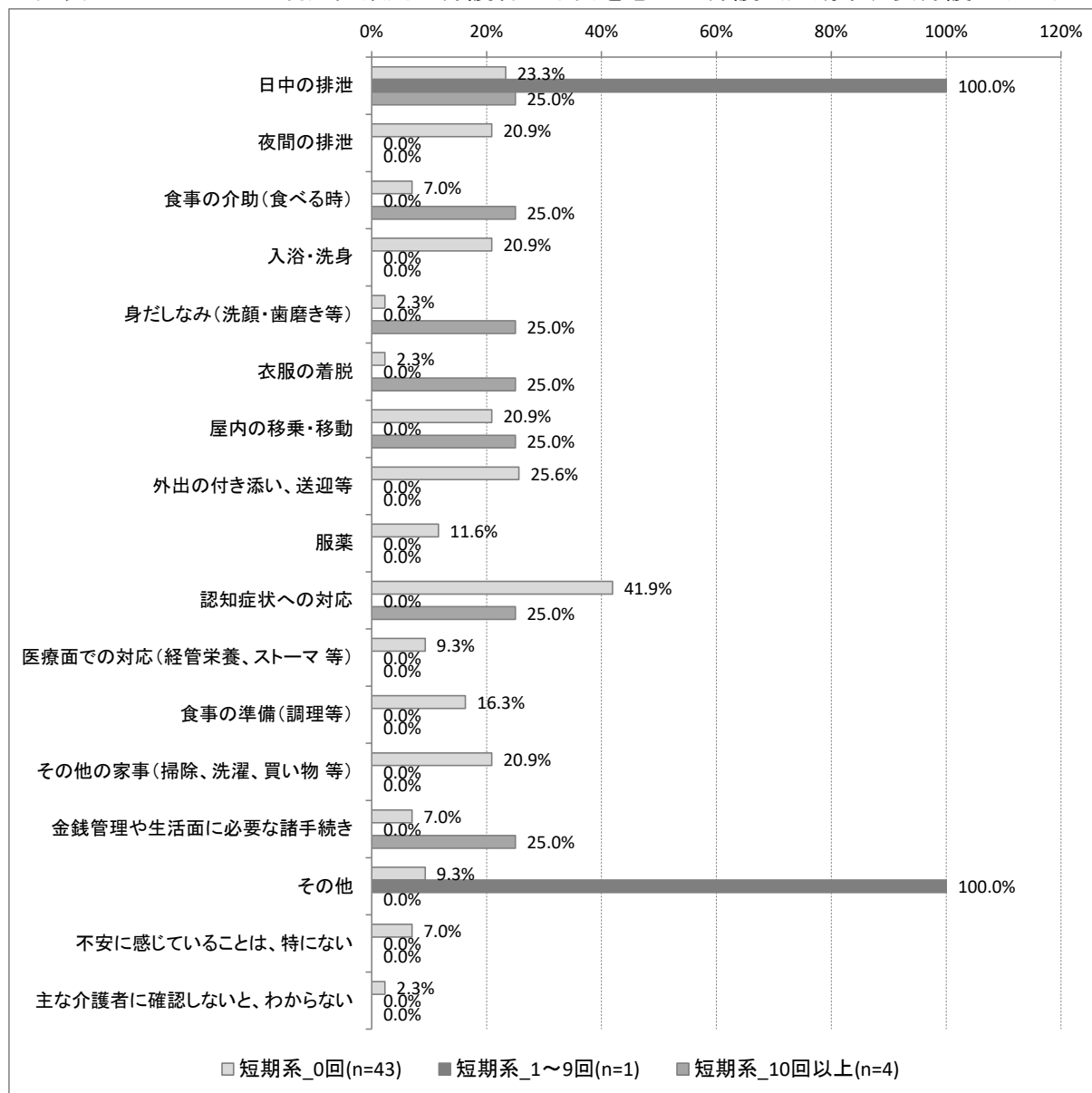


図表 1-27 サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（通所系、認知症Ⅲ以上）

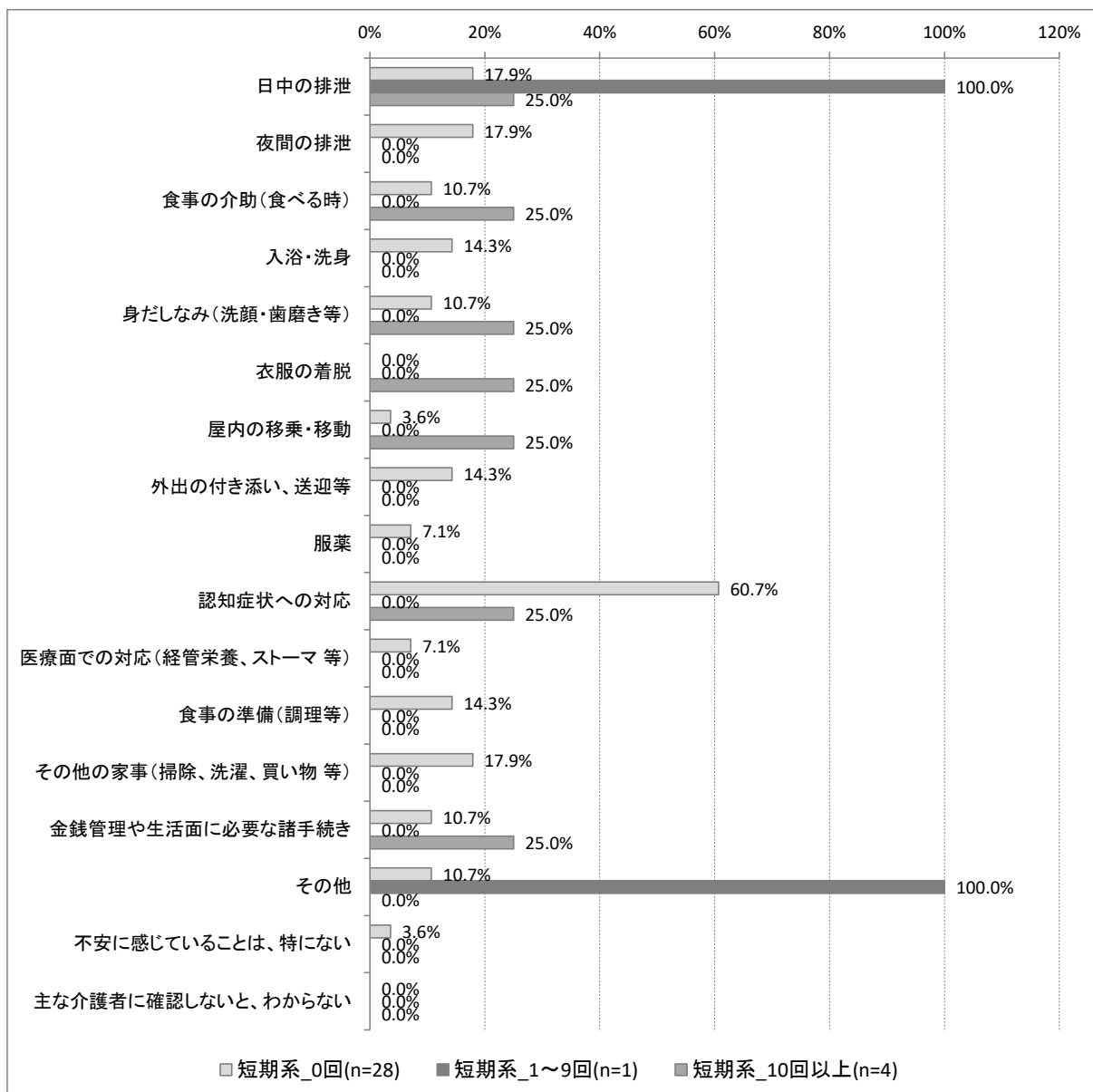


短期系サービスの利用回数別に介護者が不安を感じる介護をみると、要介護3以上の集計結果では、短期系サービスを利用していない人（0回）では「認知症状への対応」「外出の付き添い、送迎等」「日中の排泄」等の介護に不安を感じています。

図表 1-28 サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（短期系、要介護3以上）



図表 1-29 サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（短期系、認知症Ⅲ以上）





## 2 仕事と介護の両立に向けた支援・サービスの提供体制の検討

### 2.1 集計・分析の狙い

- ここでは、介護者の就労継続見込みの向上に向けて必要となる支援・サービスを検討するために、「主な介護者の就労状況」と「主な介護者の就労継続見込み」の2つの視点からの集計を行っています。
- 具体的には、「就労している介護者（フルタイム勤務、パートタイム勤務）」と「就労していない介護者」の違いに着目し、就労している介護者の属性や介護状況の特徴別に、必要な支援を集計・分析しています。
- さらに、「どのようなサービス利用」や「働き方の調整・職場の支援」を受けている場合に、「就労を継続することができる」という見込みを持つことができるのかを分析するために、主な介護者の「就労継続見込み」と、「主な介護者が行っている介護」や「介護保険サービスの利用の有無」、「介護のための働き方の調整」などとのクロス集計を行っています。
- 上記の視点からの分析では、要介護度や認知症高齢者の日常生活自立度といった要介護者の状態別の分析も加え、要介護者の自立度が重くなっても、在宅生活や就労を継続できる支援のあり方を検討しています。

### 2.2 集計結果

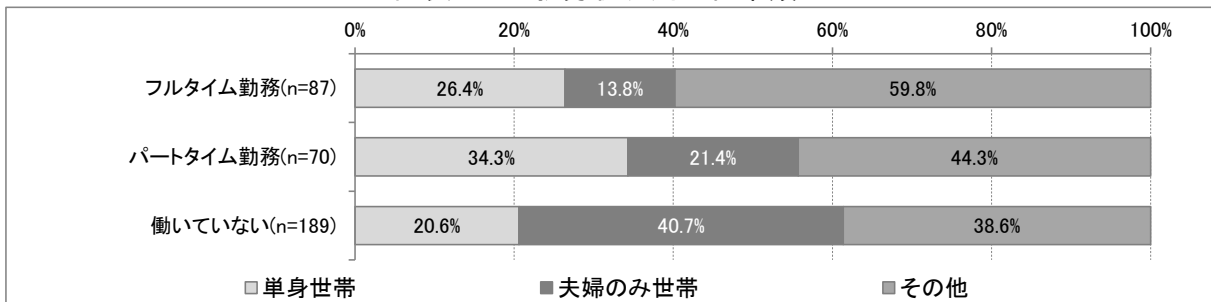
#### (1) 基本集計

主な介護者の就労状況別に要介護者の世帯類型をみると、主な介護者がフルタイム勤務の場合は「その他世帯」、働いていない場合は「夫婦のみ世帯」の割合が高くなっています。

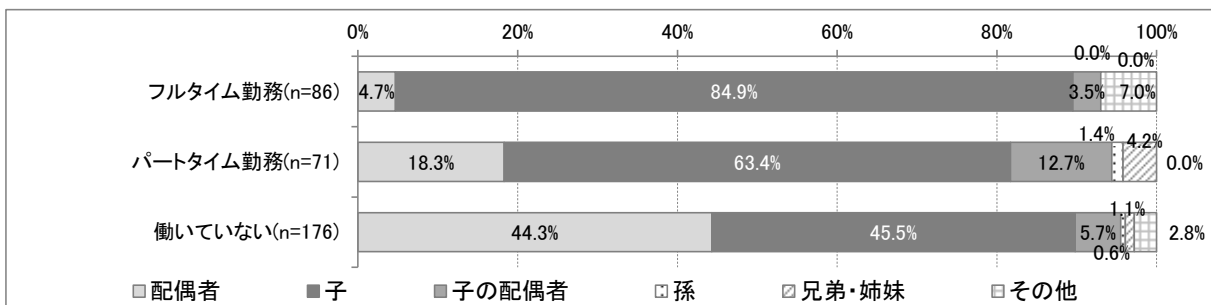
フルタイム勤務の介護者は、約4割が男性で約6割が女性となっています。パートタイム勤務の介護者では8割以上を女性が占めています。

本人の要介護度は、介護者が就労している場合は「要支援1・2」または「要介護1」の割合が6割程度となっており、働いていない人と比較して高くなっています。

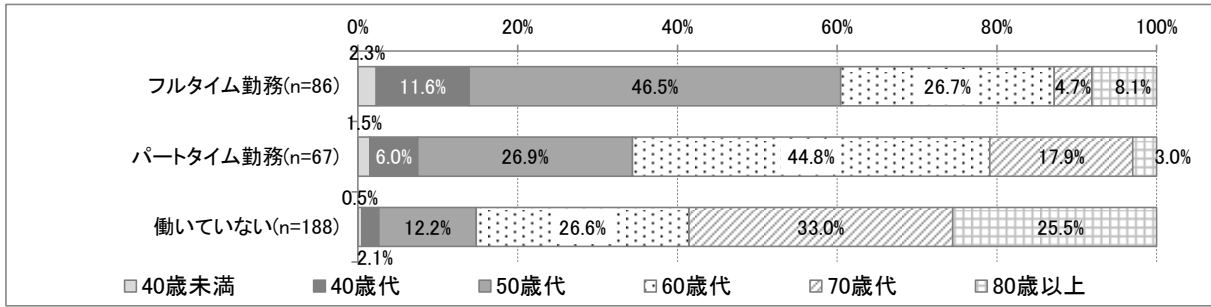
図表 2-1 就労状況別・世帯類型



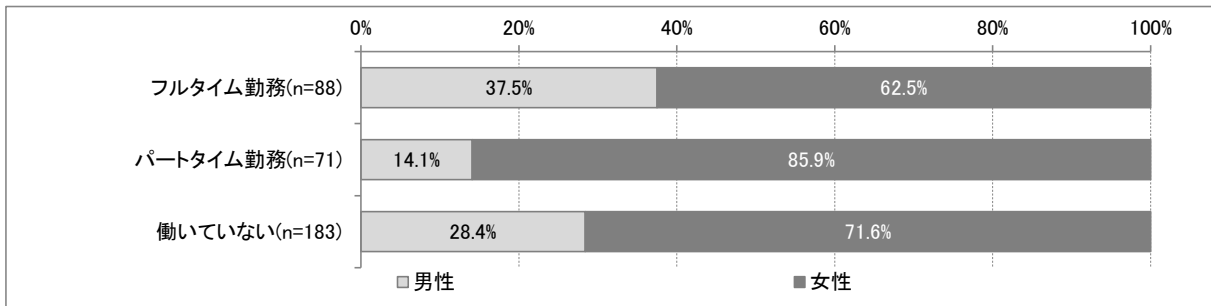
図表 2-2 就労状況別・主な介護者の本人との関係



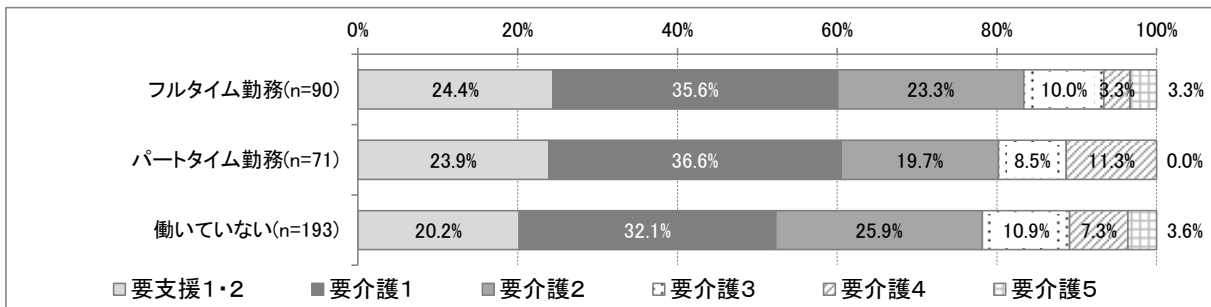
図表 2-3 就労状況別・主な介護者の年齢



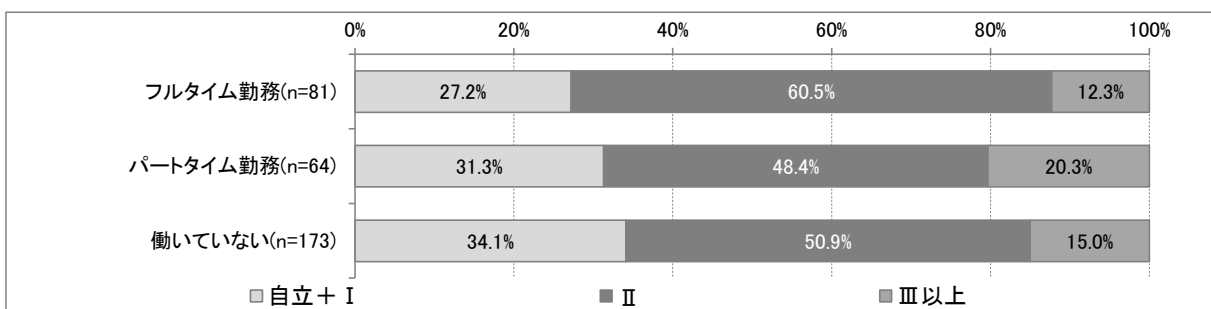
図表 2-4 就労状況別・主な介護者の性別



図表 2-5 就労状況別・要介護度



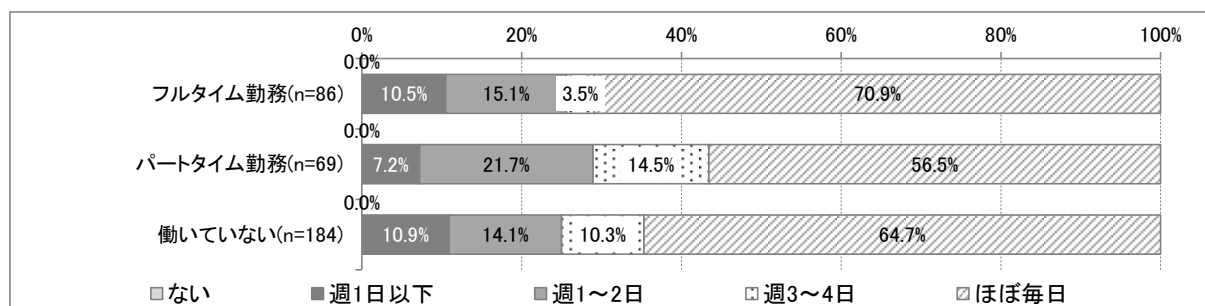
図表 2-6 就労状況別・認知症自立度



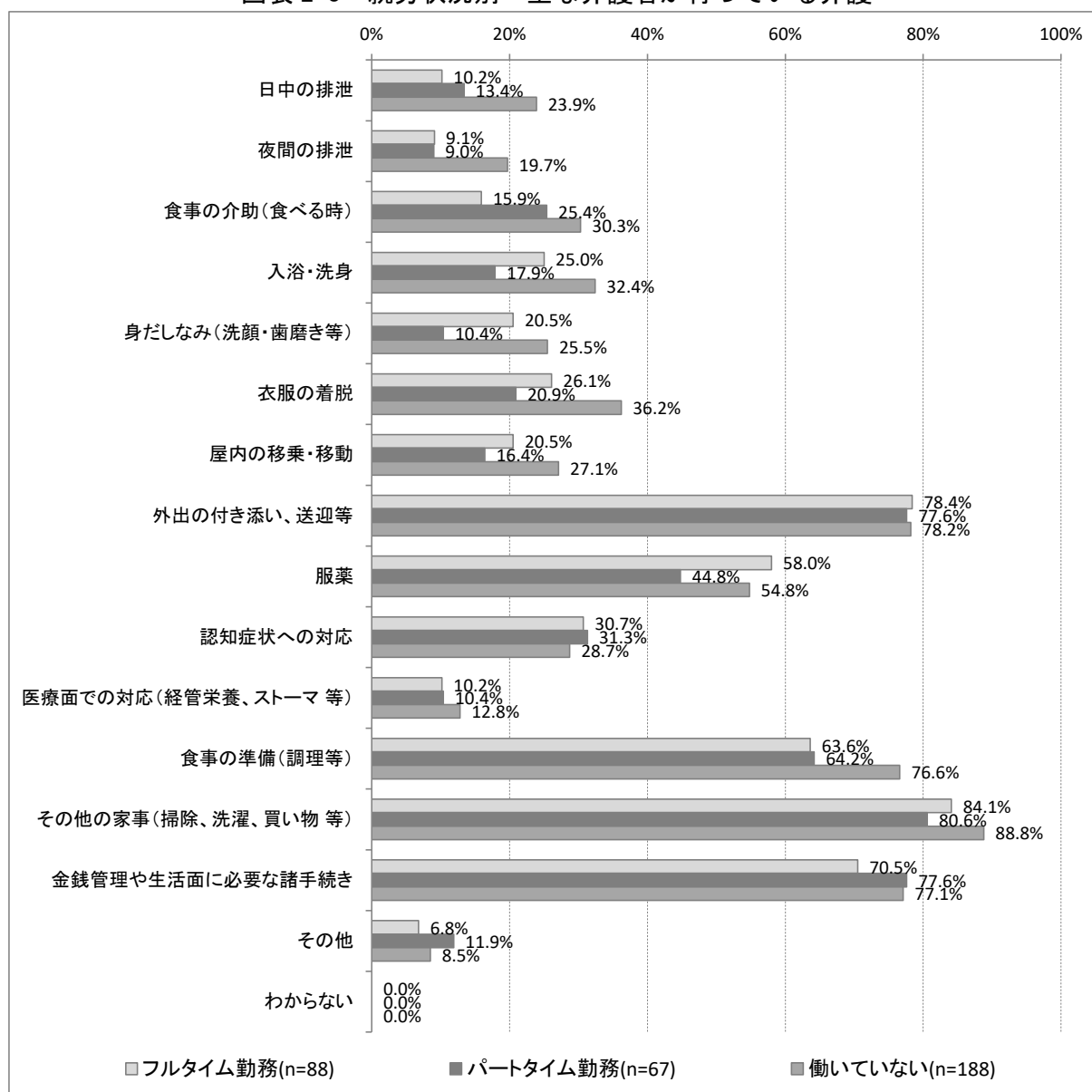
## (2) 就労状況別の、主な介護者が行っている介護と就労継続見込み

介護の頻度を介護者の勤務形態別にみると、フルタイム勤務で働いている場合と働いていない場合において「ほぼ毎日」の割合が高く、パートタイム勤務では「週1～2日」「週3～4日」の割合が高くなっています。主な介護者の就労の程度（就労していない<パートタイム勤務<フルタイム勤務）に応じて、介護者が行っている割合が低くなる介護は、「日中の排泄」「食事の介助」「食事の準備」「医療面での対応」が挙げられます。介護者が行う割合が低くなる理由として、要介護度が比較的低いため介護が必要ないことや、就労している介護者が担うことが困難で他の介護者や介護サービスの支援を必要としている可能性が考えられます。

図表 2-7 就労状況別・家族等による介護の頻度



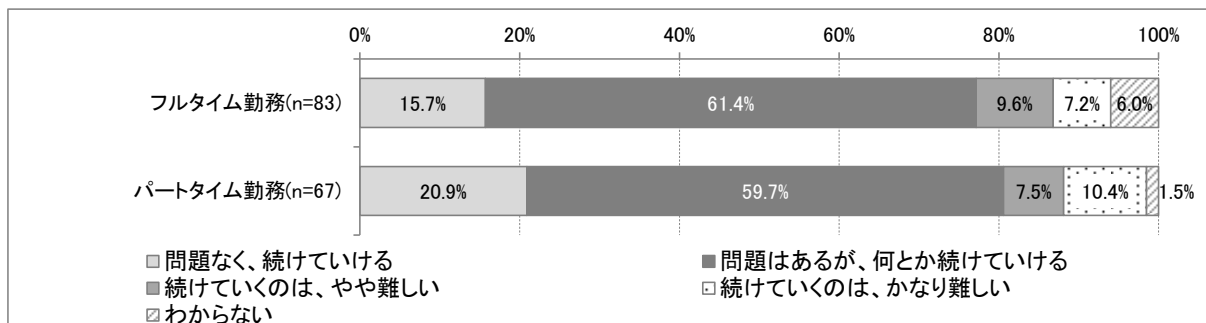
図表 2-8 就労状況別・主な介護者が行っている介護



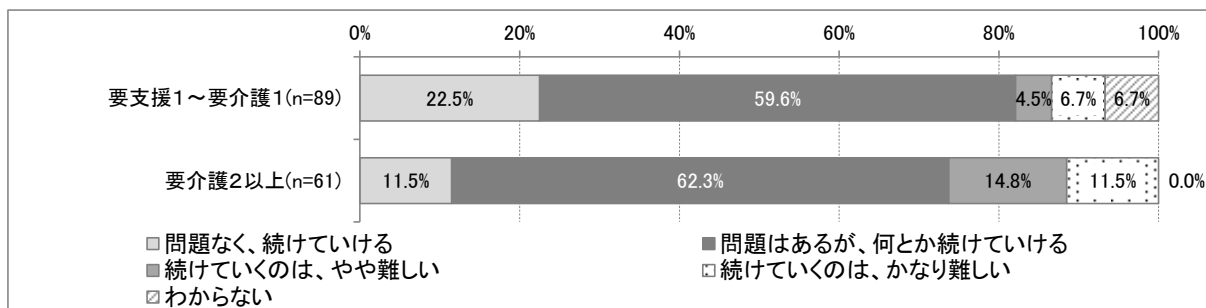
今後の就労継続見込みは、パートタイム勤務において続けていけると回答した割合が高くなっています。フルタイム勤務では「わからない」の割合がパートタイム勤務と比較して高くなっており、仕事と介護の両立について今後の見通しが立てられない状況となっていることがうかがえます。

就労継続見込みを要介護度別にみると、要介護2以上では「問題はあるが、何とか続けていける」「続けていくのは、やや難しい」の割合が要支援1～要介護1と比べて高くなっています。認知症自立度別においても、Ⅱ以上では同様の傾向がみられます。

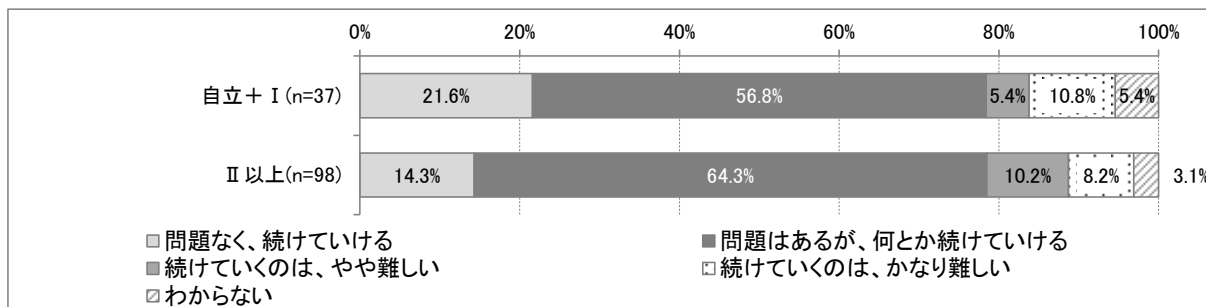
図表 2-9 就労状況別・就労継続見込み



図表 2-10 要介護度別・就労継続見込み（フルタイム勤務+パートタイム勤務）



図表 2-11 認知症自立度別・就労継続見込み（フルタイム勤務+パートタイム勤務）



### (3)「介護保険サービスの利用状況」・「主な介護者が不安に感じる介護」と「就労継続見込み」の関係

介護保険サービス利用の有無について、介護者の就労状況及び就労継続見込みによる大きな差はみられません。

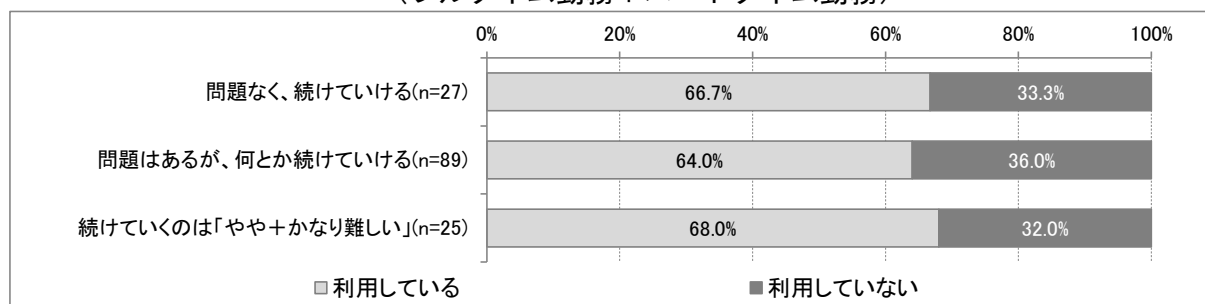
サービスを利用していない理由をみると、問題なく続けていける人は「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」との回答割合が高いですが、就労継続が難しいと感じる人は、「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」「利用したサービスが利用できない、身近にない」等も理由として上がっています。サービス利用の必要性が低くないにも関わらず、サービスの利用がなされていないケースがあることがうかがえます。

不安に感じる介護をみると、就労継続の難しさ（問題なく続けていける<問題はあるが何とか続けていける<続けていくのは「やや+かなり難しい」）に応じて割合が高くなっているものは「日中の排泄」「夜間の排泄」「外出の付き添い、送迎等」「認知症状への対応」「その他の家事」となっています。特に、就労継続が難しいと感じる人の半数程度が「認知症状への対応」を不安に感じており、また「その他の家事」については、問題なく続けていける人とそれ以外の人とで差が大きくなっています。

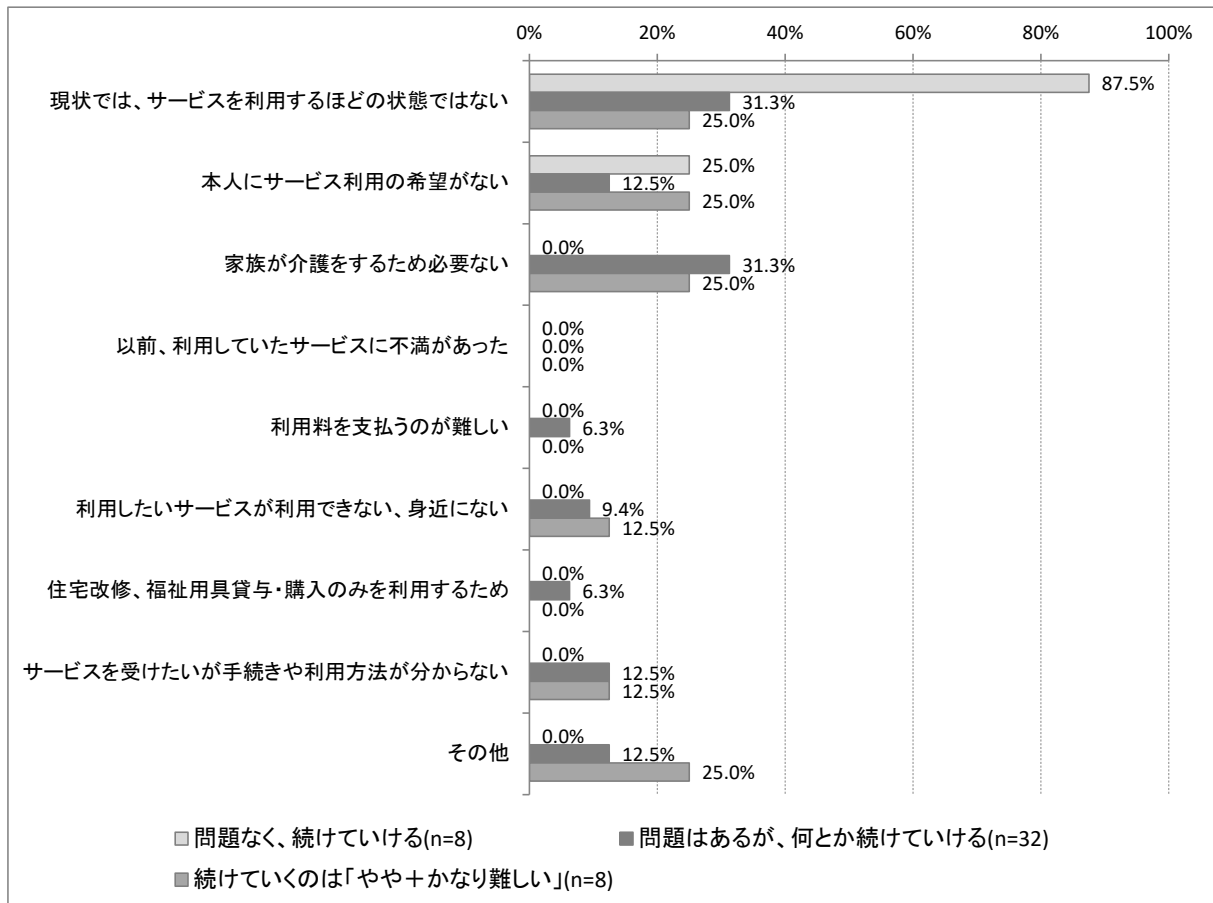
図表 2-12 就労状況別・介護保険サービス利用の有無



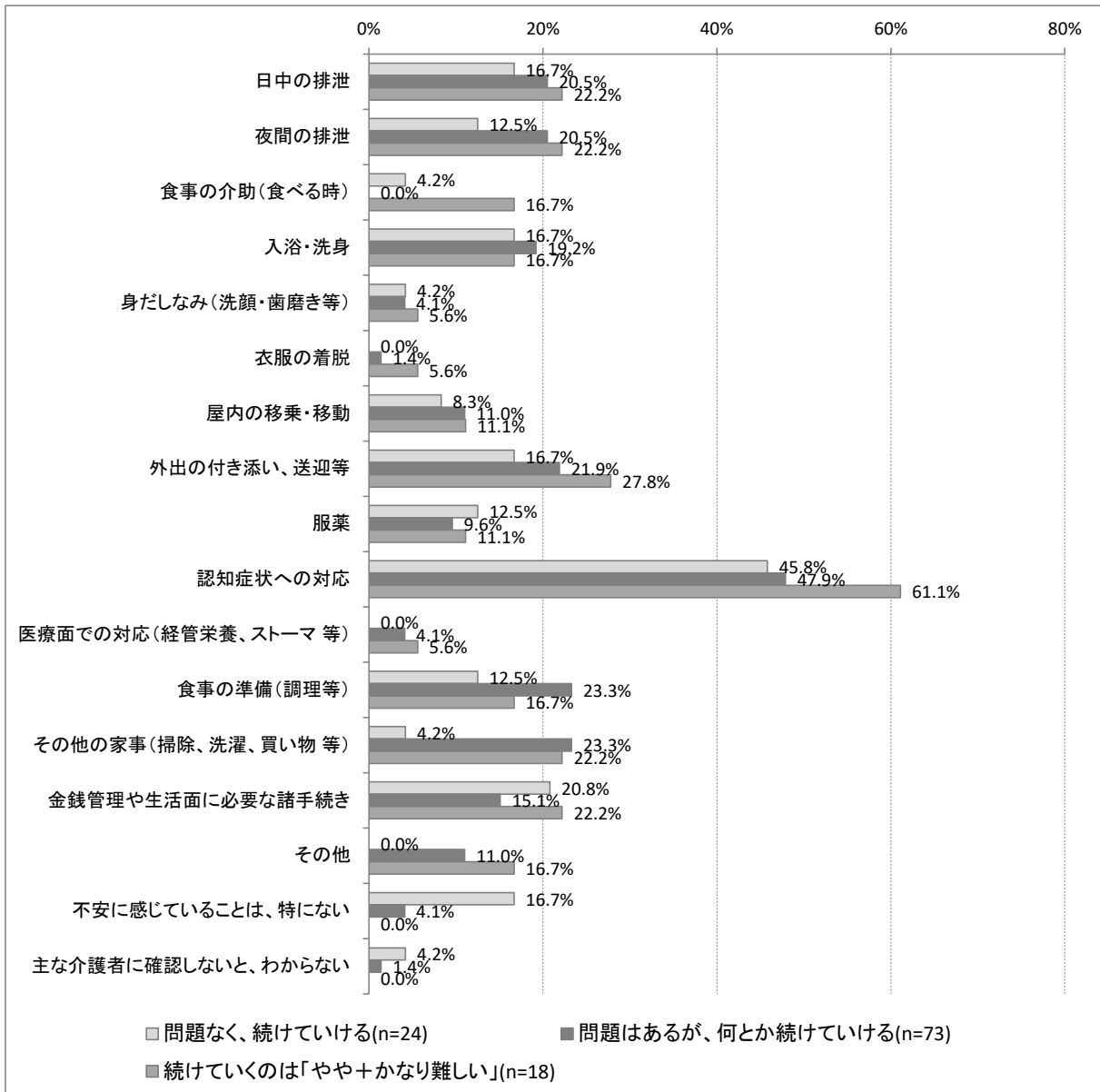
図表 2-13 就労継続見込み別・介護保険サービス利用の有無  
(フルタイム勤務+パートタイム勤務)



図表 2-14 就労継続見込み別・サービス未利用の理由（フルタイム勤務＋パート勤務）



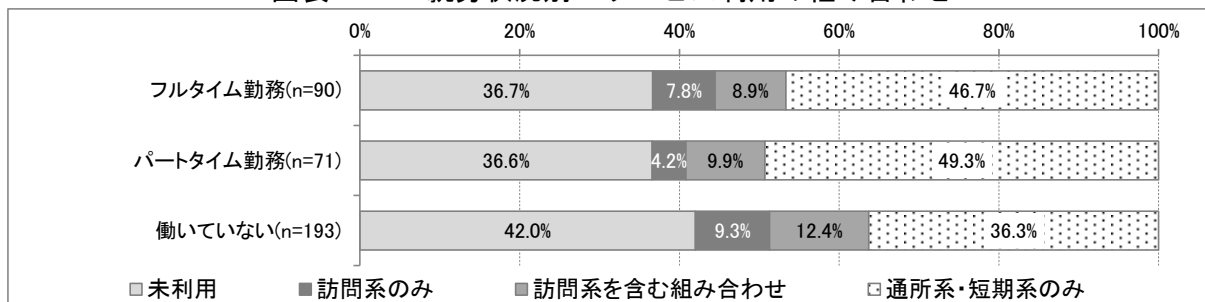
図表 2-15 就労継続見込み別・介護者が不安に感じる介護（フルタイム勤務+パートタイム勤務）



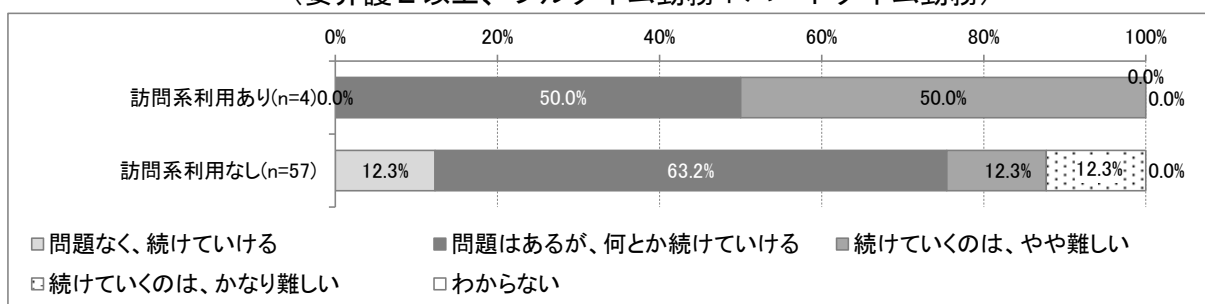
#### (4)「サービス利用の組み合わせ」と「就労継続見込み」の関係

就労状況別にサービス利用の組み合わせをみると、働いていない人では「未利用」の割合がフルタイム勤務やパートタイム勤務に比べてやや高くなっています。

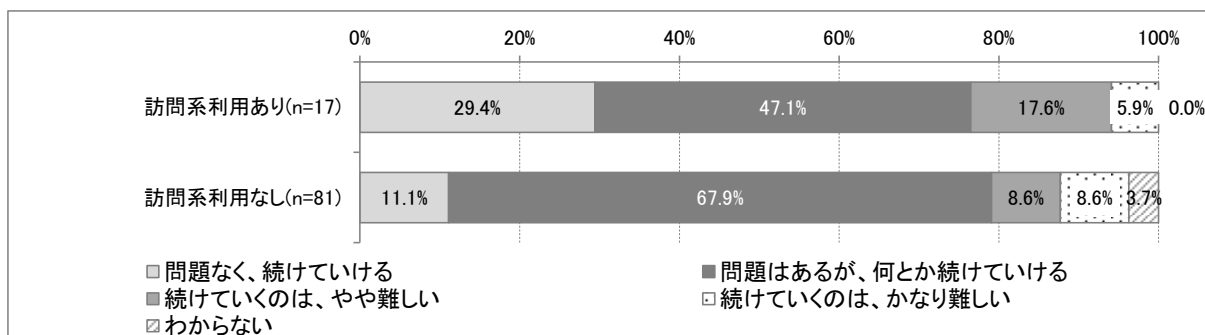
図表 2-16 就労状況別・サービス利用の組み合わせ



図表 2-17 サービス利用の組み合わせ別・就労継続見込み  
(要介護2以上、フルタイム勤務+パートタイム勤務)



図表 2-18 サービス利用の組み合わせ別・就労継続見込み  
(認知症自立度Ⅱ以上、フルタイム勤務+パートタイム勤務)





### (5) 就労状況別の、保険外の支援・サービスの利用状況と、施設等検討の状況

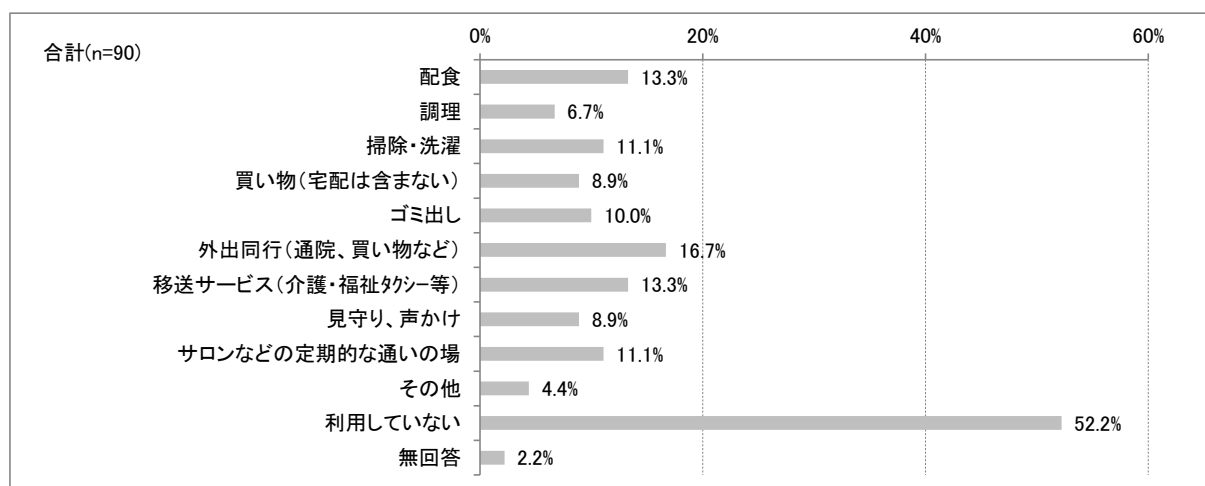
フルタイム勤務で利用している「保険外の支援・サービス」と、「在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス」について、必要と感じる割合が利用している割合を上回っているものは、「配食」「買い物」「外出同行」「移送サービス」「見守り、声かけ」となっています。

就労状況別に訪問診療の利用の有無をみると、就労の程度（就労していない<パートタイム勤務<フルタイム勤務）に応じて、利用している割合が低くなっています。

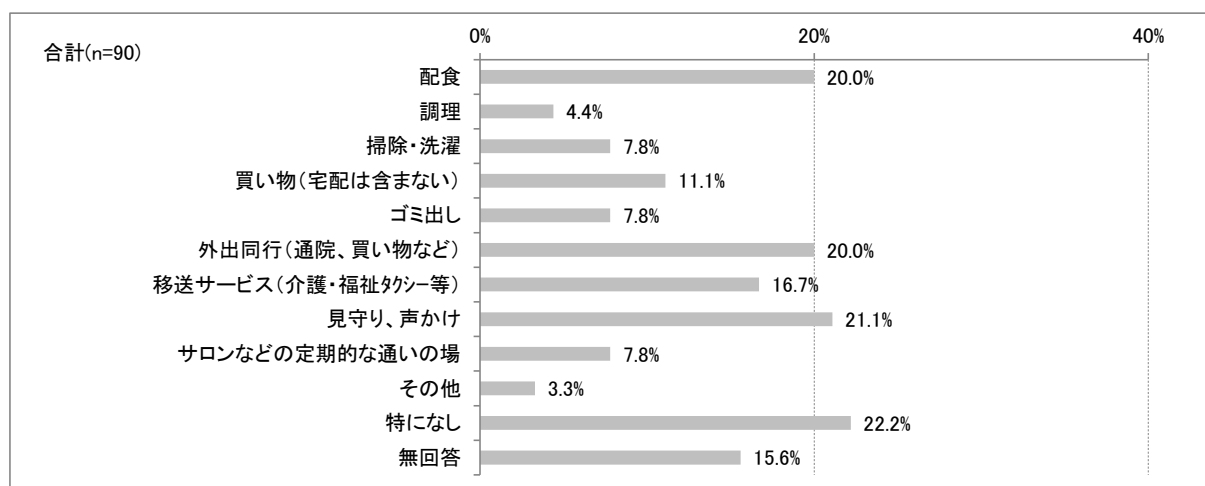
就労状況別に施設等検討の状況をみると、働いていない人では「検討していない」の割合が高くなっています。フルタイム勤務では「検討中」、パートタイム勤務では「申請済み」がそれぞれ働いていない人と比較して高くなっています。

就労継続見込み別に施設等検討の状況をみると、就労継続が難しい人のうち6割が「検討中」と回答しており、就労を継続しながらの在宅介護に難しさを感じている人が多いと考えられます。

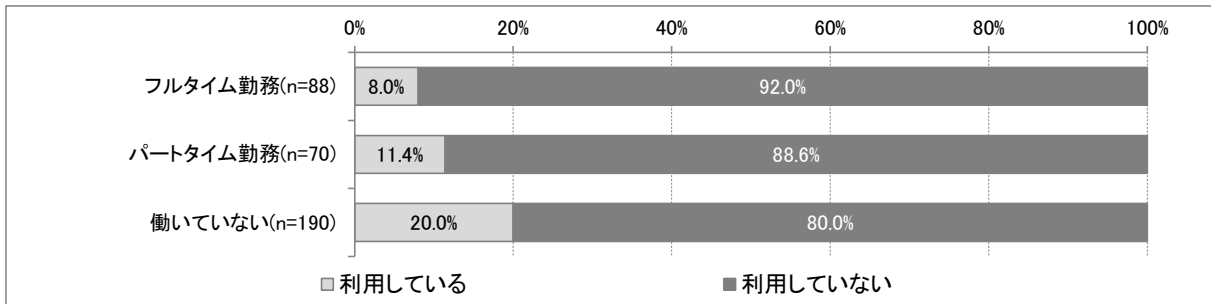
図表 2-19\_1 利用している保険外の支援・サービス（フルタイム勤務）



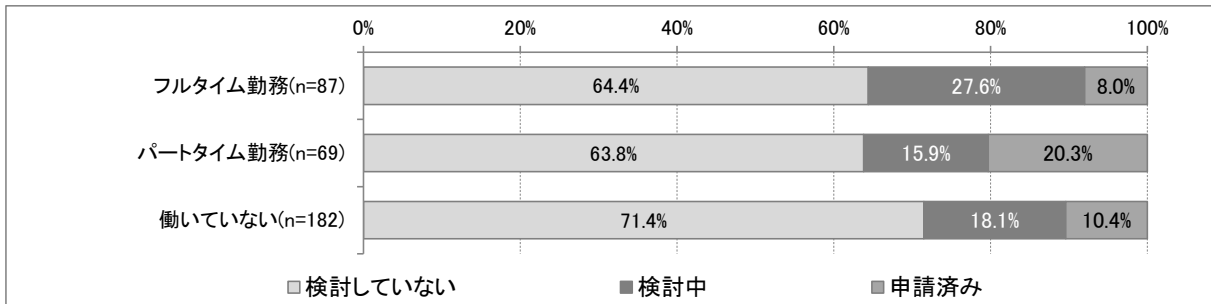
図表 2-19\_2 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（フルタイム勤務）



図表 2-20 就労状況別・訪問診療の利用の有無

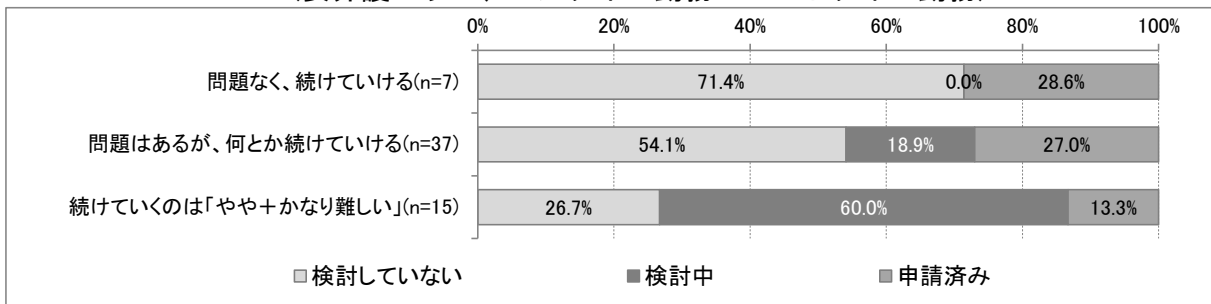


図表 2-21 就労状況別・施設等検討の状況



図表 2-22 就労継続見込み別・施設等検討の状況

(要介護2以上、フルタイム勤務+パートタイム勤務)



## (6) 就労状況別の、介護のための働き方の調整と効果的な勤め先からの支援

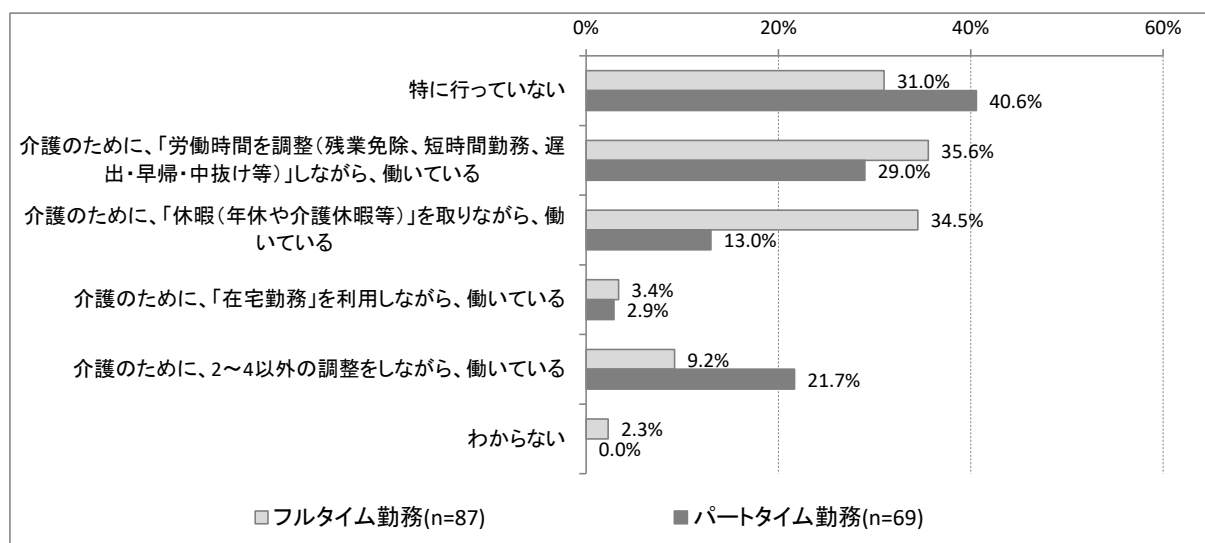
就労状況別に介護のための働き方の調整状況を見ると、パートタイム勤務はフルタイム勤務に比べて「特に行っていない」の割合が高くなっています。フルタイム勤務は「労働時間を調整」「休暇を取りながら働いている」の割合がパートタイム勤務と比べ高く、パートタイム勤務では「上記以外の調整」を行っている割合がフルタイム勤務と比べ高くなっています。

就労継続見込み別にみると、問題なく続けていける人は「特に行っていない」が5割程度となっている一方で、問題はあるが何とか続けていける人では7割程度、続けていくのは難しい人は9割程度が何らかの調整を行っていることがわかります。

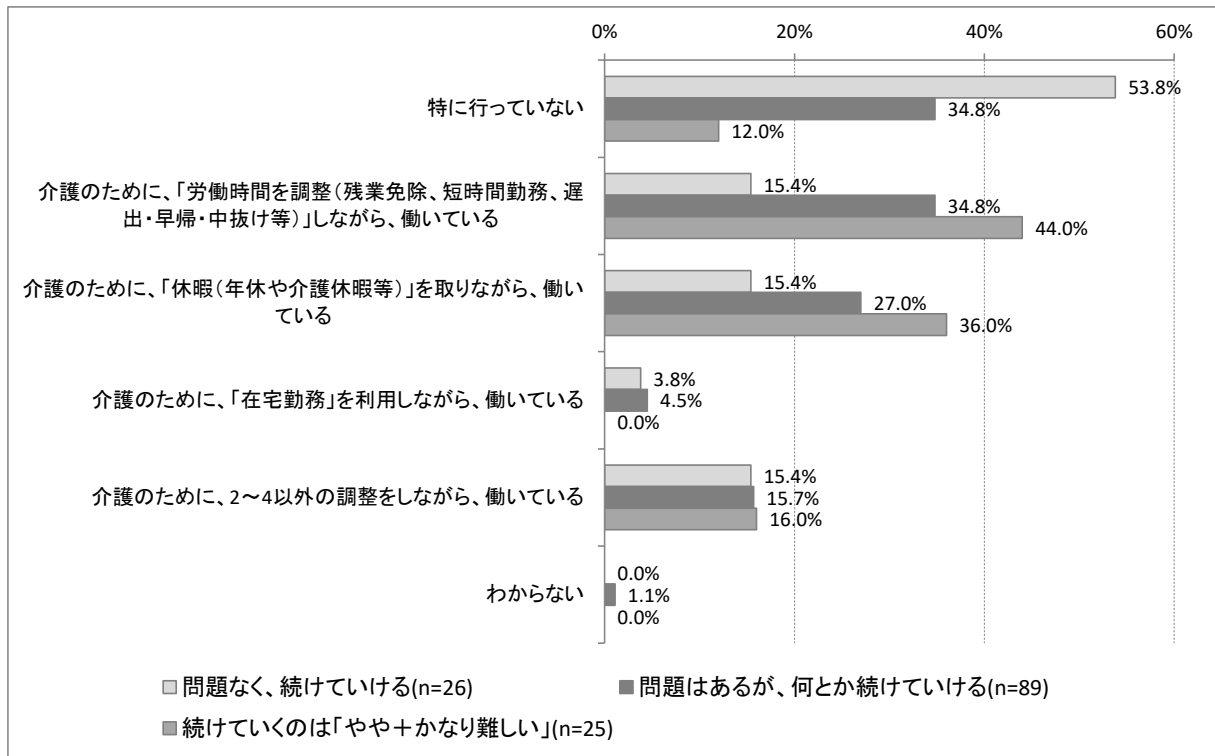
効果的な勤め先からの支援について、フルタイム勤務は「労働時間の柔軟な選択」「制度を利用しやすい職場づくり」「介護休業・介護休暇等の制度の充実」「介護をしている従業員への経済的な支援」等の割合が高くなっています。

就労継続見込み別にみると、続けていくのは難しい人では「介護休業・介護休暇等の制度の充実」「介護をしている従業員への経済的な支援」の割合が高くなっています。

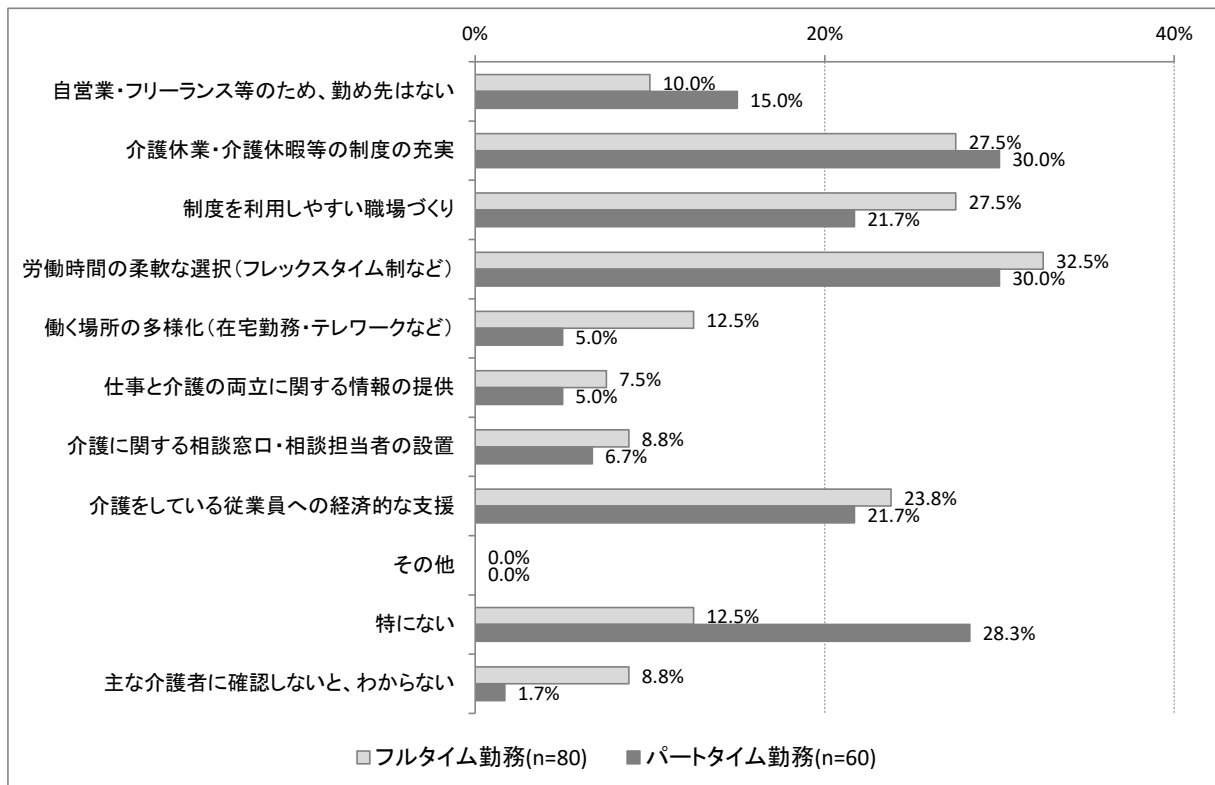
図表 2-23 就労状況別・介護のための働き方の調整



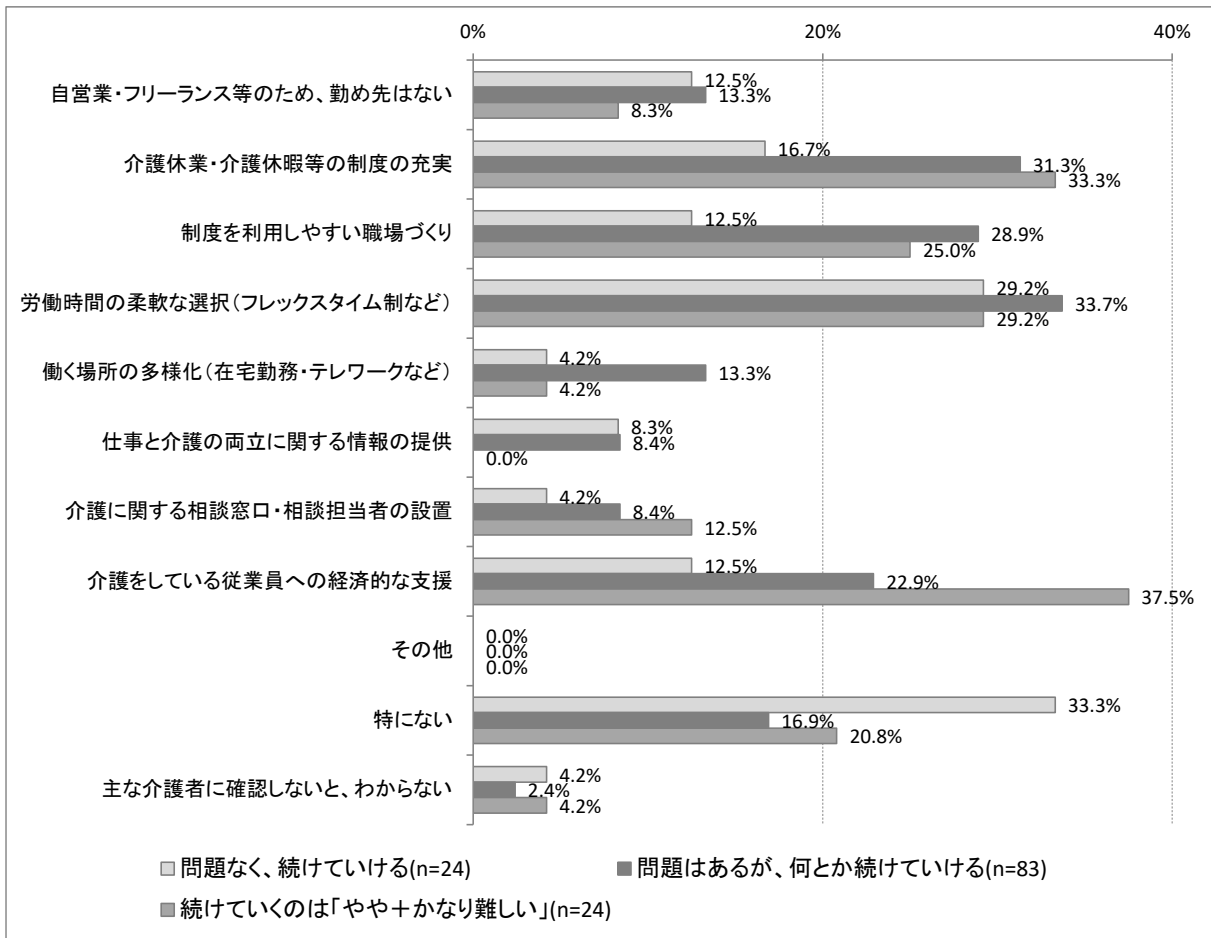
図表 2-24 就労継続見込み別・介護のための働き方の調整（フルタイム勤務+パートタイム勤務）



図表 2-25 就労状況別・効果的な勤め先からの支援



図表 2-26 就労継続見込み別・効果的な勤め先からの支援（フルタイム勤務+パートタイム勤務）



### 3 保険外の支援・サービスを中心とした地域資源の整備の検討

#### 3.1 集計・分析の狙い

○ここでは、在宅限界点の向上に向けて必要となる支援・サービスを検討するために、特に「保険外の支援・サービス」に焦点を当てた集計を行っています。ここで把握された現状やニーズは、生活支援体制整備事業の推進のために活用していくことなどが考えられます。

○具体的には、「現在利用している保険外の支援・サービス」と「在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）」について、要介護度別や世帯類型別のクロス集計を行い、現在の利用状況の把握と今後さらに充実が必要となる支援・サービスについての分析を行います。

○なお、調査の中では、総合事業に基づく支援・サービスは介護保険サービスに含めるとともに、「在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス」については、介護保険サービスか保険外の支援・サービスであるかは区別していません。

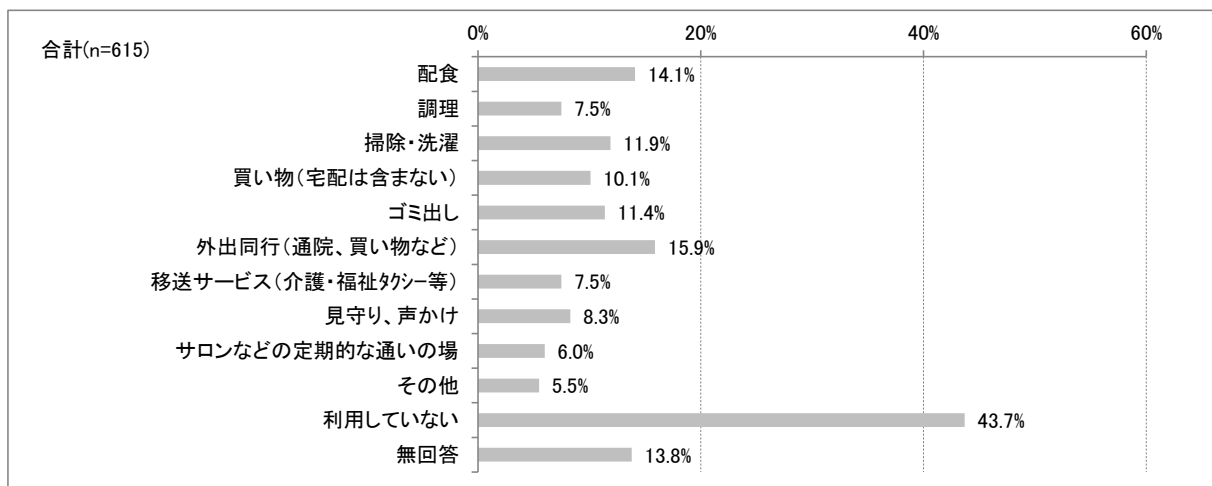
#### 3.2 集計結果

##### (1) 基礎集計

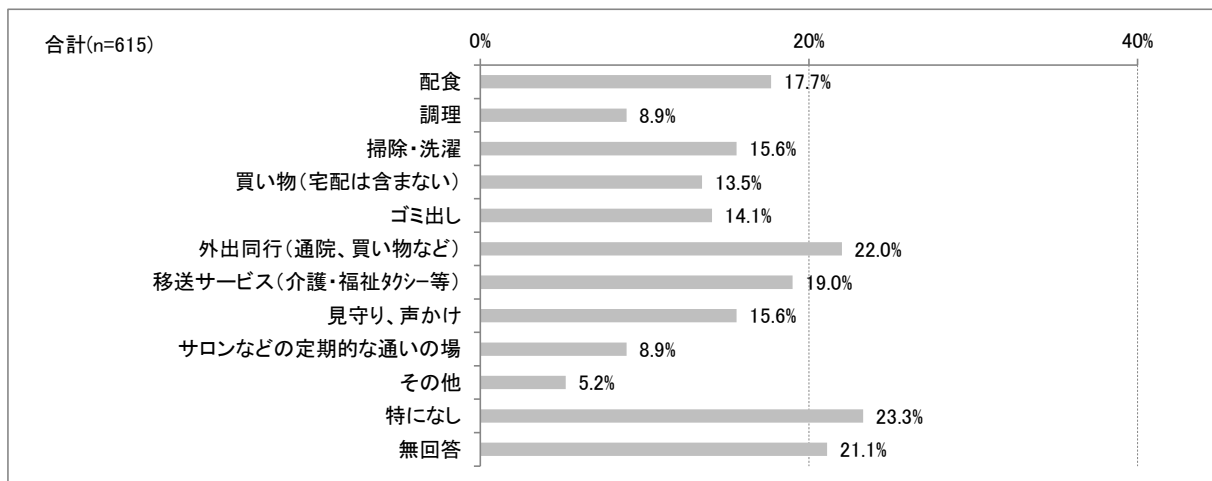
保険外の支援・サービスの利用状況をみると、約4割の人が「利用していない」と回答しています。利用しているサービスは、「外出同行」が15.9%で最も高く、「配食」が14.1%となっています。

在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスへの回答結果との差をみると、「移送サービス」が11.5ポイントで最も差が大きくなっています。

図表 3-1 保険外の支援・サービスの利用状況



図表 3-2 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

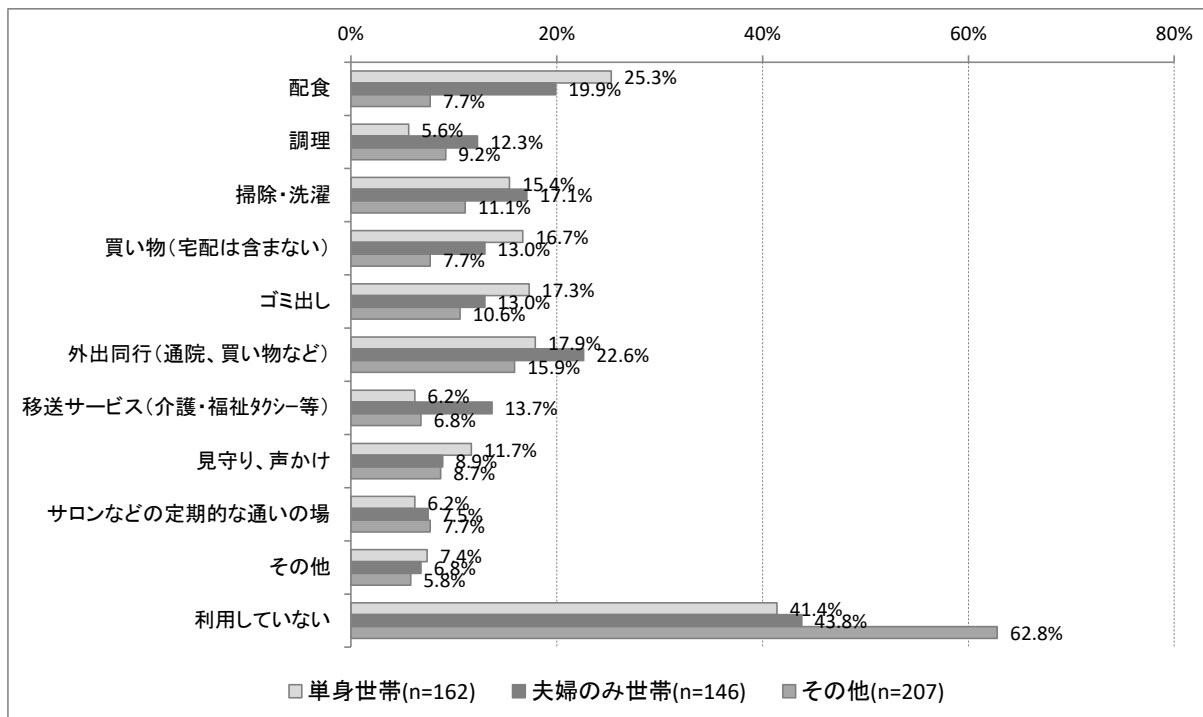


## (2) 世帯類型別の、保険外の支援・サービスの利用状況と必要と感じる支援・サービス

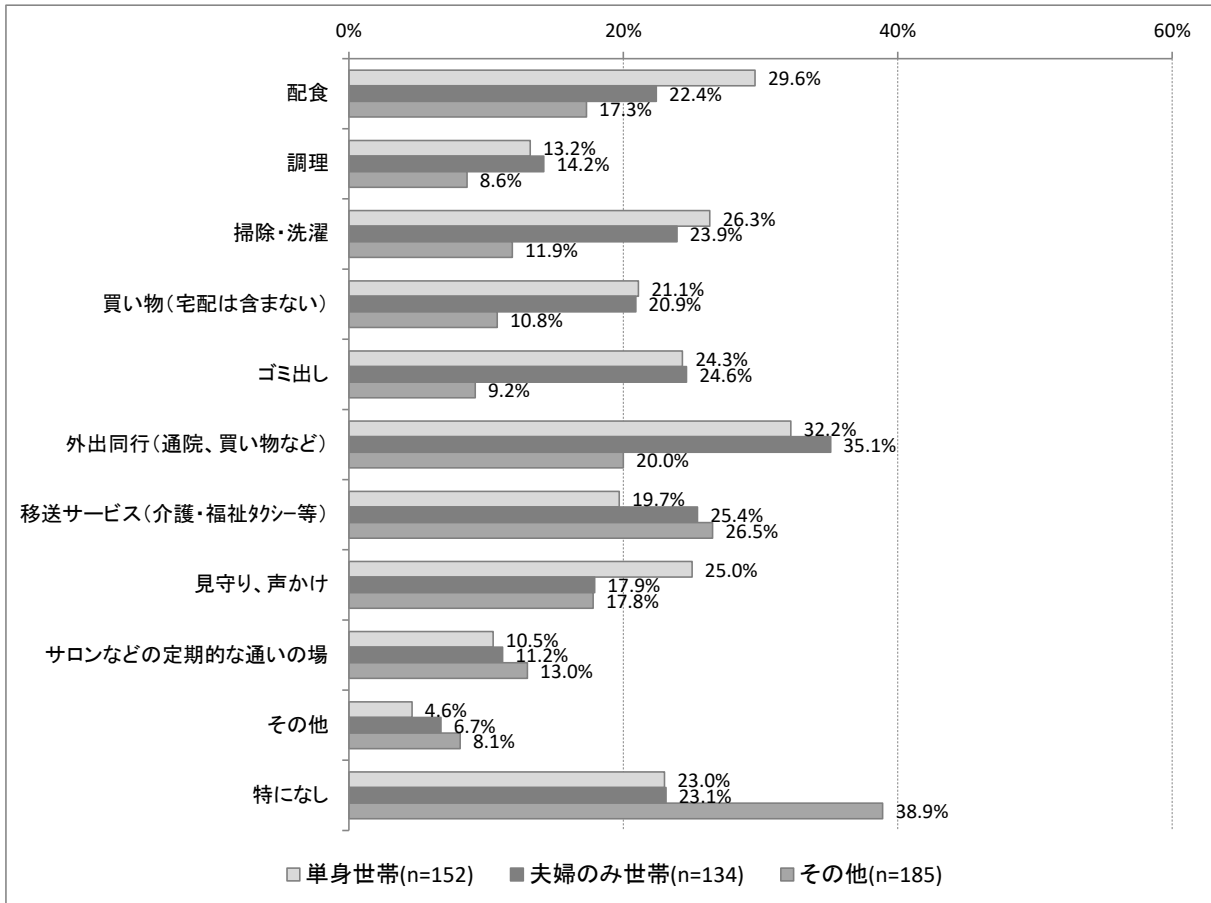
世帯類型別に保険外の支援・サービスの利用状況を見ると、単身世帯の6割程度が何かしらの保険外の支援・サービスを利用していることがわかります。

世帯類型別に在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスをみると、単身世帯では「外出同行」が32.2%で最も高く、「配食」が29.6%、「掃除・洗濯」が26.3%となっています。夫婦のみ世帯やその他世帯では「移送サービス」「外出同行」といった、外出や移動に係る支援を求める割合が高いことがわかります。

図表 3-3 世帯類型別・保険外の支援・サービスの利用状況



図表 3-4 世帯類型別・在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス



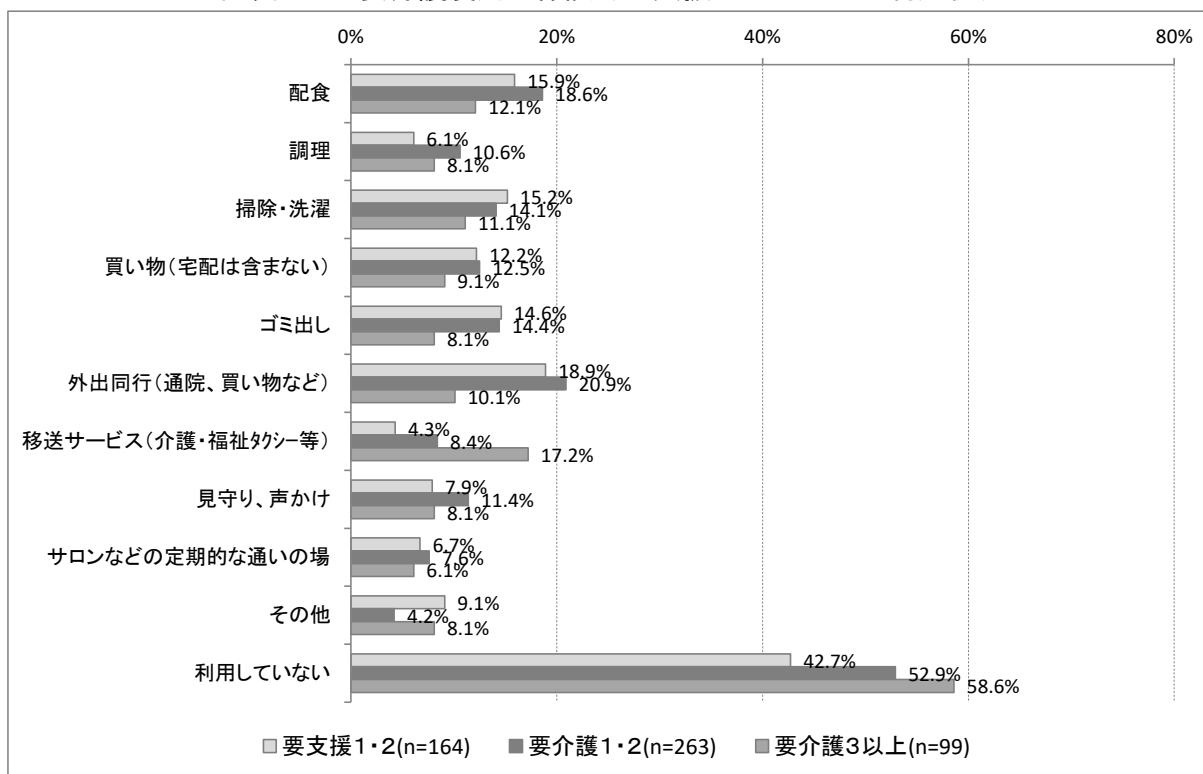


### (3)「世帯類型」×「要介護度」×「保険外の支援・サービスの利用状況」

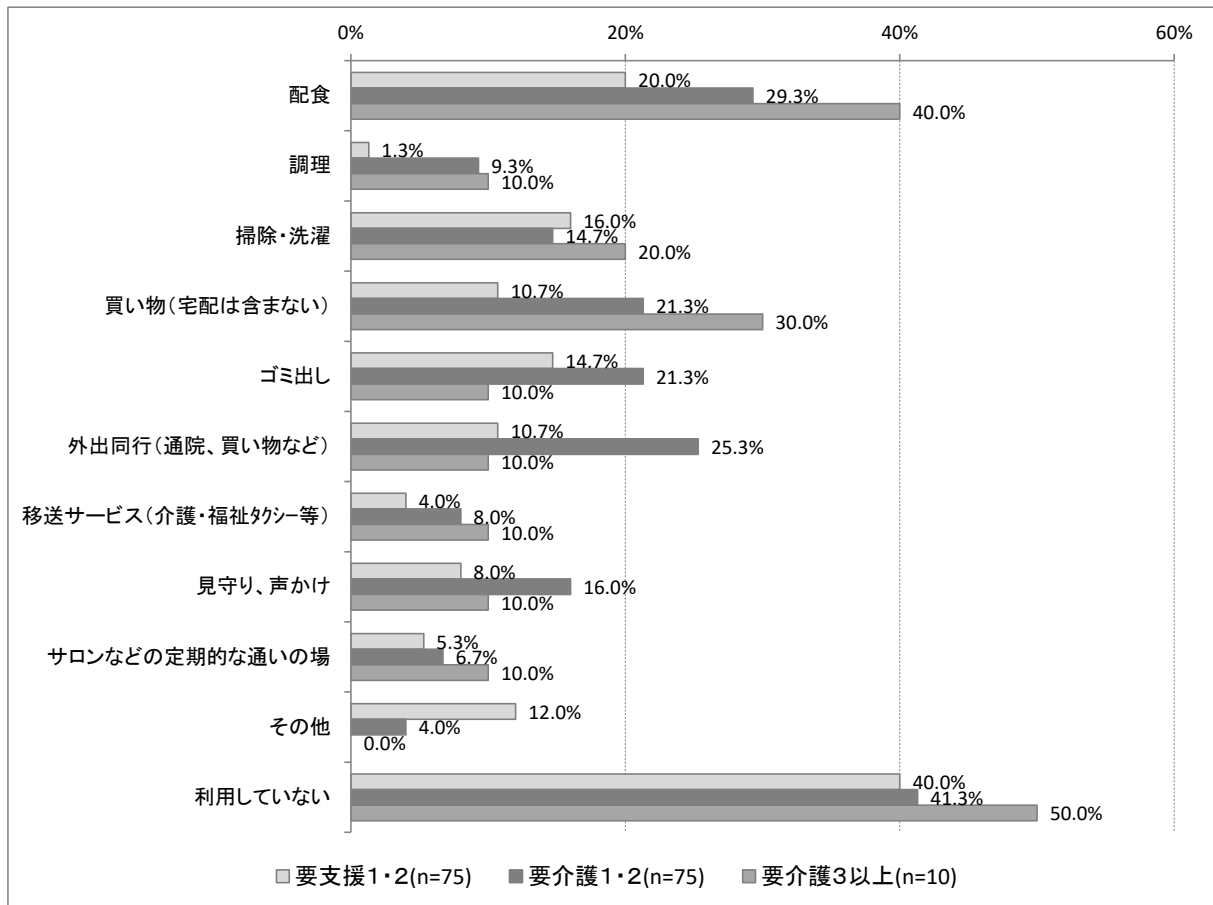
要介護度別に保険外の支援・サービスの利用状況を見ると、要支援1・2のサービス利用割合が高いことがわかります。要介護3以上では、「移送サービス」の割合が17.2%となっており、要支援1・2や要介護1・2と比べ高いことから、重度化に伴い利用割合が高まることがうかがえます。

世帯類型別にみると、単身世帯では「配食」「調理」「買い物」「移送サービス」「通いの場」において重度化に伴うサービス利用の高まりがみられます。夫婦のみ世帯並びにその他世帯では、「移送サービス」が重度化に伴い利用割合が高くなることがわかります。

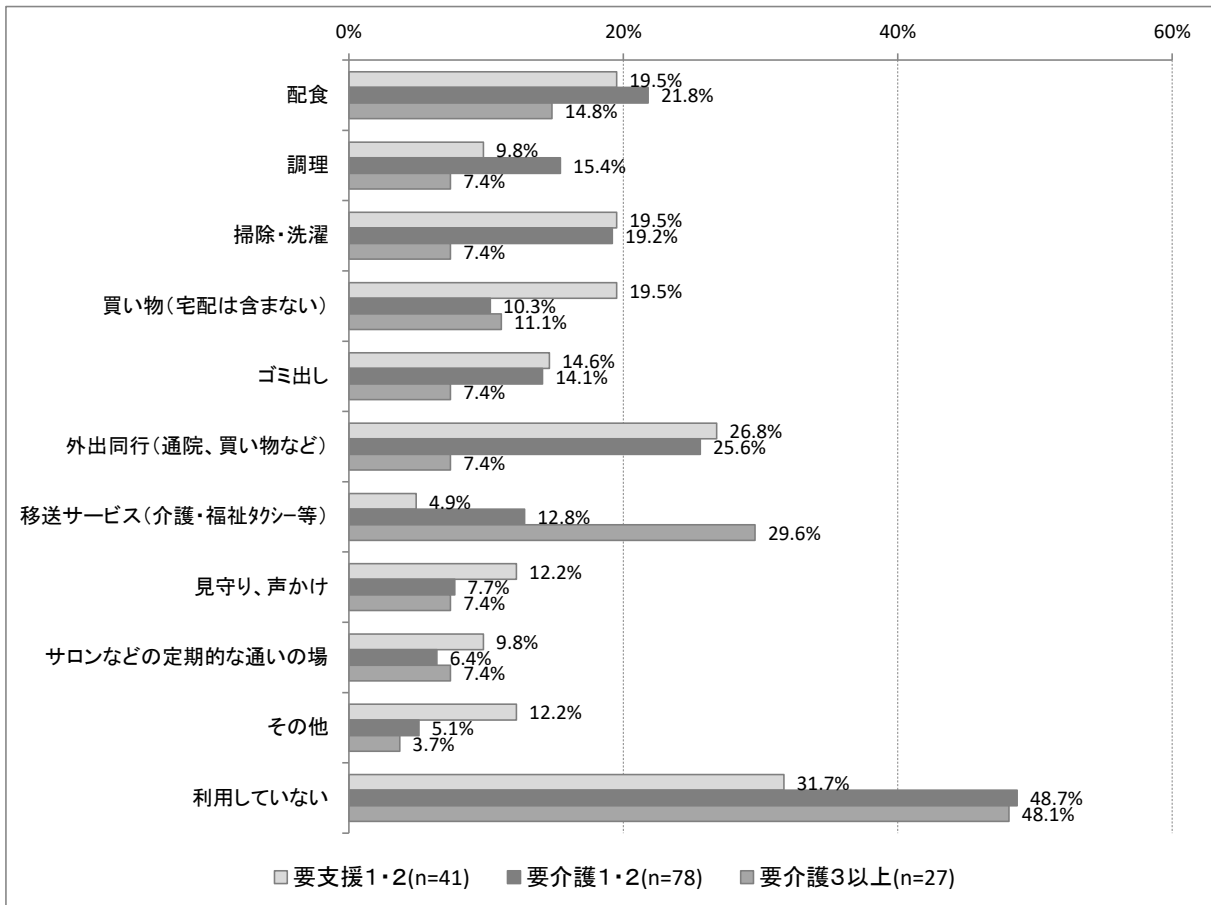
図表 3-5 要介護度別・保険外の支援・サービスの利用状況



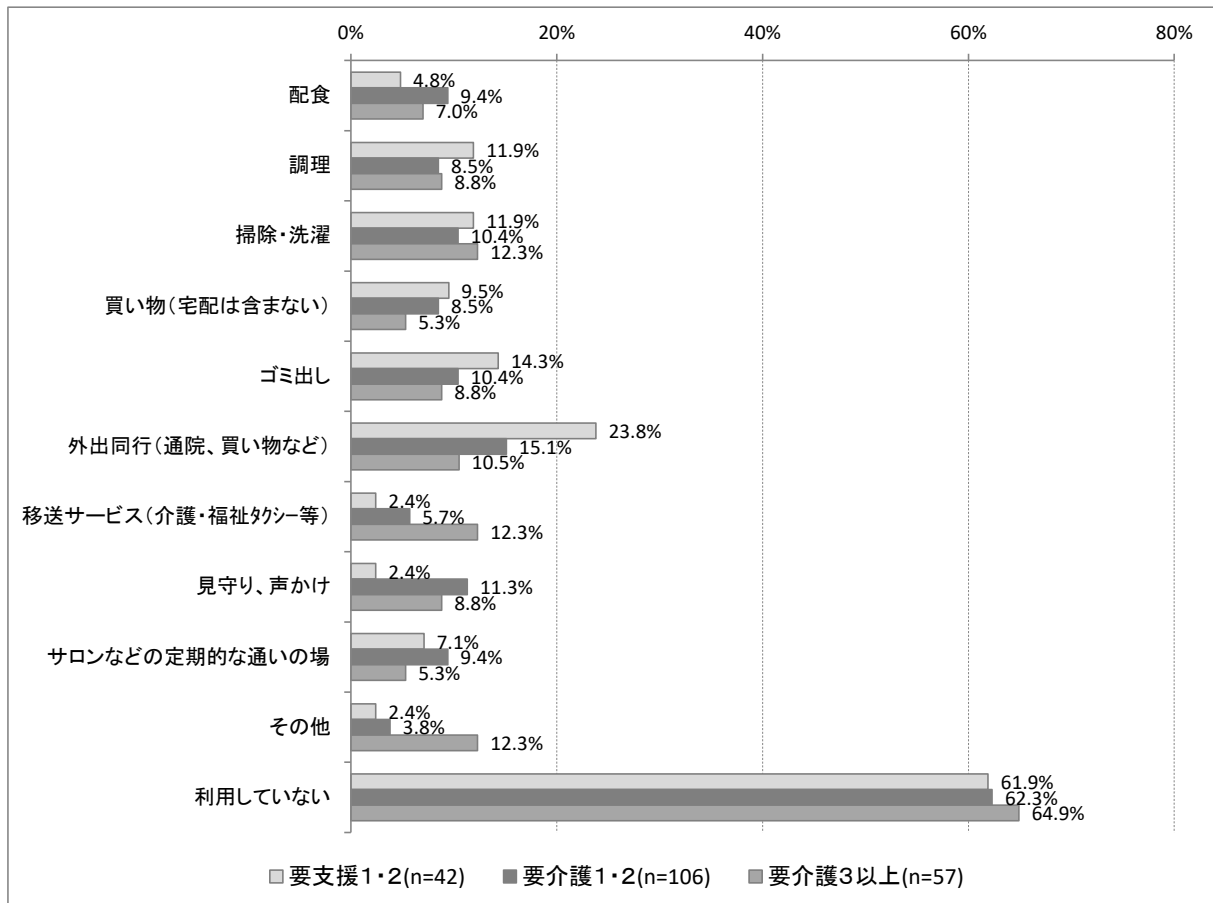
図表 3-6 要介護度別・保険外の支援・サービスの利用状況（単身世帯）



図表 3-7 要介護度別・保険外の支援・サービスの利用状況（夫婦のみ世帯）



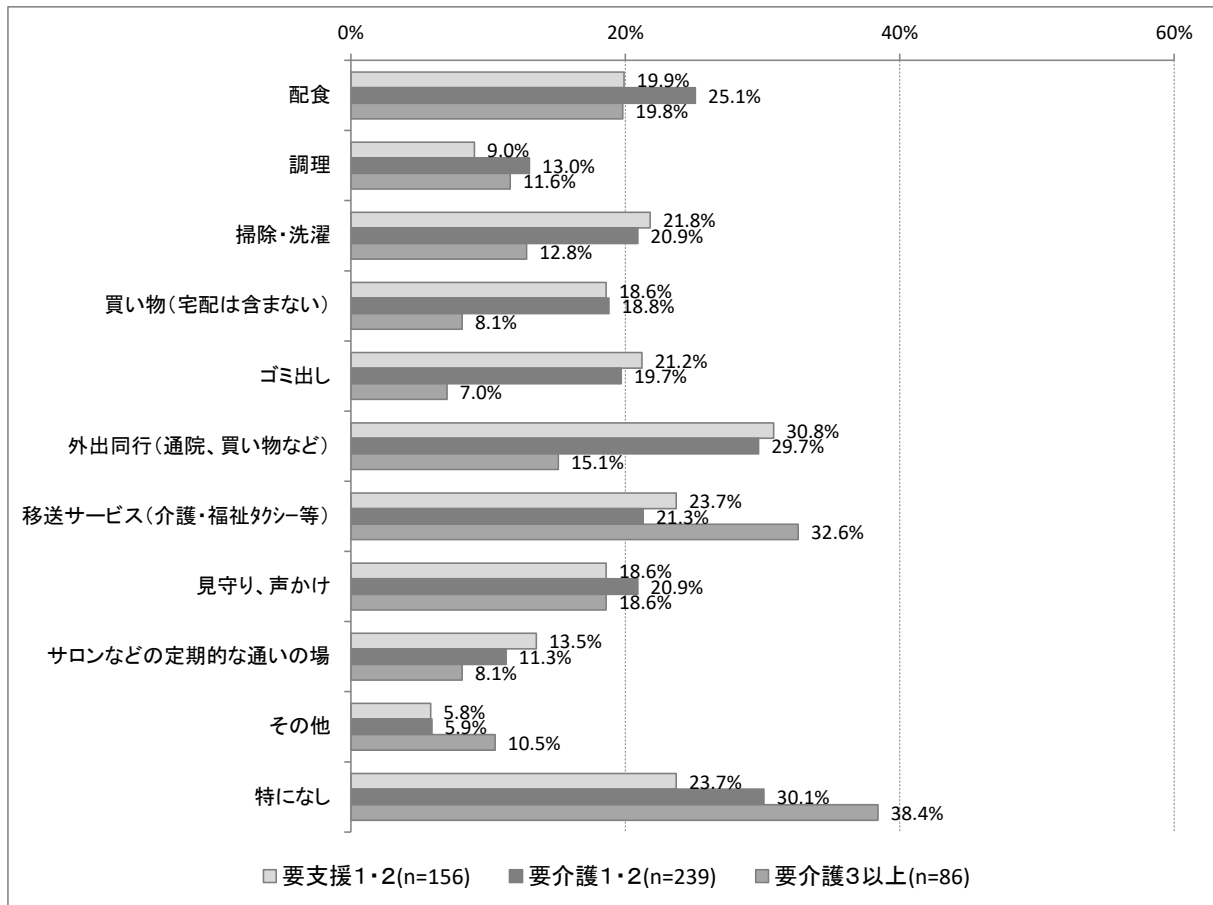
図表 3-8 要介護度別・保険外の支援・サービスの利用状況（その他世帯）



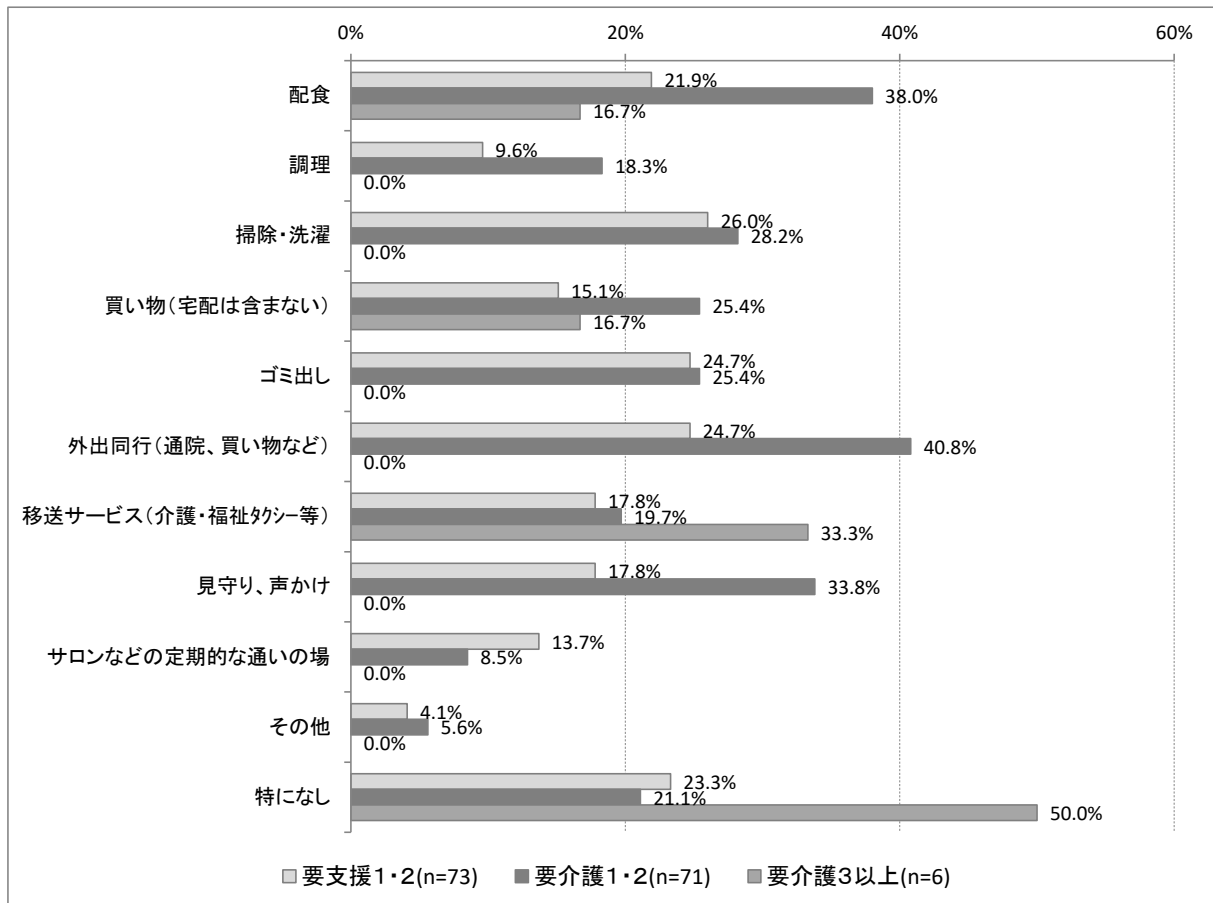
(4)「世帯類型」×「要介護度」×「必要と感じる支援・サービス」

世帯類型別・要介護度別に在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスをみると、単身世帯では「移送サービス」、夫婦のみ世帯とその他世帯では「配食」が重度化により必要性が高まることがうかがえます。

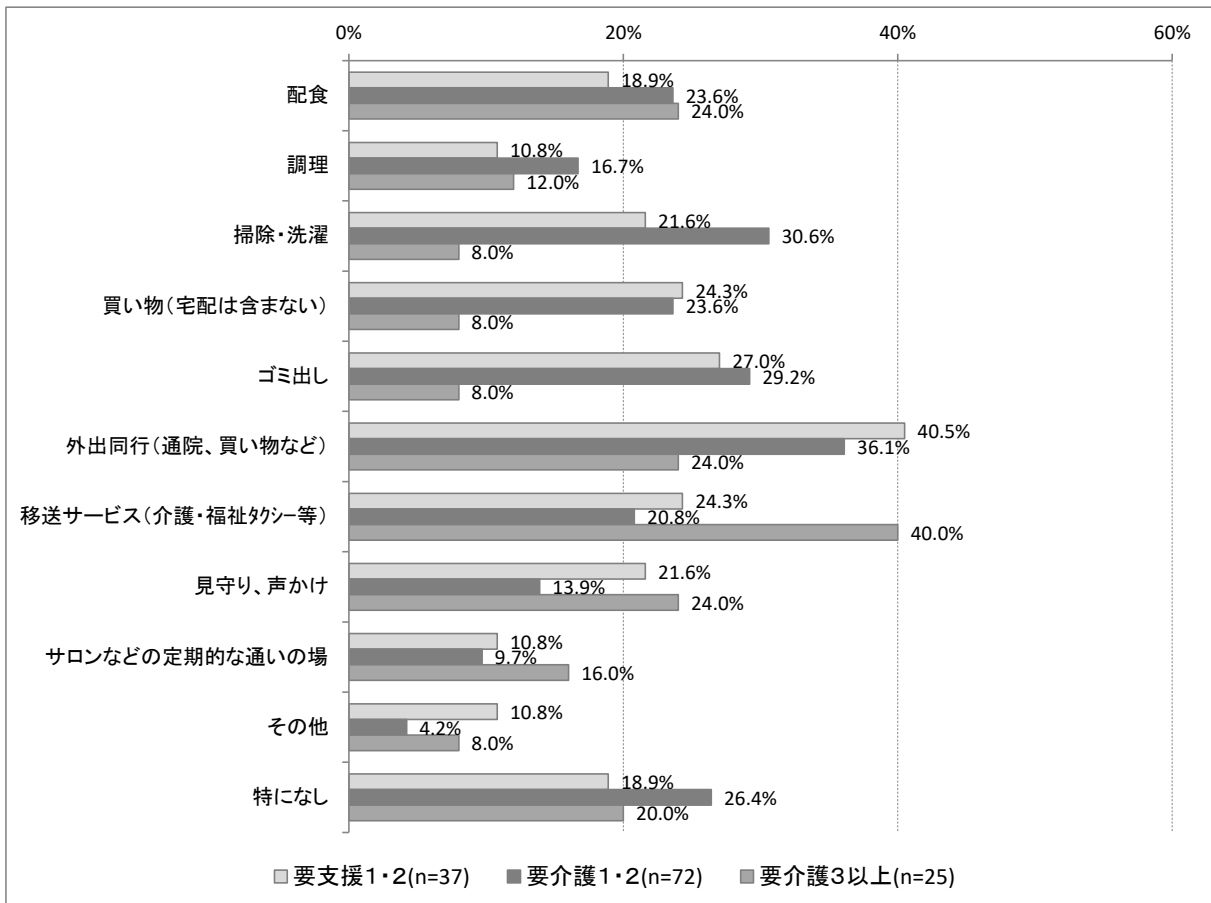
図表 3-9 要介護度別・在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス



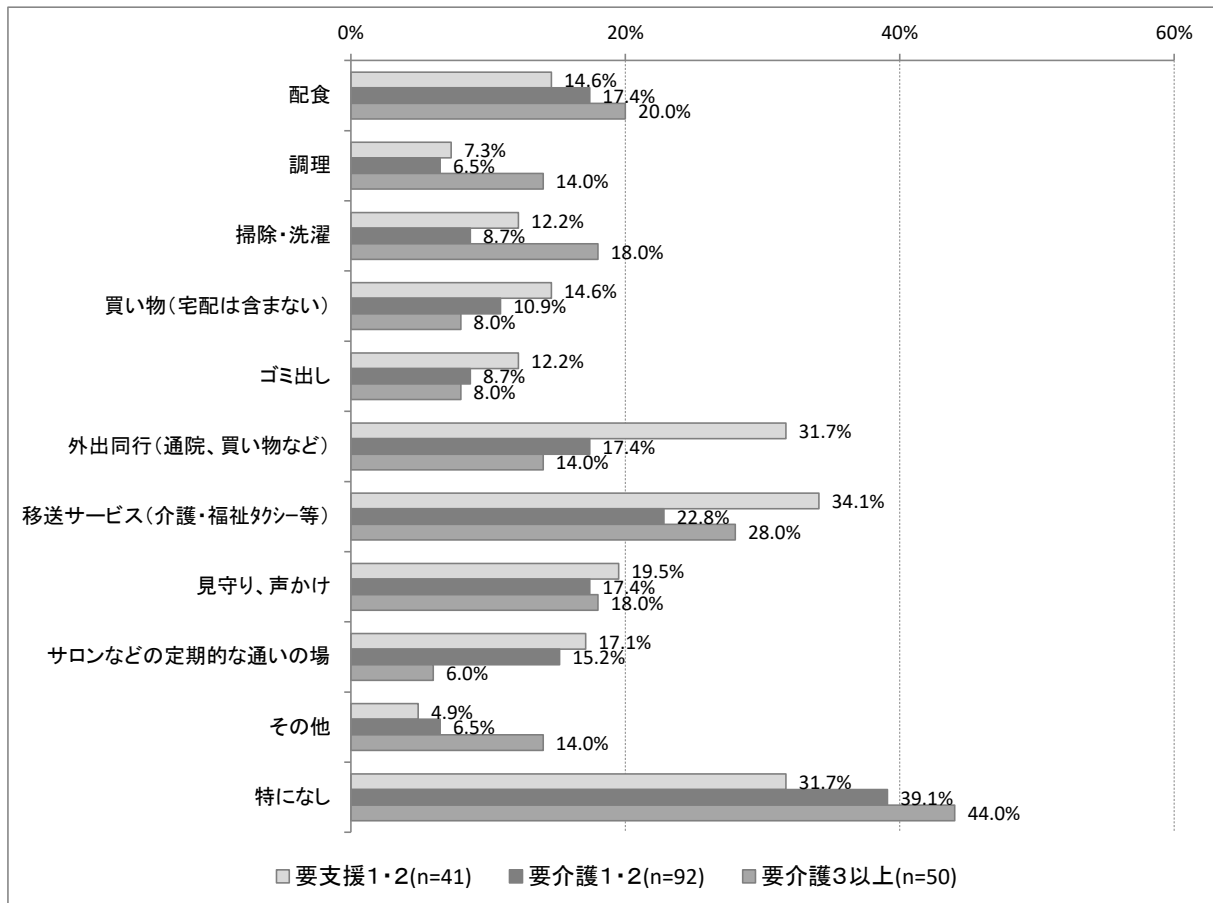
図表 3-10 要介護度別・在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（単身世帯）



図表 3-11 要介護度別・在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（夫婦のみ世帯）



図表 3-12 要介護度別・在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（その他世帯）





## 4 将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制の検討

### 4.1 集計・分析の狙い

- ここでは、在宅限界点の向上のための、将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制の検討につなげるため、特に世帯類型別の「サービス利用の特徴」や「施設等検討の状況」に焦点を当てた集計を行っています。
- 具体的には、世帯類型別の「家族等による介護の頻度」、「サービス利用の組み合わせ」、「施設等検討の状況」などの分析を行います。
- 将来の高齢世帯の世帯類型の構成は、地域ごとに異なりますので、それぞれ地域の実情に応じた支援・サービスの検討につなげていくことが重要となります。

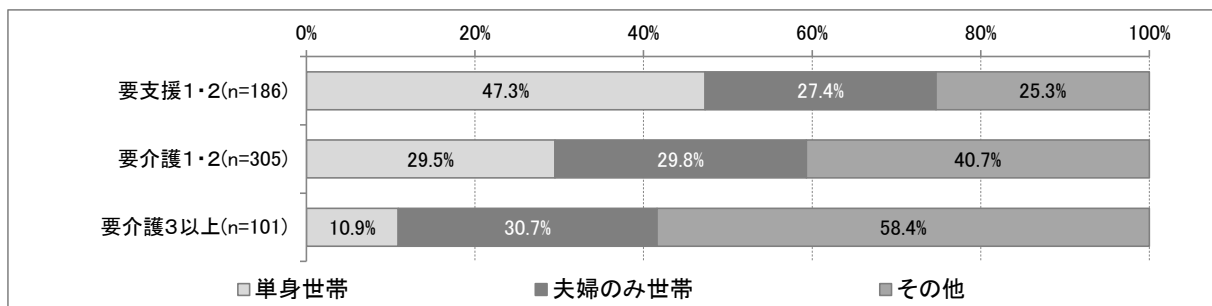
### 4.2 集計結果

#### (1) 基礎集計

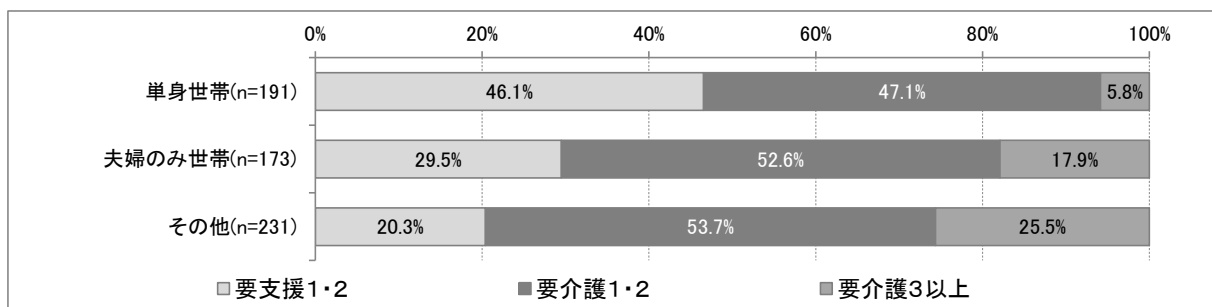
要介護度別に世帯類型をみると、重度化に伴い「単身世帯」の割合が低くなり「その他世帯」の割合が高くなっています。

世帯類型別に要介護度をみると、「要介護3以上」が単身世帯では5.8%、夫婦のみ世帯では17.9%、その他世帯では25.5%となっています。

図表 4-1 要介護度別・世帯類型



図表 4-2 世帯類型別・要介護度

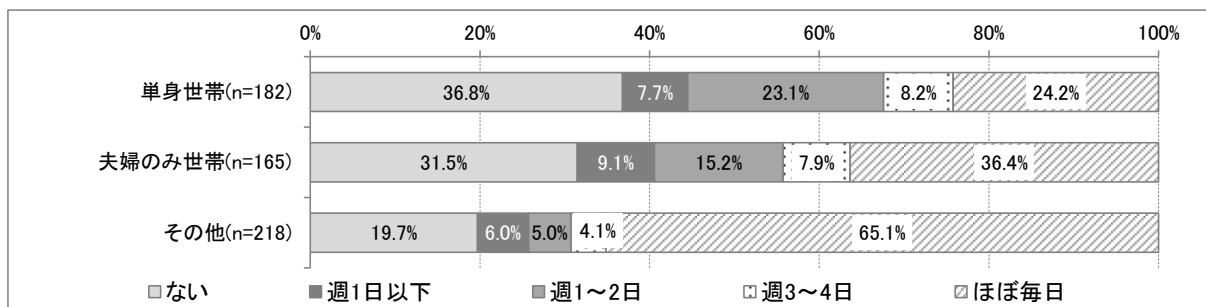


## (2) 「要介護度別・世帯類型別」の「家族等による介護の頻度」

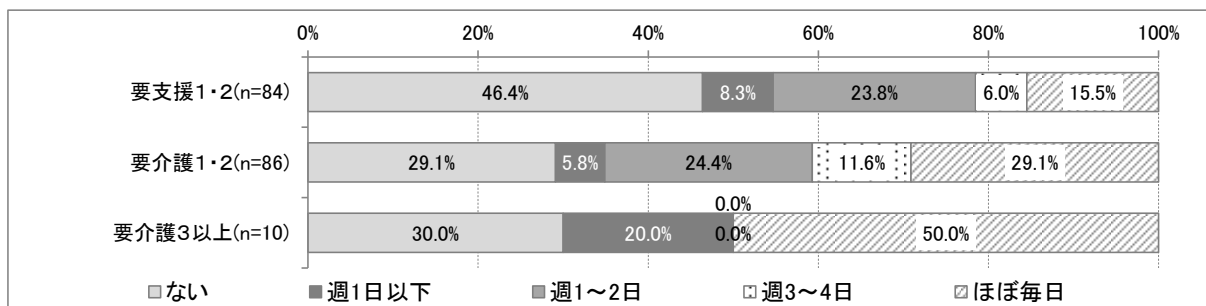
世帯類型別に家族等による介護の頻度をみると、「ほぼ毎日」の割合は単身世帯が24.2%、夫婦のみ世帯が36.4%、その他世帯が65.1%となっています。単身世帯であっても、近居の家族等により介護が行われていることがうかがえます。

要介護度別に家族等による介護の頻度をみると、単身世帯の場合、要介護度が上がるほど「ほぼ毎日」の割合が高くなっていますが、「ない」や「週1日以下」「週1～2日」など、家族による介護が少ない中で在宅生活をしている要介護者もいることがうかがえます。

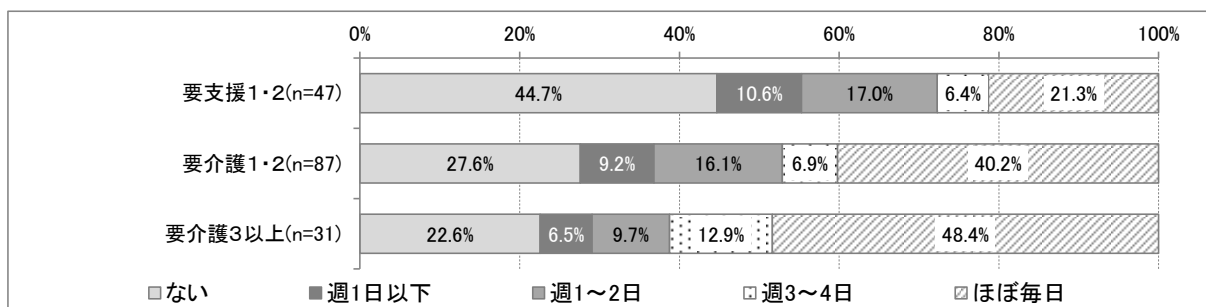
図表 4-3 世帯類型別・家族等による介護の頻度



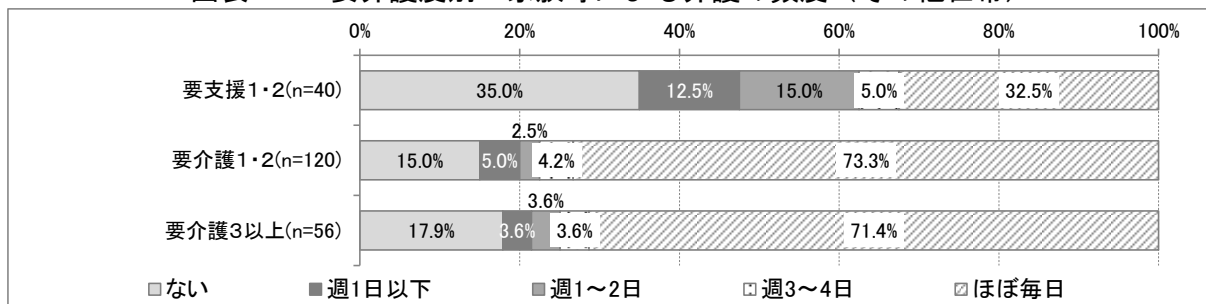
図表 4-4 要介護度別・家族等による介護の頻度（単身世帯）



図表 4-5 要介護度別・家族等による介護の頻度（夫婦のみ世帯）



図表 4-6 要介護度別・家族等による介護の頻度（その他世帯）

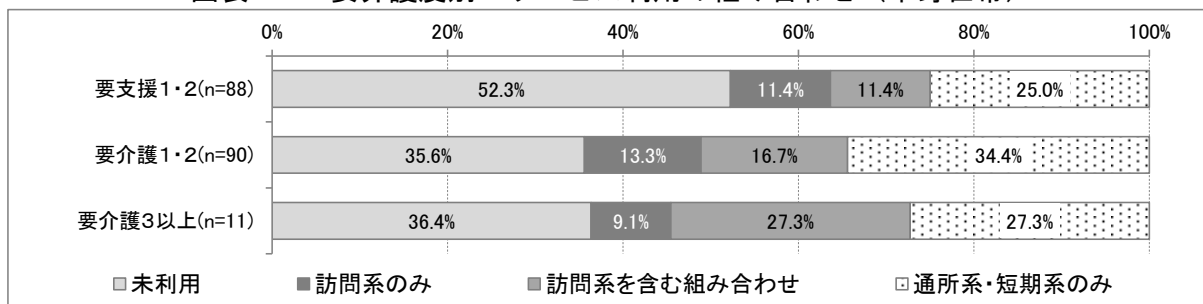


### (3) 「要介護度別・認知症自立度別」の「世帯類型別のサービス利用の組み合わせ」

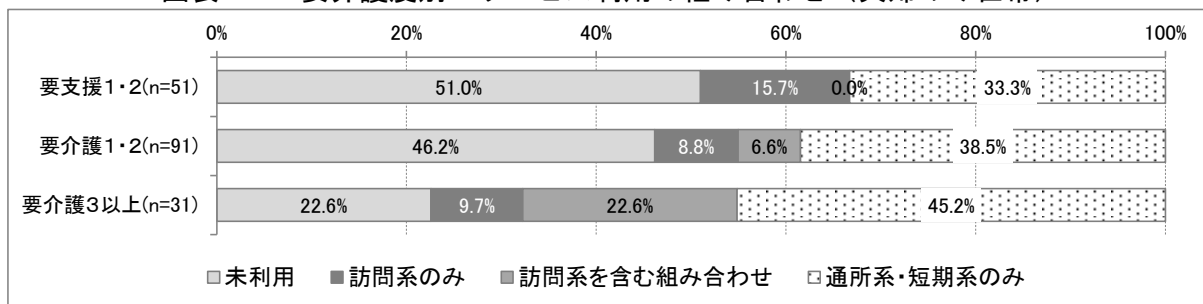
世帯類型別・要介護度別にサービス利用の組み合わせをみると、同居の家族がいる夫婦のみ世帯やその他世帯においては、要介護1・2では「訪問系を含む組み合わせ」は1割未満ですが、要介護3以上では利用が増えていることがわかります。また、「通所系や短期系のみ」は一定の割合を維持しています。

こうしたサービスの利用実態から、中重度の要介護者に対する在宅での生活を支援するためには、「訪問系」サービスの充実とともに、「通所系」や「短期系」サービスを組み合わせる提供することも有効であると考えられます。

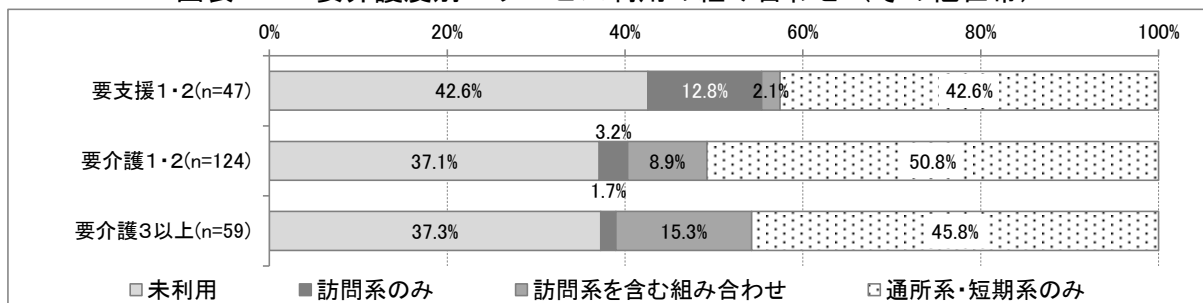
図表 4-7 要介護度別・サービス利用の組み合わせ（単身世帯）



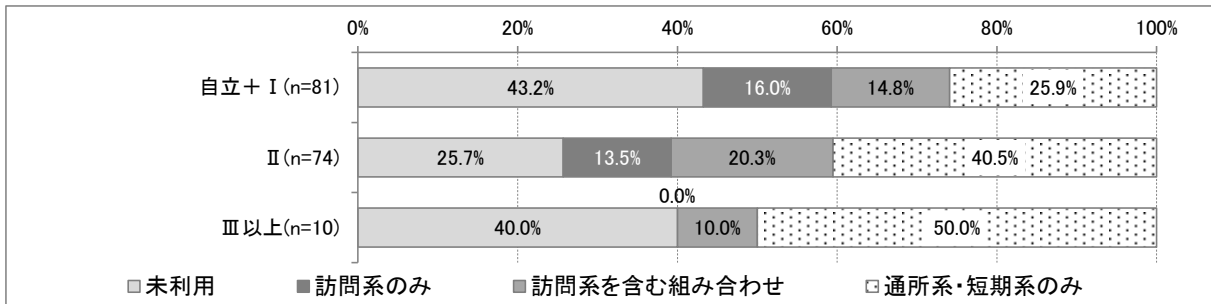
図表 4-8 要介護度別・サービス利用の組み合わせ（夫婦のみ世帯）



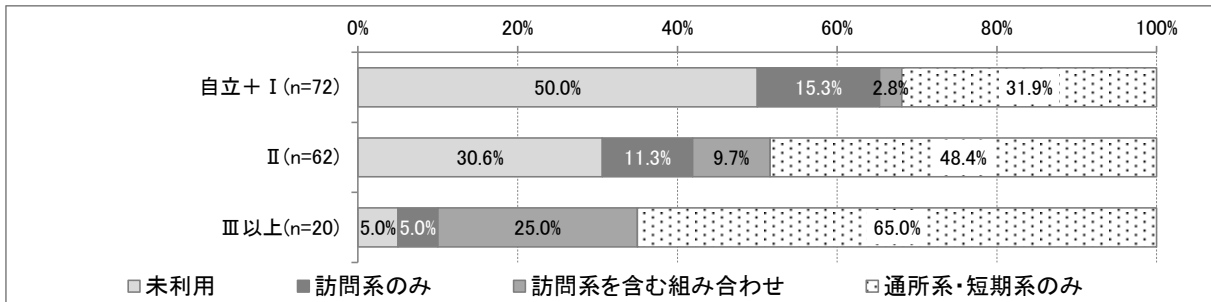
図表 4-9 要介護度別・サービス利用の組み合わせ（その他世帯）



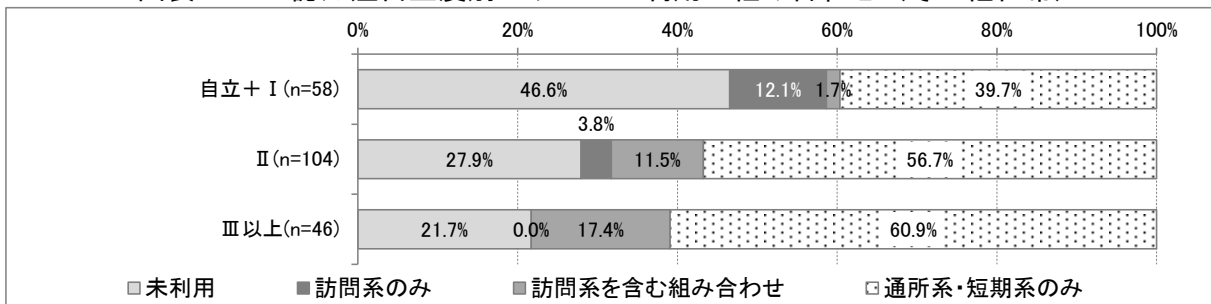
図表 4-10 認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ（単身世帯）



図表 4-11 認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ（夫婦のみ世帯）



図表 4-12 認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ（その他世帯）

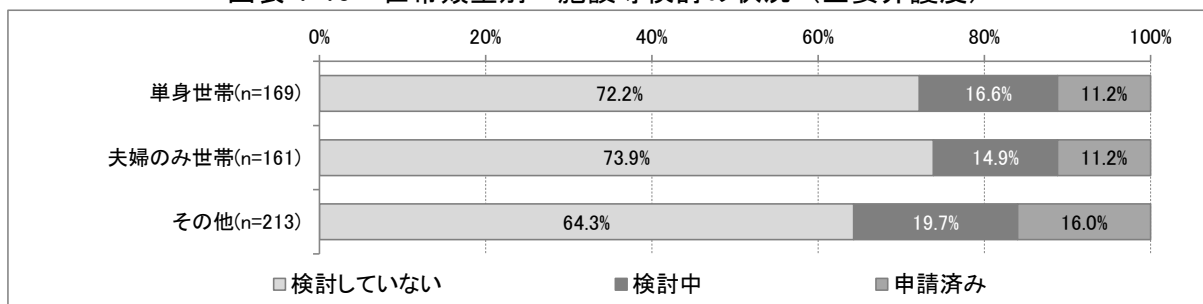


(4) 「要介護度別・認知症自立度別」の「世帯類型別の施設等検討の状況」

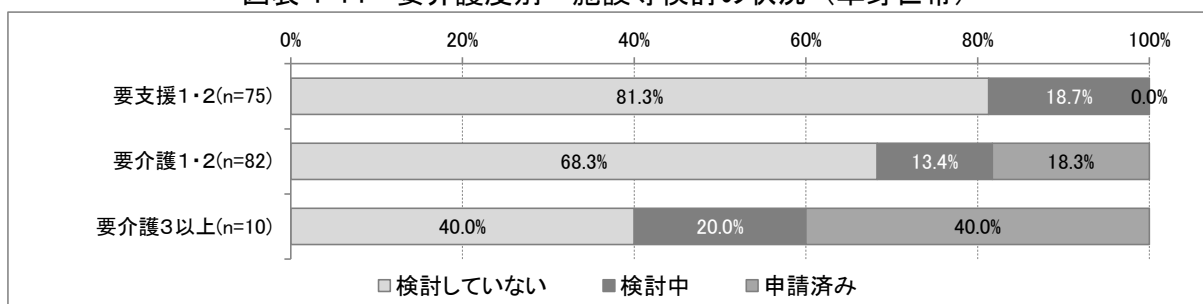
世帯類型別に施設等検討の状況を見ると、夫婦のみ世帯は要介護1以上において「検討していない」の割合が単身世帯やその他世帯と比較して高くなっています。

世帯類型別・要介護度別に施設等検討の状況を見ると、世帯類型に関わらず要介護度・認知症自立度の重度化に伴い「検討中」や「申請済み」の割合が高くなっています。

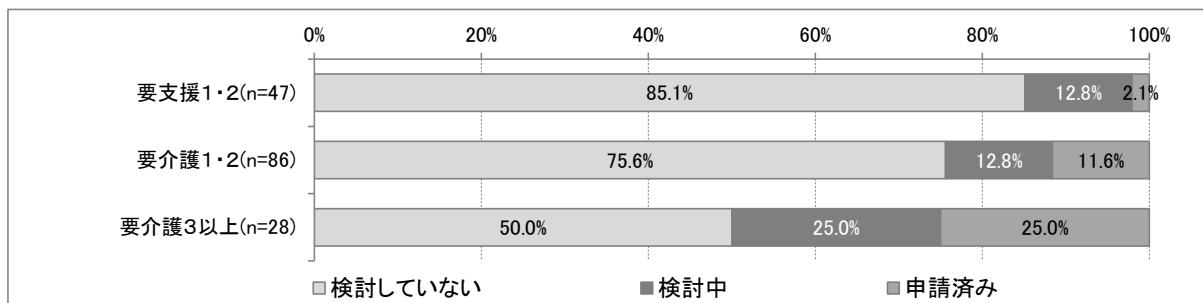
図表 4-13 世帯類型別・施設等検討の状況（全要介護度）



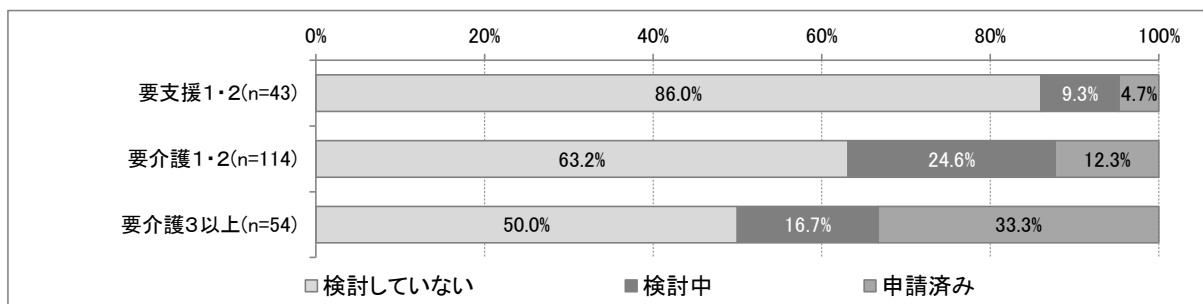
図表 4-14 要介護度別・施設等検討の状況（単身世帯）



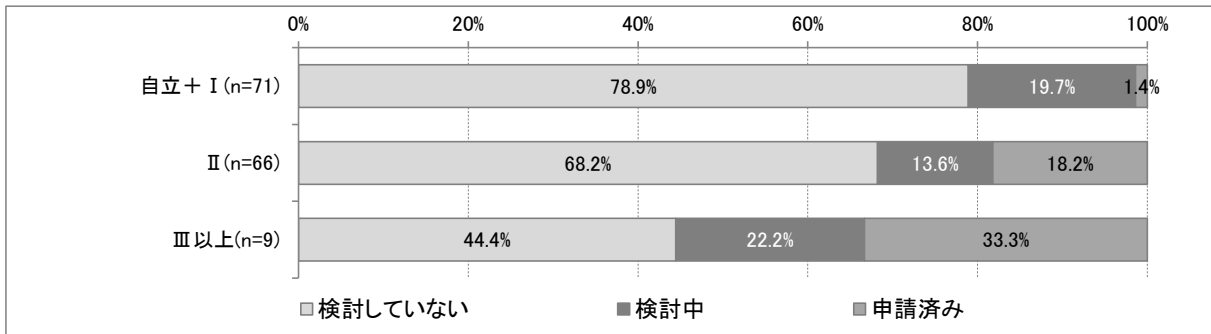
図表 4-15 要介護度別・施設等検討の状況（夫婦のみ世帯）



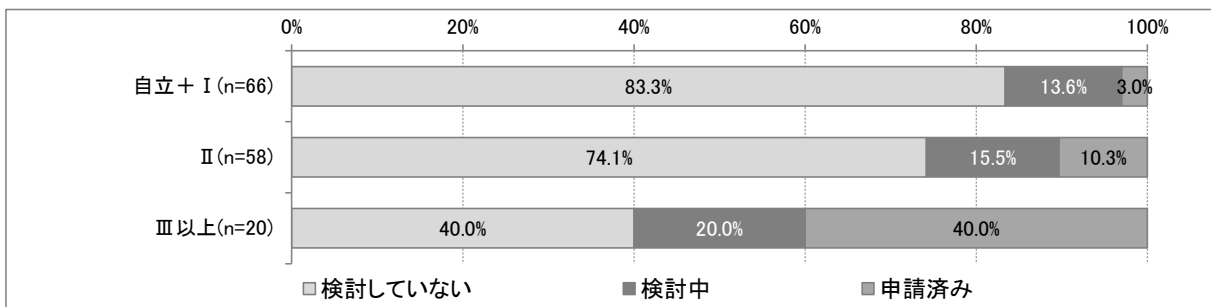
図表 4-16 要介護度別・施設等検討の状況（その他世帯）



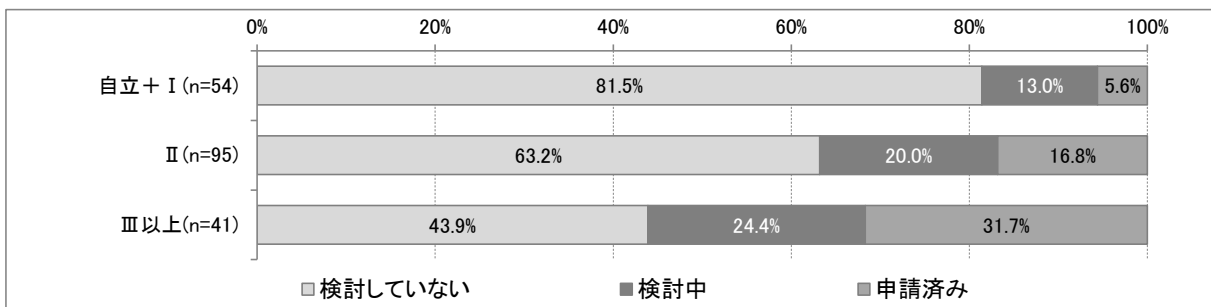
図表 4-17 認知症自立度別・施設等検討の状況（単身世帯）



図表 4-18 認知症自立度別・施設等検討の状況（夫婦のみ世帯）



図表 4-19 認知症自立度別・施設等検討の状況（その他の世帯）



## 5 医療ニーズの高い在宅療養者を支える支援・サービスの提供体制の検討

### 5.1 集計・分析の狙い

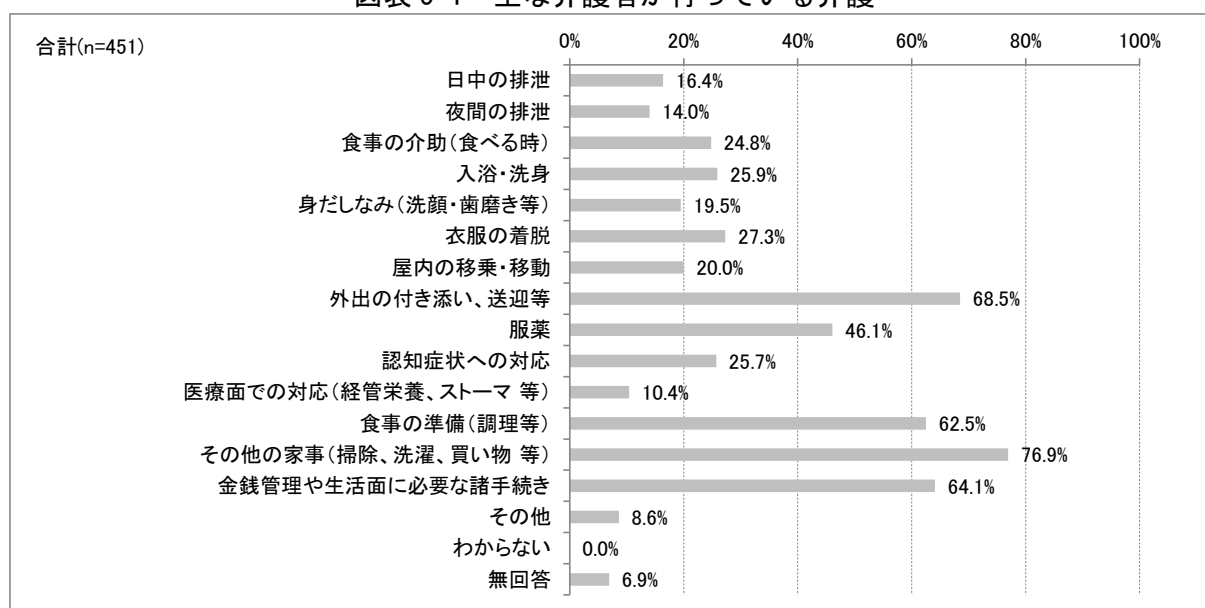
- ここでは、医療ニーズの高い在宅療養者を支える支援・サービスの検討につなげるための集計を行います。
- 具体的には、世帯類型別・要介護度別の「主な介護者が行っている介護」や「訪問診療の利用の有無」、「訪問診療の利用の有無別のサービス利用の組み合わせ」などの分析を行います。

### 5.2 集計結果

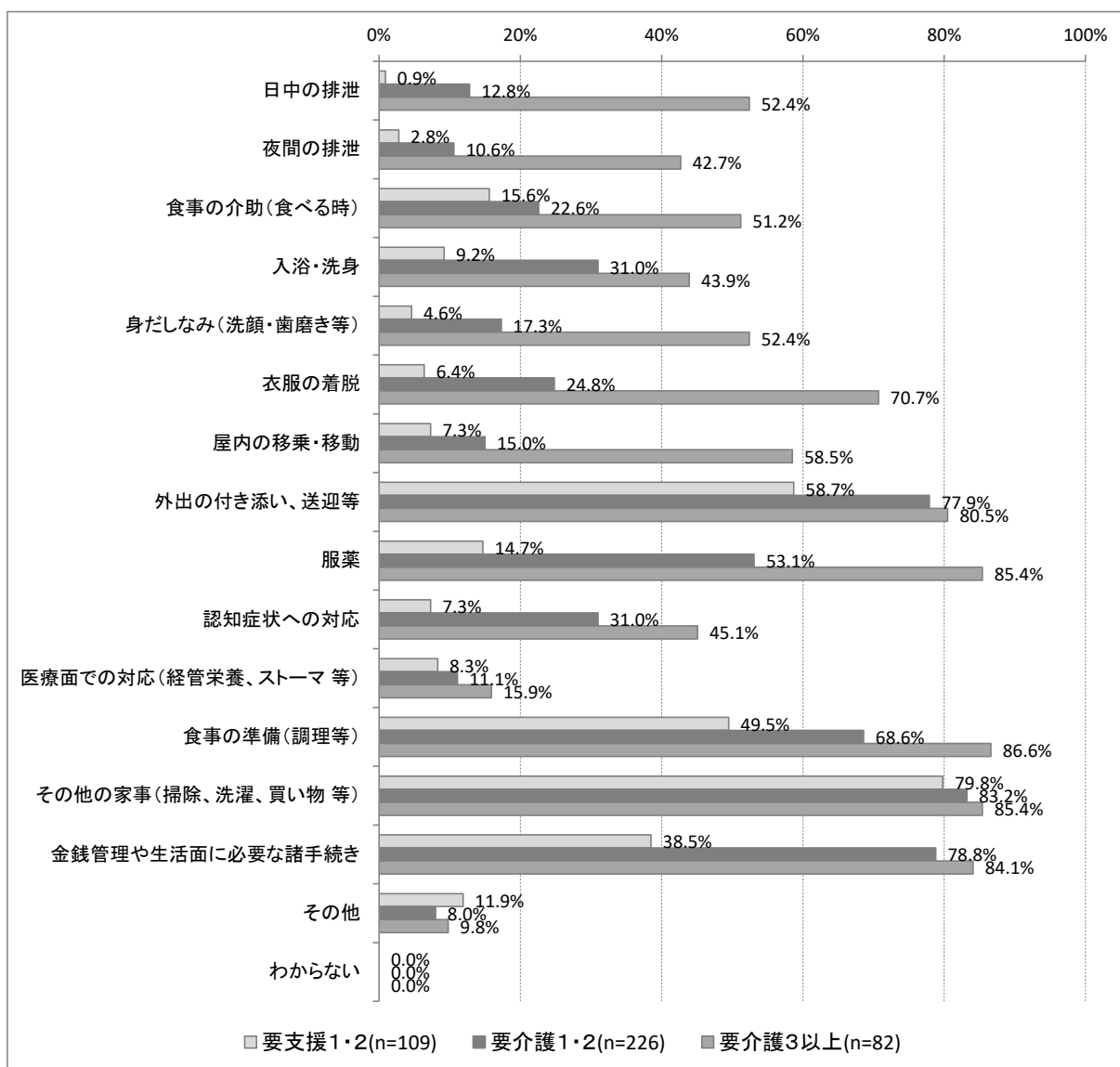
#### (1) 基礎集計

主な介護者が行っている介護について、「医療面での対応」は10.4%となっています。  
要介護度が上がるほど、主な介護者が「医療面での対応」を行っている割合が高くなっています。

図表 5-1 主な介護者が行っている介護

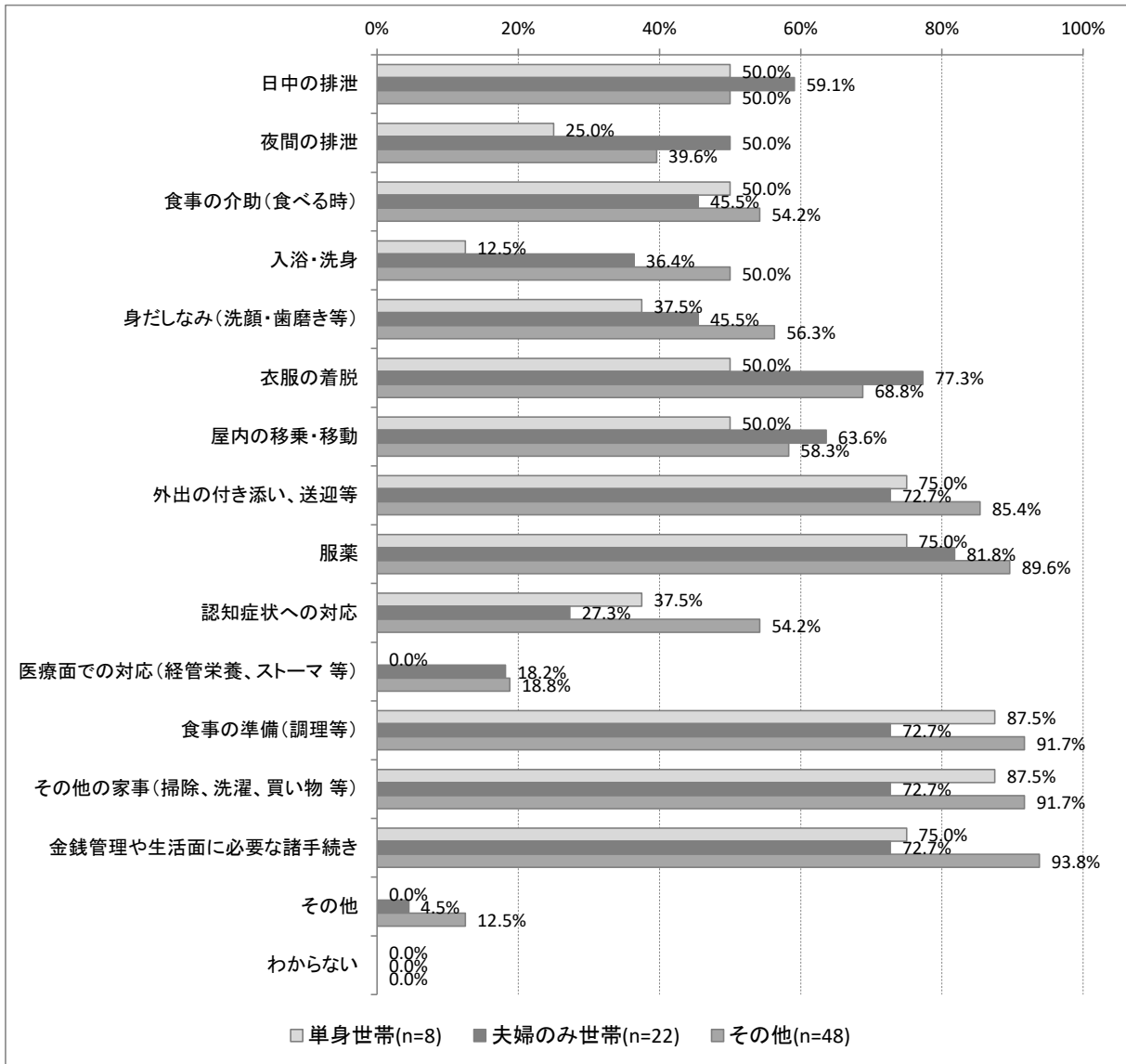


図表 5-2 要介護度別・主な介護者が行っている介護





図表 5-3 世帯類型別・主な介護者が行っている介護（要介護3以上）



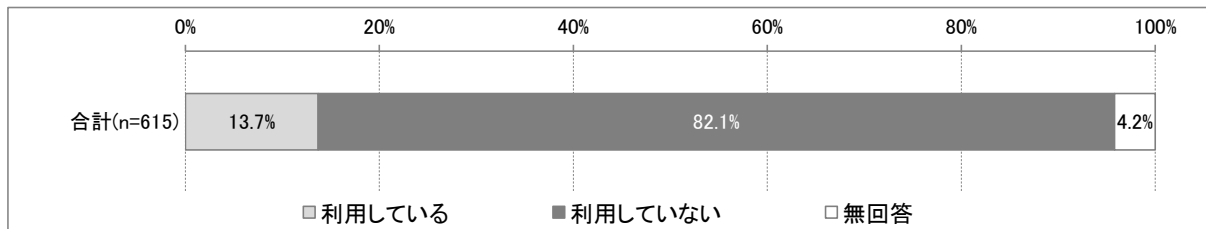
## (2) 訪問診療の利用割合

訪問診療は、「利用している」が13.7%、「利用していない」が82.1%となっています。

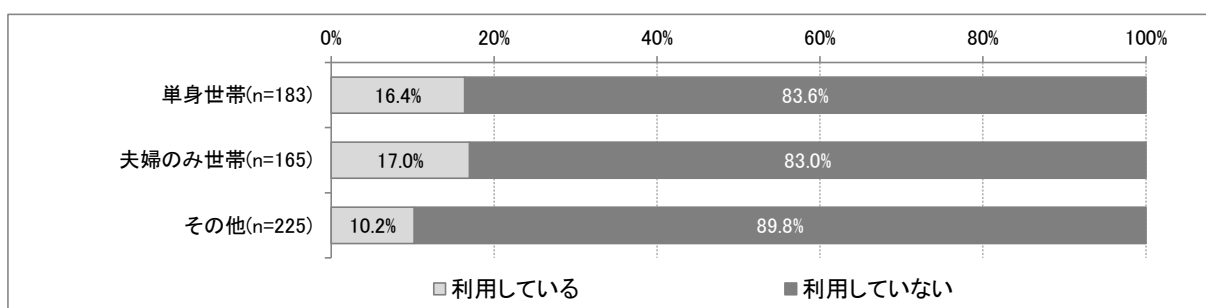
世帯類型別に訪問診療の利用割合をみると、その他世帯の利用割合が他の世帯類型と比べやや低くなっています。

要介護度別にみると、要介護度が上がるほど利用割合は高くなっています。

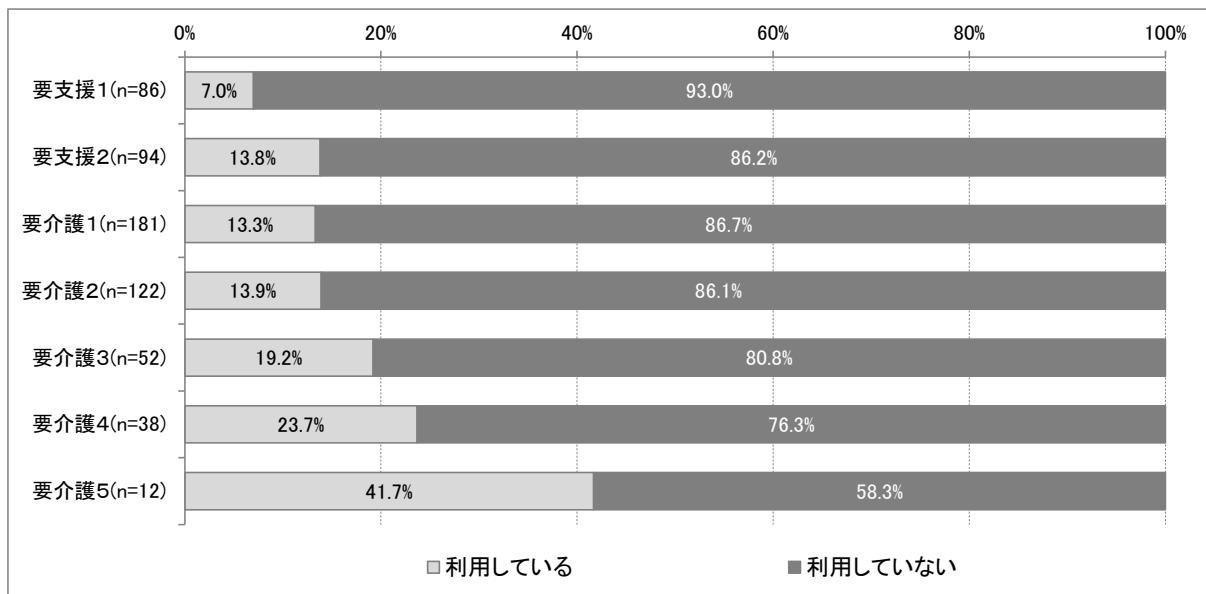
図表 5-4 訪問診療の利用の有無



図表 5-5 世帯類型別・訪問診療の利用割合



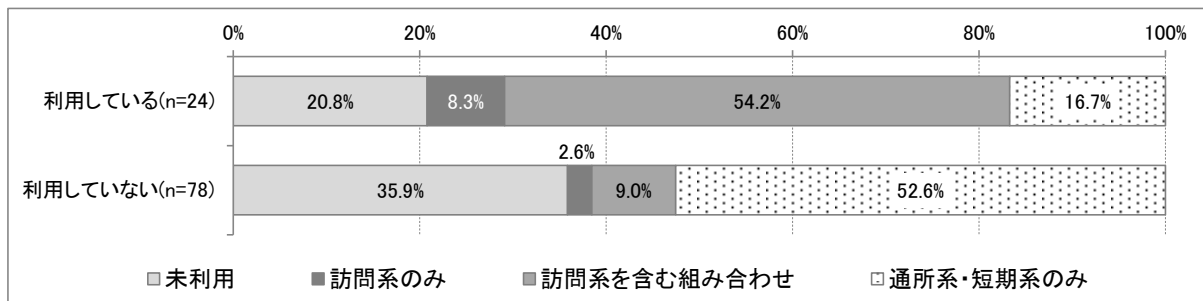
図表 5-6 要介護度別・訪問診療の利用割合



### (3) 訪問診療の利用の有無別のサービス利用の組み合わせ

訪問診療の利用の有無別にサービス利用の組み合わせをみると、訪問診療を利用している人では、「訪問系のみ」「訪問系を含む組み合わせ」が合わせて62.5%となり、利用していない人の11.6%と比べ高くなっています。訪問診療を利用している場合、一定数の人が訪問介護や訪問看護を組み合わせ利用していることがうかがえます。

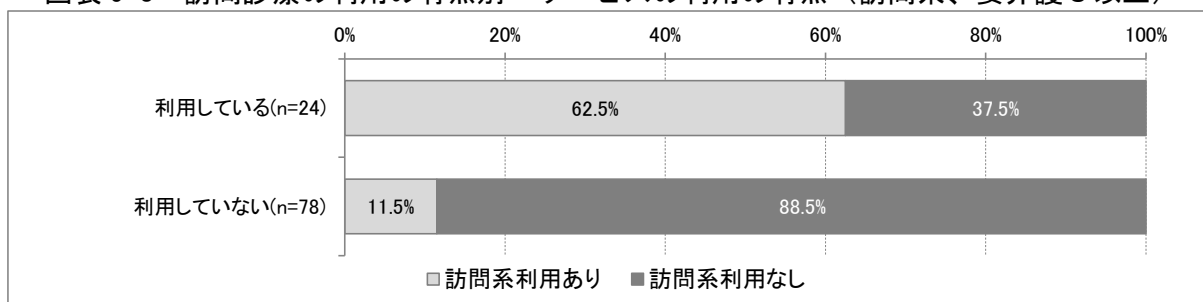
図表 5-7 訪問診療の利用の有無別・サービス利用の組み合わせ（要介護3以上）



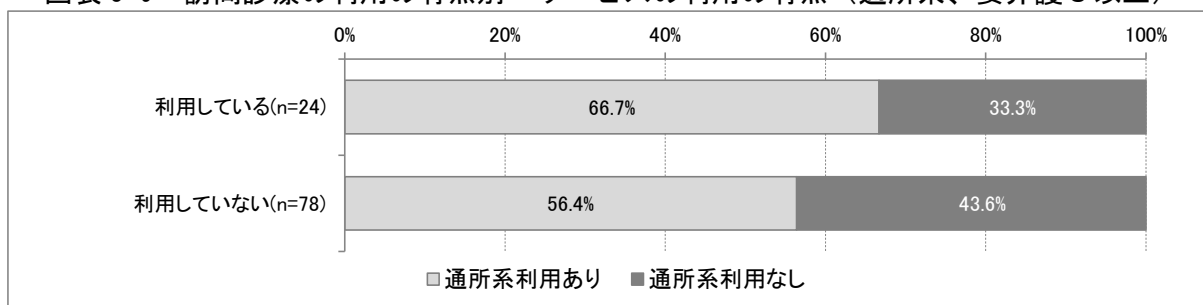
### (4) 訪問診療の利用の有無別の訪問系・通所系・短期系サービスの利用の有無

訪問診療の利用の有無別にサービスの利用有無をみると、サービスの種類に関わらず、訪問診療を利用している人は利用していない人に比べて利用割合が高くなっています。特に訪問系サービスは差が大きくなっています。

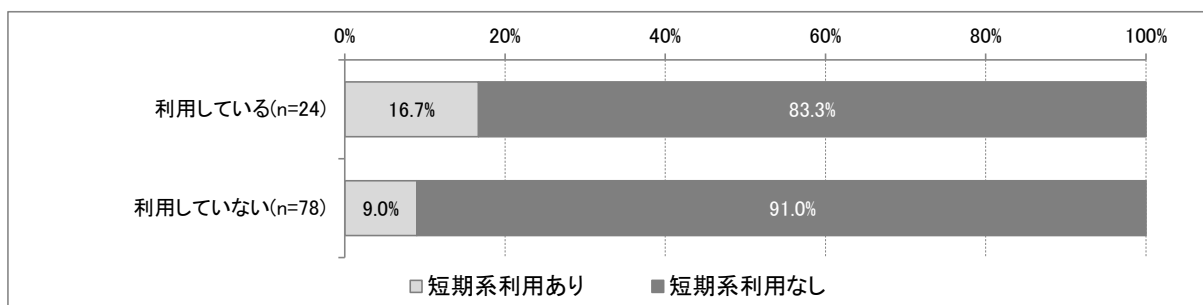
図表 5-8 訪問診療の利用の有無別・サービスの利用の有無（訪問系、要介護3以上）



図表 5-9 訪問診療の利用の有無別・サービスの利用の有無（通所系、要介護3以上）



図表 5-10 訪問診療の利用の有無別・サービス利用の有無（短期系、要介護3以上）



## 6 サービス未利用の理由など

### 6.1 集計・分析の狙い

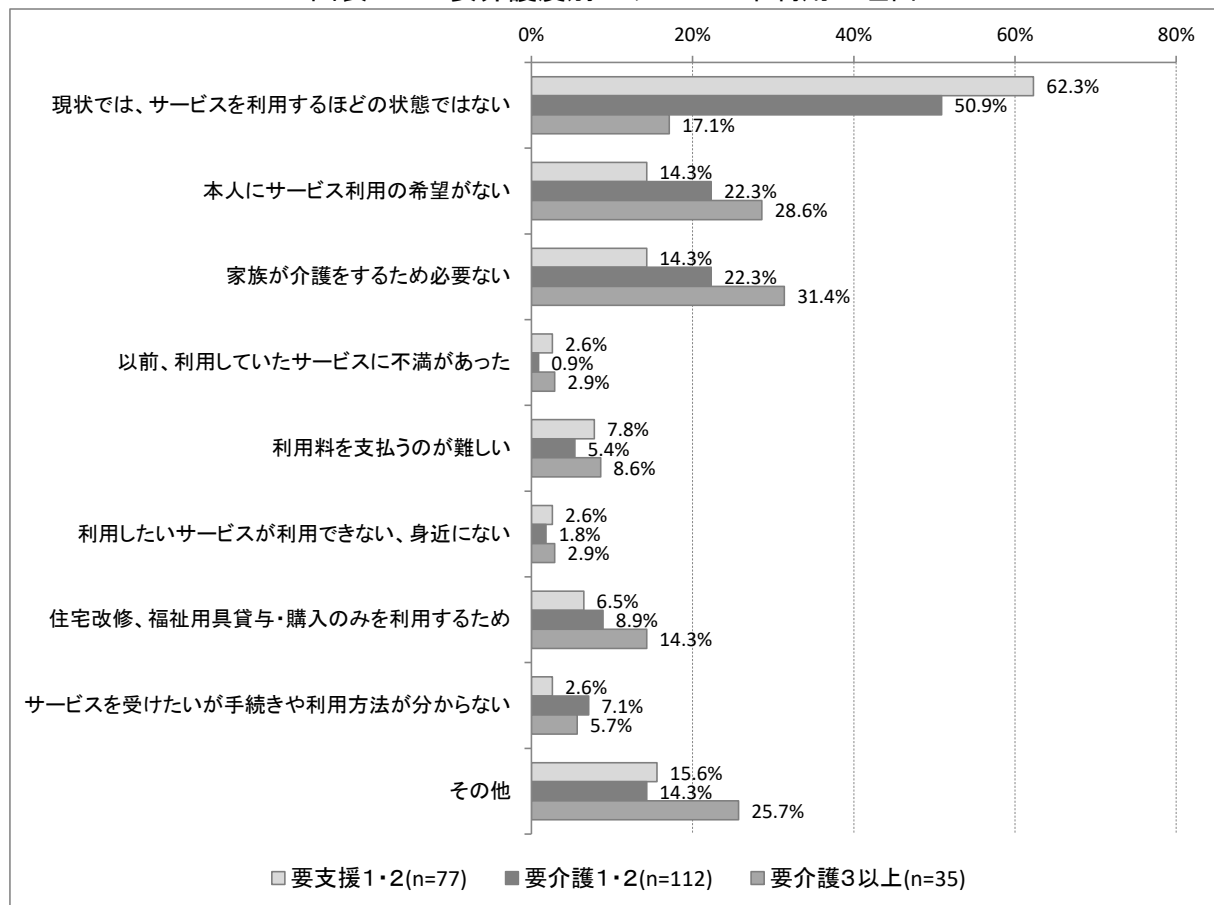
○ここでは、各地域において支援・サービスの提供体制の構築を含む各種の取組を検討する際に、参考になると考えられるいくつかの集計結果を整理しています。

### 6.2 集計結果

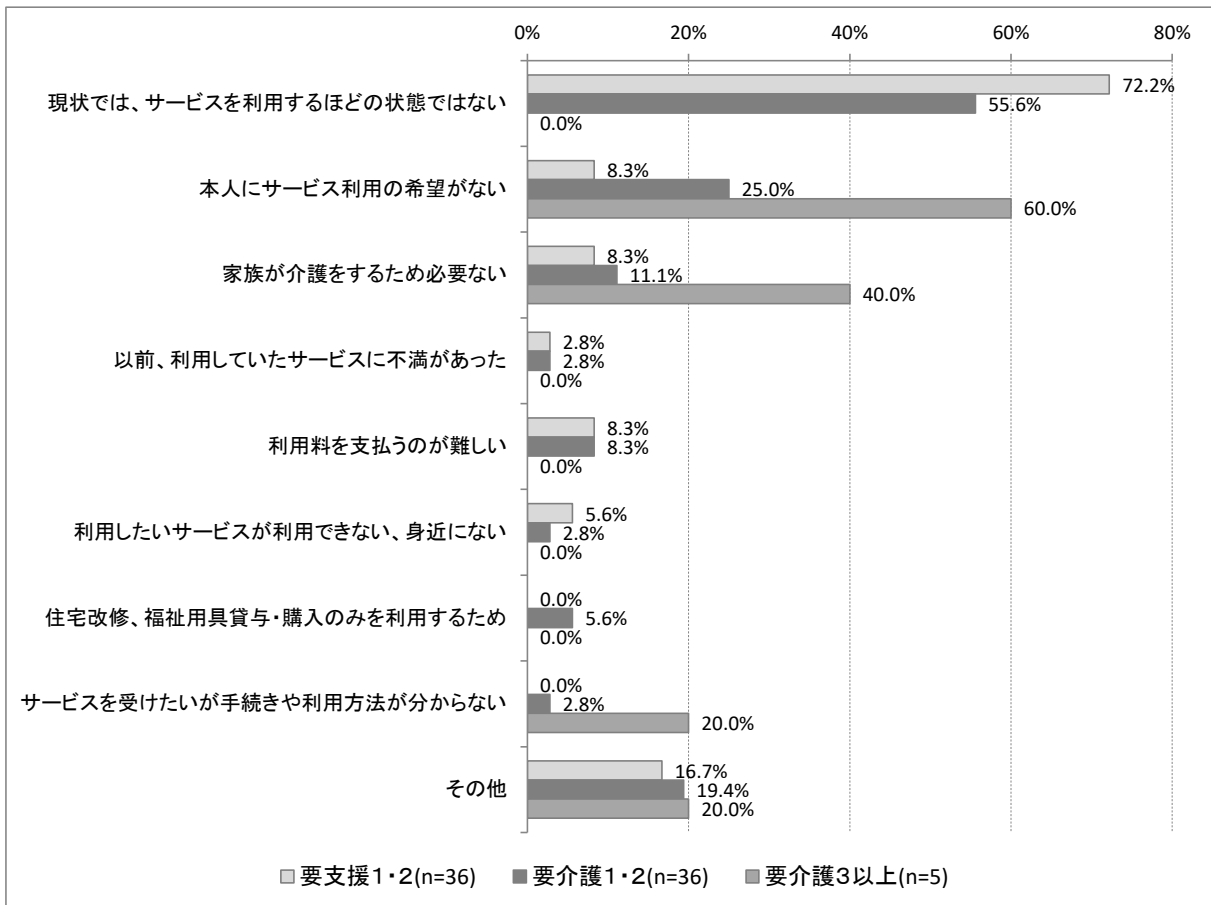
#### (1) 要介護度別・世帯類型別のサービス未利用の理由

要介護度別にサービス未利用の理由をみると、要支援1・2、要介護1・2では、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が最も高くなっています。要介護3以上では、「家族が介護をするため必要ない」が31.4%で最も高くなっています。

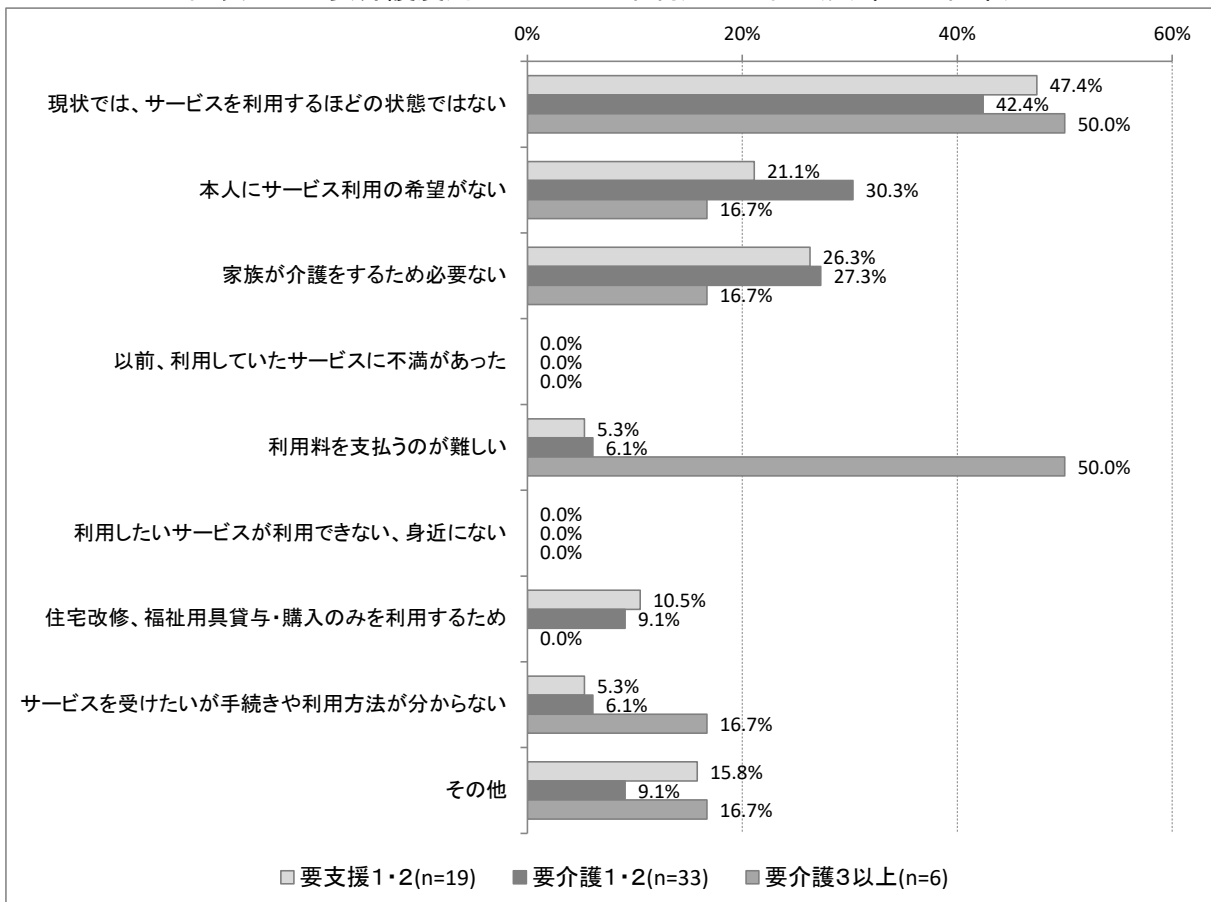
図表 6-1 要介護度別のサービス未利用の理由



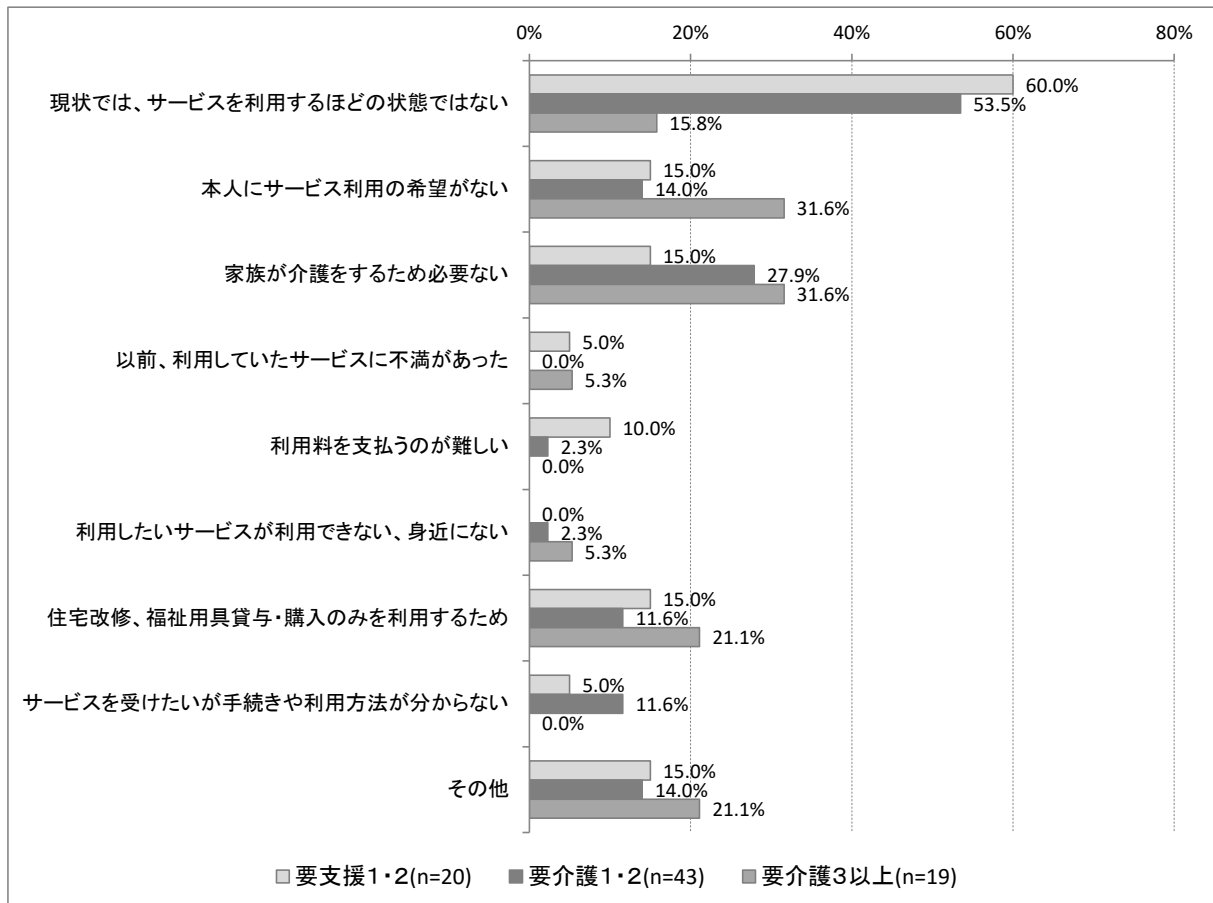
図表 6-2 要介護度別のサービス未利用の理由（単身世帯）



図表 6-3 要介護度別のサービス未利用の理由（夫婦のみ世帯）



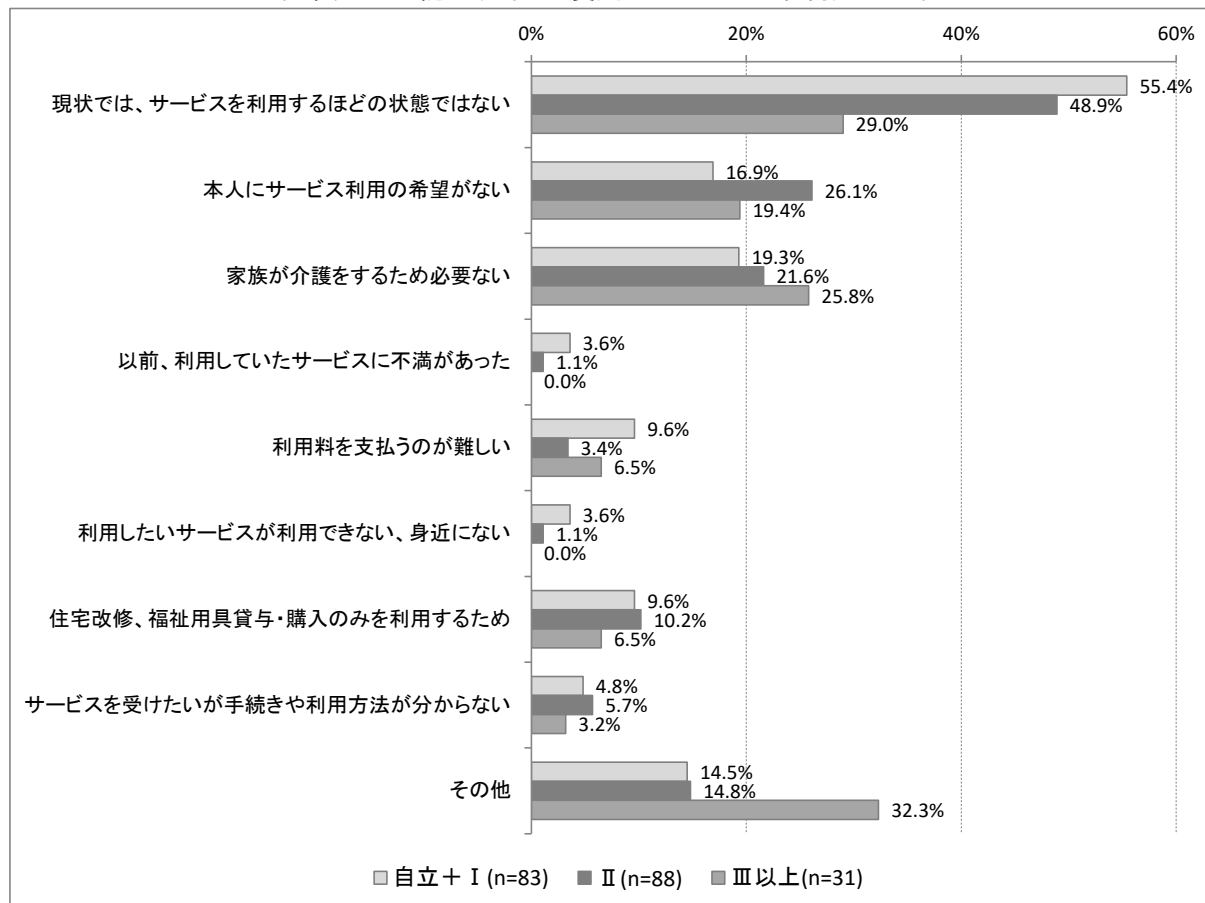
図表 6-4 要介護度別のサービス未利用の理由（その他世帯）



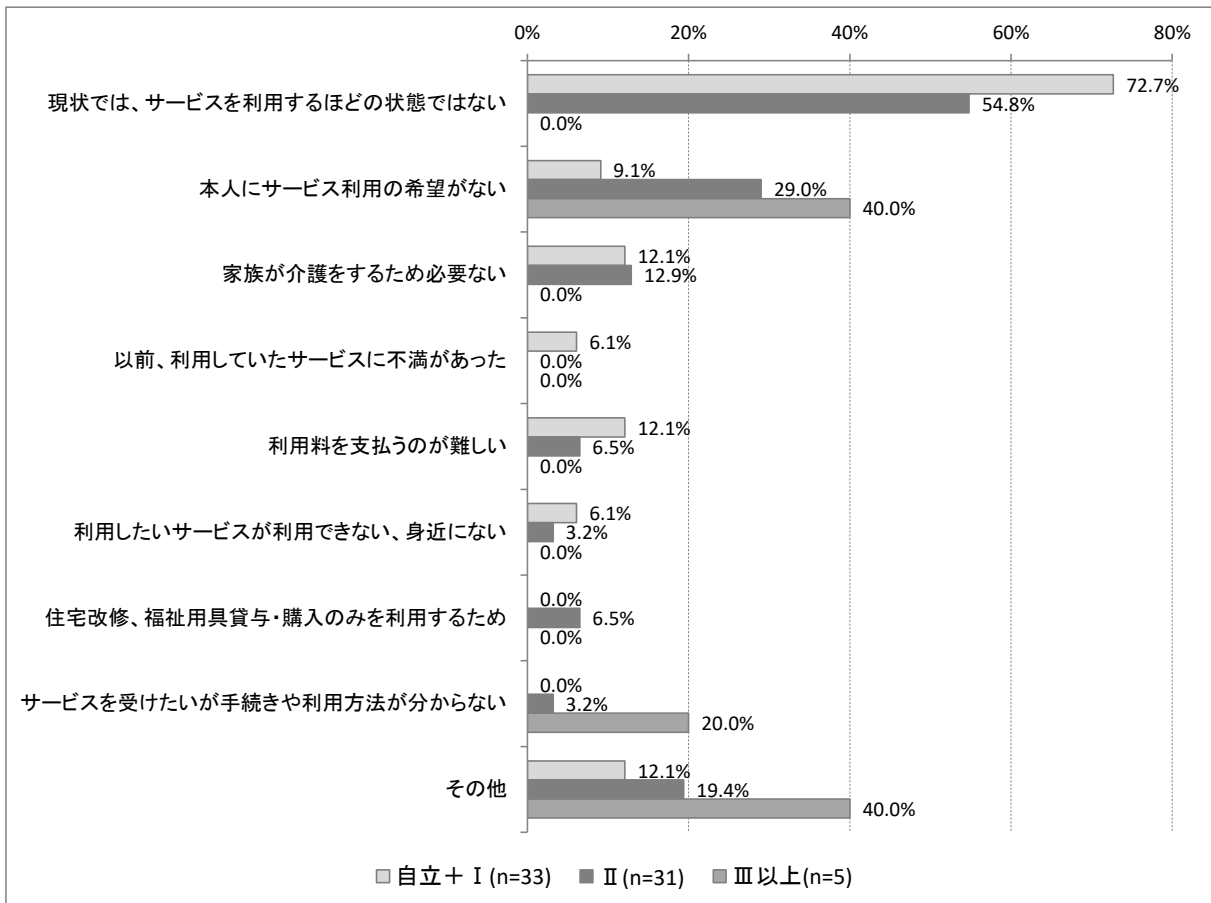
## (2) 認知症自立度別・世帯類型別のサービス未利用の理由

認知症自立度別にサービス未利用の理由をみると、自立+認知症自立度Ⅰでは「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が55.4%で最も高くなっています。「家族が介護をするため必要ない」が19.3%となっています。認知症自立度Ⅱでは「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が48.9%で最も高くなっています。認知症自立度Ⅲ以上では「その他」が32.3%で最も高くなっています。

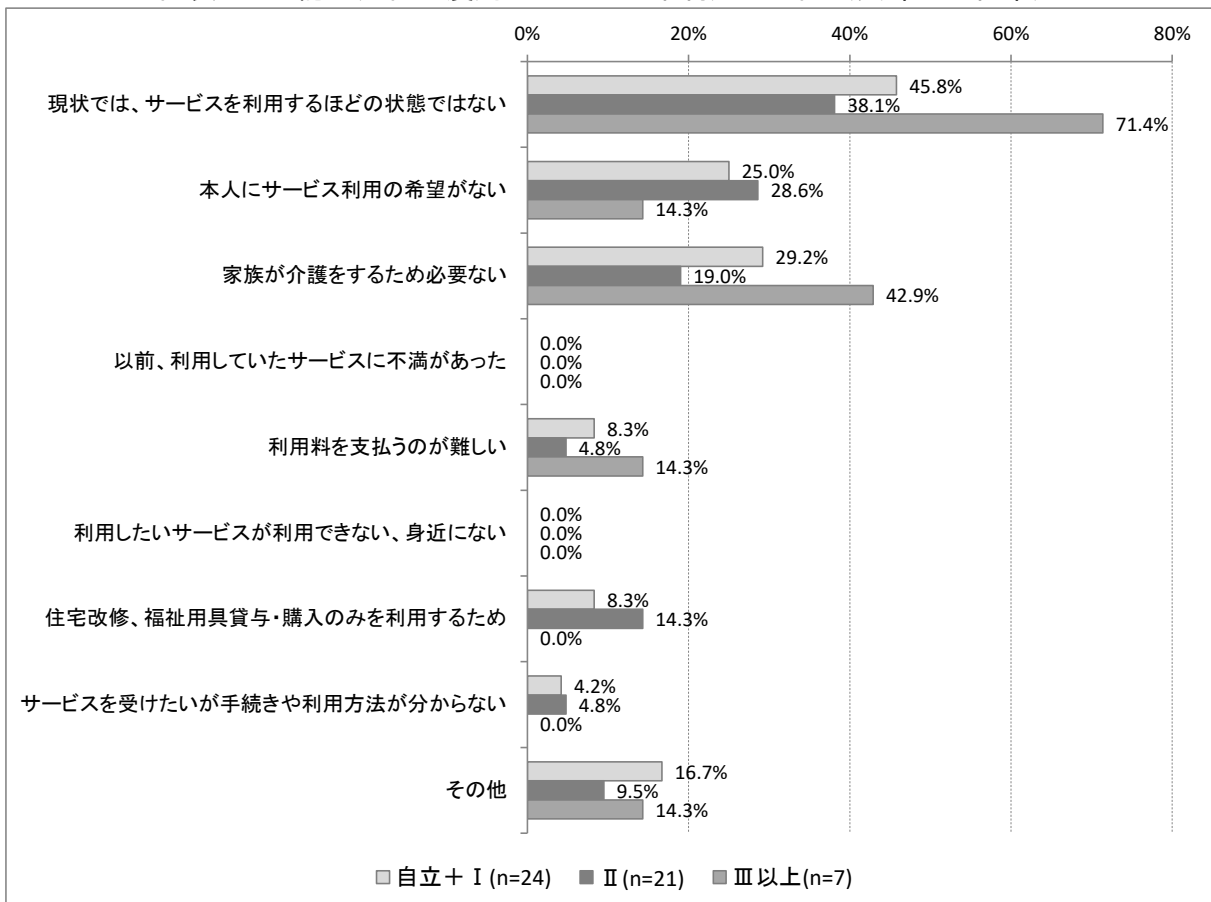
図表 6-5 認知症自立度別のサービス未利用の理由



図表 6-6 認知症自立度別のサービス未利用の理由（単身世帯）

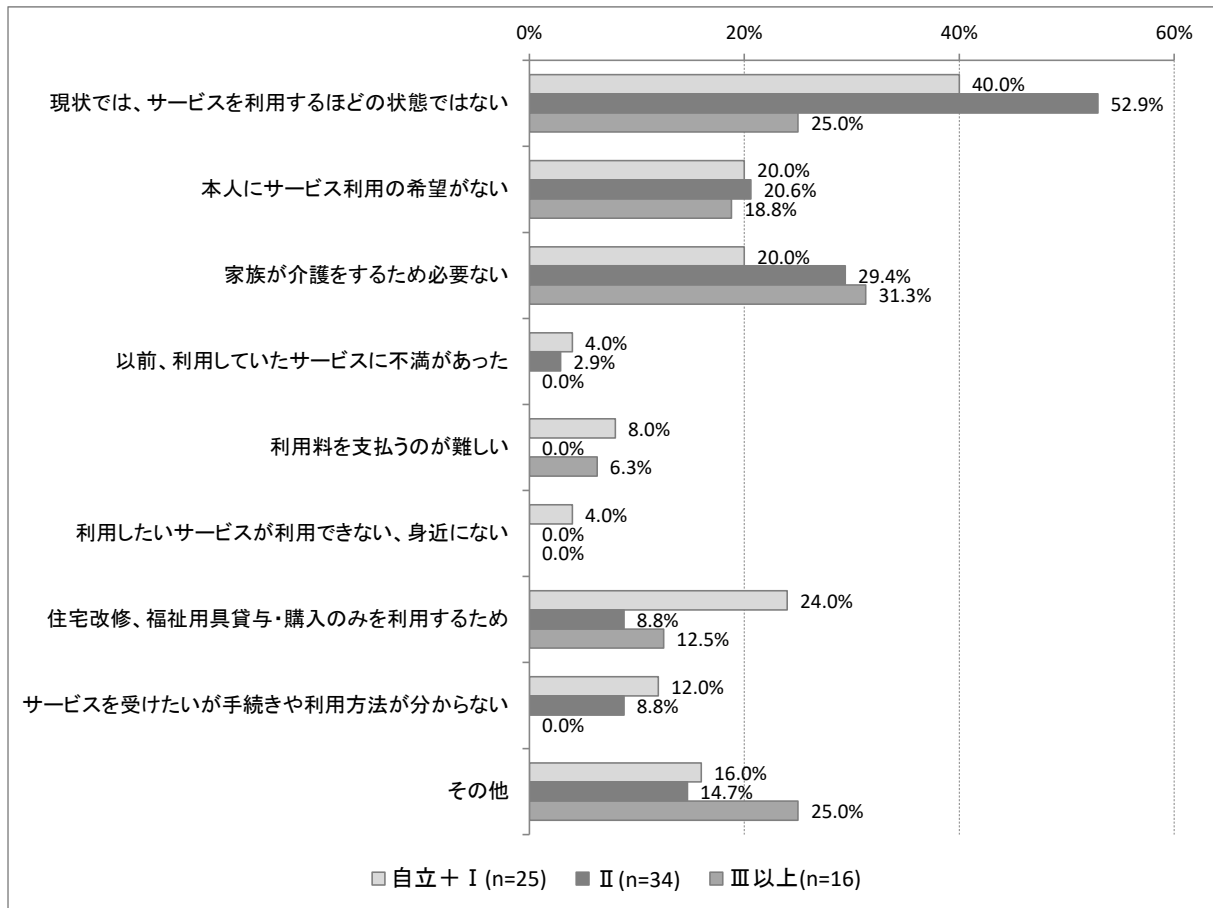


図表 6-7 認知症自立度別のサービス未利用の理由（夫婦のみ世帯）





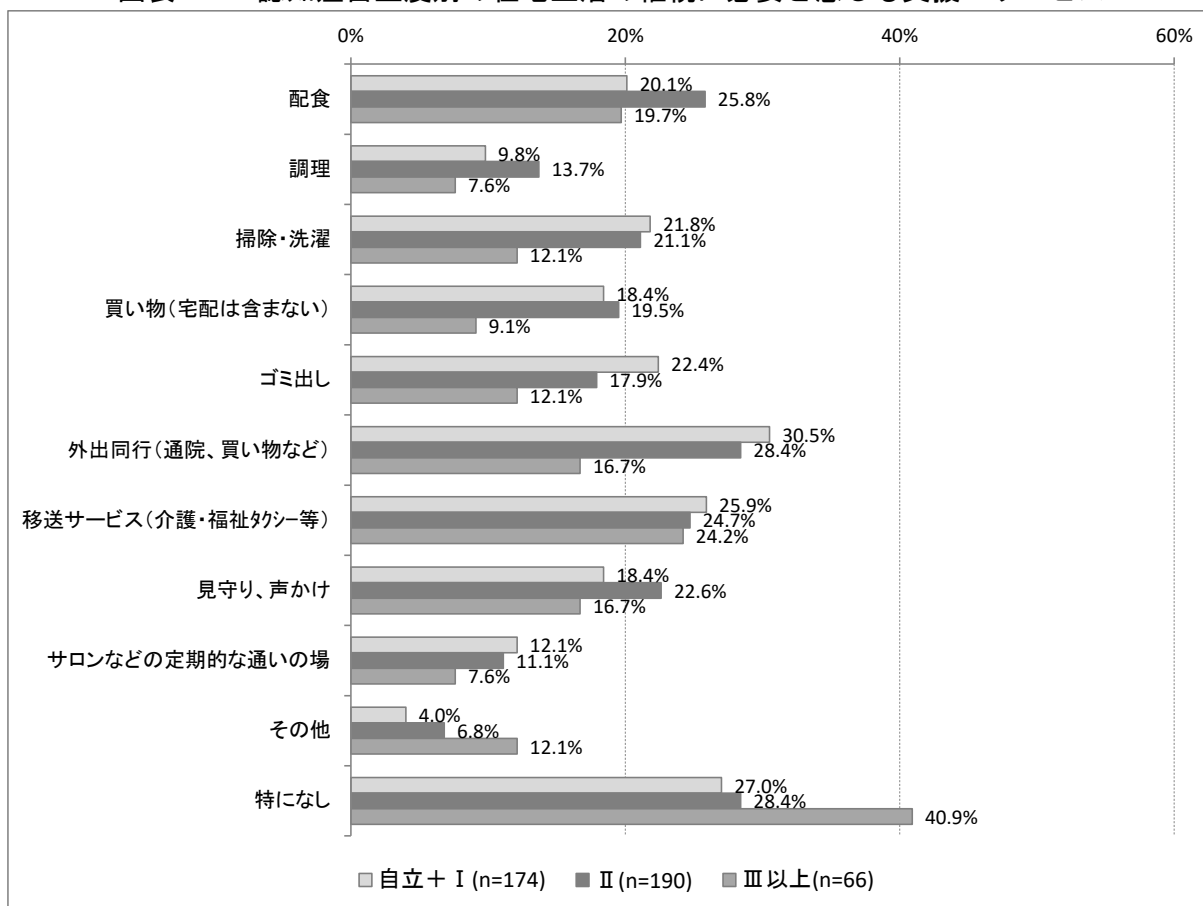
図表 6-8 認知症自立度別のサービス未利用の理由（その他世帯）



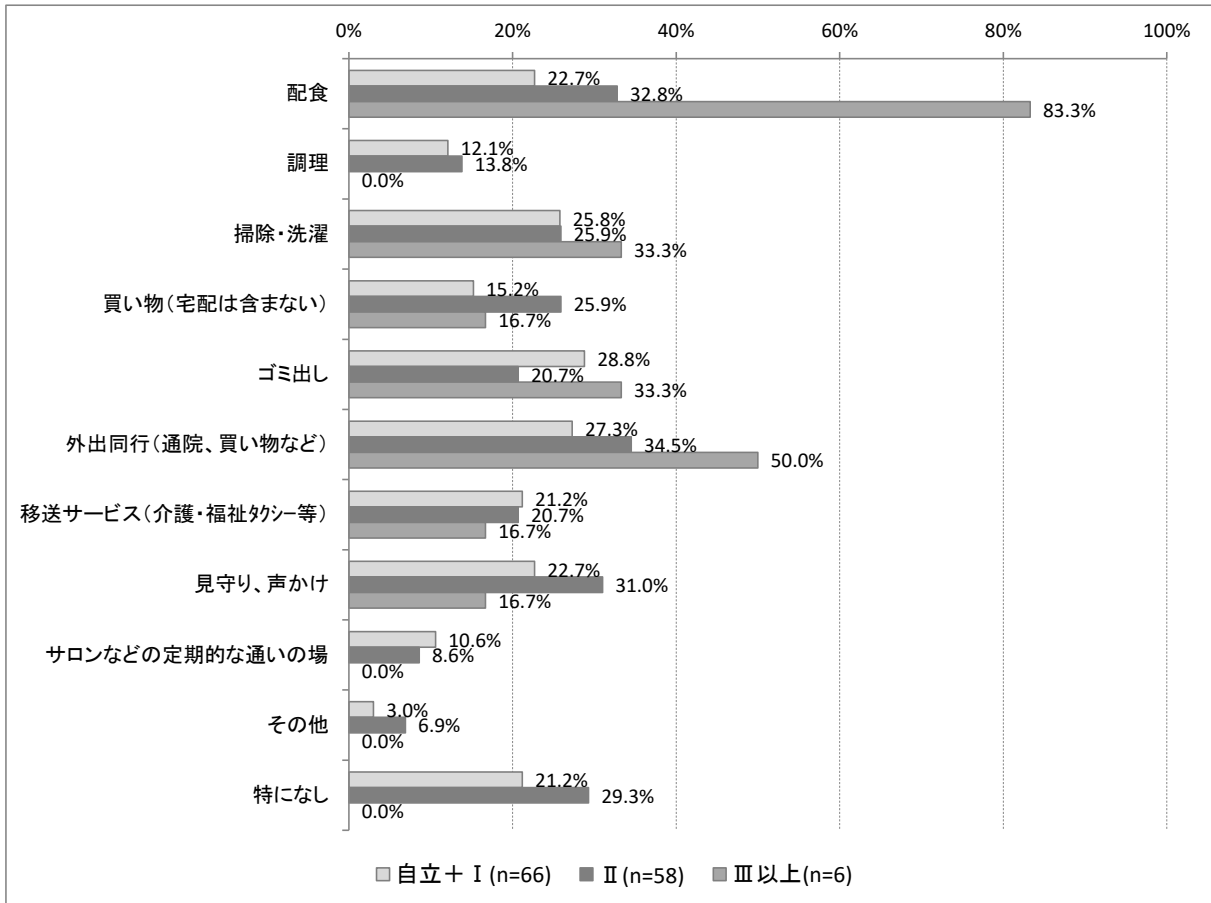
### (3) 認知症自立度別の今後の在宅生活に必要と感じる支援・サービス

認知症自立度別に、在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスをみると、自立+認知症自立度Ⅰと認知症自立度Ⅱでは「外出同行」が最も高く、認知症自立度Ⅲ以上では「移送サービス」が24.2%で最も高くなっています。

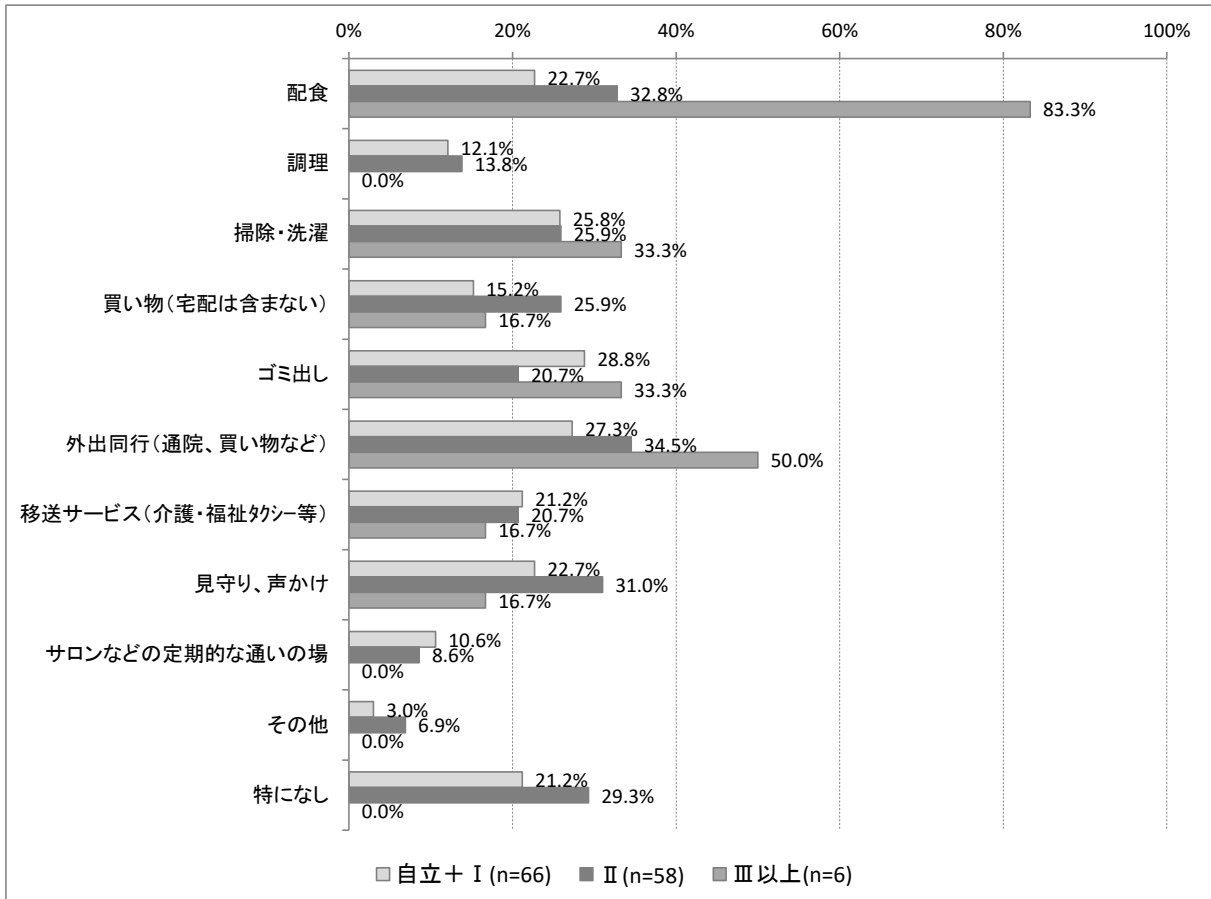
図表 6-9 認知症自立度別の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス



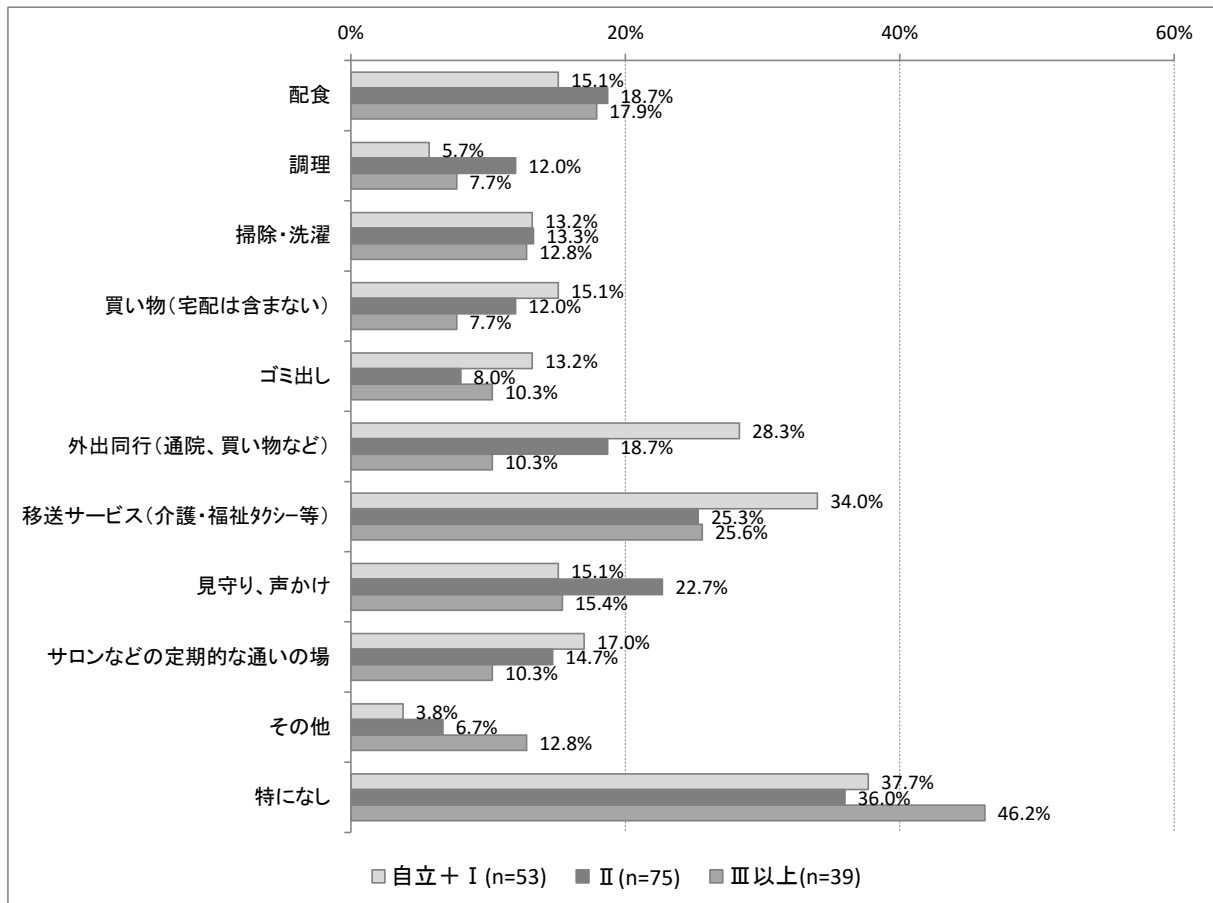
図表 6-10 認知症自立度別の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（単身世帯）



図表 6-11 認知症自立度別の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（夫婦のみ世帯）



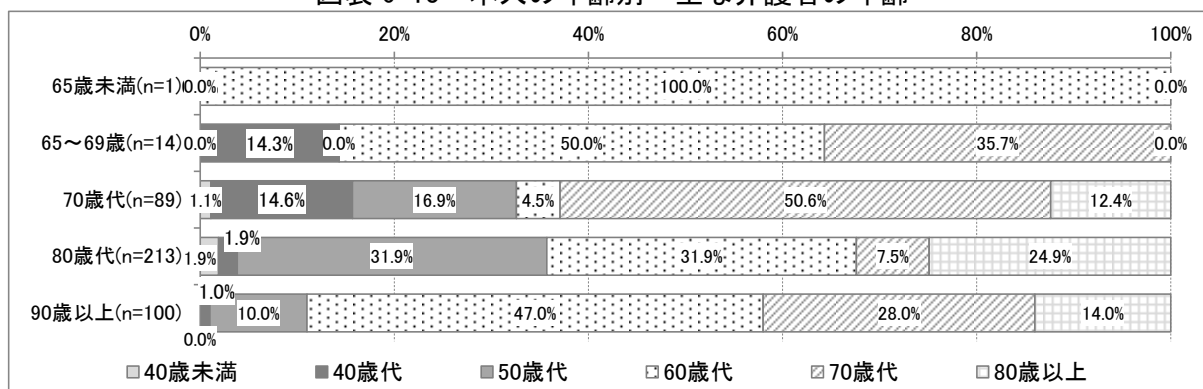
図表 6-12 認知症自立度別の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（その他世帯）



#### (4) 本人の年齢別・主な介護者の年齢

要介護者本人の年齢別に、主な介護者の年齢をみると、本人が65～69歳の場合、介護者が60歳以上の割合は8割程度、本人が90歳以上の場合は介護者が70歳以上の割合は4割程度となっており、多くの人が老老介護の課題を抱えていることがわかります。

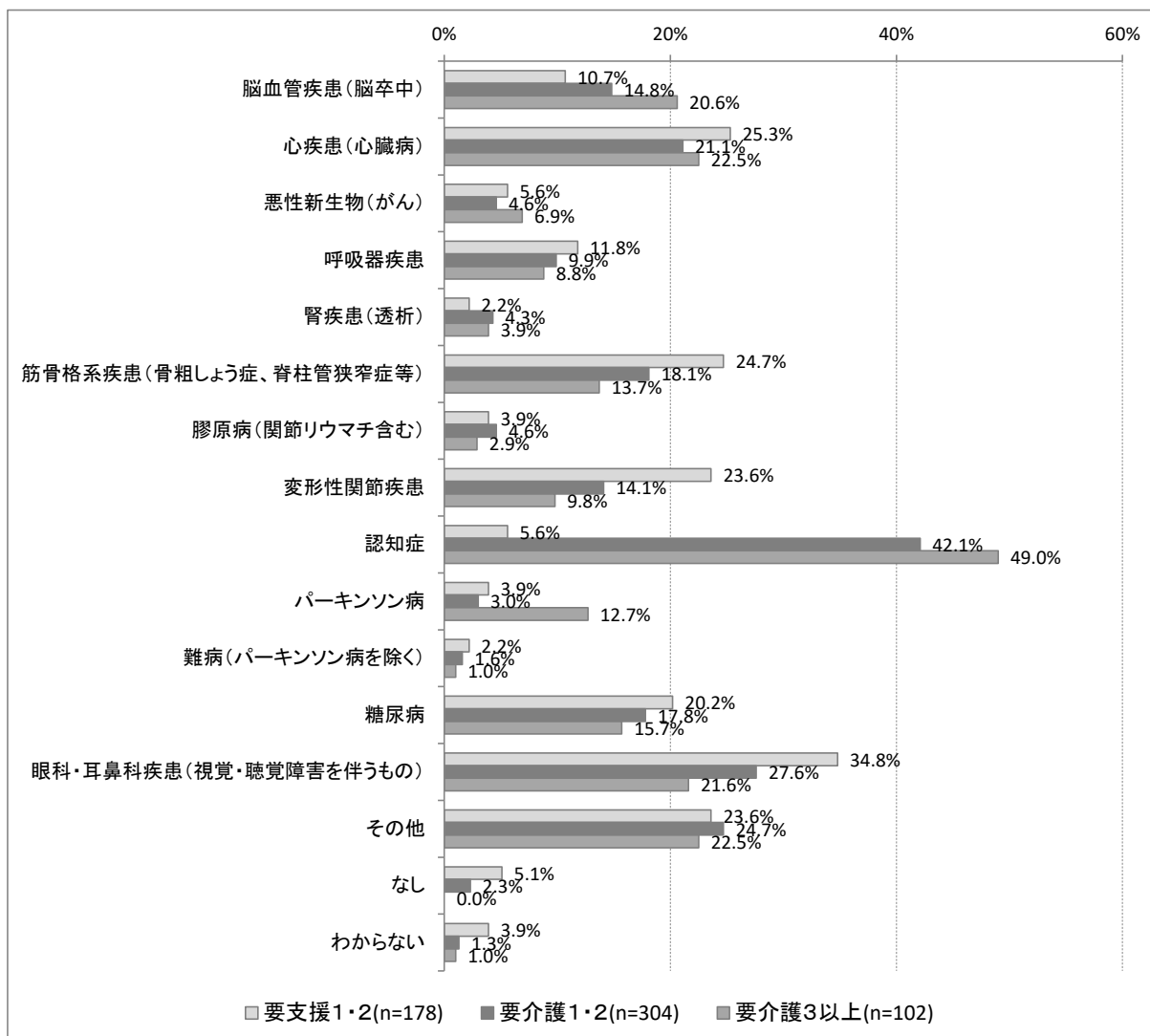
図表 6-13 本人の年齢別・主な介護者の年齢



#### (5) 要介護度別の抱えている傷病

要介護度別に、本人が抱えている傷病をみると、重度化に伴い割合が高くなる傷病は「脳血管疾患(脳卒中)」「認知症」となっています。特に「認知症」は要支援1・2と要介護1・2以上で差が大きくなっています。

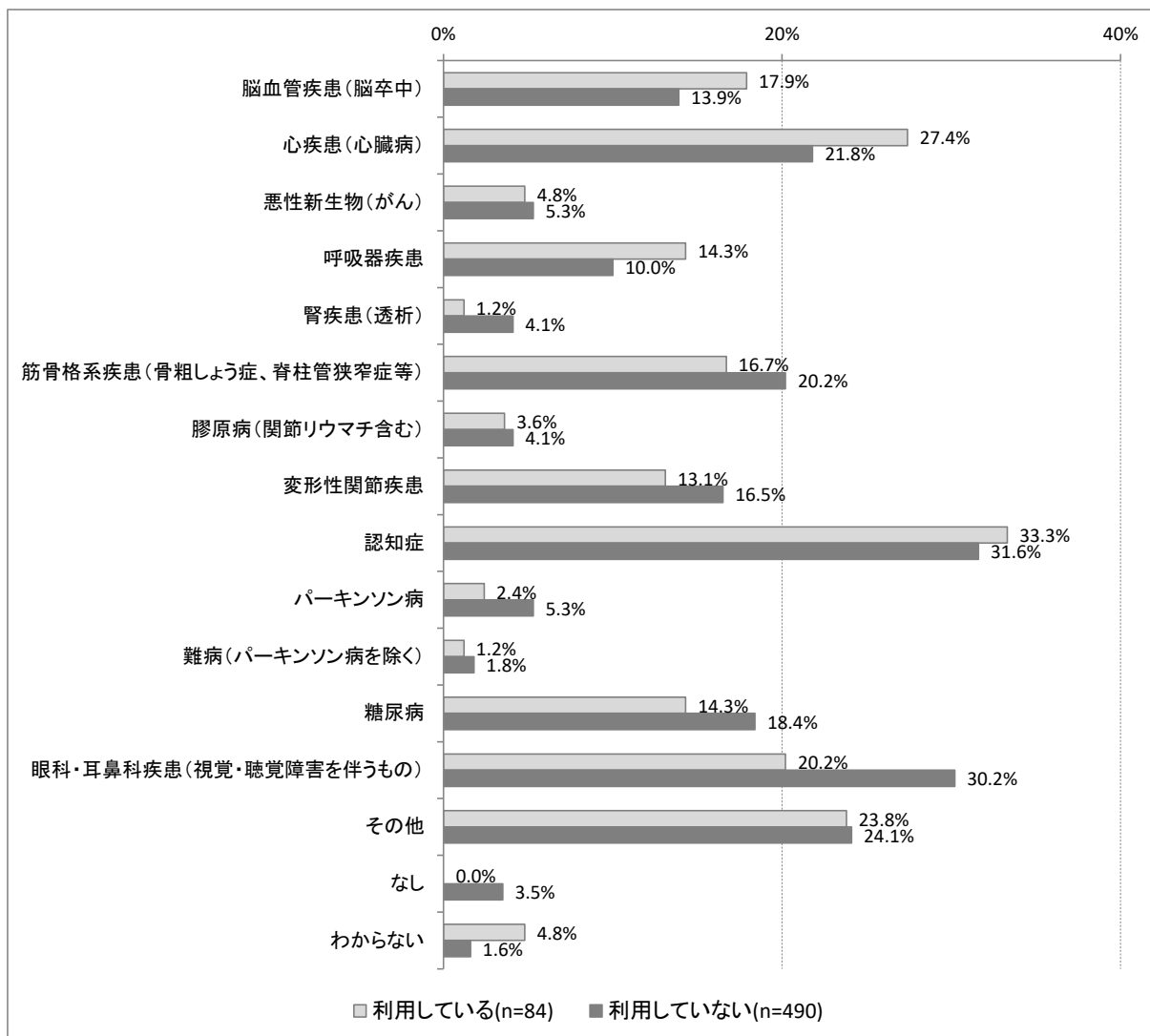
図表 6-14 要介護度別・抱えている傷病



(6) 訪問診療の利用の有無別の抱えている傷病

訪問診療を利用している人は利用していない人と比べて「脳血管疾患（脳卒中）」「心疾患（心臓病）」「呼吸器疾患」「認知症」の割合が高くなっています。

図表 6-15 訪問診療の利用の有無別・抱えている傷病



## 7 独自設問

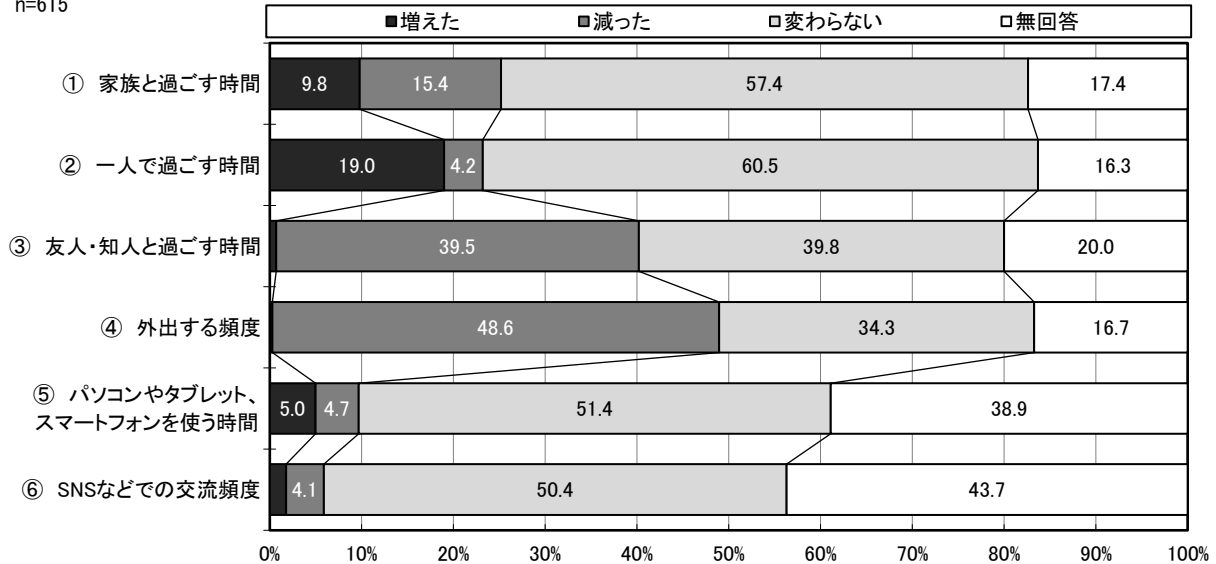
### 7.1 集計結果

A問15 新型コロナウイルス感染症の流行により、生活にどのような変化がありましたか。(各SA)

「外出する頻度」では「減った」が最も高くなっており、それ以外の項目では「変わらない」が最も高くなっています。

1人暮らしでは『一人で過ごす時間』が増えた」の割合が夫婦2人暮らしやその他世帯と比較して高く、その他世帯では『友人・知人と過ごす時間』が減った』『外出する頻度』が減った」の割合が1人暮らしや夫婦2人暮らしと比較して高くなっています。

n=615



		「家族と過ごす時間」が増えた	「家族と過ごす時間」が減った	「二人で過ごす時間」が増えた	「二人で過ごす時間」が減った	「友人・知人と過ごす時間」が増えた	「友人・知人と過ごす時間」が減った	「外出する頻度」が増えた	「外出する頻度」が減った	「パソコンやスマートフォンを使う時間」が増えた	「パソコンやスマートフォンを使う時間」が減った	「SNSなどでの交流頻度」が増えた	「SNSなどでの交流頻度」が減った	無回答
	全体 n=615	9.8	15.4	19.0	4.2	0.7	39.5	0.3	48.6	5.0	4.7	1.8	4.1	39.7
家族構成別	1人暮らし n=191	3.1	20.4	23.6	1.6	0.5	37.7	-	43.5	3.7	4.2	0.5	3.7	45.0
	夫婦2人暮らし n=173	12.7	9.8	16.8	3.5	1.2	35.3	0.6	45.1	4.6	7.5	2.9	5.8	43.4
	その他 n=232	13.8	16.4	17.2	7.3	0.4	46.1	0.4	57.3	6.9	3.4	2.2	3.4	31.0

A問16 あなたが、今後の生活について不安に思うのはどのようなことですか。(MA)

「自分の健康状態」が81.1%で最も高くなっています。「経済面」が40.7%、「家族等の介護」が28.6%となっています。

夫婦2人暮らしや介護者が働いていない場合では、1人暮らしやその他世帯、介護者が働いている場合と比較して「家族等の介護」の割合が高くなっています。

「経済面」は就労継続の難しさ（問題なく続けていける<問題はあがるが何とか続けていける<続けていくのは「やや+かなり難しい」）に応じて割合が高くなっています。

		自分の健康状態	経済面	家族や親戚との関係	家族等の介護	住む場所	隣近所との付き合い	その他	不安はない	無回答
全体 n=615		81.1	40.7	13.0	28.6	11.7	11.9	4.6	6.2	4.4
家族構成別	1人暮らし n=191	85.9	38.7	13.6	17.3	16.2	14.1	3.7	5.8	2.1
	夫婦2人暮らし n=173	85.0	44.5	12.1	38.7	12.1	15.0	5.2	4.6	1.7
	その他 n=232	76.3	40.5	12.9	31.0	8.2	8.2	5.2	7.8	6.9
介護の頻度別	ない n=164	81.1	39.0	11.6	15.9	12.8	11.6	7.9	8.5	3.7
	週に1日未満 n=42	85.7	38.1	11.9	40.5	14.3	23.8	2.4	7.1	2.4
	週に1～2日 n=78	87.2	41.0	12.8	26.9	16.7	19.2	6.4	7.7	1.3
	週に3～4日 n=39	92.3	48.7	25.6	35.9	12.8	12.8	-	5.1	-
	ほぼ毎日 n=248	79.4	41.1	12.1	36.7	9.3	8.1	3.2	4.4	3.6
介護者の年齢別	49歳以下 n=24	87.5	50.0	16.7	45.8	12.5	16.7	4.2	-	4.2
	50～69歳 n=211	80.6	39.8	12.8	29.9	10.4	13.3	3.8	6.2	2.4
	70歳以上 n=154	84.4	40.9	14.9	40.9	13.6	10.4	2.6	4.5	3.2
介護者の勤務形態別	フルタイムで働いている n=86	79.1	46.5	17.4	33.7	10.5	12.8	3.5	5.8	1.2
	パートタイムで働いている n=69	81.2	50.7	13.0	31.9	20.3	11.6	1.4	5.8	-
	働いていない n=185	86.5	38.4	14.6	42.2	9.2	13.5	3.8	2.7	2.7
介護者の就労継続意向別	問題なく、続けていける n=25	72.0	36.0	16.0	24.0	8.0	16.0	4.0	8.0	4.0
	問題はあがるが、何とか続けていける n=88	81.8	45.5	15.9	33.0	14.8	12.5	1.1	6.8	-
	続けていくのは、「やや+かなり難しい」 n=26	69.2	61.5	15.4	30.8	23.1	7.7	7.7	3.8	-



A問17 あなたが人生の最期をどこで迎えたいかを考えるとき、重視することはどんなことですか  
(MA)

「家族等の負担にならないこと」が57.7%で最も高くなっています。「体や心の苦痛なく過ごせること」が56.3%、「自分らしくいられること」「経済的な負担が少ないこと」がともに47.2%となっています。

夫婦2人暮らしとその他世帯では1人暮らしと比較して「家族等との十分な時間を過ごせること」の割合が高くなっています。

「家族等の負担にならないこと」は就労継続の難しさ（問題なく続けていける<問題はあがるが何とか続けていける<続けていくのは「やや+かなり難しい」）に応じて割合が低くなっています。

		介護職員などにみてもらうこと	信頼できる医師、看護師、 自分がなじみのある 場所にいること	家族等との十分な時間を 過ごせること	自分らしくいられること	人間としての尊厳を保てること	体や心の苦痛なく過ごせること	不安がないこと	家族等の負担にならないこと	可能な限り長生きすること	積極的な医療を続けられること	経済的な負担が少ないこと	どんなことでも相談できる 窓口があること	その他	わからない	無回答
	全体 n=615	45.0	39.0	38.7	47.2	32.8	56.3	37.2	57.7	15.8	14.0	47.2	29.1	2.3	7.2	4.9
家族構成別	1人暮らし n=191	50.3	39.8	26.2	52.4	34.0	59.7	42.9	59.2	12.6	11.5	42.9	33.0	3.7	6.3	2.1
	夫婦2人暮らし n=173	45.7	37.6	43.9	48.0	31.8	54.9	39.9	58.4	16.8	14.5	53.8	29.5	1.7	4.6	5.8
	その他 n=232	40.9	40.9	47.0	43.1	33.2	56.9	31.9	55.6	18.1	16.4	47.8	27.2	1.7	9.9	5.2
介護の頻度別	ない n=164	44.5	28.0	28.0	50.0	30.5	51.8	36.6	53.7	11.6	12.2	50.6	29.3	4.3	7.3	4.9
	週に1日未満 n=42	54.8	35.7	31.0	40.5	23.8	61.9	35.7	61.9	19.0	11.9	38.1	33.3	-	-	2.4
	週に1~2日 n=78	48.7	39.7	43.6	51.3	34.6	65.4	42.3	69.2	16.7	15.4	47.4	30.8	1.3	9.0	-
	週に3~4日 n=39	38.5	41.0	46.2	51.3	33.3	64.1	51.3	61.5	25.6	20.5	53.8	23.1	-	10.3	2.6
	ほぼ毎日 n=248	44.0	48.8	47.6	44.0	37.9	57.3	35.9	56.5	16.1	14.1	47.2	29.8	2.0	7.3	4.8
介護者の年齢別	49歳以下 n=24	45.8	54.2	37.5	41.7	29.2	66.7	41.7	66.7	25.0	12.5	54.2	20.8	4.2	8.3	-
	50~69歳 n=211	43.6	45.5	47.4	51.2	40.8	60.7	40.8	64.5	19.9	17.1	47.4	30.8	0.9	7.6	3.3
	70歳以上 n=154	44.8	44.2	42.9	40.3	27.9	57.1	35.7	53.2	13.0	11.0	44.8	30.5	1.3	6.5	4.5
介護者の勤務形態別	フルタイムで働いている n=86	40.7	38.4	43.0	46.5	31.4	58.1	34.9	57.0	18.6	10.5	47.7	27.9	1.2	11.6	-
	パートタイムで働いている n=69	50.7	52.2	49.3	46.4	34.8	65.2	49.3	65.2	17.4	13.0	56.5	31.9	-	4.3	4.3
	働いていない n=185	48.6	49.7	51.9	49.2	39.5	63.8	38.4	63.8	18.4	16.2	48.1	30.3	2.7	5.4	2.2
介護者の就労継続意向別	問題なく、続けていける n=25	52.0	24.0	20.0	64.0	24.0	68.0	44.0	68.0	20.0	8.0	52.0	24.0	-	4.0	4.0
	問題はあがるが、何とか続けていける n=88	46.6	52.3	54.5	45.5	36.4	60.2	42.0	58.0	21.6	15.9	45.5	27.3	-	6.8	2.3
	続けていくのは、「やや+かなり難しい」 n=26	34.6	34.6	34.6	19.2	26.9	50.0	38.5	46.2	3.8	-	61.5	38.5	-	15.4	-

B問6 主な介護者の方が不安に感じる内容として、あてはまるものを教えてください。(各SA)

「介護者自身の健康について不安がある」「介護で心身ともに疲れる」「将来の見通しが立てられない」で6割を超えています。「介護で自分の時間が持てない」「介護で自由に外出できない」「緊急時に医療を迅速に受けることが難しい」で5割を超えています。

介護の頻度が多いほど、不安に感じる内容が多くなっています。

介護者がパートタイム勤務をしている場合、フルタイム勤務や働いていない場合と比較して「介護で仕事や家事ができない」の割合が高くなっています。

介護者の就労継続の難しさ（問題なく続けていける<問題はあるが何とか続けていける<続けていくのは「やや+かなり難しい」）に応じて不安に感じる内容が多くなっています。

		医療費や交通費などの 経済的負担が大きい	福祉サービスの負担 (手続きや利用料)が 大きい	介護で仕事や家事が できない	介護で自由に外出 できない	介護で自分の時間が 持てない	介護で心身ともに 疲れる	将来の見通しが 立てられない	介護者自身の健康に ついて不安がある	緊急時に医療を迅速に 受けることが難しい	無回答
全体 n=406		47.8	45.8	40.9	52.0	53.0	61.1	60.6	64.5	51.0	18.0
家族構成別	1人暮らし n=115	37.4	37.4	32.2	40.9	41.7	49.6	54.8	53.0	47.8	27.0
	夫婦2人暮らし n=113	56.6	48.7	40.7	50.4	55.8	62.8	61.1	71.7	53.1	15.0
	その他 n=175	49.1	49.7	46.9	61.1	59.4	68.0	64.6	68.0	51.4	13.7
介護の頻度別	ない n=0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	週に1日未満 n=42	50.0	47.6	31.0	33.3	28.6	40.5	45.2	59.5	47.6	33.3
	週に1～2日 n=78	38.5	33.3	20.5	21.8	25.6	37.2	44.9	47.4	43.6	29.5
	週に3～4日 n=39	48.7	53.8	48.7	59.0	56.4	76.9	61.5	69.2	53.8	15.4
	ほぼ毎日 n=248	50.0	48.0	47.6	63.3	64.9	69.4	67.7	69.8	53.2	12.5
介護者の年齢別	49歳以下 n=24	45.8	41.7	29.2	20.8	25.0	37.5	45.8	45.8	45.8	33.3
	50～69歳 n=211	44.5	47.4	47.4	57.3	57.3	64.5	62.6	62.1	51.7	16.6
	70歳以上 n=154	53.2	46.1	34.4	49.4	52.6	61.0	61.7	71.4	51.9	16.2
介護者の勤務形態別	フルタイムで働いている n=86	53.5	54.7	47.7	58.1	54.7	59.3	61.6	65.1	58.1	14.0
	パートタイムで働いている n=69	53.6	53.6	62.3	60.9	59.4	72.5	72.5	71.0	55.1	8.7
	働いていない n=185	50.3	46.5	40.5	57.8	63.2	71.4	69.2	73.5	55.1	8.6
介護者の就労継続意向別	問題なく、続けていける n=25	36.0	24.0	24.0	36.0	28.0	36.0	52.0	40.0	28.0	12.0
	問題はあるが、何とか続けていける n=88	61.4	67.0	60.2	69.3	67.0	76.1	70.5	78.4	65.9	4.5
	続けていくのは、「やや+かなり難しい」 n=26	65.4	69.2	88.5	84.6	84.6	92.3	92.3	84.6	76.9	3.8

B問7 主な介護者の方は、介護について誰かに相談していますか (MA)

「ケアマネジャー」が63.3%、「家族・親族」が60.6%で群を抜いて高くなっています。「介護サービス事業者」「医師」がともに17.2%となっています。

		家族・親族	友人・知人	近所の人、ボランティアの人等	介護が必要な本人	ケアマネジャー	地域包括支援センター	自治体（保健師含む）	保健所	介護サービス事業者	医師	病院の医療ソーシャルワーカー	民生委員	勤務先	その他	誰にも相談していない	どこに相談してよいかわからない	無回答
	全体 n=406	60.6	17.0	3.0	10.6	63.3	7.4	0.5	0.5	17.2	17.2	2.2	1.2	2.0	1.5	5.4	2.0	10.8
家族構成別	1人暮らし n=115	56.5	17.4	2.6	10.4	52.2	6.1	-	-	12.2	13.9	-	2.6	1.7	1.7	5.2	0.9	20.0
	夫婦2人暮らし n=113	62.8	13.3	3.5	15.9	69.0	11.5	0.9	0.9	26.5	20.4	5.3	0.9	2.7	2.7	7.1	2.7	7.1
	その他 n=175	61.7	19.4	2.9	7.4	66.9	5.1	0.6	0.6	14.9	17.7	1.1	0.6	1.7	0.6	4.6	2.3	6.9
介護の頻度別	ない n=0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	週に1日未満 n=42	50.0	9.5	4.8	7.1	57.1	2.4	-	-	21.4	11.9	-	2.4	-	2.4	4.8	7.1	14.3
	週に1～2日 n=78	59.0	10.3	2.6	14.1	42.3	7.7	-	-	9.0	16.7	2.6	1.3	-	2.6	10.3	-	24.4
	週に3～4日 n=39	61.5	25.6	2.6	17.9	64.1	12.8	2.6	2.6	25.6	17.9	5.1	2.6	2.6	2.6	7.7	2.6	15.4
	ほぼ毎日 n=248	62.5	19.0	2.8	8.9	70.6	7.3	0.4	0.4	17.7	18.1	2.0	0.8	2.8	0.8	3.6	1.6	5.6
介護者の年齢別	49歳以下 n=24	66.7	8.3	-	16.7	66.7	-	-	-	4.2	8.3	-	-	-	-	-	-	8.3
	50～69歳 n=211	63.0	23.7	1.9	10.4	62.1	7.6	0.5	0.5	12.8	16.1	1.4	1.4	1.9	1.9	5.2	0.5	10.9
	70歳以上 n=154	57.1	9.7	5.2	11.0	66.9	9.1	0.6	0.6	24.0	22.1	3.9	1.3	2.6	0.6	7.1	3.9	9.1
介護者の勤務形態別	フルタイムで働いている n=86	62.8	15.1	1.2	8.1	66.3	7.0	-	-	10.5	11.6	1.2	3.5	7.0	2.3	8.1	-	4.7
	パートタイムで働いている n=69	65.2	27.5	-	10.1	66.7	4.3	-	-	14.5	14.5	-	-	2.9	1.4	4.3	1.4	10.1
	働いていない n=185	67.6	16.8	4.3	13.0	70.8	9.7	1.1	1.1	24.9	22.7	3.8	1.1	-	1.6	6.5	2.7	1.6
介護者の就労継続意向別	問題なく、続けていける n=25	72.0	20.0	-	16.0	60.0	4.0	-	-	8.0	16.0	-	-	-	4.0	8.0	-	4.0
	問題はあがるが、何とか続けていける n=88	68.2	25.0	1.1	10.2	71.6	8.0	-	-	15.9	14.8	-	2.3	8.0	2.3	8.0	-	1.1
	続けていくのは、「やや+かなり難しい」 n=26	53.8	15.4	-	3.8	73.1	-	-	-	11.5	11.5	3.8	3.8	3.8	-	3.8	3.8	3.8

B問8 あなた(主な介護者)は、ご本人(あて名の方)以外の方への介護や子育てをしていますか(していましたか) (SA)

「していない」が53.7%を占めています。

介護者の年齢が49歳以下では、他の年齢層と比較して「子育てをしている(していた)」の割合が高くなっています。

		本人以外の人にも介護を している(していた)	子育てをしている(していた)	本人以外の人への介護と子育て をどちらもしている (していた)	していない	無回答
	全体 n=406	14.5	10.8	3.4	53.7	17.5
家族構成別	1人暮らし n=115	13.0	16.5	1.7	46.1	22.6
	夫婦2人暮らし n=113	12.4	6.2	2.7	61.1	17.7
	その他 n=175	16.6	10.3	5.1	54.3	13.7
介護の頻度別	ない n=0	-	-	-	-	-
	週に1日未満 n=42	7.1	11.9	-	54.8	26.2
	週に1～2日 n=78	14.1	11.5	-	39.7	34.6
	週に3～4日 n=39	12.8	7.7	5.1	56.4	17.9
	ほぼ毎日 n=248	16.1	10.9	4.8	57.3	10.9
介護者の年齢別	49歳以下 n=24	16.7	37.5	-	25.0	20.8
	50～69歳 n=211	18.5	14.2	4.7	46.9	15.6
	70歳以上 n=154	8.4	1.9	1.9	70.1	17.5
介護者の勤務形態別	フルタイムで働いている n=86	16.3	17.4	5.8	54.7	5.8
	パートタイムで働いて いる n=69	27.5	14.5	2.9	44.9	10.1
	働いていない n=185	12.4	7.6	3.2	65.4	11.4
介護者の就労継続意向別	問題なく、続けていける n=25	24.0	20.0	-	52.0	4.0
	問題はあるが、何とか 続けていける n=88	23.9	14.8	5.7	54.5	1.1
	続けていくのは、「やや+ かなり難しい」 n=26	23.1	15.4	7.7	50.0	3.8

## B問9 今後の介護の方法はどのように考えていますか (SA)

「可能な限り在宅で」が41.9%で最も高く、「必要に応じて施設への入所」が36.2%、「できるだけ施設への入所」が8.9%となっています。

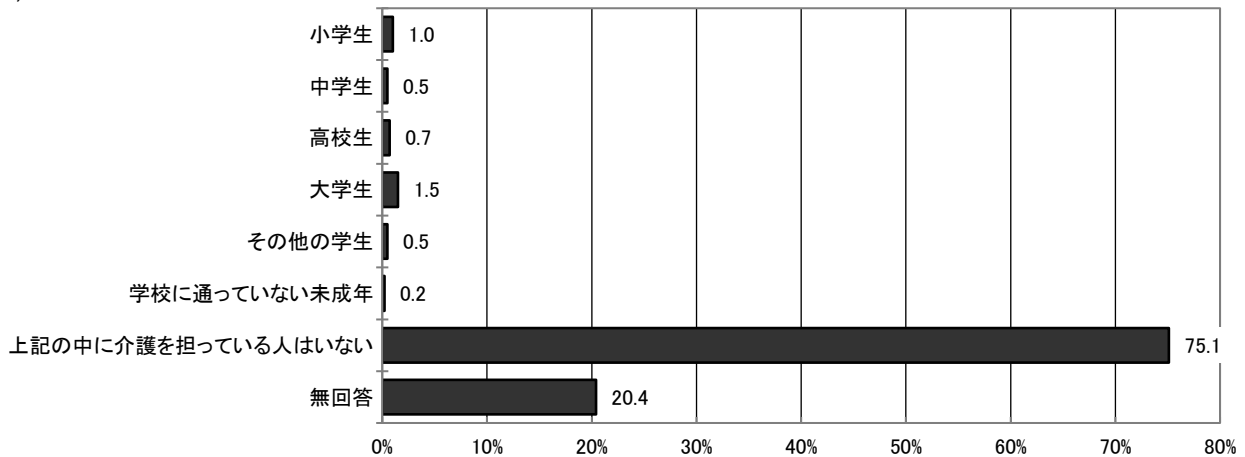
就労継続の難しさ(問題なく続けていける<問題はあるが何とか続けていける<続けていくのは「やや+かなり難しい」)に応じて「必要に応じて施設への入所」「できるだけ施設への入所」の割合が高くなっています。

		可能な限り在宅で	必要に応じて施設への入所	できるだけ施設への入所	わからない	無回答
全体 n=406		41.9	36.2	8.9	3.9	9.1
家族構成別	1人暮らし n=115	34.8	41.7	7.8	4.3	11.3
	夫婦2人暮らし n=113	41.6	33.6	11.5	4.4	8.8
	その他 n=175	47.4	34.3	8.0	3.4	6.9
介護の頻度別	ない n=0	-	-	-	-	-
	週に1日未満 n=42	33.3	28.6	26.2	-	11.9
	週に1~2日 n=78	38.5	34.6	9.0	5.1	12.8
	週に3~4日 n=39	33.3	35.9	12.8	5.1	12.8
	ほぼ毎日 n=248	45.6	37.9	5.2	4.0	7.3
介護者の年齢別	49歳以下 n=24	50.0	41.7	4.2	-	4.2
	50~69歳 n=211	39.8	38.9	8.5	3.8	9.0
	70歳以上 n=154	46.8	30.5	9.7	4.5	8.4
介護者の勤務形態別	フルタイムで働いている n=86	36.0	45.3	8.1	7.0	3.5
	パートタイムで働いている n=69	42.0	40.6	13.0	2.9	1.4
	働いていない n=185	47.0	34.1	9.7	4.3	4.9
介護者の就労継続意向別	問題なく、続けていける n=25	56.0	36.0	4.0	4.0	-
	問題はあるが、何とか続けていける n=88	38.6	45.5	8.0	5.7	2.3
	続けていくのは、「やや+かなり難しい」 n=26	19.2	57.7	19.2	-	3.8

**B問10 介護を担っている家族の中に、次のような人はいますか (SA)**

「上記の中に介護を担っている人はいない」が75.1%で最も高くなっています。

(SA) n=406

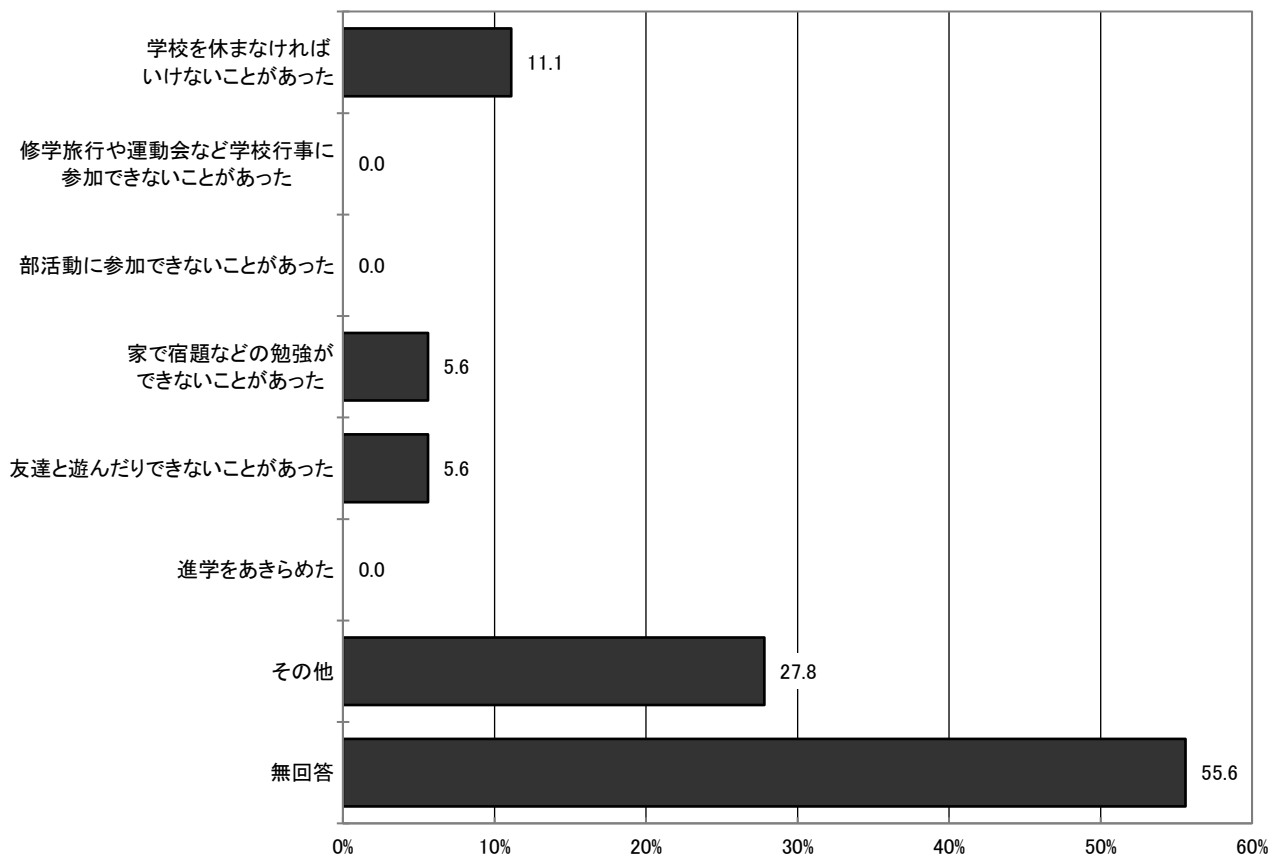


**B問10で「1」～「6」(介護を担っている子どもがいる)と回答した方**

**B問11 介護を担っている子どもに次のようなことはありましたか。(MA)**

「学校を休まなければいけないことがあった」が11.1%で最も高くなっています。「家で宿題などの勉強ができないことがあった」「友達と遊んだりできないことがあった」がともに5.6%となっています。

(MA) n=18



# 令和4年度 高齢者福祉に関する アンケート調査 報告書

---

発行年月：令和5年3月

発行：宇部市健康福祉部高齢者総合支援課

〒755-8601 宇部市常盤町一丁目7番1号

電話：0836-34-8396

FAX：0836-22-6026